

久喜市

障がい者計画・障がい(児)福祉計画

策定のための実態調査報告書

久 喜 市

令和5年3月

目次

第 1 章 調査の目的と方法	1
第 2 章 障がいのある方を対象とした調査	5
1. ご本人について	7
2. 日常生活での介助や支援について	21
3. 日常の活動について	41
4. 外出について	56
5. 地域活動について	64
6. 災害について	73
7. 情報提供について	86
8. 相談について	90
9. 権利擁護について	99
10. 福祉サービスについて	105
11. 障がい者施策について	126
第 3 章 市民の方を対象とした調査	147
1. ご本人について	148
2. 障がい者との関わりについて	150
3. ボランティア活動について	156
4. 障がい理解について	159
5. 障がい者施策について	164

第 1 章

調査の目的と方法

(1) 調査の目的

この調査は、第2次久喜市障がい者計画及び第6期久喜市障がい福祉計画・第2期久喜市障がい児福祉計画が、令和5年度をもって計画期間満了となることに伴い、本市における障がい者の現状や障害福祉サービス等に対するニーズ調査のほか、市民と障害のある方との関わりの状況などを把握し、次期計画を策定するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

(2) 調査の対象と方法

調査の種類	調査の対象	調査の方法
① 障がいのある方を対象とした調査	久喜市にお住まいで、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難病に係る医療受給者証をお持ちの方の中から3,000人を抽出しました。	調査票の配布：郵送 調査票の回収： 郵送 または オンライン
② 市民の方を対象とした調査	久喜市にお住まいの方から1,500人を抽出しました。	

(3) 調査期間

令和4年10月27日(木)から11月18日(金)までの期間に実施しました。

(4) 配布・回収状況

調査の種類	配布数	回収数	白票・無効票	有効回収数	有効回収率
① 障がいのある方を対象とした調査	3,000	1,754 うちオンライン 131	1	1,753	58.4%
② 市民の方を対象とした調査	1,500	735 うちオンライン 139	2	733	48.9%
合計	4,500	2,489 うちオンライン 270	3	2,486	55.2%

◆調査結果の見方について

- ① 集計した数値(%)は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけ(単数回答)の場合、各選択肢の数値(%)を合計しても、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。
- ② 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、質問に対する回答が複数(複数回答)の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- ③ 表(クロス集計)では、特別な表記がない限り、上段が実数、下段が%(小数点第1位まで)を表示しています。
- ④ 回答結果を見やすくするために、グラフや表等で回答のなかった選択肢や無回答など、一部の項目の記載を省略している場合があります。

第 2 章

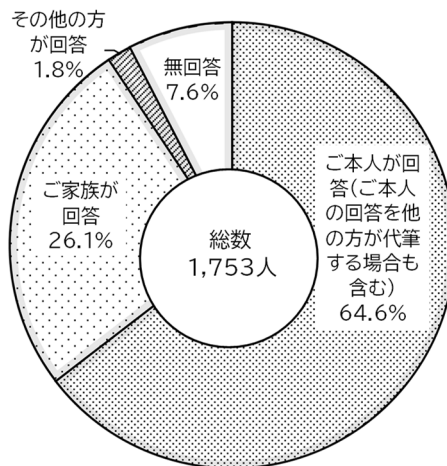
障がいのある方を対象とした調査

○調査票の記入者

問1 この調査票にご記入いただいている方はどなたですか。(○はひとつ)

全体では、「ご本人が回答(ご本人が回答(ご本人の回答を他の方が代筆する場合も含む))」が 64.6%と最も高く、次いで「ご家族が回答」が 26.1%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいや音声・言語・そしゃく機能障がいの方では「ご家族が回答」の割合が高くなっています。



	全体	ご本人が代筆する場合も含む	ご家族が回答	その他の方が回答	無回答
全体	1,753 100.0%	1,132 64.6%	457 26.1%	31 1.8%	133 7.6%
身体障がい	1,125 100.0%	765 68.0%	242 21.5%	21 1.9%	97 8.6%
視覚障がい	63 100.0%	37 58.7%	17 27.0%	3 4.8%	6 9.5%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	69 60.5%	29 25.4%	0 0.0%	16 14.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	17 44.7%	17 44.7%	0 0.0%	4 10.5%
肢体不自由	473 100.0%	287 60.7%	132 27.9%	15 3.2%	39 8.2%
内部障がい	306 100.0%	233 76.1%	48 15.7%	3 1.0%	22 7.2%
その他	168 100.0%	126 75.0%	27 16.1%	3 1.8%	12 7.1%
知的障がい	250 100.0%	68 27.2%	165 66.0%	6 2.4%	11 4.4%
精神障がい	296 100.0%	222 75.0%	56 18.9%	4 1.4%	14 4.7%
難病	153 100.0%	118 77.1%	28 18.3%	0 0.0%	7 4.6%
無回答	52 100.0%	19 36.5%	23 44.2%	1 1.9%	9 17.3%

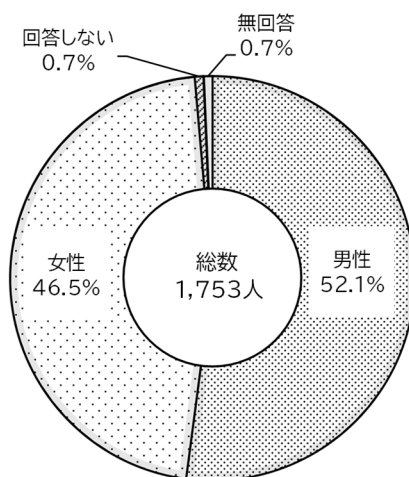
1. ご本人について

(1) 性別

問2 あなたの性別をお答えください。(〇はひとつ)

全体では、「男性」が52.1%、「女性」が46.5%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がい、知的障がい、内部障がいの方では男性の割合が高く、肢体不自由では女性の割合が高くなっています。



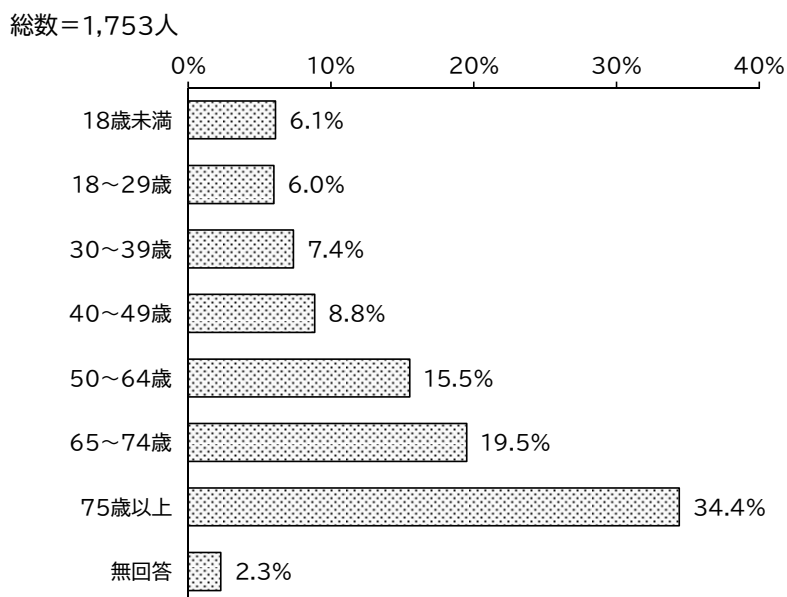
	全体	男性	女性	回答しない	無回答
全体	1,753 100.0%	913 52.1%	816 46.5%	12 0.7%	12 0.7%
身体障がい	1,125 100.0%	570 50.7%	541 48.1%	6 0.5%	8 0.7%
視覚障がい	63 100.0%	31 49.2%	30 47.6%	2 3.2%	0 0.0%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	54 47.4%	55 48.2%	2 1.8%	3 2.6%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	38 100.0%	30 78.9%	8 21.1%	0 0.0%	0 0.0%
肢体不自由	473 100.0%	217 45.9%	253 53.5%	1 0.2%	2 0.4%
内部障がい	306 100.0%	175 57.2%	126 41.2%	3 1.0%	2 0.7%
その他	168 100.0%	91 54.2%	76 45.2%	0 0.0%	1 0.6%
知的障がい	250 100.0%	148 59.2%	100 40.0%	2 0.8%	0 0.0%
精神障がい	296 100.0%	151 51.0%	141 47.6%	4 1.4%	0 0.0%
難病	153 100.0%	81 52.9%	71 46.4%	1 0.7%	0 0.0%
無回答	52 100.0%	26 50.0%	21 40.4%	1 1.9%	4 7.7%

(2) 年齢

問3 あなたの令和4年9月1日現在の満年齢をご記入ください。

全体では、「75歳以上」が34.4%と最も高く、次いで「65～74歳」が19.5%となっています。

障がい別・部位別に見ると、身体障がいの方では75歳以上の割合が高く、知的障がいの方では29歳以下、精神障がいの方では30～64歳、難病の方では65～74歳の割合が高くなっています。



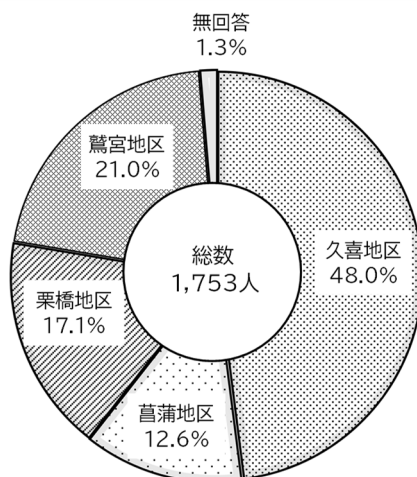
	全体	18歳未満	18歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～64歳	65歳～74歳	75歳以上	無回答
全体	1,753 100.0%	107 6.1%	105 6.0%	129 7.4%	155 8.8%	272 15.5%	342 19.5%	603 34.4%	40 2.3%
身体障がい	1,125 100.0%	31 2.8%	22 2.0%	21 1.9%	52 4.6%	152 13.5%	281 25.0%	544 48.4%	22 2.0%
視覚障がい	63 100.0%	2 3.2%	1 1.6%	1 1.6%	3 4.8%	8 12.7%	15 23.8%	32 50.8%	1 1.6%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	6 5.3%	6 5.3%	2 1.8%	10 8.8%	11 9.6%	15 13.2%	61 53.5%	3 2.6%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	0 0.0%	1 2.6%	1 2.6%	1 2.6%	7 18.4%	9 23.7%	19 50.0%	0 0.0%
肢体不自由	473 100.0%	18 3.8%	12 2.5%	13 2.7%	17 3.6%	69 14.6%	121 25.6%	213 45.0%	10 2.1%
内部障がい	306 100.0%	5 1.6%	3 1.0%	4 1.3%	10 3.3%	46 15.0%	80 26.1%	152 49.7%	6 2.0%
その他	168 100.0%	1 0.6%	0 0.0%	1 0.6%	9 5.4%	20 11.9%	49 29.2%	87 51.8%	1 0.6%
知的障がい	250 100.0%	66 26.4%	68 27.2%	42 16.8%	32 12.8%	23 9.2%	6 2.4%	6 2.4%	7 2.8%
精神障がい	296 100.0%	4 1.4%	24 8.1%	60 20.3%	76 25.7%	76 25.7%	30 10.1%	17 5.7%	9 3.0%
難病	153 100.0%	17 11.1%	5 3.3%	14 9.2%	11 7.2%	31 20.3%	39 25.5%	35 22.9%	1 0.7%
無回答	52 100.0%	7 13.5%	2 3.8%	2 3.8%	4 7.7%	8 15.4%	6 11.5%	17 32.7%	6 11.5%

(3) お住まいの地区

問4 あなたの住んでいる地区はどこですか。(○はひとつ)

全体では、「久喜地区」が48.0%と最も高く、次いで「鷲宮地区」が21.0%、「栗橋地区」が17.1%、「菖蒲地区」が12.6%となっています。

障がい別・部位別に見た場合も、概ね全体と同様の傾向でした。



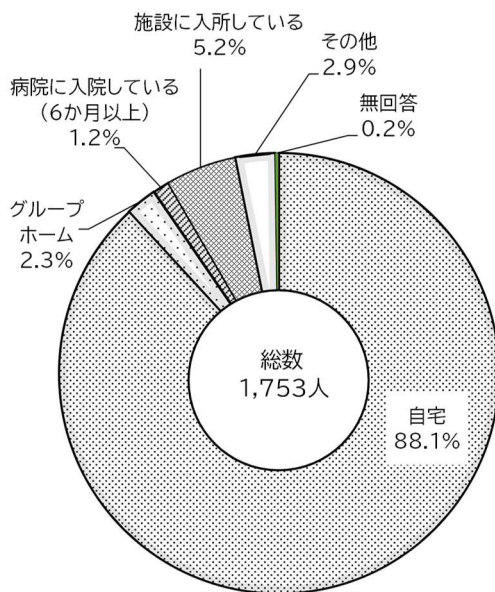
	全体	久喜地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷲宮地区	無回答
全体	1,753	841	221	299	369	23
	100.0%	48.0%	12.6%	17.1%	21.0%	1.3%
身体障がい	1,125	540	154	197	219	15
	100.0%	48.0%	13.7%	17.5%	19.5%	1.3%
視覚障がい	63	29	11	11	11	1
	100.0%	46.0%	17.5%	17.5%	17.5%	1.6%
聴覚・平衡機能障がい	114	53	16	17	26	2
	100.0%	46.5%	14.0%	14.9%	22.8%	1.8%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38	23	5	6	4	0
	100.0%	60.5%	13.2%	15.8%	10.5%	0.0%
肢体不自由	473	231	70	82	81	9
	100.0%	48.8%	14.8%	17.3%	17.1%	1.9%
内部障がい	306	144	34	67	59	2
	100.0%	47.1%	11.1%	21.9%	19.3%	0.7%
その他	168	83	20	23	41	1
	100.0%	49.4%	11.9%	13.7%	24.4%	0.6%
知的障がい	250	133	28	36	53	0
	100.0%	53.2%	11.2%	14.4%	21.2%	0.0%
精神障がい	296	147	31	45	71	2
	100.0%	49.7%	10.5%	15.2%	24.0%	0.7%
難病	153	60	16	37	38	2
	100.0%	39.2%	10.5%	24.2%	24.8%	1.3%
無回答	52	25	5	8	10	4
	100.0%	48.1%	9.6%	15.4%	19.2%	7.7%

(4) 現在暮らしている場所

問5 現在、あなたはどこで暮らしていますか。(○はひとつ)

全体では、「自宅」が 88.1%と最も高く、次いで「施設に入所している」が 5.2%、「グループホーム」が 2.3%、「病院に入院している(6か月以上)」が 1.2%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「グループホーム」の割合がやや高くなっていますが、概ね全体と同様の傾向でした。



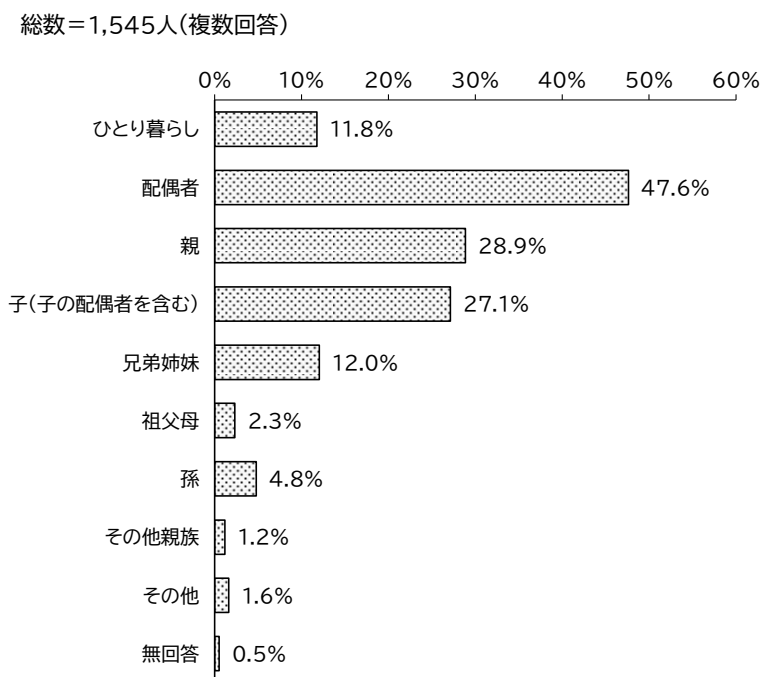
	全体	自宅	グループホーム	病院に入院している(6か月以上)	施設に入所している	その他	無回答
全体	1,753 100.0%	1,545 88.1%	40 2.3%	21 1.2%	92 5.2%	51 2.9%	4 0.2%
身体障がい	1,125 100.0%	997 88.6%	7 0.6%	14 1.2%	73 6.5%	32 2.8%	2 0.2%
視覚障がい	63 100.0%	53 84.1%	0 0.0%	1 1.6%	5 7.9%	4 6.3%	0 0.0%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	106 93.0%	1 0.9%	1 0.9%	4 3.5%	2 1.8%	0 0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	28 73.7%	0 0.0%	1 2.6%	7 18.4%	2 5.3%	0 0.0%
肢体不自由	473 100.0%	391 82.7%	5 1.1%	9 1.9%	54 11.4%	14 3.0%	0 0.0%
内部障がい	306 100.0%	277 90.5%	1 0.3%	4 1.3%	16 5.2%	7 2.3%	1 0.3%
その他	168 100.0%	157 93.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.4%	7 4.2%	0 0.0%
知的障がい	250 100.0%	207 82.8%	25 10.0%	5 2.0%	12 4.8%	1 0.4%	0 0.0%
精神障がい	296 100.0%	258 87.2%	13 4.4%	4 1.4%	7 2.4%	14 4.7%	0 0.0%
難病	153 100.0%	144 94.1%	0 0.0%	3 2.0%	2 1.3%	4 2.6%	0 0.0%
無回答	52 100.0%	40 76.9%	2 3.8%	1 1.9%	5 9.6%	2 3.8%	2 3.8%

(5) 同居家族

問6 問5で「1. 自宅」と答えた方にお聞きします。あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。あなたから見た関係でお答えください。(〇はいくつでも)

全体では、「配偶者」が47.6%と最も高く、次いで「親」が28.9%、「子(子の配偶者を含む)」が27.1%となっています。

◆全体集計◆



障がい別・部位別に見ると、身体障がいや難病の方では「配偶者」、「子(子の配偶者を含む)」の割合が高くなっています。知的障がい、精神障がいの方では「親」の割合が高く、特に知的障がいの方では約9割となっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	ひとり暮らし	配偶者	親	子 (子の配偶者を含む)	兄弟姉妹	祖父母	孫	その他親族	その他	無回答
全体	1,545	182	736	446	419	186	36	74	18	25	8
	-	11.8%	47.6%	28.9%	27.1%	12.0%	2.3%	4.8%	1.2%	1.6%	0.5%
身体障がい	997	127	596	126	336	58	3	64	10	15	8
	-	12.7%	59.8%	12.6%	33.7%	5.8%	0.3%	6.4%	1.0%	1.5%	0.8%
視覚障がい	53	8	28	8	17	4	1	4	1	2	1
	-	15.1%	52.8%	15.1%	32.1%	7.5%	1.9%	7.5%	1.9%	3.8%	1.9%
聴覚・平衡機能障がい	106	15	57	14	44	8	0	5	2	1	0
	-	14.2%	53.8%	13.2%	41.5%	7.5%	0.0%	4.7%	1.9%	0.9%	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	28	2	18	4	11	2	0	4	0	0	0
	-	7.1%	64.3%	14.3%	39.3%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
肢体不自由	391	46	225	65	126	33	1	26	4	5	3
	-	11.8%	57.5%	16.6%	32.2%	8.4%	0.3%	6.6%	1.0%	1.3%	0.8%
内部障がい	277	33	182	24	90	10	1	16	1	5	0
	-	11.9%	65.7%	8.7%	32.5%	3.6%	0.4%	5.8%	0.4%	1.8%	0.0%
その他	157	24	97	15	52	5	0	10	2	1	3
	-	15.3%	61.8%	9.6%	33.1%	3.2%	0.0%	6.4%	1.3%	0.6%	1.9%
知的障がい	207	4	11	186	7	85	23	3	6	2	0
	-	1.9%	5.3%	89.9%	3.4%	41.1%	11.1%	1.4%	2.9%	1.0%	0.0%
精神障がい	258	43	61	135	37	43	9	4	2	9	0
	-	16.7%	23.6%	52.3%	14.3%	16.7%	3.5%	1.6%	0.8%	3.5%	0.0%
難病	144	10	88	38	50	14	1	3	1	0	0
	-	6.9%	61.1%	26.4%	34.7%	9.7%	0.7%	2.1%	0.7%	0.0%	0.0%
無回答	40	5	17	15	8	5	2	3	0	0	0
	-	12.5%	42.5%	37.5%	20.0%	12.5%	5.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%

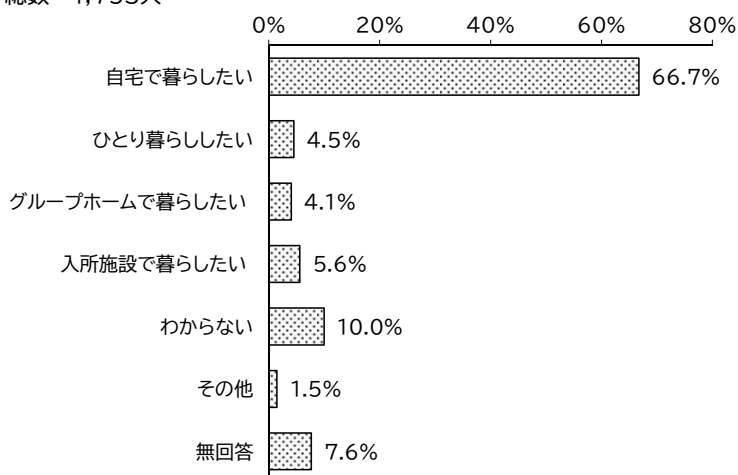
(6) 今後暮らしたい場所

問7 あなたは、今後(未成年の方は成人になったら)どこで暮らしたいですか。(○はひとつ)

全体では、「自宅で暮らしたい」が 66.7%と最も高く、次いで「入所施設で暮らしたい」が 5.6%、「ひとり暮らししたい」が 4.5%、「グループホームで暮らしたい」が 4.1%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「グループホームで暮らしたい」の割合が他の障がい・部位と比較してやや高くなっています。

総数=1,753人



	全体	自宅で暮らしたい	ひとり暮らししたい	グループホームで暮らしたい	入所施設で暮らしたい	わからない	その他	無回答
全体	1,753 100.0%	1,170 66.7%	79 4.5%	71 4.1%	98 5.6%	175 10.0%	26 1.5%	134 7.6%
身体障がい	1,125 100.0%	807 71.7%	39 3.5%	16 1.4%	65 5.8%	88 7.8%	16 1.4%	94 8.4%
視覚障がい	63 100.0%	36 57.1%	3 4.8%	2 3.2%	4 6.3%	5 7.9%	0 0.0%	13 20.6%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	81 71.1%	4 3.5%	0 0.0%	3 2.6%	12 10.5%	1 0.9%	13 11.4%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	24 63.2%	2 5.3%	2 5.3%	3 7.9%	3 7.9%	0 0.0%	4 10.5%
肢体不自由	473 100.0%	316 66.8%	14 3.0%	9 1.9%	46 9.7%	37 7.8%	13 2.7%	38 8.0%
内部障がい	306 100.0%	241 78.8%	6 2.0%	4 1.3%	14 4.6%	21 6.9%	3 1.0%	17 5.6%
その他	168 100.0%	120 71.4%	10 6.0%	0 0.0%	3 1.8%	17 10.1%	3 1.8%	15 8.9%
知的障がい	250 100.0%	101 40.4%	15 6.0%	48 19.2%	27 10.8%	35 14.0%	3 1.2%	21 8.4%
精神障がい	296 100.0%	183 61.8%	22 7.4%	16 5.4%	16 5.4%	40 13.5%	8 2.7%	11 3.7%
難病	153 100.0%	112 73.2%	7 4.6%	4 2.6%	3 2.0%	16 10.5%	1 0.7%	10 6.5%
無回答	52 100.0%	32 61.5%	1 1.9%	0 0.0%	4 7.7%	4 7.7%	1 1.9%	10 19.2%

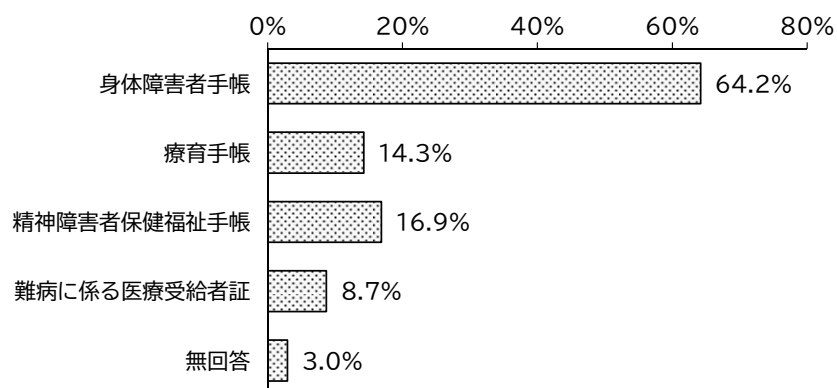
(7) 障がい者手帳の所持状況

問8 あなたがお持ちの手帳等の種類をお聞きます。障害者手帳については、右のあてはまる等級にも○をつけてください。(○はいくつでも)

① 障がい者手帳等の所持状況

「身体障害者手帳」が64.2%と最も高く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が16.9%、「療育手帳」が14.3%、「難病に係る医療受給者証」が8.7%となっています。

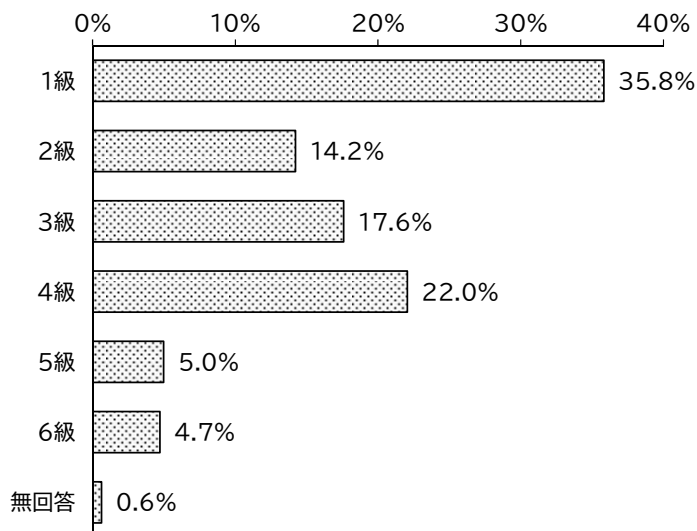
総数=1,753人(複数回答)



② 身体障害者手帳の等級

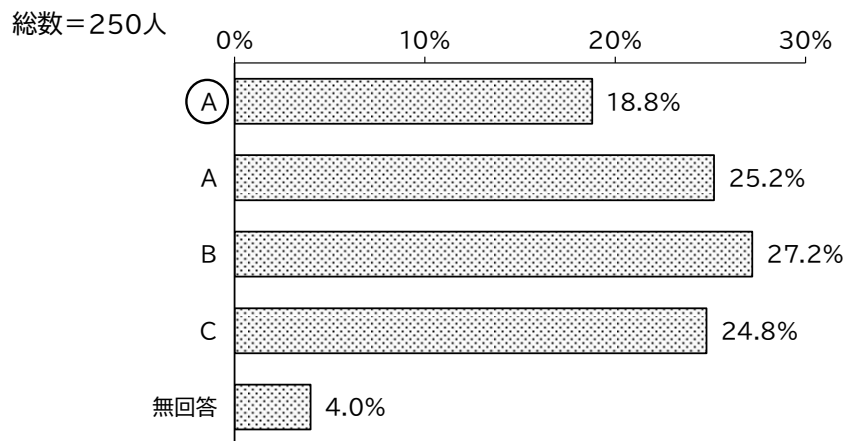
「1級」が35.8%と最も高く、次いで「4級」が22.0%、「3級」が17.6%、「2級」が14.2%となっています。

総数=1,124人



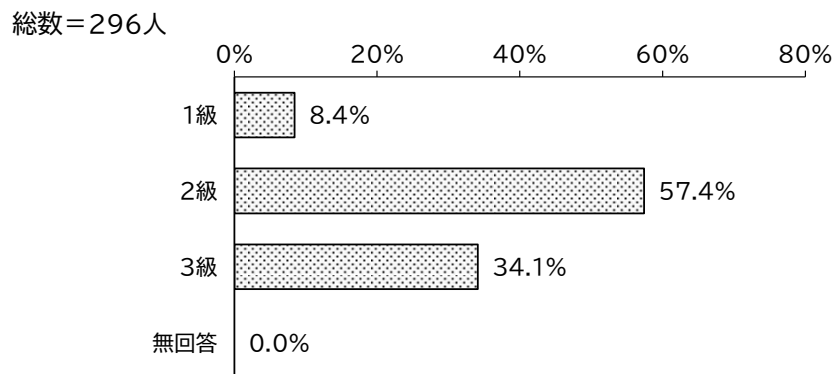
③ 療育手帳の程度

「B」が27.2%と最も高く、次いで「A」が25.2%、「C」が24.8%、「㊤」が18.8%となっています。



④ 精神障害者保健福祉手帳の等級

「2級」が57.4%と最も高く、次いで「3級」が34.1%、「1級」が8.4%となっています。

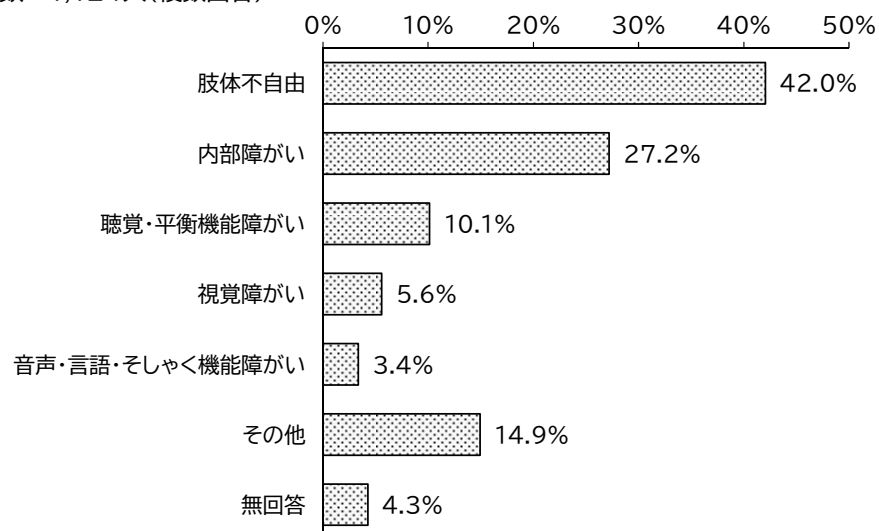


(8) 身体障がいの種類・部位

問9 問8で「1. 身体障害者手帳」と答えた方にお聞きします。あなたの身体障がいの種類・部位は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由」が 42.0%と最も高く、次いで「内部障がい」が 27.2%、「聴覚・平衡機能障がい」が 10.1%、「視覚障がい」が 5.6%、「音声・言語・そしゃく機能障がい」が 3.4%となっています。

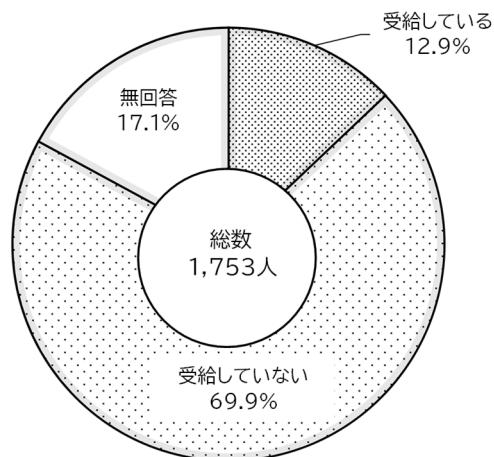
総数=1,124人(複数回答)



(9) 難病患者見舞金の受給状況

問 10 あなたは難病患者見舞金を受給していますか。(○はひとつ)

全体では、「受給している」が 12.9%、「受給していない」が 69.9%となっています。
障がい別・部位別に見ると、難病の方で「受給している」の割合が 87.6%と高くなっています。



	全体	受給している	受給していない	無回答
全体	1,753 100.0%	227 12.9%	1,226 69.9%	300 17.1%
身体障がい	1,125 100.0%	116 10.3%	895 79.6%	114 10.1%
視覚障がい	63 100.0%	12 19.0%	41 65.1%	10 15.9%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	8 7.0%	95 83.3%	11 9.6%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	6 15.8%	29 76.3%	3 7.9%
肢体不自由	473 100.0%	53 11.2%	372 78.6%	48 10.1%
内部障がい	306 100.0%	31 10.1%	248 81.0%	27 8.8%
その他	168 100.0%	15 8.9%	143 85.1%	10 6.0%
知的障がい	250 100.0%	10 4.0%	158 63.2%	82 32.8%
精神障がい	296 100.0%	8 2.7%	190 64.2%	98 33.1%
難病	153 100.0%	134 87.6%	15 9.8%	4 2.6%
無回答	52 100.0%	5 9.6%	28 53.8%	19 36.5%

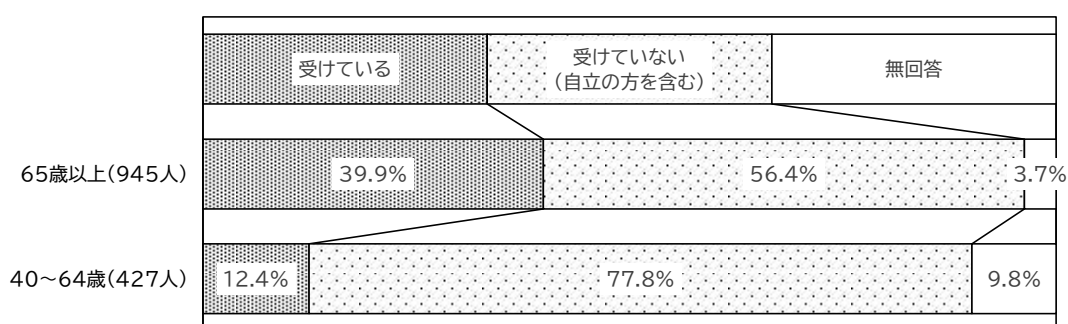
(10) 要支援・要介護認定

問 11 あなたは介護保険の要支援・要介護認定を受けていますか。(○はひとつ)

65歳以上の方では、「受けている」が39.9%、「受けていない(自立の方を含む)」が56.4%となっています。

40～64歳の方では、「受けている」が12.4%、「受けていない(自立の方を含む)」が77.8%となっています。

障がい別・部位別に見ると、65歳以上の方では視覚障がい、精神障がいの方で「受けている」、内部障がいの方では「受けていない(自立の方を含む)」が他の障害・部位と比較して高くなっています。



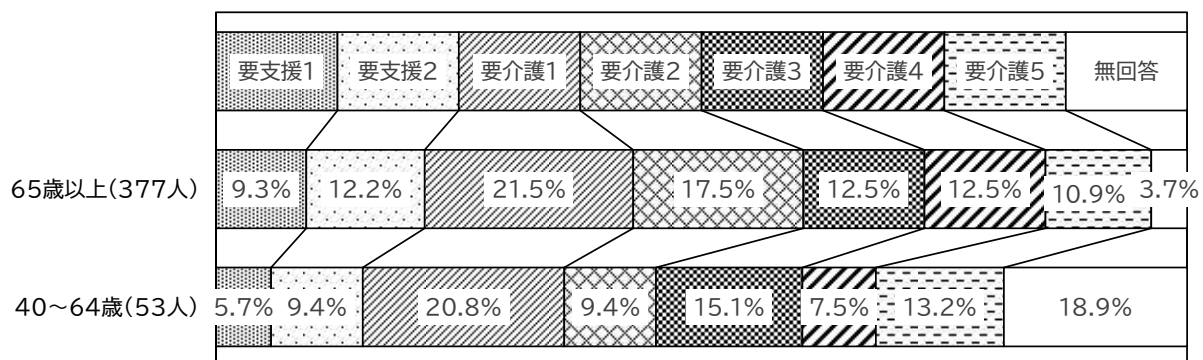
	65歳以上				40～64歳			
	全体	受けている	(自立の方を含む) 受けていない	無回答	全体	受けている	(自立の方を含む) 受けていない	無回答
全体	945 100.0%	377 39.9%	533 56.4%	35 3.7%	427 100.0%	53 12.4%	332 77.8%	42 9.8%
身体障がい	825 100.0%	331 40.1%	472 57.2%	22 2.7%	204 100.0%	42 20.6%	158 77.5%	4 2.0%
視覚障がい	47 100.0%	27 57.4%	16 34.0%	4 8.5%	11 100.0%	4 36.4%	7 63.6%	0 0.0%
聴覚・平衡機能障がい	76 100.0%	32 42.1%	44 57.9%	0 0.0%	21 100.0%	2 9.5%	19 90.5%	0 0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	28 100.0%	13 46.4%	14 50.0%	1 3.6%	8 100.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%
肢体不自由	334 100.0%	174 52.1%	156 46.7%	4 1.2%	86 100.0%	32 37.2%	53 61.6%	1 1.2%
内部障がい	232 100.0%	68 29.3%	161 69.4%	3 1.3%	56 100.0%	6 10.7%	49 87.5%	1 1.8%
その他	136 100.0%	45 33.1%	87 64.0%	4 2.9%	29 100.0%	2 6.9%	26 89.7%	1 3.4%
知的障がい	12 100.0%	6 50.0%	3 25.0%	3 25.0%	55 100.0%	7 12.7%	34 61.8%	14 25.5%
精神障がい	47 100.0%	27 57.4%	15 31.9%	5 10.6%	152 100.0%	5 3.3%	125 82.2%	22 14.5%
難病	74 100.0%	33 44.6%	41 55.4%	0 0.0%	42 100.0%	6 14.3%	32 76.2%	4 9.5%
無回答	23 100.0%	7 30.4%	12 52.2%	4 17.4%	12 100.0%	2 16.7%	9 75.0%	1 8.3%

(11) 要支援・要介護度

問 12 問 11 で「1. 受けている」と答えた方にお聞きします。あなたの要支援・要介護度はいくつですか。(〇はひとつ)

65歳以上の方では、「要介護1」が21.5%と最も高く、次いで「要介護2」が17.5%となっています。
40～64歳の方では、「要介護1」が20.8%と最も高く、次いで「要介護3」が15.1%となっています。

◆全体集計◆



障がい別・部位別集計にみた場合も、概ね全体と同様の傾向でした。

◆障がい別・部位別集計◆

	65歳以上								
	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	377 100.0%	35 9.3%	46 12.2%	81 21.5%	66 17.5%	47 12.5%	47 12.5%	41 10.9%	14 3.7%
身体障がい	331 100.0%	29 8.8%	44 13.3%	63 19.0%	60 18.1%	41 12.4%	43 13.0%	37 11.2%	14 4.2%
視覚障がい	27 100.0%	1 3.7%	3 11.1%	5 18.5%	9 33.3%	1 3.7%	3 11.1%	3 11.1%	2 7.4%
聴覚・平衡機能障がい	32 100.0%	3 9.4%	9 28.1%	6 18.8%	4 12.5%	5 15.6%	0 0.0%	4 12.5%	1 3.1%
音声・言語・そしゃく機能障がい	13 100.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	5 38.5%	1 7.7%	2 15.4%	3 23.1%	0 0.0%
肢体不自由	174 100.0%	13 7.5%	20 11.5%	31 17.8%	27 15.5%	32 18.4%	25 14.4%	24 13.8%	2 1.1%
内部障がい	68 100.0%	11 16.2%	6 8.8%	15 22.1%	13 19.1%	5 7.4%	7 10.3%	7 10.3%	4 5.9%
その他	45 100.0%	3 6.7%	7 15.6%	6 13.3%	10 22.2%	3 6.7%	7 15.6%	5 11.1%	4 8.9%
知的障がい	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%
精神障がい	27 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 48.1%	4 14.8%	5 18.5%	2 7.4%	3 11.1%	0 0.0%
難病	33 100.0%	4 12.1%	1 3.0%	11 33.3%	4 12.1%	7 21.2%	1 3.0%	4 12.1%	1 3.0%
無回答	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%

	40~64歳								
	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全体	53 100.0%	3 5.7%	5 9.4%	11 20.8%	5 9.4%	8 15.1%	4 7.5%	7 13.2%	10 18.9%
身体障がい	42 100.0%	2 4.8%	4 9.5%	10 23.8%	5 11.9%	6 14.3%	3 7.1%	7 16.7%	5 11.9%
視覚障がい	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
聴覚・平衡機能障がい	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%
肢体不自由	32 100.0%	2 6.3%	2 6.3%	8 25.0%	5 15.6%	4 12.5%	3 9.4%	6 18.8%	2 6.3%
内部障がい	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%
その他	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
知的障がい	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	3 42.9%
精神障がい	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%
難病	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%

2. 日常生活での介助や支援について

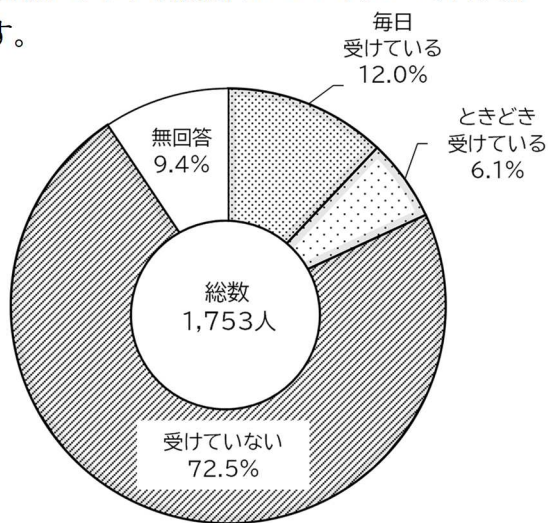
(1) 介助や支援を受けているか

問 13 あなたは次の日常生活の場面で、どの程度、介助や支援を受けていますか。(①～⑮それぞれ、○はひとつ)

① 食事をする

全体では、「受けていない」が72.5%と最も高く、次いで「毎日受けている」が12.0%、「ときどき受けている」が6.1%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

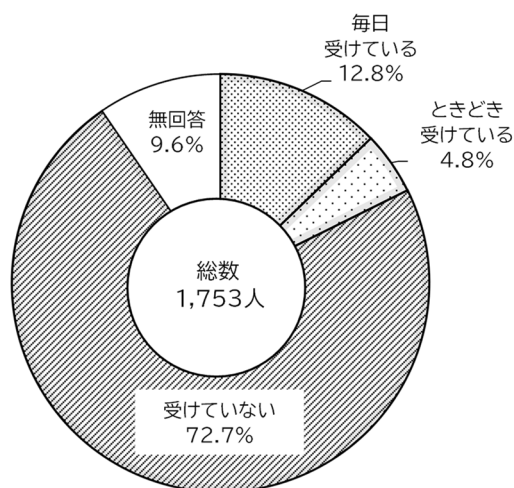


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	211 12.0%	107 6.1%	1,271 72.5%	164 9.4%
身体障がい	1,125 100.0%	139 12.4%	54 4.8%	815 72.4%	117 10.4%
視覚障がい	63 100.0%	8 12.7%	7 11.1%	45 71.4%	3 4.8%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	9 7.9%	3 2.6%	83 72.8%	19 16.7%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	11 28.9%	2 5.3%	20 52.6%	5 13.2%
肢体不自由	473 100.0%	104 22.0%	32 6.8%	300 63.4%	37 7.8%
内部障がい	306 100.0%	17 5.6%	9 2.9%	256 83.7%	24 7.8%
その他	168 100.0%	7 4.2%	5 3.0%	132 78.6%	24 14.3%
知的障がい	250 100.0%	58 23.2%	30 12.0%	153 61.2%	9 3.6%
精神障がい	296 100.0%	29 9.8%	21 7.1%	224 75.7%	22 7.4%
難病	153 100.0%	16 10.5%	10 6.5%	117 76.5%	10 6.5%
無回答	52 100.0%	9 17.3%	5 9.6%	27 51.9%	11 21.2%

② トイレを使う

全体では、「受けていない」が72.7%と最も高く、次いで「毎日受けている」が12.8%、「ときどき受けている」が4.8%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

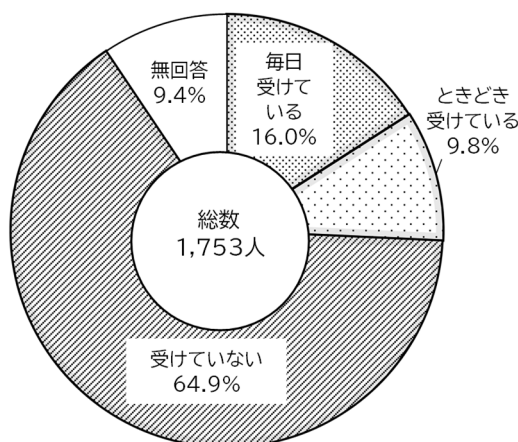


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	225 12.8%	85 4.8%	1,275 72.7%	168 9.6%
身体障がい	1,125 100.0%	157 14.0%	48 4.3%	800 71.1%	120 10.7%
視覚障がい	63 100.0%	11 17.5%	4 6.3%	44 69.8%	4 6.3%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	9 7.9%	4 3.5%	81 71.1%	20 17.5%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	13 34.2%	1 2.6%	18 47.4%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	116 24.5%	31 6.6%	291 61.5%	35 7.4%
内部障がい	306 100.0%	20 6.5%	8 2.6%	253 82.7%	25 8.2%
その他	168 100.0%	14 8.3%	3 1.8%	127 75.6%	24 14.3%
知的障がい	250 100.0%	67 26.8%	21 8.4%	154 61.6%	8 3.2%
精神障がい	296 100.0%	25 8.4%	9 3.0%	241 81.4%	21 7.1%
難病	153 100.0%	19 12.4%	5 3.3%	117 76.5%	12 7.8%
無回答	52 100.0%	5 9.6%	7 13.5%	29 55.8%	11 21.2%

③ 入浴する

全体では、「受けていない」が64.9%と最も高く、次いで「毎日受けている」が16.0%、「ときどき受けている」が9.8%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がい、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

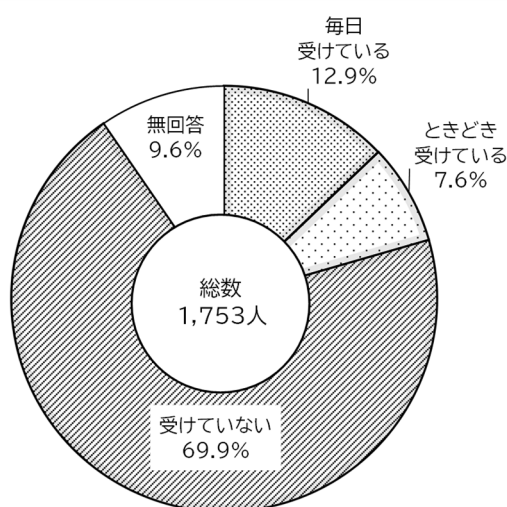


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	280 16.0%	171 9.8%	1,137 64.9%	165 9.4%
身体障がい	1,125 100.0%	185 16.4%	115 10.2%	709 63.0%	116 10.3%
視覚障がい	63 100.0%	13 20.6%	4 6.3%	43 68.3%	3 4.8%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	13 11.4%	8 7.0%	72 63.2%	21 18.4%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	12 31.6%	8 21.1%	13 34.2%	5 13.2%
肢体不自由	473 100.0%	136 28.8%	68 14.4%	237 50.1%	32 6.8%
内部障がい	306 100.0%	25 8.2%	23 7.5%	234 76.5%	24 7.8%
その他	168 100.0%	12 7.1%	17 10.1%	113 67.3%	26 15.5%
知的障がい	250 100.0%	85 34.0%	33 13.2%	122 48.8%	10 4.0%
精神障がい	296 100.0%	29 9.8%	24 8.1%	224 75.7%	19 6.4%
難病	153 100.0%	19 12.4%	16 10.5%	107 69.9%	11 7.2%
無回答	52 100.0%	11 21.2%	3 5.8%	26 50.0%	12 23.1%

④ 着替えをする

全体では、「受けていない」が69.9%と最も高く、次いで「毎日受けている」が12.9%、「ときどき受けている」が7.6%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

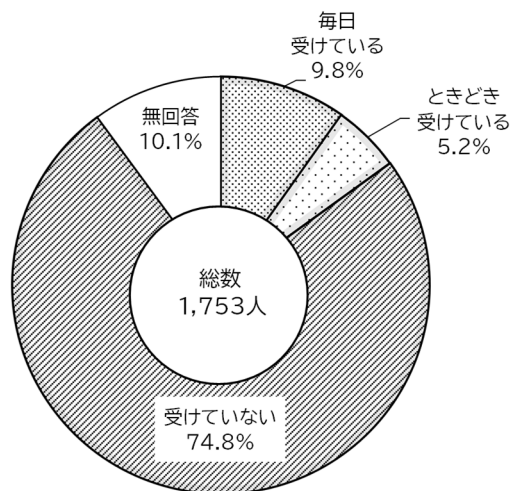


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	226 12.9%	134 7.6%	1,225 69.9%	168 9.6%
身体障がい	1,125 100.0%	165 14.7%	80 7.1%	761 67.6%	119 10.6%
視覚障がい	63 100.0%	10 15.9%	6 9.5%	43 68.3%	4 6.3%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	7 6.1%	6 5.3%	79 69.3%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	38 100.0%	13 34.2%	1 2.6%	18 47.4%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	124 26.2%	54 11.4%	261 55.2%	34 7.2%
内部障がい	306 100.0%	21 6.9%	12 3.9%	248 81.0%	25 8.2%
その他	168 100.0%	13 7.7%	9 5.4%	122 72.6%	24 14.3%
知的障がい	250 100.0%	56 22.4%	31 12.4%	154 61.6%	9 3.6%
精神障がい	296 100.0%	22 7.4%	21 7.1%	233 78.7%	20 6.8%
難病	153 100.0%	17 11.1%	11 7.2%	112 73.2%	13 8.5%
無回答	52 100.0%	8 15.4%	4 7.7%	28 53.8%	12 23.1%

⑤ 家の中を移動する

全体では、「受けていない」が 74.8%と最も高く、次いで「毎日受けている」が 9.8%、「ときどき受けている」が 5.2%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

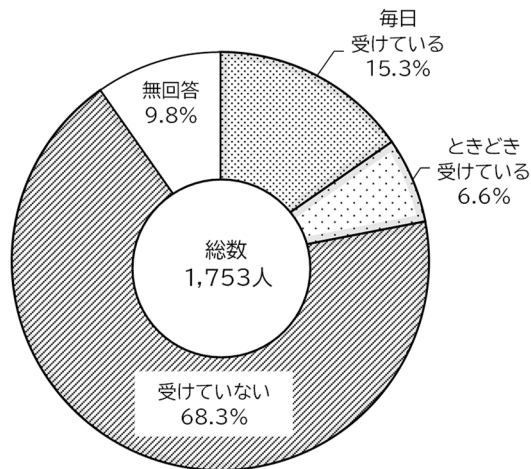


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	172 9.8%	92 5.2%	1,312 74.8%	177 10.1%
身体障がい	1,125 100.0%	135 12.0%	74 6.6%	792 70.4%	124 11.0%
視覚障がい	63 100.0%	11 17.5%	4 6.3%	45 71.4%	3 4.8%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	9 7.9%	5 4.4%	78 68.4%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	10 26.3%	4 10.5%	18 47.4%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	97 20.5%	50 10.6%	289 61.1%	37 7.8%
内部障がい	306 100.0%	18 5.9%	9 2.9%	250 81.7%	29 9.5%
その他	168 100.0%	11 6.5%	9 5.4%	124 73.8%	24 14.3%
知的障がい	250 100.0%	29 11.6%	18 7.2%	193 77.2%	10 4.0%
精神障がい	296 100.0%	22 7.4%	6 2.0%	246 83.1%	22 7.4%
難病	153 100.0%	14 9.2%	9 5.9%	116 75.8%	14 9.2%
無回答	52 100.0%	5 9.6%	1 1.9%	33 63.5%	13 25.0%

⑥ 薬を飲む

全体では、「受けていない」が68.3%と最も高く、次いで「毎日受けている」が15.3%、「ときどき受けている」が6.6%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

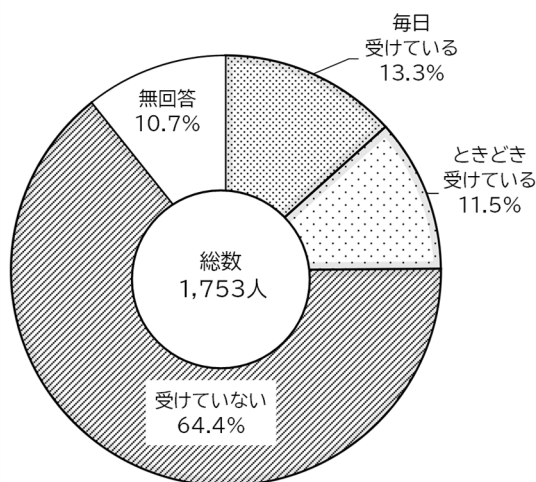


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	269 15.3%	115 6.6%	1,198 68.3%	171 9.8%
身体障がい	1,125 100.0%	173 15.4%	51 4.5%	778 69.2%	123 10.9%
視覚障がい	63 100.0%	14 22.2%	2 3.2%	43 68.3%	4 6.3%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	10 8.8%	6 5.3%	75 65.8%	23 20.2%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	38 100.0%	12 31.6%	3 7.9%	17 44.7%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	117 24.7%	31 6.6%	290 61.3%	35 7.4%
内部障がい	306 100.0%	25 8.2%	8 2.6%	245 80.1%	28 9.2%
その他	168 100.0%	14 8.3%	6 3.6%	124 73.8%	24 14.3%
知的障がい	250 100.0%	72 28.8%	41 16.4%	124 49.6%	13 5.2%
精神障がい	296 100.0%	38 12.8%	26 8.8%	215 72.6%	17 5.7%
難病	153 100.0%	17 11.1%	10 6.5%	113 73.9%	13 8.5%
無回答	52 100.0%	14 26.9%	3 5.8%	25 48.1%	10 19.2%

⑦ 身だしなみを整える

全体では、「受けていない」が64.4%と最も高く、次いで「毎日受けている」が13.3%、「ときどき受けている」が11.5%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がい、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

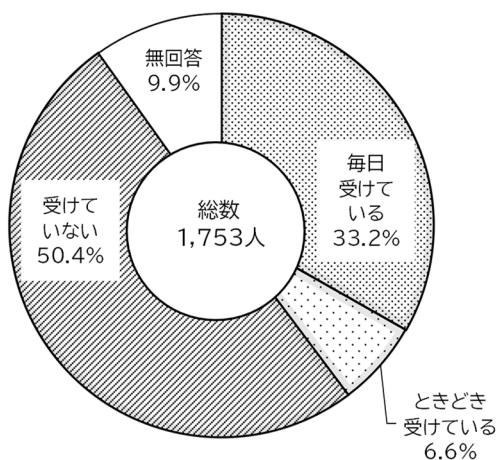


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	234 13.3%	202 11.5%	1,129 64.4%	188 10.7%
身体障がい	1,125 100.0%	152 13.5%	106 9.4%	732 65.1%	135 12.0%
視覚障がい	63 100.0%	9 14.3%	7 11.1%	41 65.1%	6 9.5%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	5 4.4%	10 8.8%	75 65.8%	24 21.1%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	12 31.6%	5 13.2%	15 39.5%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	116 24.5%	59 12.5%	255 53.9%	43 9.1%
内部障がい	306 100.0%	16 5.2%	19 6.2%	239 78.1%	32 10.5%
その他	168 100.0%	13 7.7%	15 8.9%	115 68.5%	25 14.9%
知的障がい	250 100.0%	76 30.4%	58 23.2%	105 42.0%	11 4.4%
精神障がい	296 100.0%	26 8.8%	37 12.5%	212 71.6%	21 7.1%
難病	153 100.0%	14 9.2%	13 8.5%	113 73.9%	13 8.5%
無回答	52 100.0%	7 13.5%	8 15.4%	24 46.2%	13 25.0%

⑧ 調理や食事の支度をする

全体では、「受けていない」が50.4%と最も高く、次いで「毎日受けている」が33.2%、「ときどき受けている」が6.6%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

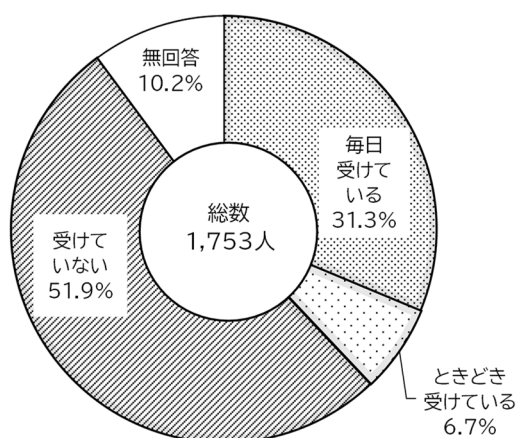


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	582 33.2%	115 6.6%	883 50.4%	173 9.9%
身体障がい	1,125 100.0%	335 29.8%	67 6.0%	600 53.3%	123 10.9%
視覚障がい	63 100.0%	23 36.5%	7 11.1%	28 44.4%	5 7.9%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	25 21.9%	7 6.1%	60 52.6%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	19 50.0%	1 2.6%	11 28.9%	7 18.4%
肢体不自由	473 100.0%	213 45.0%	29 6.1%	195 41.2%	36 7.6%
内部障がい	306 100.0%	56 18.3%	19 6.2%	202 66.0%	29 9.5%
その他	168 100.0%	33 19.6%	12 7.1%	99 58.9%	24 14.3%
知的障がい	250 100.0%	173 69.2%	12 4.8%	55 22.0%	10 4.0%
精神障がい	296 100.0%	92 31.1%	34 11.5%	149 50.3%	21 7.1%
難病	153 100.0%	40 26.1%	12 7.8%	88 57.5%	13 8.5%
無回答	52 100.0%	21 40.4%	1 1.9%	20 38.5%	10 19.2%

⑨ 洗濯をする

全体では、「受けていない」が 51.9%と最も高く、次いで「毎日受けている」が 31.3%、「ときどき受けている」が 6.7%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

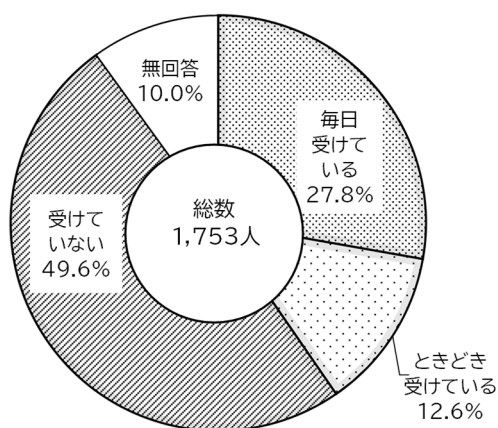


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	548 31.3%	117 6.7%	910 51.9%	178 10.2%
身体障がい	1,125 100.0%	327 29.1%	58 5.2%	614 54.6%	126 11.2%
視覚障がい	63 100.0%	20 31.7%	7 11.1%	31 49.2%	5 7.9%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	20 17.5%	10 8.8%	62 54.4%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	19 50.0%	1 2.6%	12 31.6%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	207 43.8%	30 6.3%	198 41.9%	38 8.0%
内部障がい	306 100.0%	55 18.0%	17 5.6%	202 66.0%	32 10.5%
その他	168 100.0%	34 20.2%	4 2.4%	105 62.5%	25 14.9%
知的障がい	250 100.0%	154 61.6%	22 8.8%	64 25.6%	10 4.0%
精神障がい	296 100.0%	80 27.0%	35 11.8%	159 53.7%	22 7.4%
難病	153 100.0%	41 26.8%	7 4.6%	88 57.5%	17 11.1%
無回答	52 100.0%	20 38.5%	1 1.9%	21 40.4%	10 19.2%

⑩ 掃除をする

全体では、「受けていない」が49.6%と最も高く、次いで「毎日受けている」が27.8%、「ときどき受けている」が12.6%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

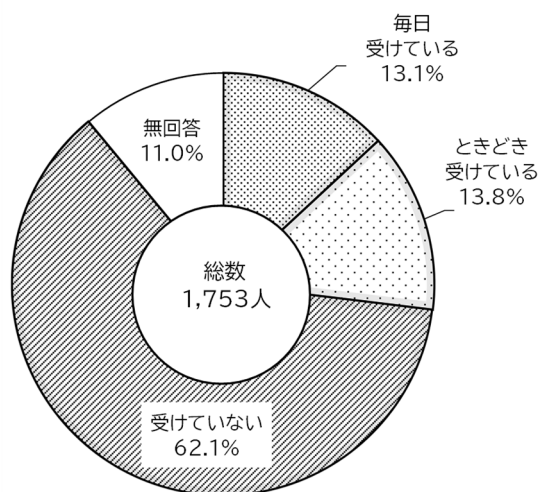


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	487 27.8%	221 12.6%	870 49.6%	175 10.0%
身体障がい	1,125 100.0%	296 26.3%	118 10.5%	581 51.6%	130 11.6%
視覚障がい	63 100.0%	17 27.0%	12 19.0%	28 44.4%	6 9.5%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	22 19.3%	6 5.3%	63 55.3%	23 20.2%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	17 44.7%	2 5.3%	12 31.6%	7 18.4%
肢体不自由	473 100.0%	188 39.7%	61 12.9%	180 38.1%	44 9.3%
内部障がい	306 100.0%	49 16.0%	30 9.8%	196 64.1%	31 10.1%
その他	168 100.0%	34 20.2%	16 9.5%	96 57.1%	22 13.1%
知的障がい	250 100.0%	141 56.4%	36 14.4%	64 25.6%	9 3.6%
精神障がい	296 100.0%	62 20.9%	66 22.3%	151 51.0%	17 5.7%
難病	153 100.0%	35 22.9%	14 9.2%	89 58.2%	15 9.8%
無回答	52 100.0%	20 38.5%	1 1.9%	21 40.4%	10 19.2%

⑪ 人とのコミュニケーションをとる

全体では、「受けていない」が 62.1%と最も高く、次いで「ときどき受けている」が 13.8%、「毎日受けている」が 13.1%となっています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がい、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

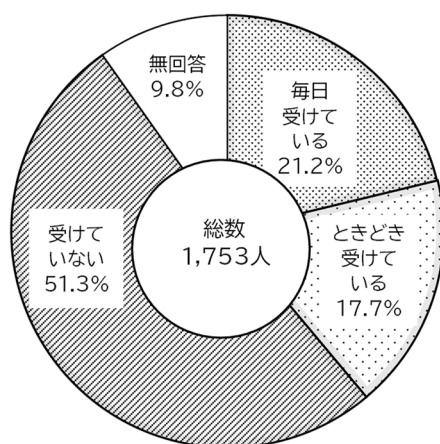


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	230 13.1%	242 13.8%	1,088 62.1%	193 11.0%
身体障がい	1,125 100.0%	119 10.6%	135 12.0%	734 65.2%	137 12.2%
視覚障がい	63 100.0%	7 11.1%	14 22.2%	36 57.1%	6 9.5%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	7 6.1%	33 28.9%	52 45.6%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	13 34.2%	4 10.5%	15 39.5%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	87 18.4%	69 14.6%	272 57.5%	45 9.5%
内部障がい	306 100.0%	13 4.2%	17 5.6%	243 79.4%	33 10.8%
その他	168 100.0%	10 6.0%	12 7.1%	121 72.0%	25 14.9%
知的障がい	250 100.0%	92 36.8%	55 22.0%	90 36.0%	13 5.2%
精神障がい	296 100.0%	32 10.8%	54 18.2%	187 63.2%	23 7.8%
難病	153 100.0%	13 8.5%	16 10.5%	110 71.9%	14 9.2%
無回答	52 100.0%	11 21.2%	6 11.5%	23 44.2%	12 23.1%

⑫ 外出をする

全体では、「受けていない」が 51.3%と最も高く、次いで「毎日受けている」が 21.2%、「ときどき受けている」が 17.7%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

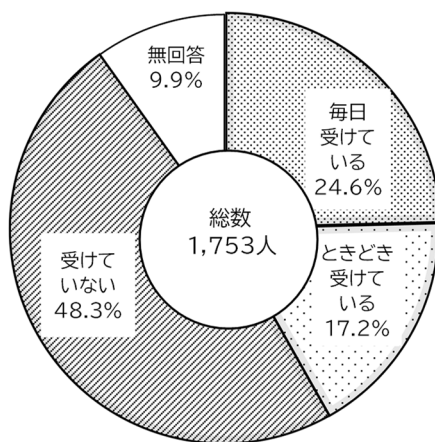


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	372 21.2%	310 17.7%	899 51.3%	172 9.8%
身体障がい	1,125 100.0%	219 19.5%	194 17.2%	587 52.2%	125 11.1%
視覚障がい	63 100.0%	15 23.8%	25 39.7%	16 25.4%	7 11.1%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	20 17.5%	10 8.8%	62 54.4%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	11 28.9%	10 26.3%	11 28.9%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	147 31.1%	99 20.9%	187 39.5%	40 8.5%
内部障がい	306 100.0%	24 7.8%	48 15.7%	205 67.0%	29 9.5%
その他	168 100.0%	25 14.9%	17 10.1%	105 62.5%	21 12.5%
知的障がい	250 100.0%	126 50.4%	45 18.0%	70 28.0%	9 3.6%
精神障がい	296 100.0%	43 14.5%	64 21.6%	168 56.8%	21 7.1%
難病	153 100.0%	28 18.3%	23 15.0%	90 58.8%	12 7.8%
無回答	52 100.0%	14 26.9%	8 15.4%	20 38.5%	10 19.2%

⑬ 日用品の買い物をする

全体では、「受けていない」が48.3%と最も高く、次いで「毎日受けている」が24.6%、「ときどき受けている」が17.2%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的能障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

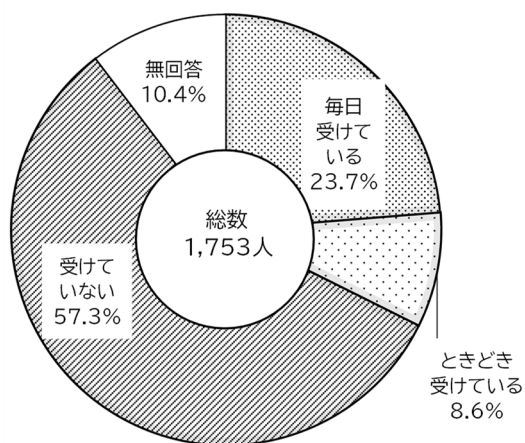


	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	431 24.6%	302 17.2%	847 48.3%	173 9.9%
身体障がい	1,125 100.0%	254 22.6%	182 16.2%	562 50.0%	127 11.3%
視覚障がい	63 100.0%	20 31.7%	22 34.9%	14 22.2%	7 11.1%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	22 19.3%	12 10.5%	56 49.1%	24 21.1%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	12 31.6%	6 15.8%	13 34.2%	7 18.4%
肢体不自由	473 100.0%	165 34.9%	92 19.5%	181 38.3%	35 7.4%
内部障がい	306 100.0%	32 10.5%	43 14.1%	199 65.0%	32 10.5%
その他	168 100.0%	27 16.1%	17 10.1%	102 60.7%	22 13.1%
知的障がい	250 100.0%	138 55.2%	40 16.0%	63 25.2%	9 3.6%
精神障がい	296 100.0%	57 19.3%	73 24.7%	149 50.3%	17 5.7%
難病	153 100.0%	35 22.9%	21 13.7%	83 54.2%	14 9.2%
無回答	52 100.0%	13 25.0%	9 17.3%	19 36.5%	11 21.2%

⑭ お金を管理する

全体では、「受けていない」が57.3%と最も高く、次いで「毎日受けている」が23.7%、「ときどき受けている」が8.6%となっています。

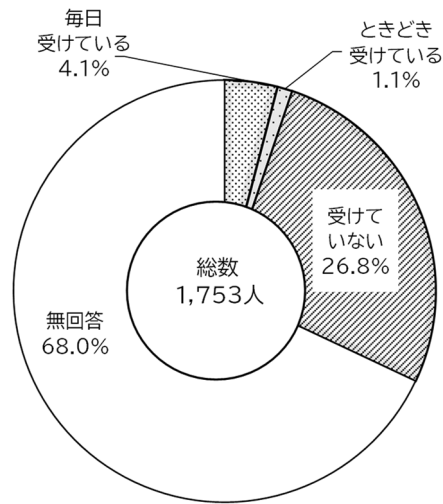
障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「毎日受けている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。



	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	416 23.7%	151 8.6%	1,004 57.3%	182 10.4%
身体障がい	1,125 100.0%	228 20.3%	65 5.8%	698 62.0%	134 11.9%
視覚障がい	63 100.0%	13 20.6%	7 11.1%	35 55.6%	8 12.7%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	16 14.0%	8 7.0%	68 59.6%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	16 42.1%	2 5.3%	14 36.8%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	148 31.3%	30 6.3%	250 52.9%	45 9.5%
内部障がい	306 100.0%	34 11.1%	16 5.2%	226 73.9%	30 9.8%
その他	168 100.0%	22 13.1%	8 4.8%	113 67.3%	25 14.9%
知的障がい	250 100.0%	149 59.6%	36 14.4%	58 23.2%	7 2.8%
精神障がい	296 100.0%	64 21.6%	52 17.6%	160 54.1%	20 6.8%
難病	153 100.0%	26 17.0%	8 5.2%	106 69.3%	13 8.5%
無回答	52 100.0%	14 26.9%	4 7.7%	22 42.3%	12 23.1%

⑩ その他

全体では、「受けていない」が26.8%と最も高く、次いで「毎日受けている」が4.1%、「ときどき受けている」が1.1%となっています。



	全体	毎日受けている	ときどき受けている	受けていない	無回答
全体	1,753 100.0%	71 4.1%	20 1.1%	470 26.8%	1,192 68.0%
身体障がい	1,125 100.0%	40 3.6%	7 0.6%	328 29.2%	750 66.7%
視覚障がい	63 100.0%	5 7.9%	1 1.6%	11 17.5%	46 73.0%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	7 6.1%	0 0.0%	39 34.2%	68 59.6%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	5 13.2%	1 2.6%	7 18.4%	25 65.8%
肢体不自由	473 100.0%	28 5.9%	3 0.6%	90 19.0%	352 74.4%
内部障がい	306 100.0%	6 2.0%	1 0.3%	118 38.6%	181 59.2%
その他	168 100.0%	2 1.2%	1 0.6%	62 36.9%	103 61.3%
知的障がい	250 100.0%	24 9.6%	3 1.2%	32 12.8%	191 76.4%
精神障がい	296 100.0%	12 4.1%	5 1.7%	77 26.0%	202 68.2%
難病	153 100.0%	3 2.0%	4 2.6%	42 27.5%	104 68.0%
無回答	52 100.0%	1 1.9%	1 1.9%	11 21.2%	39 75.0%

◆その他の介助・支援

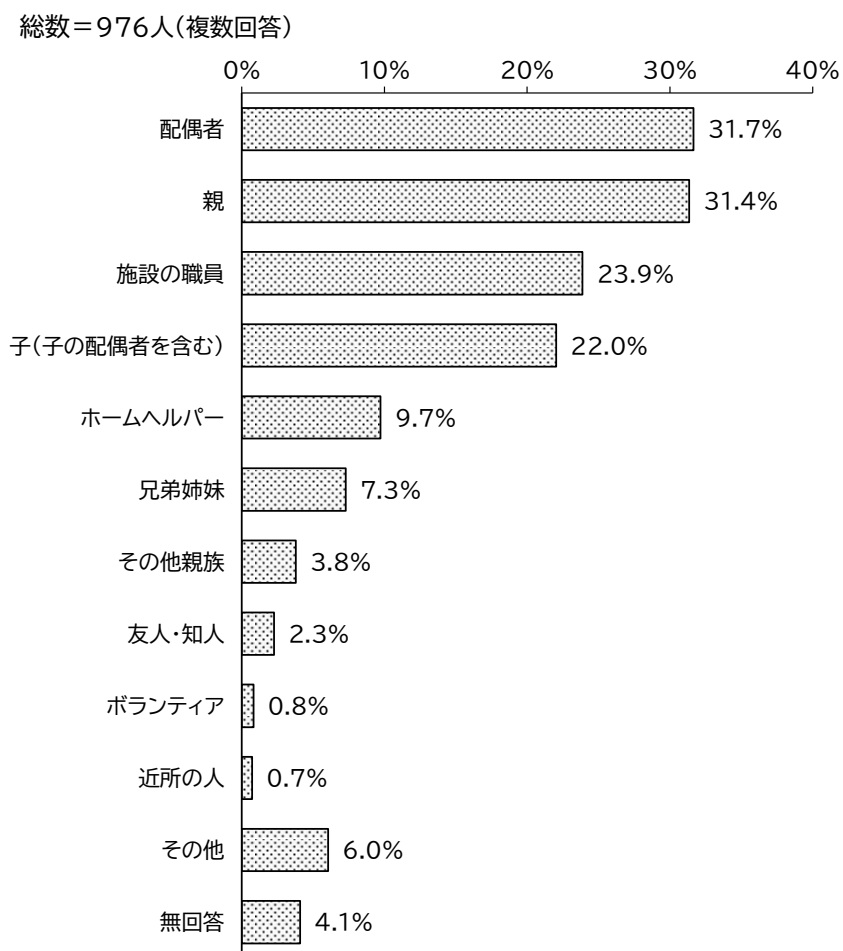
- ・ ストマの清拭取替
- ・ 各種手続き
- ・ 学習支援
- ・ 時間の管理
- ・ 電話の着信
- ・ 就労移行支援
- ・ 屋内外での娯楽
- ・ 仕事等でメンタルのバランスを崩した時の相談
- ・ シーツカバー、カーテンの付け替え
- ・ 手すりや車いすなどの福祉備品のレンタル
- ・ 訪問医療や訪問歯科の支援

(2) 介助や支援を受けている人

問 14 問 13 で「1. 毎日受けている」「2. ときどき受けている」と答えた方にお聞きします。あなたの介助や支援をしているのはどなたですか。(〇はいくつでも)

全体では、「配偶者」が 31.7%と最も高く、次いで「親」が 31.4%、「施設の職員」が 23.9%、「子(この配偶者を含む)」が 22.0%となっています。

◆全体集計◆



障がい別・部位別に見ると、身体障がい、難病の方では「配偶者」の割合が高くなっています。知的障がいや精神障がいの方では「親」が最も高く、特に知的障がいでは約8割となっています。

◆障がい別・部位別集計◆

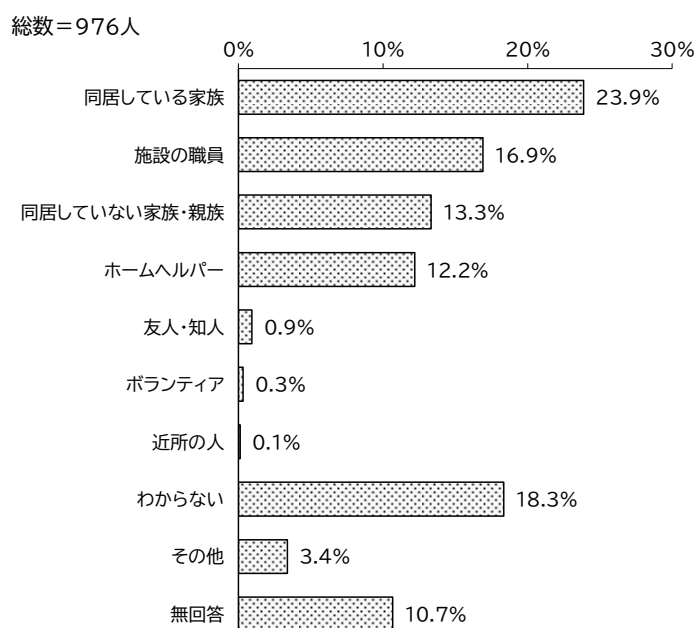
	全体	配偶者	親	子（子の配偶者を含む）	兄弟姉妹	その他親族	ホームヘルパー	施設の職員	ボランティア	近所の人	友人・知人	その他	無回答
全体	976	309	306	215	71	37	95	233	8	7	22	59	40
	-	31.7%	31.4%	22.0%	7.3%	3.8%	9.7%	23.9%	0.8%	0.7%	2.3%	6.0%	4.1%
身体障がい	583	251	71	188	29	19	65	143	3	6	15	33	24
	-	43.1%	12.2%	32.2%	5.0%	3.3%	11.1%	24.5%	0.5%	1.0%	2.6%	5.7%	4.1%
視覚障がい	52	23	6	11	3	2	9	12	1	0	2	4	0
	-	44.2%	11.5%	21.2%	5.8%	3.8%	17.3%	23.1%	1.9%	0.0%	3.8%	7.7%	0.0%
聴覚・平衡機能障がい	58	23	8	22	4	2	6	8		3	3	4	2
	-	39.7%	13.8%	37.9%	6.9%	3.4%	10.3%	13.8%	0.0%	5.2%	5.2%	6.9%	3.4%
音声・言語・そしゃく機能障がい	27	10	4	3	1	0	3	8	0	0	0	1	2
	-	37.0%	14.8%	11.1%	3.7%	0.0%	11.1%	29.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	7.4%
肢体不自由	321	138	47	89	20	10	35	107	2	4	10	22	9
	-	43.0%	14.6%	27.7%	6.2%	3.1%	10.9%	33.3%	0.6%	1.2%	3.1%	6.9%	2.8%
内部障がい	112	49	9	39	2	4	11	22	0	0	2	4	6
	-	43.8%	8.0%	34.8%	1.8%	3.6%	9.8%	19.6%	0.0%	0.0%	1.8%	3.6%	5.4%
その他	64	30	5	27	2	3	8	10	0	0	1	3	3
	-	46.9%	7.8%	42.2%	3.1%	4.7%	12.5%	15.6%	0.0%	0.0%	1.6%	4.7%	4.7%
知的障がい	207	7	165	3	27	18	9	80	2	2	4	17	5
	-	3.4%	79.7%	1.4%	13.0%	8.7%	4.3%	38.6%	1.0%	1.0%	1.9%	8.2%	2.4%
精神障がい	186	41	89	15	20	3	20	26	3	0	5	14	8
	-	22.0%	47.8%	8.1%	10.8%	1.6%	10.8%	14.0%	1.6%	0.0%	2.7%	7.5%	4.3%
難病	72	33	20	18	4	4	13	7	0	0	2	4	3
	-	45.8%	27.8%	25.0%	5.6%	5.6%	18.1%	9.7%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	4.2%
無回答	29	5	12	3	1	1	2	10	0	0	0	0	2
	-	17.2%	41.4%	10.3%	3.4%	3.4%	6.9%	34.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%

(3)代わりに介助や支援をしてもらいたい人

問 15 問 13 で「1. 毎日受けている」「2. ときどき受けている」と答えた方にお聞きします。あなたを主に介助や支援をしている方が、病気や外出などで介助や支援ができなくなったとき、代わりに誰に介助や支援をしてもらいたいですか。(○はひとつ)

全体では、「同居している家族」が 23.9%と最も高く、次いで「施設の職員」が 16.9%、「同居していない家族・親族」が 13.3%、「ホームヘルパー」が 12.2%となっています。

障がい別・部位別に見た場合も、概ね全体と同様の傾向でした。



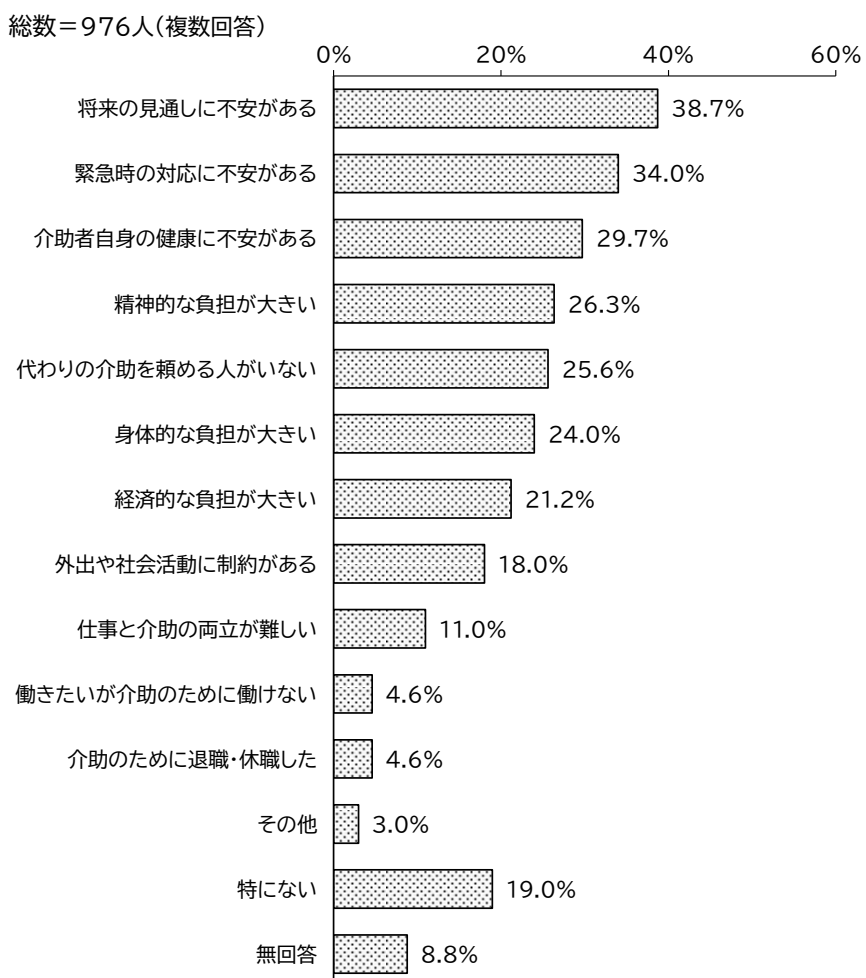
	全体	同居している家族	同居していない家族・親族	ホームヘルパー	施設の職員	ボランティア	近所の人	友人・知人	わからない	その他	無回答
全体	976 100.0%	233 23.9%	130 13.3%	119 12.2%	165 16.9%	3 0.3%	1 0.1%	9 0.9%	179 18.3%	33 3.4%	104 10.7%
身体障がい	583 100.0%	132 22.6%	85 14.6%	81 13.9%	104 17.8%	1 0.2%	1 0.2%	8 1.4%	86 14.8%	19 3.3%	66 11.3%
視覚障がい	52 100.0%	9 17.3%	10 19.2%	12 23.1%	7 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 13.5%	3 5.8%	4 7.7%
聴覚・平衡機能障がい	58 100.0%	14 24.1%	7 12.1%	8 13.8%	4 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	10 17.2%	4 6.9%	10 17.2%
音声・言語・そしゃく機能障がい	27 100.0%	6 22.2%	4 14.8%	1 3.7%	10 37.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4 14.8%
肢体不自由	321 100.0%	79 24.6%	42 13.1%	39 12.1%	71 22.1%	1 0.3%	1 0.3%	4 1.2%	42 13.1%	9 2.8%	33 10.3%
内部障がい	112 100.0%	19 17.0%	13 11.6%	17 15.2%	22 19.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	21 18.8%	3 2.7%	15 13.4%
その他	64 100.0%	19 29.7%	12 18.8%	6 9.4%	6 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%	9 14.1%	4 6.3%	7 10.9%
知的障がい	207 100.0%	70 33.8%	24 11.6%	12 5.8%	45 21.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	31 15.0%	2 1.0%	22 10.6%
精神障がい	186 100.0%	37 19.9%	19 10.2%	22 11.8%	25 13.4%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	57 30.6%	10 5.4%	15 8.1%
難病	72 100.0%	18 25.0%	13 18.1%	14 19.4%	4 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 19.4%	3 4.2%	6 8.3%
無回答	29 100.0%	5 17.2%	5 17.2%	3 10.3%	6 20.7%	1 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 17.2%	0 0.0%	4 13.8%

(4) 介助や支援をしている人が困っていること

問 16 問 13 で「1. 毎日受けている」「2. ときどき受けている」と答えた方にお聞きします。
あなたを主に介助や支援をしている方は、どのようなことで困っていますか。(〇は
いくつでも)

全体では、「将来の見通しに不安がある」が 38.7%と最も高く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が 34.0%、「介助者自身の健康に不安がある」が 29.7%となっています。

◆全体集計◆



障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がい、知的障がいの方で「将来に見通しに不安がある」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	介助者自身の健康に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	代わりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	外出や社会活動に制約がある
全体	976	290	234	257	207	250	332	176
	-	29.7%	24.0%	26.3%	21.2%	25.6%	34.0%	18.0%
身体障がい	583	187	150	128	111	142	206	114
	-	32.1%	25.7%	22.0%	19.0%	24.4%	35.3%	19.6%
視覚障がい	52	12	7	7	9	12	14	10
	-	23.1%	13.5%	13.5%	17.3%	23.1%	26.9%	19.2%
聴覚・平衡機能障がい	58	18	17	11	12	16	19	13
	-	31.0%	29.3%	19.0%	20.7%	27.6%	32.8%	22.4%
音声・言語・そしゃく機能障がい	27	12	10	8	6	7	10	7
	-	44.4%	37.0%	29.6%	22.2%	25.9%	37.0%	25.9%
肢体不自由	321	115	101	79	67	85	133	71
	-	35.8%	31.5%	24.6%	20.9%	26.5%	41.4%	22.1%
内部障がい	112	34	32	23	27	27	33	19
	-	30.4%	28.6%	20.5%	24.1%	24.1%	29.5%	17.0%
その他	64	20	10	17	12	15	20	13
	-	31.3%	15.6%	26.6%	18.8%	23.4%	31.3%	20.3%
知的障がい	207	67	46	68	37	68	91	46
	-	32.4%	22.2%	32.9%	17.9%	32.9%	44.0%	22.2%
精神障がい	186	42	42	72	60	48	56	23
	-	22.6%	22.6%	38.7%	32.3%	25.8%	30.1%	12.4%
難病	72	27	25	20	18	28	26	20
	-	37.5%	34.7%	27.8%	25.0%	38.9%	36.1%	27.8%
無回答	29	3	4	8	5	7	3	5
	-	10.3%	13.8%	27.6%	17.2%	24.1%	10.3%	17.2%

	仕事と介助の両立が難しい	働きたいが介助のために働けない	介助のために退職・休職した	将来の見通しに不安がある	その他	特にな	無回答
全体	107	45	45	378	29	185	86
	11.0%	4.6%	4.6%	38.7%	3.0%	19.0%	8.8%
身体障がい	63	25	31	178	16	97	61
	10.8%	4.3%	5.3%	30.5%	2.7%	16.6%	10.5%
視覚障がい	5	3	2	14	1	15	4
	9.6%	5.8%	3.8%	26.9%	1.9%	28.8%	7.7%
聴覚・平衡機能障がい	5	1	2	15	1	16	5
	8.6%	1.7%	3.4%	25.9%	1.7%	27.6%	8.6%
音声・言語・そしゃく機能障がい	5	1	2	15	1	16	5
	18.5%	3.7%	7.4%	55.6%	3.7%	59.3%	18.5%
肢体不自由	38	17	18	105	7	47	30
	11.8%	5.3%	5.6%	32.7%	2.2%	14.6%	9.3%
内部障がい	16	5	4	34	2	24	15
	14.3%	4.5%	3.6%	30.4%	1.8%	21.4%	13.4%
その他	7	3	3	19	4	10	7
	10.9%	4.7%	4.7%	29.7%	6.3%	15.6%	10.9%
知的障がい	29	16	10	124	6	23	8
	14.0%	7.7%	4.8%	59.9%	2.9%	11.1%	3.9%
精神障がい	18	5	6	85	7	40	14
	9.7%	2.7%	3.2%	45.7%	3.8%	21.5%	7.5%
難病	8	7	5	31	0	17	5
	11.1%	9.7%	6.9%	43.1%	0.0%	23.6%	6.9%
無回答	4	2	1	12	1	3	6
	13.8%	6.9%	3.4%	41.4%	3.4%	10.3%	20.7%

3. 日常の活動について

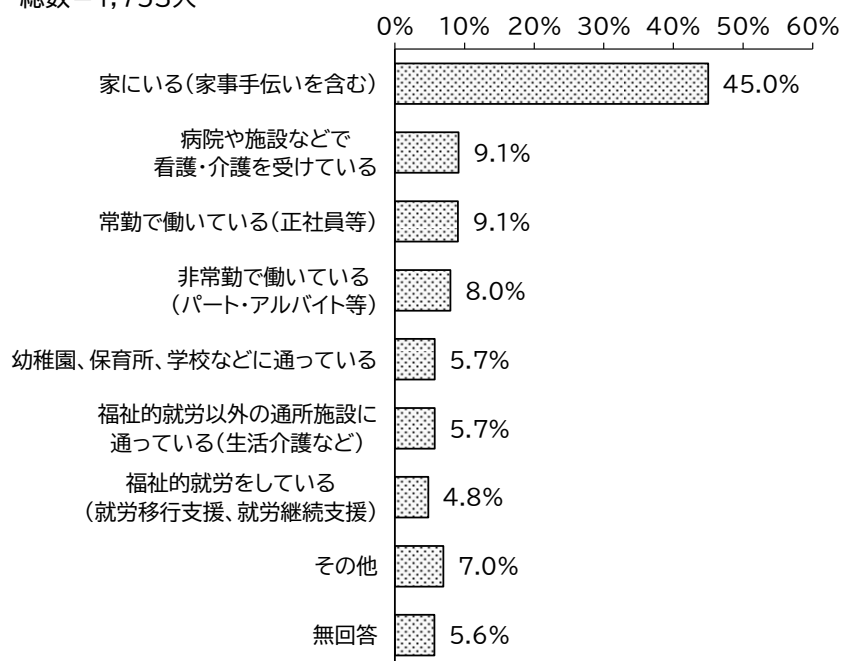
(1) 日中の過ごし方

問 17 あなたは、平日の日中は主にどのように過ごしていますか。(○はひとつ)

全体では、「家にいる(家事手伝いを含む)」が45.0%と最も高く、次いで「病院や施設などで介護・介助を受けている」、「常勤で働いている(正社員等)」がともに9.1%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方では、「幼稚園、保育所、学校などに通っている」が最も高く、「福祉的就労以外の通所施設に通っている(生活介護など)」、「福祉的就労をしている(就労移行支援、就労継続支援)」の割合もやや高くなっています。難病の方では、「常勤で働いている(正社員等)」、精神障がいの方では、「非常勤で働いている(パート・アルバイト)」の割合が他の障害・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	① 幼稚園、 保育所、 学校などに 通っている	② 常勤で働いている (正社員等)	③ 非常勤で働いている (パート・アルバイト等)	④ 福祉的就労移行支援、 就労継続支援	⑤ 福祉的就労以外の 通所施設に 通っている(生活 介護など)	⑥ 病院や施設などで 看護・介護を 受けている	⑦ 家にいる(家事手 伝いを含む)	⑧ その他	無回答
全体	1,753 100.0%	100 5.7%	159 9.1%	140 8.0%	84 4.8%	100 5.7%	160 9.1%	789 45.0%	122 7.0%	99 5.6%
身体障がい	1,125 100.0%	33 2.9%	92 8.2%	70 6.2%	11 1.0%	42 3.7%	125 11.1%	594 52.8%	91 8.1%	67 6.0%
視覚障がい	63 100.0%	3 4.8%	5 7.9%	1 1.6%	1 1.6%	4 6.3%	8 12.7%	34 54.0%	4 6.3%	3 4.8%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	8 7.0%	13 11.4%	8 7.0%	1 0.9%	1 0.9%	10 8.8%	60 52.6%	6 5.3%	7 6.1%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	38 100.0%	3 7.9%	1 2.6%	2 5.3%	2 5.3%	3 7.9%	10 26.3%	11 28.9%	3 7.9%	3 7.9%
肢体不自由	473 100.0%	18 3.8%	33 7.0%	19 4.0%	6 1.3%	27 5.7%	76 16.1%	236 49.9%	31 6.6%	27 5.7%
内部障がい	306 100.0%	3 1.0%	29 9.5%	25 8.2%	0 0.0%	8 2.6%	32 10.5%	166 54.2%	29 9.5%	14 4.6%
その他	168 100.0%	1 0.6%	10 6.0%	16 9.5%	1 0.6%	7 4.2%	9 5.4%	88 52.4%	25 14.9%	11 6.5%
知的障がい	250 100.0%	67 26.8%	20 8.0%	16 6.4%	43 17.2%	54 21.6%	16 6.4%	24 9.6%	5 2.0%	5 2.0%
精神障がい	296 100.0%	2 0.7%	20 6.8%	42 14.2%	33 11.1%	14 4.7%	20 6.8%	132 44.6%	20 6.8%	13 4.4%
難病	153 100.0%	14 9.2%	30 19.6%	12 7.8%	1 0.7%	4 2.6%	9 5.9%	64 41.8%	7 4.6%	12 7.8%
無回答	52 100.0%	5 9.6%	3 5.8%	5 9.6%	4 7.7%	4 7.7%	4 7.7%	16 30.8%	4 7.7%	7 13.5%

男女別に見ると、男性では「常勤で働いている(正社員等)」の割合が、難病の方で2割台半ば、身体障がいの方で1割強となっているのに対し、女性では、「家にいる(家事手伝いを含む)」の割合が、身体障がいの方で6割強、精神障がいの方で5割強、難病の方で4割台半ばと高くなっています。

◆男女別集計◆

		全体	① 通っている 幼稚園、保育所、 学校などに	② 常勤で働いている (正社員等)	③ 非常勤で働いている (パート・アルバイト等)	④ 福祉的就労支援、 就労継続支援)	⑤ 福祉的就労以外の 通所施設に	⑥ 病院や施設などで 看護・介護を 受けている	⑦ 家にいる (家事手伝いを含む)	⑧ その他	無回答
身体障がい	男性	570 100.0%	18 3.2%	77 13.5%	41 7.2%	8 1.4%	17 3.0%	55 9.6%	260 45.6%	58 10.2%	36 6.3%
	女性	541 100.0%	14 2.6%	12 2.2%	28 5.2%	3 0.6%	24 4.4%	70 12.9%	330 61.0%	31 5.7%	29 5.4%
	回答しない	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%
知的障がい	男性	148 100.0%	46 31.1%	14 9.5%	13 8.8%	24 16.2%	27 18.2%	8 5.4%	10 6.8%	2 1.4%	4 2.7%
	女性	100 100.0%	21 21.0%	6 6.0%	2 2.0%	19 19.0%	26 26.0%	8 8.0%	14 14.0%	3 3.0%	1 1.0%
	回答しない	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神障がい	男性	151 100.0%	1 0.7%	14 9.3%	25 16.6%	17 11.3%	8 5.3%	12 7.9%	56 37.1%	12 7.9%	6 4.0%
	女性	141 100.0%	1 0.7%	6 4.3%	17 12.1%	15 10.6%	6 4.3%	8 5.7%	74 52.5%	7 5.0%	7 5.0%
	回答しない	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	男性	81 100.0%	7 8.6%	21 25.9%	5 6.2%	1 1.2%	2 2.5%	3 3.7%	31 38.3%	3 3.7%	8 9.9%
	女性	71 100.0%	7 9.9%	9 12.7%	7 9.9%	0 0.0%	1 1.4%	6 8.5%	33 46.5%	4 5.6%	4 5.6%
	回答しない	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

年齢別に見ると、身体障がいや難病の方では18～64歳で「常勤で働いている(正社員等)」の割合が高くなっています。知的障がいの方では18～64歳で「福祉的就労以外の通所施設の通っている(生活介護など)」の割合が高くなっています。

◆年齢別集計◆

		全体	① 通っている 幼稚園、保育所、学校などに	② 常勤で働いている (正社員等)	③ 非常勤で働いている (パート・アルバイト等)	④ 福祉的就労移行支援、就労継続支援	⑤ 通っている (生活介護など) 福祉的就労以外の通所施設に	⑥ 受けている 病院や施設などで看護・介護を	⑦ 家にいる (家事手伝いを含む)	⑧ その他	無回答
身体障がい	18歳未満	31 100.0%	26 83.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.5%	2 6.5%	0 0.0%	1 3.2%
	18～39歳	43 100.0%	1 2.3%	8 18.6%	4 9.3%	4 9.3%	10 23.3%	4 9.3%	8 18.6%	4 9.3%	0 0.0%
	40～64歳	204 100.0%	2 1.0%	61 29.9%	26 12.7%	6 2.9%	6 2.9%	17 8.3%	78 38.2%	5 2.5%	3 1.5%
	65歳以上	825 100.0%	3 0.4%	23 2.8%	38 4.6%	1 0.1%	25 3.0%	98 11.9%	496 60.1%	80 9.7%	61 7.4%
	無回答	22 100.0%	1 4.5%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	4 18.2%	10 45.5%	2 9.1%	2 9.1%
知的障がい	18歳未満	66 100.0%	62 93.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.0%	0 0.0%
	18～39歳	110 100.0%	3 2.7%	14 12.7%	14 12.7%	26 23.6%	32 29.1%	8 7.3%	11 10.0%	1 0.9%	1 0.9%
	40～64歳	55 100.0%	0 0.0%	5 9.1%	2 3.6%	17 30.9%	19 34.5%	2 3.6%	7 12.7%	1 1.8%	2 3.6%
	65歳以上	12 100.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	5 41.7%	4 33.3%	1 8.3%	0 0.0%
	無回答	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%
精神障がい	18歳未満	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%
	18～39歳	84 100.0%	1 1.2%	6 7.1%	17 20.2%	17 20.2%	3 3.6%	1 1.2%	36 42.9%	3 3.6%	0 0.0%
	40～64歳	152 100.0%	0 0.0%	12 7.9%	24 15.8%	14 9.2%	8 5.3%	7 4.6%	68 44.7%	14 9.2%	5 3.3%
	65歳以上	47 100.0%	0 0.0%	2 4.3%	1 2.1%	0 0.0%	3 6.4%	12 25.5%	22 46.8%	3 6.4%	4 8.5%
	無回答	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%	3 33.3%
難病	18歳未満	17 100.0%	12 70.6%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%
	18～39歳	19 100.0%	0 0.0%	11 57.9%	3 15.8%	0 0.0%	2 10.5%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%
	40～64歳	42 100.0%	1 2.4%	16 38.1%	7 16.7%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	17 40.5%	0 0.0%	0 0.0%
	65歳以上	74 77.0%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.7%	9 12.2%	43 58.1%	6 8.1%	11 14.8%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

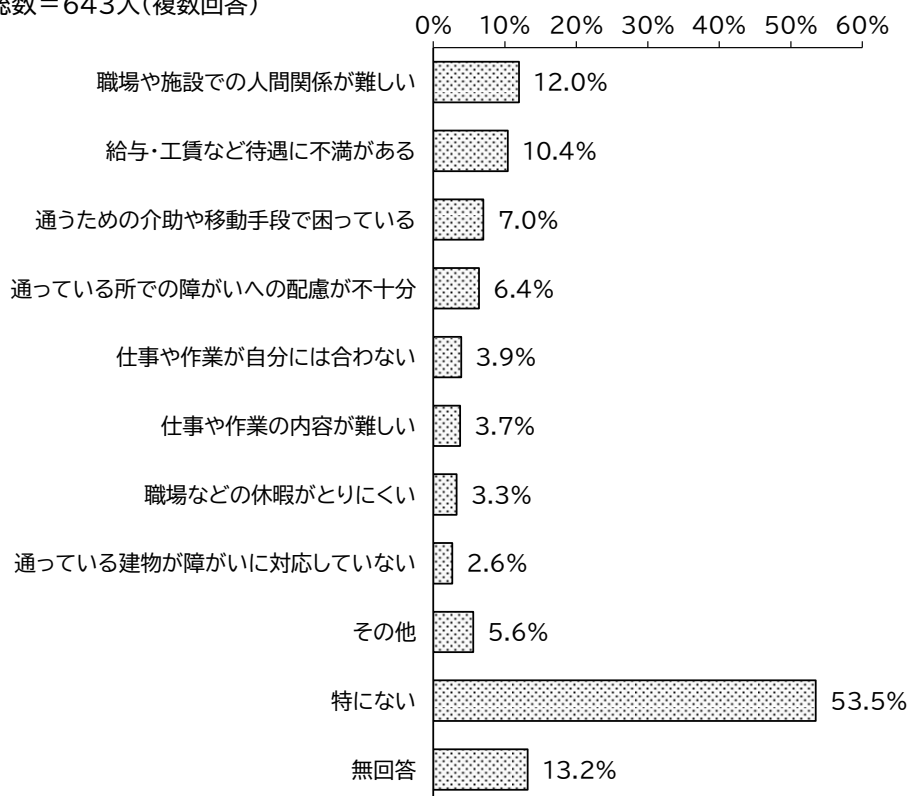
(2)日中の活動について困っていること

問 18 問 17 で2～6と答えた方にお聞きします。あなたは、平日の日中の活動について困っていることや不満がありますか。(○はいくつでも)

全体では、「職場や施設での人間関係が難しい」が 12.0%と最も高く、次いで「給与・工賃など待遇に不満がある」が 10.4%、「通うための介助や移動手段で困っている」が 7.0%となっています。

◆全体集計◆

総数=643人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、視覚障がいの方では「通うための介助や移動手段で困っている」、精神障がいの方では「職場や施設での人間関係が難しい」、「給与・工賃など待遇に不満がある」の割合が他の障害・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	通うための介助や移動手段で困っている	通っている建物や障がいに 対応していない	通っている所での障がい への配慮が不十分	仕事や作業の内容が難しい	仕事や作業が自分には 合わない	職場や施設での人間関係 が難しい	給与・工賃など待遇に 不満がある	職場などの休暇が とりにくい	その他	特にな い	無回 答
全体	643	45 7.0%	17 2.6%	41 6.4%	24 3.7%	25 3.9%	77 12.0%	67 10.4%	21 3.3%	36 5.6%	344 53.5%	85 13.2%
身体障がい	340	20 5.9%	12 3.5%	19 5.6%	6 1.8%	7 2.1%	19 5.6%	19 5.6%	5 1.5%	17 5.0%	199 58.5%	58 17.1%
視覚障がい	19	4 21.1%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	7 36.8%	8 42.1%
聴覚・平衡機能障がい	33	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	1 3.0%	2 6.1%	3 9.1%	0 0.0%	1 3.0%	17 51.5%	9 27.3%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	18	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	13 72.2%	1 5.6%
肢体不自由	161	11 6.8%	9 5.6%	12 7.5%	6 3.7%	5 3.1%	14 8.7%	6 3.7%	2 1.2%	10 6.2%	94 58.4%	21 13.0%
内部障がい	94	7 7.4%	1 1.1%	5 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.3%	3 3.2%	2 2.1%	3 3.2%	61 64.9%	13 13.8%
その他	43	3 7.0%	3 7.0%	2 4.7%	1 2.3%	1 2.3%	2 4.7%	4 9.3%	0 0.0%	5 11.6%	22 51.2%	8 18.6%
知的障がい	149	19 12.8%	4 2.7%	8 5.4%	8 5.4%	6 4.0%	25 16.8%	19 12.8%	2 1.3%	7 4.7%	74 49.7%	12 8.1%
精神障がい	129	9 7.0%	2 1.6%	13 10.1%	9 7.0%	12 9.3%	30 23.3%	26 20.2%	8 6.2%	10 7.8%	55 42.6%	12 9.3%
難病	56	3 5.4%	0 0.0%	4 7.1%	1 1.8%	1 1.8%	6 10.7%	7 12.5%	5 8.9%	5 8.9%	29 51.8%	6 10.7%
無回答	20	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	12 60.0%	4 20.0%

日中の過ごし方別に見ると、福祉的就労をしている方で「職場や施設での人間関係が難しい」、「給与・工賃など待遇に不満がある」の割合が1割台半ばとやや高くなっています。

◆日中の過ごし方別集計◆

	全体	通うための 介助や移動手段 で困っている	通っている 建物が障がい に対応していない	通っている 所での障がい への配慮が不十分	仕事や作業の 内容が難しい	仕事や作業が 自分には 合わない	職場や施設での 人間関係 が難しい	給与・工賃など 待遇に 不満がある	職場などの 休暇が とりにくい	その他	特 に ない	無 回 答
全体	643 121.6%	45 7.0%	17 2.6%	41 6.4%	24 3.7%	25 3.9%	77 12.0%	67 10.4%	21 3.3%	36 5.6%	344 53.5%	85 13.2%
常勤で働いている (正社員等)	203 100.0%	7 3.4%	6 3.0%	13 6.4%	10 4.9%	8 3.9%	20 9.9%	21 10.3%	11 5.4%	7 3.4%	87 42.9%	13 6.4%
非常勤で働いている (パート・アルバイト等)	182 100.0%	4 2.2%	1 0.5%	11 6.0%	8 4.4%	7 3.8%	25 13.7%	22 12.1%	8 4.4%	5 2.7%	72 39.6%	19 10.4%
福祉的就労をしている (就労移行支援、就労継続支援)	112 100.0%	11 9.8%	4 3.6%	6 5.4%	5 4.5%	6 5.4%	16 14.3%	16 14.3%	2 1.8%	4 3.6%	37 33.0%	5 4.5%
福祉的就労以外の通所施設に 通っている(生活介護など)	120 100.0%	12 10.0%	4 3.3%	7 5.8%	1 0.8%	3 2.5%	3 2.5%	7 5.8%	0 0.0%	7 5.8%	61 50.8%	15 12.5%
病院や施設などで看護・ 介護を受けている	165 100.0%	11 6.7%	2 1.2%	4 2.4%	0 0.0%	1 0.6%	13 7.9%	1 0.6%	0 0.0%	13 7.9%	87 52.7%	33 20.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

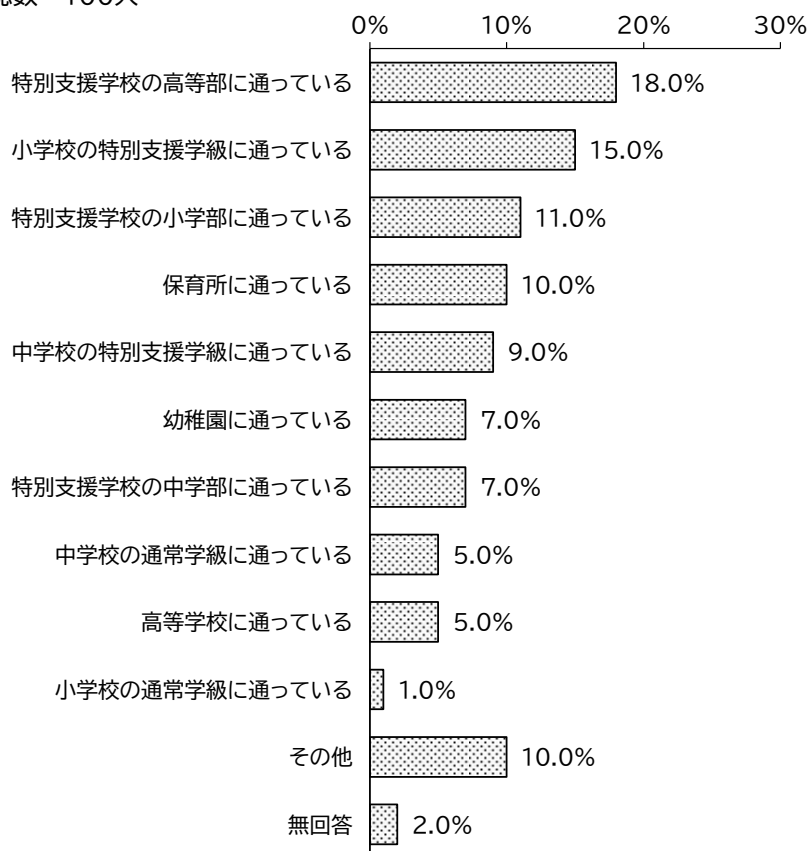
(3) 通っている学校の種類

問 19 問 17 で「1. 幼稚園、保育所、学校などに通っている」と答えた方にお聞きします。
通っている学校はどこですか。(〇はひとつ)

全体では、「特別支援学校の高等部に通っている」が 18.0%と最も高く、次いで「小学校の特別支援学級に通っている」が 15.0%、「特別支援学校の小学部に通っている」が 11.0%となっています。

◆全体集計◆

総数=100人



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「特別支援学校の高等部に通っている」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	幼稚園に通っている	保育所に通っている	小学校の通常学級に通っている	小学校の特別支援学級に通っている	特別支援学校の小学部に通っている	中学校の通常学級に通っている	中学校の特別支援学級に通っている	特別支援学校の中学部に通っている	高等学校に通っている	特別支援学校の高等部に通っている	その他	無回答
全体	100 100.0%	7 7.0%	10 10.0%	1 1.0%	15 15.0%	11 11.0%	5 5.0%	9 9.0%	7 7.0%	5 5.0%	18 18.0%	10 10.0%	2 2.0%
身体障がい	33 100.0%	3 9.1%	6 18.2%	1 3.0%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%	2 6.1%	3 9.1%	1 3.0%	6 18.2%	5 15.2%	2 6.1%
視覚障がい	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
聴覚・平衡機能障がい	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	4 50.0%	0 0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
肢体不自由	18 100.0%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	1 5.6%	3 16.7%	0 0.0%	4 22.2%	0 0.0%	1 5.6%
内部障がい	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
知的障がい	67 100.0%	3 4.5%	4 6.0%	0 0.0%	10 14.9%	11 16.4%	3 4.5%	7 10.4%	7 10.4%	2 3.0%	16 23.9%	4 6.0%	0 0.0%
精神障がい	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
難病	14 100.0%	1 7.1%	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%
無回答	5 100.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

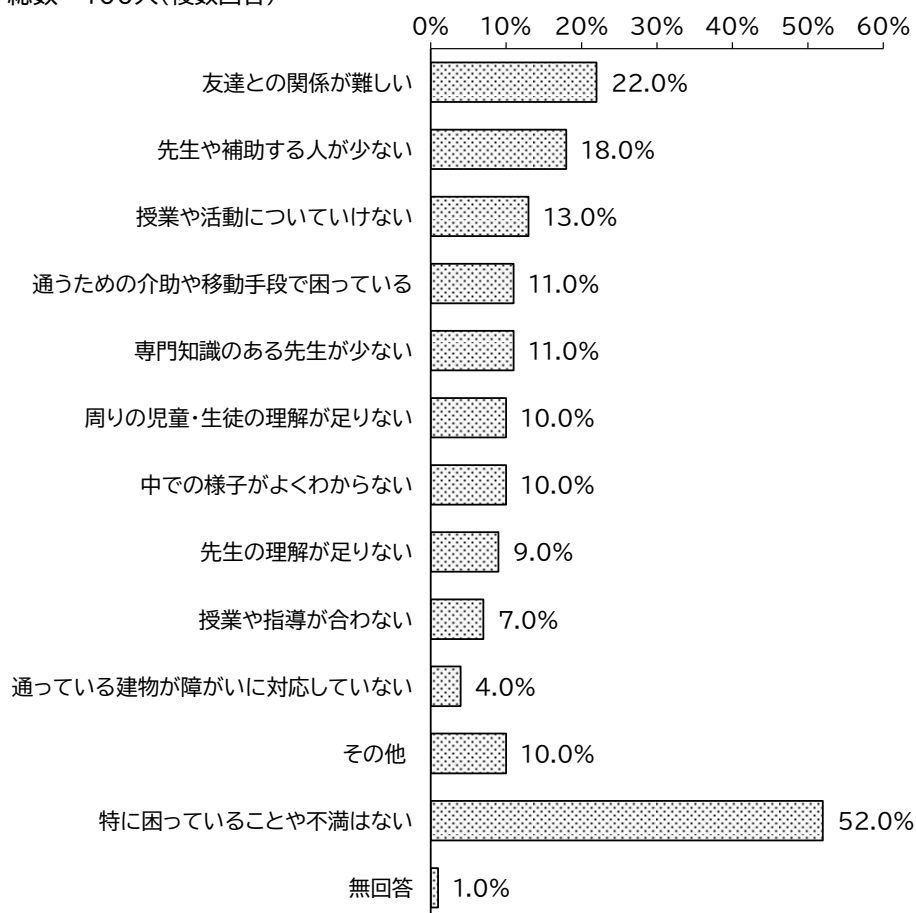
(4) 学校等で過ごすにあたり困っていることや不満

問 20 問 17 で「1. 幼稚園、保育所、学校などに通っている」と答えた方にお聞きします。
幼稚園、保育所、学校などで過ごすにあたり困っていることや不満がありますか。
(○はいくつでも)

全体では、「友達との関係が難しい」が 22.0%と最も高く、次いで「先生や補助する人がいない」が 18.0%、「授業や活動についていけない」が 13.0%となっています。

◆全体集計◆

総数=100人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、肢体不自由の方で「通うための介助や移動手段で困っている」、「通っている建物が障がいに対応していない」の割合が、知的障がいの方で「友達との関係が難しい」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

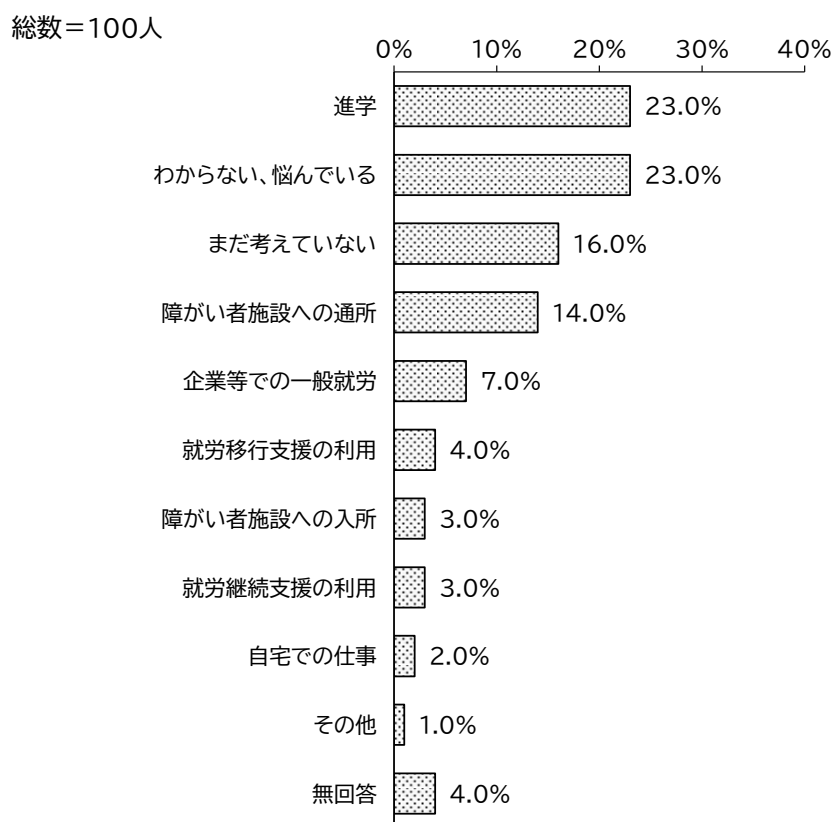
	全体	通うための介助や移動手段で困っている	通っている建物が障がいに対応していない	授業や指導が合わない	授業や活動についていけない	先生や補助する人が少ない	専門知識のある先生が少ない	周りの児童・生徒の理解が足りない	先生の理解が足りない	友達との関係が難しい	中での様子がよくわからない	その他	特に困っていることや不満はない	無回答
全体	100	11	4	7	13	18	11	10	9	22	10	10	1	1
-	-	11.0%	4.0%	7.0%	13.0%	18.0%	11.0%	10.0%	9.0%	22.0%	10.0%	10.0%	1.0%	1.0%
身体障がい	33	6	4	0	3	5	2	2	3	2	0	3	1	1
-	-	18.2%	12.1%	0.0%	9.1%	15.2%	6.1%	6.1%	9.1%	6.1%	0.0%	9.1%	3.0%	3.0%
視覚障がい	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
-	-	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
聴覚・平衡機能障がい	8	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	2	0	0
-	-	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
肢体不自由	18	5	4	0	1	3	1	0	2	1	0	1	9	1
-	-	27.8%	22.2%	0.0%	5.6%	16.7%	5.6%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%	50.0%	5.6%
内部障がい	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
-	-	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
その他	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
-	-	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
知的障がい	67	8	1	5	8	11	8	6	7	17	7	5	35	1
-	-	11.9%	1.5%	7.5%	11.9%	16.4%	11.9%	9.0%	10.4%	25.4%	10.4%	7.5%	52.2%	1.5%
精神障がい	2	0	0	1	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0
-	-	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
難病	14	3	2	0	0	3	0	0	0	0	2	2	8	0
-	-	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	57.1%	0.0%
無回答	5	0	0	1	2	1	1	1	0	2	1	1	1	0
-	-	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%

(5) 将来への考え

問 21 問 17 で「1. 幼稚園、保育所、学校などに通っている」と答えた方にお聞きします。
将来はどのようにお考えですか。(○はひとつ)

全体では、「進学」、「わからない、悩んでいる」がともに 23.0%と最も高く、次いで「まだ考えていない」が 16.0%、「障がい者施設への通所」が 14.0%となっています。

◆全体集計◆



障がい別・部位別に見ると、難病の方で「進学」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	進学	障がい者施設への入所	障がい者施設への通所	企業等での一般就労	就労移行支援の利用	就労継続支援の利用	自宅での仕事	まだ考えていない	わからない、悩んでいる	その他	無回答
全体	100 100.0%	23 23.0%	3 3.0%	14 14.0%	7 7.0%	4 4.0%	3 3.0%	2 2.0%	16 16.0%	23 23.0%	1 1.0%	4 4.0%
身体障がい	33 100.0%	9 27.3%	1 3.0%	6 18.2%	3 9.1%	3 3.0%	0 0.0%	1 3.0%	2 6.1%	6 18.2%	1 3.0%	3 9.1%
視覚障がい	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
聴覚・平衡機能障がい	8 100.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
肢体不自由	18 100.0%	3 16.7%	1 5.6%	6 33.3%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%
内部障がい	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
知的障がい	67 100.0%	8 11.9%	3 4.5%	13 19.4%	5 7.5%	3 4.5%	3 4.5%	1 1.5%	14 20.9%	14 20.9%	1 1.5%	2 3.0%
精神障がい	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	14 100.0%	9 64.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%
無回答	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%

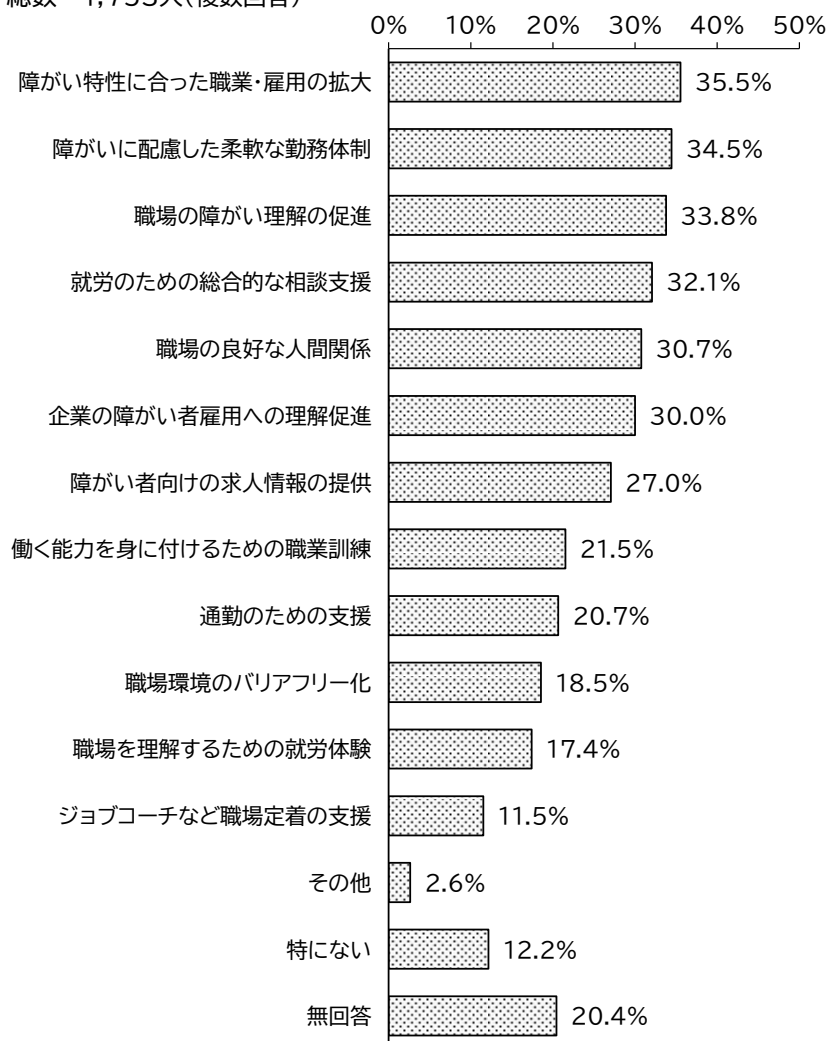
(6) 障がい者が就労するために必要なこと

問 22 あなたは、障がいのある方が企業等で就労するためには、どのような取り組みや支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」が 35.5%と最も高く、次いで「障害に配慮した柔軟な勤務体制」が 34.5%、「職場の障がい理解の促進」が 33.8%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方や精神障がいの方で「障がい特性に合った職業・雇用の拡大」、「職場の障がい理解の促進」、「職場の良好な人間関係」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。難病の方では「障がいに配慮した柔軟な勤務体制」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	就労のための相談・支援的な	働くための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障がい特性に合った職業・雇用の拡大	障がい者向けの求人情報提供	企業の障がい者雇用への理解促進	職場の障がい理解の促進
全体	1,753	562	377	305	623	474	526	592
	-	32.1%	21.5%	17.4%	35.5%	27.0%	30.0%	33.8%
身体障がい	1,125	313	192	135	328	245	279	313
	-	27.8%	17.1%	12.0%	29.2%	21.8%	24.8%	27.8%
視覚障がい	63	16	14	12	21	20	19	21
	-	25.4%	22.2%	19.0%	33.3%	31.7%	30.2%	33.3%
聴覚・平衡機能障がい	114	35	24	10	35	25	29	38
	-	30.7%	21.1%	8.8%	30.7%	21.9%	25.4%	33.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38	14	7	4	9	5	10	14
	-	36.8%	18.4%	10.5%	23.7%	13.2%	26.3%	36.8%
肢体不自由	473	138	80	60	134	100	123	138
	-	29.2%	16.9%	12.7%	28.3%	21.1%	26.0%	29.2%
内部障がい	306	93	52	41	99	81	83	88
	-	30.4%	17.0%	13.4%	32.4%	26.5%	27.1%	28.8%
その他	168	41	24	12	40	26	34	33
	-	24.4%	14.3%	7.1%	23.8%	15.5%	20.2%	19.6%
知的障がい	250	99	79	88	129	89	103	125
	-	39.6%	31.6%	35.2%	51.6%	35.6%	41.2%	50.0%
精神障がい	296	119	82	78	135	121	117	132
	-	40.2%	27.7%	26.4%	45.6%	40.9%	39.5%	44.6%
難病	153	58	40	25	67	41	58	54
	-	37.9%	26.1%	16.3%	43.8%	26.8%	37.9%	35.3%
無回答	52	16	14	9	18	11	15	11
	-	30.8%	26.9%	17.3%	34.6%	21.2%	28.8%	21.2%

	職場環境のバリアフリー化	障がいに配慮した柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど職場定着	通勤のための支援	職場の良好な人間関係	その他	特にない	無回答
全体	325	604	202	362	539	46	213	358
	18.5%	34.5%	11.5%	20.7%	30.7%	2.6%	12.2%	20.4%
身体障がい	229	344	88	211	263	30	162	283
	20.4%	30.6%	7.8%	18.8%	23.4%	2.7%	14.4%	25.2%
視覚障がい	15	18	9	16	20	5	3	21
	23.8%	28.6%	14.3%	25.4%	31.7%	7.9%	4.8%	33.3%
聴覚・平衡機能障がい	21	32	5	15	30	4	20	24
	18.4%	28.1%	4.4%	13.2%	26.3%	3.5%	17.5%	21.1%
音声・言語・そしゃく機能障がい	10	12	3	9	10		6	10
	26.3%	31.6%	7.9%	23.7%	26.3%	0.0%	15.8%	26.3%
肢体不自由	126	142	40	107	113	15	64	109
	26.6%	30.0%	8.5%	22.6%	23.9%	3.2%	13.5%	23.0%
内部障がい	58	119	30	60	81	7	40	68
	19.0%	38.9%	9.8%	19.6%	26.5%	2.3%	13.1%	22.2%
その他	15	41	6	20	26	3	31	51
	8.9%	24.4%	3.6%	11.9%	15.5%	1.8%	18.5%	30.4%
知的障がい	46	95	65	78	113	4	17	28
	18.4%	38.0%	26.0%	31.2%	45.2%	1.6%	6.8%	11.2%
精神障がい	39	129	43	58	134	11	28	28
	13.2%	43.6%	14.5%	19.6%	45.3%	3.7%	9.5%	9.5%
難病	37	69	18	37	48	2	9	30
	24.2%	45.1%	11.8%	24.2%	31.4%	1.3%	5.9%	19.6%
無回答	7	13	7	9	12	0	6	18
	13.5%	25.0%	13.5%	17.3%	23.1%	0.0%	11.5%	34.6%

4. 外出について

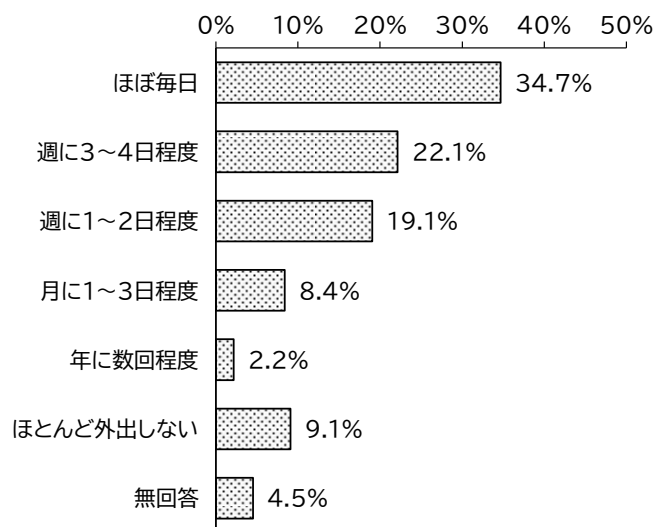
(1) 外出の頻度

問 23 あなたは普段、どのくらいの頻度で外出していますか。(○はひとつ)

全体では、「ほぼ毎日」が 34.7%と最も高く、次いで「週に 3～4 日程度」が 22.1%、「週に 1～2 日程度」が 19.1%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方や難病の方で「ほぼ毎日」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	ほぼ毎日	週に3～4日程度	週に1～2日程度	月に1～3日程度	年に数回程度	ほとんど外出しない	無回答
全体	1,753 100.0%	608 34.7%	388 22.1%	334 19.1%	147 8.4%	38 2.2%	159 9.1%	79 4.5%
身体障がい	1,125 100.0%	330 29.3%	276 24.5%	222 19.7%	95 8.4%	25 2.2%	120 10.7%	57 5.1%
視覚障がい	63 100.0%	12 19.0%	14 22.2%	12 19.0%	9 14.3%	2 3.2%	5 7.9%	9 14.3%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	34 29.8%	30 26.3%	24 21.1%	8 7.0%	1 0.9%	10 8.8%	7 6.1%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	12 31.6%	8 21.1%	5 13.2%	4 10.5%	2 5.3%	4 10.5%	3 7.9%
肢体不自由	473 100.0%	117 24.7%	98 20.7%	95 20.1%	49 10.4%	19 4.0%	72 15.2%	23 4.9%
内部障がい	306 100.0%	98 32.0%	85 27.8%	62 20.3%	17 5.6%	6 2.0%	26 8.5%	12 3.9%
その他	168 100.0%	58 34.5%	49 29.2%	27 16.1%	12 7.1%	0 0.0%	11 6.5%	11 6.5%
知的障がい	250 100.0%	122 48.8%	29 11.6%	35 14.0%	24 9.6%	11 4.4%	19 7.6%	10 4.0%
精神障がい	296 100.0%	110 37.2%	66 22.3%	66 22.3%	25 8.4%	4 1.4%	21 7.1%	4 1.4%
難病	153 100.0%	70 45.8%	27 17.6%	24 15.7%	12 7.8%	4 2.6%	9 5.9%	7 4.6%
無回答	52 100.0%	21 40.4%	9 17.3%	6 11.5%	4 7.7%	0 0.0%	4 7.7%	8 15.4%

男女別に見ると、「ほぼ毎日」の割合はいずれの障がいでも女性より男性の方が高く、10ポイント以上の差があります。

◆男女別集計◆

		全体	ほぼ毎日	週に3～4日程度	週に1～2日程度	月に1～3日程度	年に数回程度	ほとんど外出しない	無回答
身体障がい	男性	570 100.0%	216 37.9%	133 23.3%	96 16.8%	39 6.8%	11 1.9%	48 8.4%	27 4.7%
	女性	541 100.0%	106 19.6%	142 26.2%	124 22.9%	55 10.2%	14 2.6%	71 13.1%	29 5.4%
	回答しない	6 100.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	8 100.0%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%
知的障がい	男性	148 100.0%	80 54.1%	14 9.5%	23 15.5%	9 6.1%	8 5.4%	10 6.8%	4 2.7%
	女性	100 100.0%	41 41.0%	14 14.0%	12 12.0%	15 15.0%	3 3.0%	9 9.0%	6 6.0%
	回答しない	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神障がい	男性	151 100.0%	67 44.4%	27 17.9%	33 21.9%	10 6.6%	3 2.0%	10 6.6%	1 0.7%
	女性	141 100.0%	42 29.8%	39 27.7%	31 22.0%	14 9.9%	1 0.7%	11 7.8%	3 2.1%
	回答しない	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	男性	81 100.0%	45 55.6%	11 13.6%	10 12.3%	6 7.4%	2 2.5%	3 3.7%	4 4.9%
	女性	71 100.0%	24 33.8%	16 22.5%	14 19.7%	6 8.5%	2 2.8%	6 8.5%	3 4.2%
	回答しない	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

年齢別に見ると、身体障がい、知的障がい、難病の方では65歳未満の方、精神障がいの方では、18歳から64歳までの方で「ほぼ毎日」の割合が高く、いずれの障がいでも65歳以上になると割合は減少しています。

◆年齢別集計◆

		全体	ほぼ毎日	週に3〜4日程度	週に1〜2日程度	月に1〜3日程度	年に数回程度	ほとんど外出しない	無回答
身体障がい	18歳未満	31 100.0%	22 71.0%	2 6.5%	5 16.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.5%
	18〜39歳	43 100.0%	18 41.9%	11 25.6%	7 16.3%	4 9.3%	1 2.3%	1 2.3%	1 2.3%
	40〜64歳	204 100.0%	94 46.1%	46 22.5%	30 14.7%	9 4.4%	6 2.9%	16 7.8%	3 1.5%
	65歳以上	825 100.0%	193 23.4%	211 25.6%	176 21.3%	80 9.7%	18 2.2%	99 12.0%	48 5.8%
	無回答	22 100.0%	3 13.6%	6 27.3%	4 18.2%	2 9.1%	0 0.0%	4 18.2%	3 13.6%
知的障がい	18歳未満	66 100.0%	49 74.2%	5 7.6%	5 7.6%	2 3.0%	2 3.0%	0 0.0%	3 4.5%
	18〜39歳	110 100.0%	46 41.8%	16 14.5%	22 20.0%	12 10.9%	7 6.4%	6 5.5%	1 0.9%
	40〜64歳	55 100.0%	23 41.8%	4 7.3%	6 10.9%	9 16.4%	1 1.8%	9 16.4%	3 5.5%
	65歳以上	12 100.0%	4 33.3%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%
	無回答	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%
精神障がい	18歳未満	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	18〜39歳	84 100.0%	37 44.0%	21 25.0%	15 17.9%	7 8.3%	1 1.2%	3 3.6%	0 0.0%
	40〜64歳	152 100.0%	62 40.8%	32 21.1%	35 23.0%	9 5.9%	2 1.3%	10 6.6%	2 1.3%
	65歳以上	47 100.0%	8 17.0%	11 23.4%	13 27.7%	6 12.8%	1 2.1%	7 14.9%	1 2.1%
	無回答	9 100.0%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
難病	18歳未満	17 100.0%	12 70.6%	1 5.9%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%
	18〜39歳	19 100.0%	14 73.7%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%
	40〜64歳	42 100.0%	21 50.0%	9 21.4%	4 9.5%	4 9.5%	1 2.4%	3 7.1%	0 0.0%
	65歳以上	74 100.0%	22 29.7%	17 23.0%	15 20.3%	7 9.5%	1 1.4%	6 8.1%	6 8.1%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

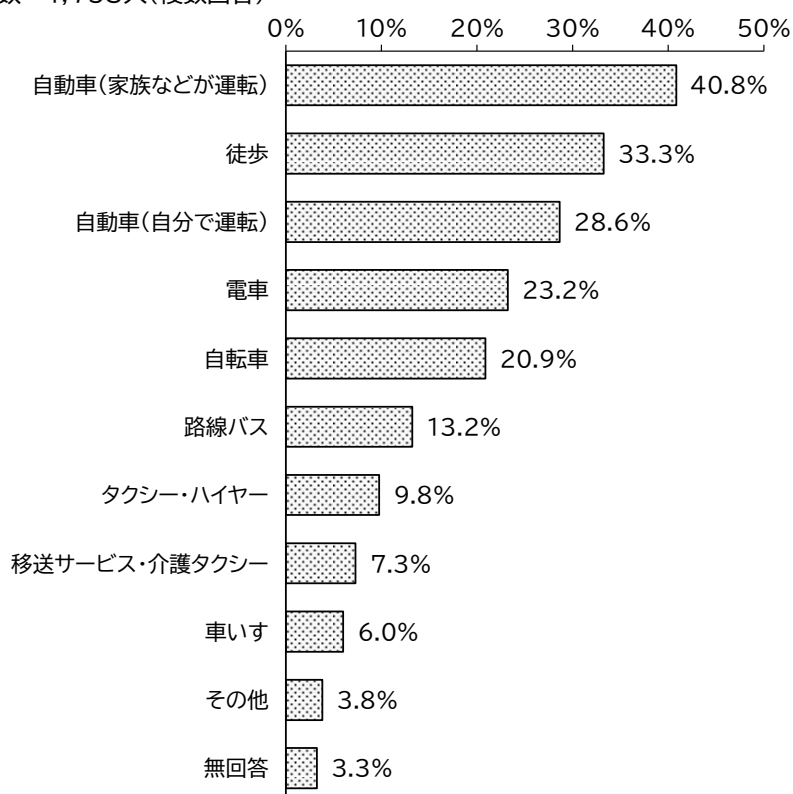
(2) よく利用する移動手段

問 24 あなたが外出するときによく利用する移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「自動車(家族などが運転)」が 40.8%と最も高く、次いで「徒歩」が 33.3%、「自動車(自分で運転)」が 28.6%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、視覚障がいや知的障がいの方では「自動車(家族などが運転)」の割合が、内部障がいの方では「自動車(自分で運転)」の割合が、精神障がいの方では「徒歩」の割合が高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	電車	路線バス	タクシー・ハイヤー	介護タクシー・移送サービス	(自分で運転)自動車	(家族などが運転)自動車	自転車	車いす	徒歩	その他	無回答
全体	1,753 -	407 23.2%	232 13.2%	172 9.8%	128 7.3%	502 28.6%	716 40.8%	366 20.9%	105 6.0%	583 33.3%	67 3.8%	57 3.3%
身体障がい	1,125 -	209 18.6%	122 10.8%	128 11.4%	102 9.1%	373 33.2%	423 37.6%	171 15.2%	95 8.4%	322 28.6%	49 4.4%	43 3.8%
視覚障がい	63 -	18 28.6%	17 27.0%	9 14.3%	9 14.3%	2 3.2%	30 47.6%	6 9.5%	4 6.3%	19 30.2%	0 0.0%	7 11.1%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	23 20.2%	13 11.4%	7 6.1%	7 6.1%	44 38.6%	41 36.0%	18 15.8%	7 6.1%	36 31.6%	4 3.5%	4 3.5%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	8 21.1%	2 5.3%	4 10.5%	5 13.2%	10 26.3%	13 34.2%	6 15.8%	8 21.1%	7 18.4%	4 10.5%	2 5.3%
肢体不自由	473 -	63 13.3%	40 8.5%	54 11.4%	65 13.7%	130 27.5%	201 42.5%	42 8.9%	76 16.1%	102 21.6%	29 6.1%	17 3.6%
内部障がい	306 -	60 19.6%	35 11.4%	34 11.1%	12 3.9%	134 43.8%	99 32.4%	58 19.0%	12 3.9%	98 32.0%	11 3.6%	8 2.6%
その他	168 -	35 20.8%	17 10.1%	19 11.3%	17 10.1%	60 35.7%	59 35.1%	33 19.6%	4 2.4%	58 34.5%	10 6.0%	7 4.2%
知的障がい	250 -	66 26.4%	49 19.6%	12 4.8%	12 4.8%	7 2.8%	163 65.2%	67 26.8%	14 5.6%	92 36.8%	8 3.2%	6 2.4%
精神障がい	296 -	104 35.1%	58 19.6%	28 9.5%	9 3.0%	68 23.0%	119 40.2%	105 35.5%	5 1.7%	131 44.3%	12 4.1%	2 0.7%
難病	153 -	41 26.8%	13 8.5%	8 5.2%	11 7.2%	59 38.6%	63 41.2%	28 18.3%	15 9.8%	55 35.9%	2 1.3%	5 3.3%
無回答	52 -	9 17.3%	8 15.4%	6 11.5%	5 9.6%	10 19.2%	20 38.5%	9 17.3%	1 1.9%	16 30.8%	1 1.9%	8 15.4%

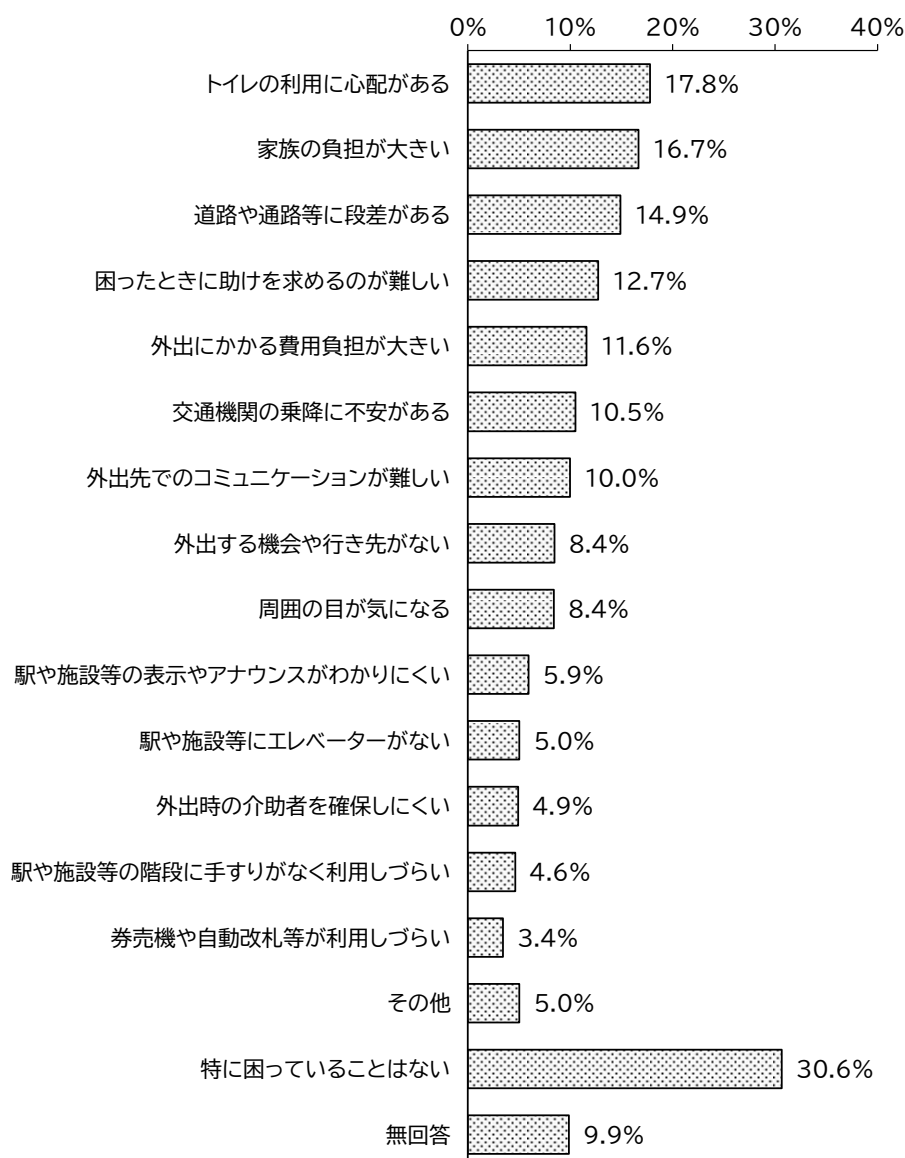
(3) 外出に関して困っていること

問 25 あなたが外出に関して困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「トイレの利用に心配がある」が 17.8%と最も高く、次いで「家族の負担が大きい」が 16.7%、「道路や通路等に段差がある」が 14.9%となっています。「特に困っていることはない」は 30.6%です。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、視覚障がい、肢体不自由の方では「道路や通路に段差がある」の割合が高く、知的障がいの方では「困ったときに助けを求めるのが難しい」の割合が高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	駅や施設等の階段に手すりがない 利用しづらい	駅や施設等にエレベーターがない	駅や施設等の表示やアナウンス がわかりにくい	道路や通路等に段差がある	券売機や自動改札等が 利用しづらい	トイレの利用に心配がある	外出先でのコミュニケーション が難しい	交通機関の乗降に不安がある
全体	1,753	81 4.6%	88 5.0%	104 5.9%	261 14.9%	60 3.4%	312 17.8%	175 10.0%	184 10.5%
身体障がい	1,125	68 6.0%	72 6.4%	75 6.7%	218 19.4%	37 3.3%	224 19.9%	63 5.6%	124 11.0%
視覚障がい	63	7 11.1%	3 4.8%	16 25.4%	24 38.1%	7 11.1%	15 23.8%	4 6.3%	15 23.8%
聴覚・平衡機能障がい	114	8 7.0%	6 5.3%	35 30.7%	19 16.7%	7 6.1%	20 17.5%	29 25.4%	14 12.3%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	38	1 2.6%	3 7.9%	4 10.5%	7 18.4%	2 5.3%	8 21.1%	8 21.1%	3 7.9%
肢体不自由	473	41 8.7%	42 8.9%	19 4.0%	119 25.2%	13 2.7%	131 27.7%	17 3.6%	74 15.6%
内部障がい	306	14 4.6%	20 6.5%	9 2.9%	48 15.7%	11 3.6%	47 15.4%	5 1.6%	18 5.9%
その他	168	6 3.6%	5 3.0%	7 4.2%	19 11.3%	3 1.8%	29 17.3%	5 3.0%	13 7.7%
知的障がい	250	5 2.0%	5 2.0%	20 8.0%	20 8.0%	12 4.8%	48 19.2%	65 26.0%	28 11.2%
精神障がい	296	4 1.4%	8 2.7%	8 2.7%	20 6.8%	9 3.0%	37 12.5%	44 14.9%	24 8.1%
難病	153	7 4.6%	12 7.8%	6 3.9%	29 19.0%	2 1.3%	34 22.2%	6 3.9%	20 13.1%
無回答	52	0 0.0%	0 0.0%	4 7.7%	3 5.8%	4 7.7%	7 13.5%	9 17.3%	6 11.5%

	外出時の介助者を 確保しにくい	家族の負担が大きい	困ったときに助けを 求めるのが難しい	周囲の目が気になる	外出する機会や行き先 がない	外出に大きな費用負担 がかかる	その他	特に困っていること はない	無回答
全体	86 4.9%	292 16.7%	223 12.7%	147 8.4%	148 8.4%	203 11.6%	88 5.0%	537 30.6%	173 9.9%
身体障がい	48 4.3%	170 15.1%	90 8.0%	41 3.6%	81 7.2%	109 9.7%	48 4.3%	340 30.2%	133 11.8%
視覚障がい	7 11.1%	10 15.9%	5 7.9%	3 4.8%	5 7.9%	6 9.5%	2 3.2%	10 15.9%	8 12.7%
聴覚・平衡機能障がい	5 4.4%	18 15.8%	16 14.0%	2 1.8%	9 7.9%	9 7.9%	4 3.5%	29 25.4%	7 6.1%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	3 7.9%	8 21.1%	6 15.8%	1 2.6%	5 13.2%	3 7.9%	3 7.9%	9 23.7%	7 18.4%
肢体不自由	24 5.1%	93 19.7%	40 8.5%	23 4.9%	37 7.8%	47 9.9%	25 5.3%	109 23.0%	54 11.4%
内部障がい	10 3.3%	30 9.8%	18 5.9%	6 2.0%	26 8.5%	38 12.4%	10 3.3%	114 37.3%	36 11.8%
その他	5 3.0%	23 13.7%	8 4.8%	6 3.6%	5 3.0%	14 8.3%	5 3.0%	68 40.5%	27 16.1%
知的障がい	16 6.4%	23 9.2%	76 30.4%	73 29.2%	41 16.4%	35 14.0%	22 8.8%	10 4.0%	56 22.4%
精神障がい	16 5.4%	51 17.2%	53 17.9%	67 22.6%	38 12.8%	68 23.0%	27 9.1%	96 32.4%	15 5.1%
難病	9 5.9%	28 18.3%	21 13.7%	12 7.8%	8 5.2%	16 10.5%	4 2.6%	50 32.7%	10 6.5%
無回答	1 1.9%	10 19.2%	9 17.3%	3 5.8%	3 5.8%	3 5.8%	2 3.8%	13 25.0%	10 19.2%

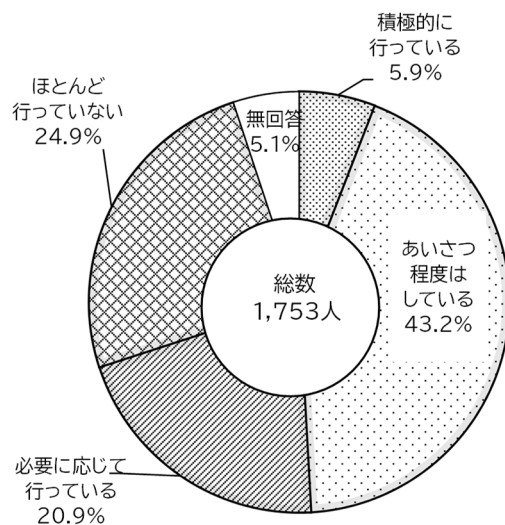
5. 地域活動について

(1) 近所づきあいの程度

問 26 あなたの近所の方とのお付き合いはどの程度ですか。(○はひとつ)

全体では、「あいさつ程度はしている」が 43.2%と最も高く、次いで「ほとんど行なっていない」が 24.9%、「必要に応じて行っている」が 20.9%、「積極的にしている」が 5.9%となっています。

◆全体集計◆



障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がいの方、知的障がいの方、精神障がいの方では「ほとんど行なっていない」の割合が他の障がい、部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	積極的に 行っている	あいさつ 程度はしている	必要に 応じて行っている	ほとんど 行っていない	無回答
全体	1,753 100.0%	103 5.9%	758 43.2%	366 20.9%	437 24.9%	89 5.1%
身体障がい	1,125 100.0%	85 7.6%	461 41.0%	268 23.8%	244 21.7%	67 6.0%
視覚障がい	63 100.0%	4 6.3%	20 31.7%	12 19.0%	18 28.6%	9 14.3%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	4 3.5%	57 50.0%	24 21.1%	20 17.5%	9 7.9%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	38 100.0%	1 2.6%	12 31.6%	8 21.1%	14 36.8%	3 7.9%
肢体不自由	473 100.0%	34 7.2%	183 38.7%	108 22.8%	125 26.4%	23 4.9%
内部障がい	306 100.0%	36 11.8%	130 42.5%	77 25.2%	49 16.0%	14 4.6%
その他	168 100.0%	9 5.4%	70 41.7%	49 29.2%	33 19.6%	7 4.2%
知的障がい	250 100.0%	5 2.0%	110 44.0%	27 10.8%	97 38.8%	11 4.4%
精神障がい	296 100.0%	7 2.4%	140 47.3%	41 13.9%	103 34.8%	5 1.7%
難病	153 100.0%	7 4.6%	75 49.0%	41 26.8%	22 14.4%	8 5.2%
無回答	52 100.0%	5 9.6%	20 38.5%	5 9.6%	13 25.0%	9 17.3%

男女別に見ると、知的障がい、精神障がいで女性より男性の方が「ほとんど行っていない」の割合が高くなっています。

◆男女別集計◆

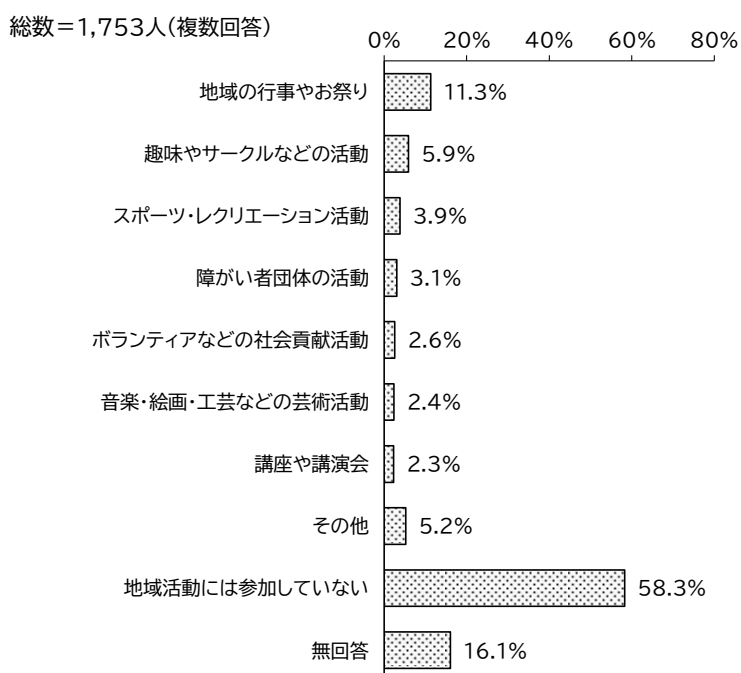
		全体	積極的に 行っている	あいさつ 程度は している	必要に 応じて 行っている	ほとんど 行っていない	無回答
身体障がい	男性	570 100.0%	38 6.7%	246 43.2%	131 23.0%	121 21.2%	34 6.0%
	女性	541 100.0%	45 8.3%	210 38.8%	134 24.8%	120 22.2%	32 5.9%
	回答しない	6 100.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	無回答	8 100.0%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%
知的障がい	男性	148 100.0%	1 0.7%	62 41.9%	18 12.2%	63 42.6%	4 2.7%
	女性	100 100.0%	3 3.0%	48 48.0%	9 9.0%	34 34.0%	6 6.0%
	回答しない	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神障がい	男性	151 100.0%	2 1.3%	72 47.7%	15 9.9%	59 39.1%	3 2.0%
	女性	141 100.0%	5 3.5%	67 47.5%	24 17.0%	43 30.5%	2 1.4%
	回答しない	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	男性	81 100.0%	4 4.9%	44 54.3%	18 22.2%	13 16.0%	2 2.5%
	女性	71 100.0%	2 2.8%	31 43.7%	23 32.4%	9 12.7%	6 8.5%
	回答しない	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(2) 参加している地域活動

問 27 市や公民館、自治会、市民団体などが実施している地域の活動で、あなたが参加しているものをお答えください。(〇はいくつでも)

全体では、「地域の行事やお祭り」が 11.3%と最も高く、次いで「趣味やサークルなどの活動」が 5.9%、「スポーツ・レクリエーション活動」が 3.9%、「障がい者団体の活動」が 3.1%となっています。「地域活動には参加していない」は 58.3%です。

◆全体集計◆



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「障がい者団体の活動」、「地域の行事やお祭り」の割合が他の障がい、部位と比較して高くなっています。精神障がいの方では、「地域活動には参加していない」が7割を超えて、他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	講座や講演会	音楽・絵画・工芸などの芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	障がい者団体の活動	地域の行事やお祭り	ボランティアなどの社会貢献活動	趣味やサークルなどの活動	その他	地域活動には参加していない	無回答
全体	1,753 -	41 2.3%	42 2.4%	68 3.9%	54 3.1%	198 11.3%	45 2.6%	103 5.9%	92 5.2%	1022 58.3%	282 16.1%
身体障がい	1,125 -	33 2.9%	35 3.1%	49 4.4%	25 2.2%	108 9.6%	31 2.8%	73 6.5%	69 6.1%	611 54.3%	223 19.8%
視覚障がい	63 -	3 4.8%	4 6.3%	1 1.6%	5 7.9%	4 6.3%	2 3.2%	4 6.3%	4 6.3%	33 52.4%	15 23.8%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	2 1.8%	1 0.9%	4 3.5%	8 7.0%	11 9.6%	1 0.9%	8 7.0%	6 5.3%	66 57.9%	20 17.5%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	1 2.6%	1 2.6%	3 7.9%	1 2.6%	4 10.5%	1 2.6%	3 7.9%	2 5.3%	19 50.0%	10 26.3%
肢体不自由	473 -	15 3.2%	15 3.2%	9 1.9%	10 2.1%	37 7.8%	12 2.5%	31 6.6%	33 7.0%	279 59.0%	84 17.8%
内部障がい	306 -	8 2.6%	10 3.3%	20 6.5%	3 1.0%	41 13.4%	13 4.2%	21 6.9%	15 4.9%	150 49.0%	61 19.9%
その他	168 -	6 3.6%	6 3.6%	13 7.7%	0.0%	12 7.1%	4 2.4%	8 4.8%	13 7.7%	85 50.6%	38 22.6%
知的障がい	250 -	1 0.4%	5 2.0%	4 1.6%	27 10.8%	49 19.6%	3 1.2%	6 2.4%	7 2.8%	163 65.2%	14 5.6%
精神障がい	296 -	6 2.0%	3 1.0%	10 3.4%	7 2.4%	16 5.4%	6 2.0%	11 3.7%	16 5.4%	217 73.3%	26 8.8%
難病	153 -	5 3.3%	6 3.9%	1 0.7%	3 2.0%	25 16.3%	5 3.3%	12 7.8%	5 3.3%	90 58.8%	21 13.7%
無回答	52 -	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	1 1.9%	9 17.3%	1 1.9%	4 7.7%	1 1.9%	20 38.5%	16 30.8%

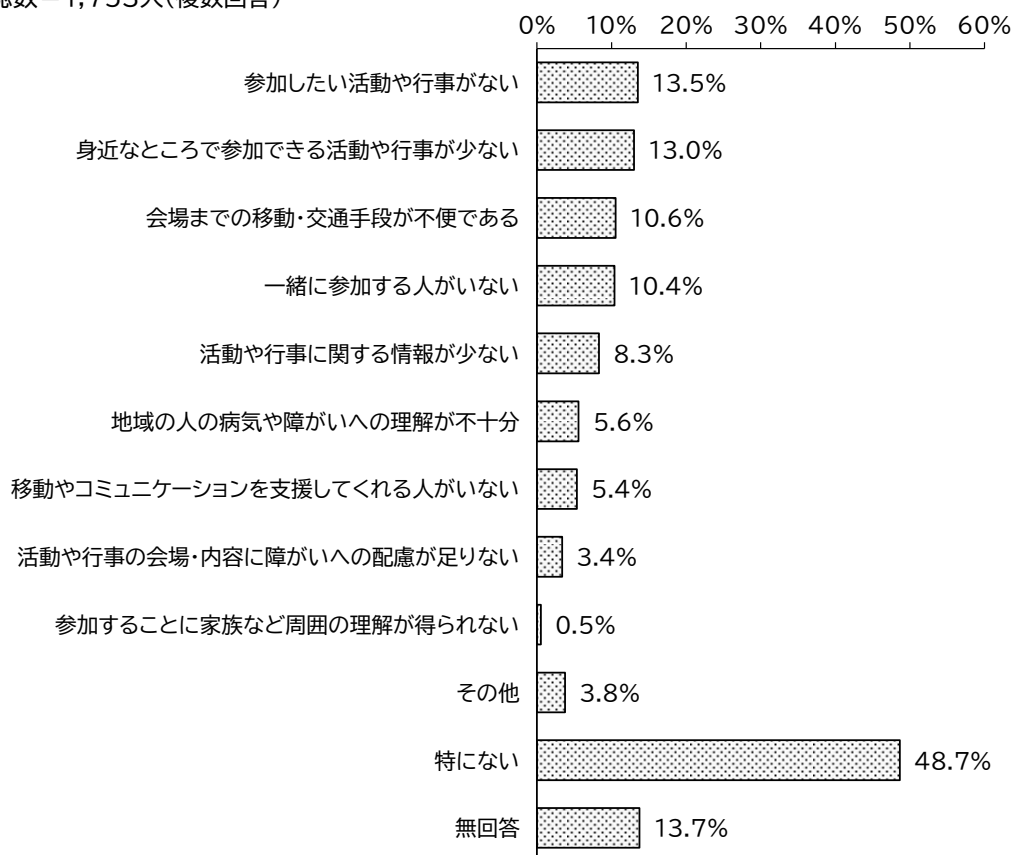
(3) 地域活動に関して困っていること

問 28 あなたには、地域の活動に関して困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「参加したい活動や行事がない」が 13.5%と最も高く、次いで「身近なところで参加できる活動や行事が少ない」が 13.0%、「会場までの移動・交通手段が不便である」が 10.6%、「一緒に参加する人がいない」が 10.4%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「参加したい活動がない」、「身近なところで参加できる活動や行事が少ない」、精神障がいの方で「一緒に参加する人がいない」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	活動や行事に関する情報が少ない	参加したい活動や行事がない	身近なところで参加できる活動や行事が少ない	会場までの移動・交通手段が不便である	支援してくれる人がいない 移動やコミュニケーションを	活動や行事の会場・内容に障がいへの配慮が足りない	参加することに家族など周囲の理解が得られない	一緒に参加する人がいない	地域の人の病気や障がいへの理解が不十分	その他	特にない	無回答
全体	1,753 -	146 8.3%	237 13.5%	228 13.0%	185 10.6%	94 5.4%	59 3.4%	9 0.5%	182 10.4%	98 5.6%	66 3.8%	853 48.7%	241 13.7%
身体障がい	1,125 -	82 7.3%	127 11.3%	133 11.8%	126 11.2%	41 3.6%	38 3.4%	5 0.4%	96 8.5%	42 3.7%	43 3.8%	562 50.0%	179 15.9%
視覚障がい	63 -	8 12.7%	6 9.5%	8 12.7%	11 17.5%	5 7.9%	5 7.9%	1 1.6%	5 7.9%	3 4.8%	0 0.0%	27 42.9%	13 20.6%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	6 5.3%	14 12.3%	11 9.6%	12 10.5%	7 6.1%	8 7.0%	1 0.9%	14 12.3%	7 6.1%	6 5.3%	51 44.7%	20 17.5%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	3 7.9%	4 10.5%	7 18.4%	5 13.2%	1 2.6%	1 2.6%	0 0.0%	4 10.5%	2 5.3%	3 7.9%	15 39.5%	5 13.2%
肢体不自由	473 -	33 7.0%	59 12.5%	58 12.3%	62 13.1%	19 4.0%	18 3.8%	2 0.4%	38 8.0%	20 4.2%	22 4.7%	226 47.8%	70 14.8%
内部障がい	306 -	30 9.8%	37 12.1%	41 13.4%	33 10.8%	12 3.9%	8 2.6%	0 0.0%	28 9.2%	9 2.9%	9 2.9%	161 52.6%	43 14.1%
その他	168 -	7 4.2%	17 10.1%	16 9.5%	19 11.3%	2 1.2%	3 1.8%	1 0.6%	13 7.7%	6 3.6%	8 4.8%	91 54.2%	26 15.5%
知的障がい	250 -	30 12.0%	55 22.0%	50 20.0%	27 10.8%	26 10.4%	13 5.2%	1 0.4%	27 10.8%	26 10.4%	7 2.8%	103 41.2%	23 9.2%
精神障がい	296 -	34 11.5%	64 21.6%	48 16.2%	31 10.5%	25 8.4%	8 2.7%	2 0.7%	53 17.9%	29 9.8%	13 4.4%	133 44.9%	22 7.4%
難病	153 -	15 9.8%	14 9.2%	17 11.1%	13 8.5%	5 3.3%	6 3.9%	0 0.0%	9 5.9%	9 5.9%	2 1.3%	86 56.2%	23 15.0%
無回答	52 -	2 3.8%	4 7.7%	8 15.4%	4 7.7%	5 9.6%	2 3.8%	1 1.9%	8 15.4%	3 5.8%	2 3.8%	17 32.7%	13 25.0%

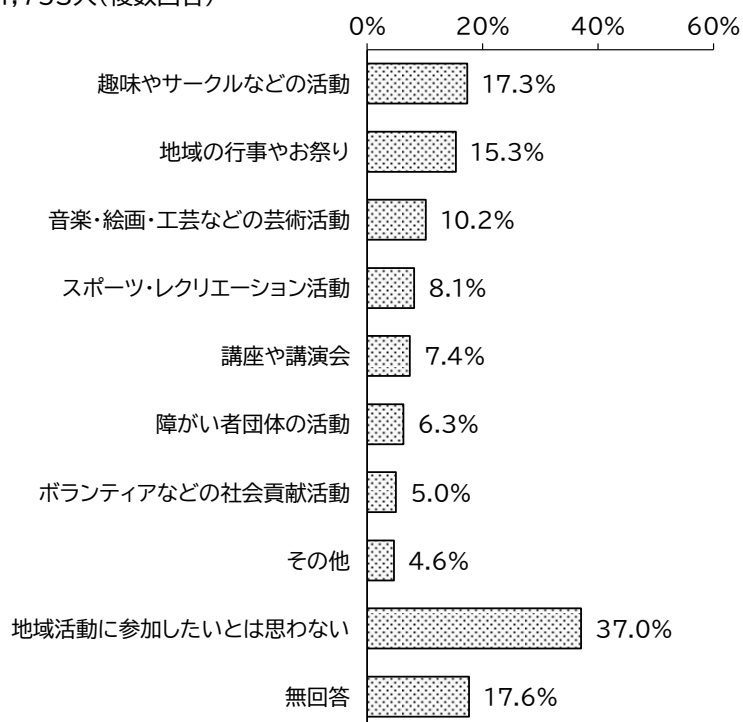
(4) 参加したい地域活動

問29 あなたは今後、どのような地域の活動に参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「趣味やサークルなどの活動」が17.3%と最も高く、次いで「地域の行事やお祭り」が15.3%、「音楽・絵画・工芸などの芸術活動」が10.2%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「地域の行事やお祭り」、内部障がい、精神障がい、難病の方で「趣味やサークルなどの活動」の割合が他の障がい、部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	講座や講演会	音楽・絵画・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	障がい者団体の活動	地域の行事やお祭り	ボランティアなどの社会貢献活動	趣味やサークルなどの活動	その他	地域活動に参加したいとは	無回答
全体	1,753	129	178	142	110	269	87	304	81	649	309
	-	7.4%	10.2%	8.1%	6.3%	15.3%	5.0%	17.3%	4.6%	37.0%	17.6%
身体障がい	1,125	93	91	71	51	139	60	194	58	408	232
	-	8.3%	8.1%	6.3%	4.5%	12.4%	5.3%	17.2%	5.2%	36.3%	20.6%
視覚障がい	63	5	8	5	7	7	3	6	2	22	19
	-	7.9%	12.7%	7.9%	11.1%	11.1%	4.8%	9.5%	3.2%	34.9%	30.2%
聴覚・平衡機能障がい	114	4	5	7	11	17	5	22	7	43	22
	-	3.5%	4.4%	6.1%	9.6%	14.9%	4.4%	19.3%	6.1%	37.7%	19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38	1	3	2	3	4	2	7	1	11	11
	-	2.6%	7.9%	5.3%	7.9%	10.5%	5.3%	18.4%	2.6%	28.9%	28.9%
肢体不自由	473	40	40	24	25	55	25	79	24	179	94
	-	8.5%	8.5%	5.1%	5.3%	11.6%	5.3%	16.7%	5.1%	37.8%	19.9%
内部障がい	306	34	26	23	9	45	18	69	16	99	53
	-	11.1%	8.5%	7.5%	2.9%	14.7%	5.9%	22.5%	5.2%	32.4%	17.3%
その他	168	12	11	12	2	16	6	15	13	66	38
	-	7.1%	6.5%	7.1%	1.2%	9.5%	3.6%	8.9%	7.7%	39.3%	22.6%
知的障がい	250	7	36	35	45	81	9	34	10	83	24
	-	2.8%	14.4%	14.0%	18.0%	32.4%	3.6%	13.6%	4.0%	33.2%	9.6%
精神障がい	296	18	42	27	18	34	16	60	8	138	30
	-	6.1%	14.2%	9.1%	6.1%	11.5%	5.4%	20.3%	2.7%	46.6%	10.1%
難病	153	12	21	10	6	25	7	31	7	61	22
	-	7.8%	13.7%	6.5%	3.9%	16.3%	4.6%	20.3%	4.6%	39.9%	14.4%
無回答	52	4	4	10	1	9	3	6	3	9	18
	-	7.7%	7.7%	19.2%	1.9%	17.3%	5.8%	11.5%	5.8%	17.3%	34.6%

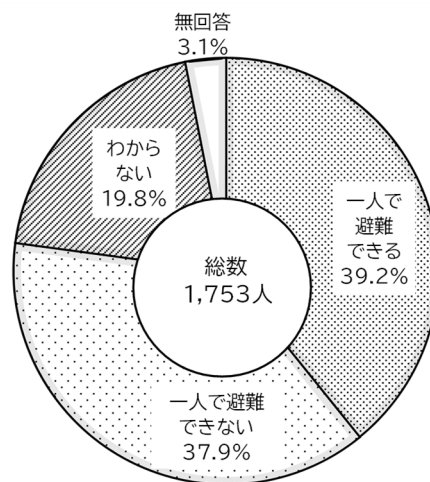
6. 災害について

(1) 災害時一人で避難できるか

問 30 日中や夜間に地震などの災害が起きた場合、あなたは一人で避難できますか。(○はひとつ)

全体では、「一人で避難できる」が39.2%、「一人で避難できない」が37.9%、「わからない」が19.8%となっています。

障がい別・部位別に見ると、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由、知的障がいの方で「一人で避難できない」の割合が5割を超え高くなっています。



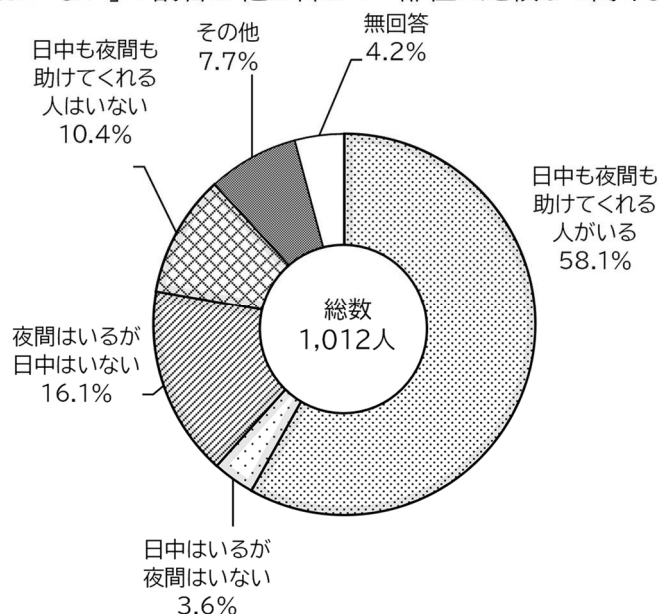
	全体	一人で避難できる	一人で避難できない	わからない	無回答
全体	1,753 100.0%	687 39.2%	665 37.9%	347 19.8%	54 3.1%
身体障がい	1,125 100.0%	443 39.4%	446 39.6%	200 17.8%	36 3.2%
視覚障がい	63 100.0%	14 22.2%	36 57.1%	6 9.5%	7 11.1%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	41 36.0%	45 39.5%	27 23.7%	1 0.9%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	10 26.3%	19 50.0%	6 15.8%	3 7.9%
肢体不自由	473 100.0%	120 25.4%	264 55.8%	77 16.3%	12 2.5%
内部障がい	306 100.0%	165 53.9%	75 24.5%	56 18.3%	10 3.3%
その他	168 100.0%	89 53.0%	47 28.0%	27 16.1%	5 3.0%
知的障がい	250 100.0%	43 17.2%	160 64.0%	42 16.8%	5 2.0%
精神障がい	296 100.0%	134 45.3%	70 23.6%	89 30.1%	3 1.0%
難病	153 100.0%	79 51.6%	46 30.1%	23 15.0%	5 3.3%
無回答	52 100.0%	12 23.1%	19 36.5%	12 23.1%	9 17.3%

(2) 日中や夜間に避難を助けてくれる人がいるか

問31 問30で「2.一人で避難できない」「3.わからない」と答えた方にお聞きします。あなたには、日中や夜間に避難を助けてくれる人がいますか。(○はひとつ)

全体では、「日中も夜間も助けてくれる人がいる」が58.1%と最も高く、次いで「夜間はあるが日中にはない」が16.1%、「日中も夜間も助けてくれる人はいない」が10.4%、「日中にはいるが夜間はいない」が3.6%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方では、「日中も夜間も助けてくれる人がいる」、精神障がいの方では、「夜間はあるが日中にはない」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。



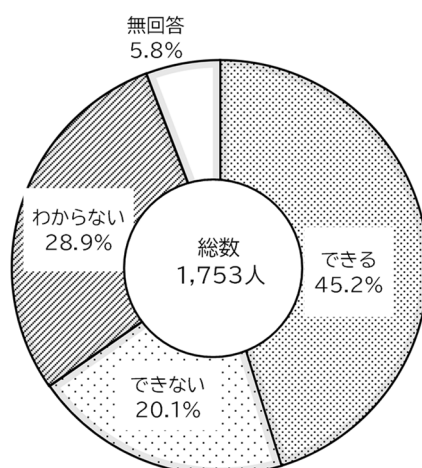
	全体	日中も夜間も助けてくれる人がいる	日中にはいるが夜間はない	夜間はあるが日中にはない	日中も夜間も助けてくれる人はいない	その他	無回答
全体	1,012 100.0%	588 58.1%	36 3.6%	163 16.1%	105 10.4%	78 7.7%	42 4.2%
身体障がい	646 100.0%	365 56.5%	21 3.3%	112 17.3%	67 10.4%	51 7.9%	30 4.6%
視覚障がい	42 100.0%	22 52.4%	4 9.5%	7 16.7%	4 9.5%	2 4.8%	3 7.1%
聴覚・平衡機能障がい	72 100.0%	33 45.8%	2 2.8%	12 16.7%	12 16.7%	8 11.1%	5 6.9%
音声・言語・そしゃく機能障がい	25 100.0%	13 52.0%	1 4.0%	3 12.0%	4 16.0%	1 4.0%	3 12.0%
肢体不自由	341 100.0%	209 61.3%	6 1.8%	57 16.7%	31 9.1%	23 6.7%	15 4.4%
内部障がい	131 100.0%	69 52.7%	6 4.6%	24 18.3%	12 9.2%	14 10.7%	6 4.6%
その他	74 100.0%	41 55.4%	2 2.7%	12 16.2%	9 12.2%	7 9.5%	3 4.1%
知的障がい	202 100.0%	158 78.2%	7 3.5%	13 6.4%	7 3.5%	11 5.4%	6 3.0%
精神障がい	159 100.0%	72 45.3%	7 4.4%	33 20.8%	28 17.6%	14 8.8%	5 3.1%
難病	69 100.0%	38 55.1%	3 4.3%	13 18.8%	7 10.1%	5 7.2%	3 4.3%
無回答	31 100.0%	22 71.0%	1 3.2%	3 9.7%	2 6.5%	2 6.5%	1 3.2%

(3) 災害時周囲に助けを求めることができるか

問 32 地震などの災害が起きた場合、あなたは周囲に助けを求めることができますか。(○はひとつ)

全体では、「できる」が45.2%、「できない」が20.1%、「わからない」が28.9%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方で「できない」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。



	全体	できる	できない	わからない	無回答
全体	1,753 100.0%	793 45.2%	352 20.1%	507 28.9%	101 5.8%
身体障がい	1,125 100.0%	539 47.9%	190 16.9%	314 27.9%	82 7.3%
視覚障がい	63 100.0%	26 41.3%	10 15.9%	19 30.2%	8 12.7%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	39 34.2%	18 15.8%	49 43.0%	8 7.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	11 28.9%	10 26.3%	11 28.9%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	198 41.9%	113 23.9%	133 28.1%	29 6.1%
内部障がい	306 100.0%	170 55.6%	31 10.1%	84 27.5%	21 6.9%
その他	168 100.0%	96 57.1%	21 12.5%	36 21.4%	15 8.9%
知的障がい	250 100.0%	64 25.6%	118 47.2%	65 26.0%	3 1.2%
精神障がい	296 100.0%	125 42.2%	56 18.9%	108 36.5%	7 2.4%
難病	153 100.0%	86 56.2%	22 14.4%	38 24.8%	7 4.6%
無回答	52 100.0%	16 30.8%	14 26.9%	14 26.9%	8 15.4%

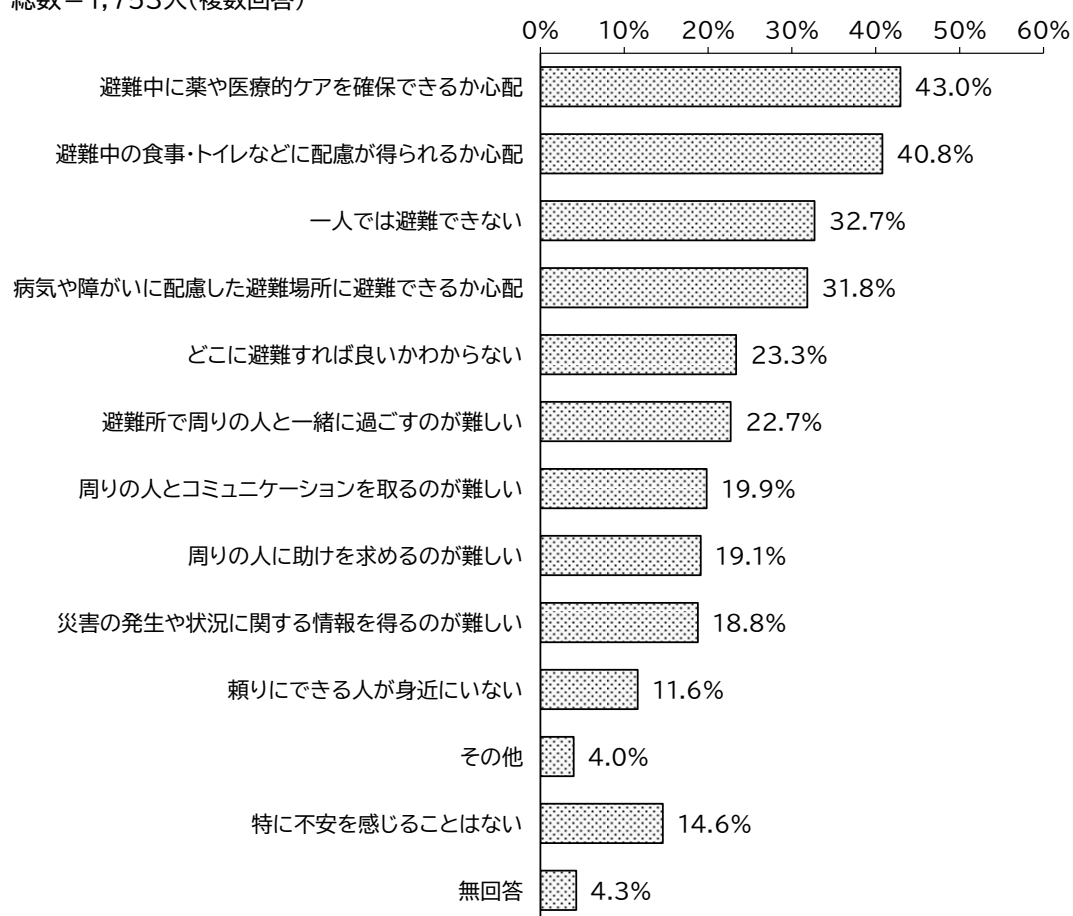
(4) 災害時不安を感じること

問 33 地震などの災害が起きた場合、あなたはどのようなことに不安を感じますか。(〇は
いくつでも)

全体では、「避難中に薬や医療的ケアを確保できるか心配」が 43.0%と最も高く、次いで「避難中の食事・トイレなどの配慮が得られるか心配」が 40.8%、「一人では避難できない」が 32.7%、「病気や障がいに配慮した避難場所に避難できるか心配」が 31.8%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、視覚障がい、知的障がいの方では「一人では避難できない」、肢体不自由の方では「避難中の食事・トイレなどに配慮が得られるか心配」、音声・言語・そしゃく機能障がい、内部障がい、難病の方では「避難中に薬や医療的ケアを確保できるか心配」が5割を超え高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	災害の発生や状況に関する情報を得るのが難しい	周りの人に助けを求めるのが難しい	頼りにできる人が身近にいない	一人では避難できない	どこに避難すれば良いかわからない	病気や障がいに配慮した避難場所に	避難中の食事・トイレなどに配慮が得られるか心配	避難中に薬や医療的ケアを確保できるか心配	避難所で周りの人と一緒に過ごすのが難しい	周りの人とコミュニケーションをとるのが難しい	その他	特に不安を感じることはない	無回答
全体	1,753	329	335	204	573	409	558	715	753	398	348	70	256	75
	-	18.8%	19.1%	11.6%	32.7%	23.3%	31.8%	40.8%	43.0%	22.7%	19.9%	4.0%	14.6%	4.3%
身体障がい	1,125	191	166	118	356	227	383	485	499	197	143	46	176	60
	-	17.0%	14.8%	10.5%	31.6%	20.2%	34.0%	43.1%	44.4%	17.5%	12.7%	4.1%	15.6%	5.3%
視覚障がい	63	13	14	11	32	19	22	30	31	15	15	3	5	5
	-	20.6%	22.2%	17.5%	50.8%	30.2%	34.9%	47.6%	49.2%	23.8%	23.8%	4.8%	7.9%	7.9%
聴覚・平衡機能障がい	114	47	27	16	30	29	34	33	27	21	40	3	16	6
	-	41.2%	23.7%	14.0%	26.3%	25.4%	29.8%	28.9%	23.7%	18.4%	35.1%	2.6%	14.0%	5.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38	9	5	3	19	4	13	18	22	11	12	0	5	4
	-	23.7%	13.2%	7.9%	50.0%	10.5%	34.2%	47.4%	57.9%	28.9%	31.6%	0.0%	13.2%	10.5%
肢体不自由	473	68	86	59	217	94	185	238	191	106	55	18	74	17
	-	14.4%	18.2%	12.5%	45.9%	19.9%	39.1%	50.3%	40.4%	22.4%	11.6%	3.8%	15.6%	3.6%
内部障がい	306	50	33	32	59	64	109	126	169	39	21	13	42	18
	-	16.3%	10.8%	10.5%	19.3%	20.9%	35.6%	41.2%	55.2%	12.7%	6.9%	4.2%	13.7%	5.9%
その他	168	15	17	10	40	24	54	63	87	25	16	9	34	7
	-	8.9%	10.1%	6.0%	23.8%	14.3%	32.1%	37.5%	51.8%	14.9%	9.5%	5.4%	20.2%	4.2%
知的障がい	250	88	102	19	153	104	90	111	78	104	116	5	20	6
	-	35.2%	40.8%	7.6%	61.2%	41.6%	36.0%	44.4%	31.2%	41.6%	46.4%	2.0%	8.0%	2.4%
精神障がい	296	40	73	62	74	74	81	96	142	101	101	16	35	8
	-	13.5%	24.7%	20.9%	25.0%	25.0%	27.4%	32.4%	48.0%	34.1%	34.1%	5.4%	11.8%	2.7%
難病	153	26	21	15	41	31	50	64	83	27	14	5	26	6
	-	17.0%	13.7%	9.8%	26.8%	20.3%	32.7%	41.8%	54.2%	17.6%	9.2%	3.3%	17.0%	3.9%
無回答	52	12	12	6	17	15	12	19	12	11	10	1	6	5
	-	23.1%	23.1%	11.5%	32.7%	28.8%	23.1%	36.5%	23.1%	21.2%	19.2%	1.9%	11.5%	9.6%

避難を助けてくれる人別に見ると、日中も夜間も助けてくれる人はいない方で「周りの人に助けを求めるのが難しい」、「頼りにできる人が身近にいない」の割合が他と比較してやや高くなっています。

◆避難を助けてくれる人の有無別集計◆

	全体	災害の発生や状況に関する情報を得るのが難しい	周りの人に助けを求めるのが難しい	頼りにできる人が身近にいない	一人では避難できない	どこに避難すれば良いかわからない	病気や障がい配慮した避難場所に	避難中の食事・トイレなどに配慮が得られないか心配	避難中に薬や医療的ケアを確保できるか心配	避難所で周りの人と一緒に過ごすのが難しい	周りの人とコミュニケーションを取るのが難しい	その他	特に不安を感じることがない	無回答	
全体	1,012	329	335	204	573	409	558	715	753	398	348	70	256	75	
	-	32.5%	33.1%	20.2%	56.6%	40.4%	55.1%	70.7%	74.4%	39.3%	34.4%	6.9%	25.3%	7.4%	
避難を助けてくれる人の有無	夜間も助けてくれる人がある	588	129	134	31	356	179	242	284	262	188	156	23	44	15
		-	21.9%	22.8%	5.3%	60.5%	30.4%	41.2%	48.3%	44.6%	32.0%	26.5%	3.9%	7.5%	2.6%
	日中はいるが夜間はいない	36	13	13	7	19	18	13	17	18	14	10	1	1	1
		-	36.1%	36.1%	19.4%	52.8%	50.0%	36.1%	47.2%	50.0%	38.9%	27.8%	2.8%	2.8%	2.8%
	夜間はいるが日中はいない	163	35	53	28	83	47	66	79	93	49	39	3	4	4
		-	21.5%	32.5%	17.2%	50.9%	28.8%	40.5%	48.5%	57.1%	30.1%	23.9%	1.8%	2.5%	2.5%
	日中も夜間も助けてくれる人はいない	105	24	45	45	45	36	50	50	47	35	30	5	6	5
	-	22.9%	42.9%	42.9%	42.9%	34.3%	47.6%	47.6%	44.8%	33.3%	28.6%	4.8%	5.7%	4.8%	
その他	78	19	22	10	34	20	35	38	30	21	20	12	5	0	
	-	24.4%	28.2%	12.8%	43.6%	25.6%	44.9%	48.7%	38.5%	26.9%	25.6%	15.4%	6.4%	0.0%	
無回答	42	6	9	6	13	17	14	18	17	11	10	4	4	5	
	-	14.3%	21.4%	14.3%	31.0%	40.5%	33.3%	42.9%	40.5%	26.2%	23.8%	0.0%	9.5%	11.9%	

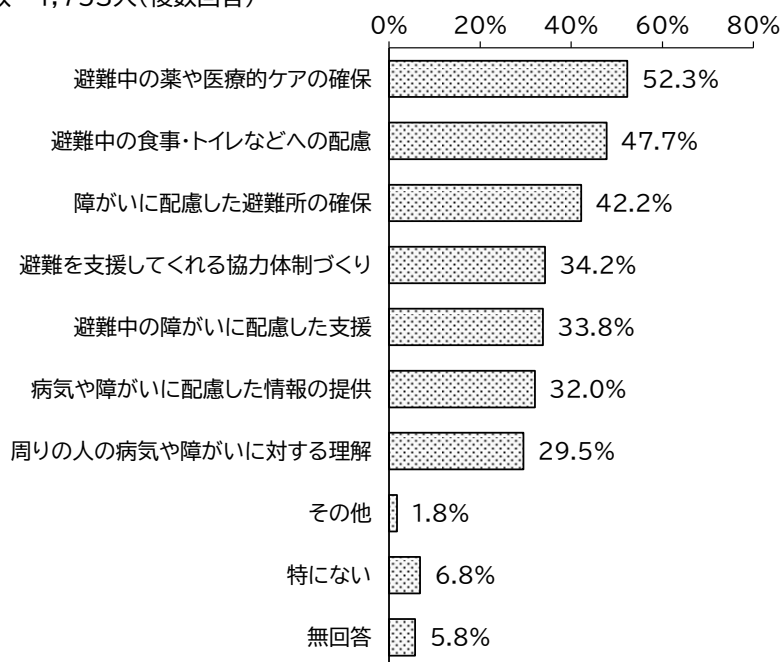
(5) 力を入れるべき災害対策

問 34 あなたは地震などの災害に備えて、どのような対策に力を入れることが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「避難中の薬や医療的ケアの確保」が 52.3%と最も高く、次いで「避難中の食事・トイレなどへの心配」が 47.7%、「障がいに配慮した避難所の確保」が 42.2%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、内部障がい、精神障がい、難病の方では「避難中の薬や医療的ケアの確保」、肢体不自由、知的障がい、難病の方では「避難中の食事・トイレなどへの配慮」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	病気や障がいに配慮した	避難協力を支援してくれる	障がい避難所の確保した	避難配慮した支援に	避難中の食事・トイレ	避難中の薬や医療的ケア	周りの人の病気や障がいに	その他	特になし	無回答
全体	1,753 -	561 32.0%	600 34.2%	740 42.2%	593 33.8%	837 47.7%	917 52.3%	517 29.5%	31 1.8%	120 6.8%	101 5.8%
身体障がい	1,125 -	338 30.0%	378 33.6%	472 42.0%	373 33.2%	543 48.3%	611 54.3%	253 22.5%	16 1.4%	76 6.8%	75 6.7%
視覚障がい	63 -	19 30.2%	23 36.5%	28 44.4%	26 41.3%	30 47.6%	29 46.0%	16 25.4%	2 3.2%	4 6.3%	6 9.5%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	52 45.6%	36 31.6%	51 44.7%	41 36.0%	42 36.8%	47 41.2%	31 27.2%	2 1.8%	10 8.8%	10 8.8%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	12 31.6%	10 26.3%	20 52.6%	14 36.8%	19 50.0%	19 50.0%	9 23.7%	0 0.0%	3 7.9%	4 10.5%
肢体不自由	473 -	130 27.5%	183 38.7%	235 49.7%	193 40.8%	254 53.7%	238 50.3%	111 23.5%	4 0.8%	38 8.0%	22 4.7%
内部障がい	306 -	100 32.7%	99 32.4%	117 38.2%	95 31.0%	146 47.7%	206 67.3%	69 22.5%	4 1.3%	17 5.6%	18 5.9%
その他	168 -	44 26.2%	49 29.2%	59 35.1%	43 25.6%	80 47.6%	103 61.3%	27 16.1%	7 4.2%	8 4.8%	11 6.5%
知的障がい	250 -	102 40.8%	118 47.2%	140 56.0%	124 49.6%	133 53.2%	102 40.8%	128 51.2%	4 1.6%	12 4.8%	7 2.8%
精神障がい	296 -	96 32.4%	89 30.1%	111 37.5%	83 28.0%	120 40.5%	165 55.7%	122 41.2%	11 3.7%	27 9.1%	10 3.4%
難病	153 -	60 39.2%	58 37.9%	68 44.4%	59 38.6%	92 60.1%	100 65.4%	52 34.0%	2 1.3%	3 2.0%	8 5.2%
無回答	52 -	16 30.8%	19 36.5%	21 40.4%	15 28.8%	23 44.2%	14 26.9%	15 28.8%	0 0.0%	3 5.8%	8 15.4%

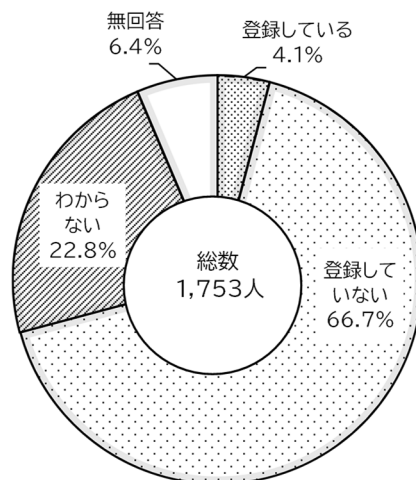
(6) 要援護者見守り支援事業の登録・個別避難計画の作成

問 35 久喜市では、災害時の避難に手助けが必要な方をあらかじめ要援護者見守り支援事業に登録するとともに、同意が得られた要援護者ごとに個別避難計画(個別避難プラン)を作成し地域で助け合う取り組み行っています。あなたは、要援護者見守り支援事業に登録していますか。また、個別避難計画を作成したいですか。(それぞれ〇はひとつ)

① 要援護者見守り支援事業

全体では、「登録している」が 4.1%、「登録していない」が 66.7%、「わからない」が 22.8%となっています。

障がい別・部位別に見ると、肢体不自由、知的障がいの方で「登録している」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

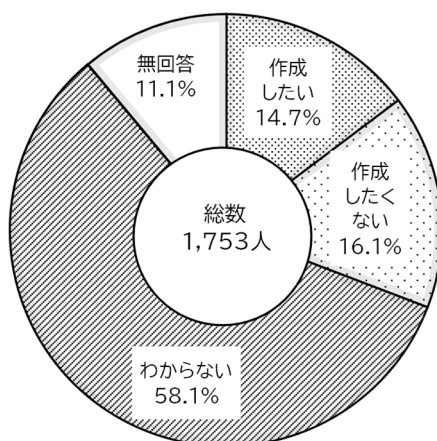


	全体	登録している	登録していない	わからない	無回答
全体	1,753	72	1,170	399	112
	100.0%	4.1%	66.7%	22.8%	6.4%
身体障がい	1,125	55	734	251	85
	100.0%	4.9%	65.2%	22.3%	7.6%
視覚障がい	63	2	38	15	8
	100.0%	3.2%	60.3%	23.8%	12.7%
聴覚・平衡機能障がい	114	3	65	35	11
	100.0%	2.6%	57.0%	30.7%	9.6%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38	0	19	12	7
	100.0%	0.0%	50.0%	31.6%	18.4%
肢体不自由	473	33	302	113	25
	100.0%	7.0%	63.8%	23.9%	5.3%
内部障がい	306	15	208	61	22
	100.0%	4.9%	68.0%	19.9%	7.2%
その他	168	5	118	33	12
	100.0%	3.0%	70.2%	19.6%	7.1%
知的障がい	250	19	158	69	4
	100.0%	7.6%	63.2%	27.6%	1.6%
精神障がい	296	3	215	70	8
	100.0%	1.0%	72.6%	23.6%	2.7%
難病	153	8	111	26	8
	100.0%	5.2%	72.5%	17.0%	5.2%
無回答	52	1	27	13	11
	100.0%	1.9%	51.9%	25.0%	21.2%

② 個別避難計画

全体では、「作成したい」が 14.7%、「作成したくない」が 16.1%、「わからない」が 58.1%となっています。

障がい別・部位別に見ると、身体障がい、知的障がいの方で「作成したい」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。



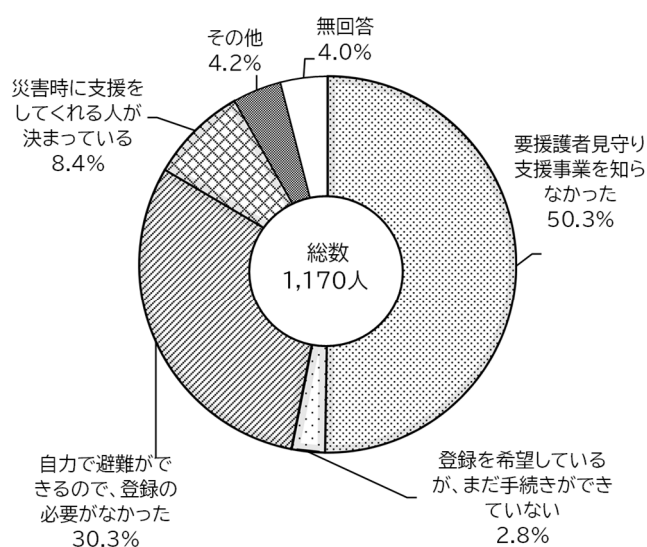
	全体	作成したい	作成したくない	わからない	無回答
全体	1,753 100.0%	258 14.7%	282 16.1%	1019 58.1%	194 11.1%
身体障がい	1,125 100.0%	177 15.7%	152 13.5%	639 56.8%	157 14.0%
視覚障がい	63 100.0%	13 20.6%	5 7.9%	34 54.0%	11 17.5%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	12 10.5%	17 14.9%	70 61.4%	15 13.2%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	9 23.7%	1 2.6%	19 50.0%	9 23.7%
肢体不自由	473 100.0%	77 16.3%	62 13.1%	277 58.6%	57 12.1%
内部障がい	306 100.0%	55 18.0%	45 14.7%	171 55.9%	35 11.4%
その他	168 100.0%	22 13.1%	22 13.1%	95 56.5%	29 17.3%
知的障がい	250 100.0%	42 16.8%	24 9.6%	170 68.0%	14 5.6%
精神障がい	296 100.0%	31 10.5%	79 26.7%	174 58.8%	12 4.1%
難病	153 100.0%	26 17.0%	33 21.6%	83 54.2%	11 7.2%
無回答	52 100.0%	4 7.7%	7 13.5%	30 57.7%	11 21.2%

(7) 要援護者見守り支援事業に登録していない理由

問 36 問 35 で要援護者見守り支援事業に「2. 登録していない」と答えた方にお聞きします。あなたが登録していない理由は何でしょうか。(○はひとつ)

全体では、「要援護者見守り支援事業を知らなかった」が 50.3%と最も高く、次いで「自力で避難ができるので、登録の必要がなかった」が 30.3%、「災害時に支援をしてくれる人が決まっている」が 8.4%、「登録を希望しているが、まだ手続きができていない」が 2.8%となっています。

◆全体集計◆



障がい別・部位別に見ると、知的障がい、精神障がいの方で「要援護者見守り支援事業を知らなかった」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	要援護者見守り支援事業を知らなかった	登録を希望しているが、まだ手続きができていない	自力で避難ができるので、登録の必要がなかった	災害時に支援をしてくれる人が決まっている	その他	無回答
全体	1,170 100.0%	588 50.3%	33 2.8%	355 30.3%	98 8.4%	49 4.2%	47 4.0%
身体障がい	734 100.0%	349 47.5%	22 3.0%	235 32.0%	66 9.0%	28 3.8%	34 4.6%
視覚障がい	38 100.0%	17 44.7%	2 5.3%	8 21.1%	5 13.2%	2 5.3%	4 10.5%
聴覚・平衡機能障がい	65 100.0%	28 43.1%	4 6.2%	24 36.9%	6 9.2%	1 1.5%	2 3.1%
音声・言語・そしゃく機能障がい	19 100.0%	9 47.4%	2 10.5%	6 31.6%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%
肢体不自由	302 100.0%	160 53.0%	11 3.6%	72 23.8%	37 12.3%	13 4.3%	9 3.0%
内部障がい	208 100.0%	98 47.1%	1 0.5%	75 36.1%	14 6.7%	7 3.4%	13 6.3%
その他	118 100.0%	51 43.2%	3 2.5%	47 39.8%	7 5.9%	6 5.1%	4 3.4%
知的障がい	158 100.0%	97 61.4%	7 4.4%	14 8.9%	22 13.9%	11 7.0%	7 4.4%
精神障がい	215 100.0%	129 60.0%	4 1.9%	56 26.0%	14 6.5%	8 3.7%	4 1.9%
難病	111 100.0%	39 35.1%	5 4.5%	52 46.8%	10 9.0%	4 3.6%	1 0.9%
無回答	27 100.0%	15 55.6%	1 3.7%	7 25.9%	1 3.7%	0 0.0%	3 11.1%

障がいを助けてくれる人別に見ると、日中はいるが夜間はいない、夜間はいるが日中はいない、日中も夜間もいないと回答した方で「要援護者見守り支援事業を知らなかった」の割合が 7 割を超え、他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆避難を助けてくれる人の有無別◆

	全体	要援護者見守り支援事業を知らなかった	登録を希望しているが、まだ手続きができていない	自力で避難が必要なかつた、登録の	災害時に決まってる支援をしてくれる人が	その他	無回答	
全体	1,170 100.0%	588 50.3%	33 2.8%	355 30.3%	98 8.4%	49 4.2%	47 4.0%	
避難を助けてくれる人の有無	夜間も助けてくれる人がいる	359 100.0%	202 56.3%	11 3.1%	20 5.6%	80 22.3%	29 8.1%	17 4.7%
	日中はいるが夜間はいない	21 100.0%	15 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	4 19.0%
	夜間はいるが日中はいない	112 100.0%	82 73.2%	4 3.6%	9 8.0%	7 6.3%	5 4.5%	5 4.5%
	日中も夜間も助けてくれる人はいない	66 100.0%	49 74.2%	4 6.1%	8 12.1%	0 0.0%	2 3.0%	3 4.5%
	その他	41 100.0%	28 68.3%	2 4.9%	6 14.6%	2 4.9%	3 7.3%	0 0.0%
	無回答	16 100.0%	9 56.3%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%

7. 情報提供について

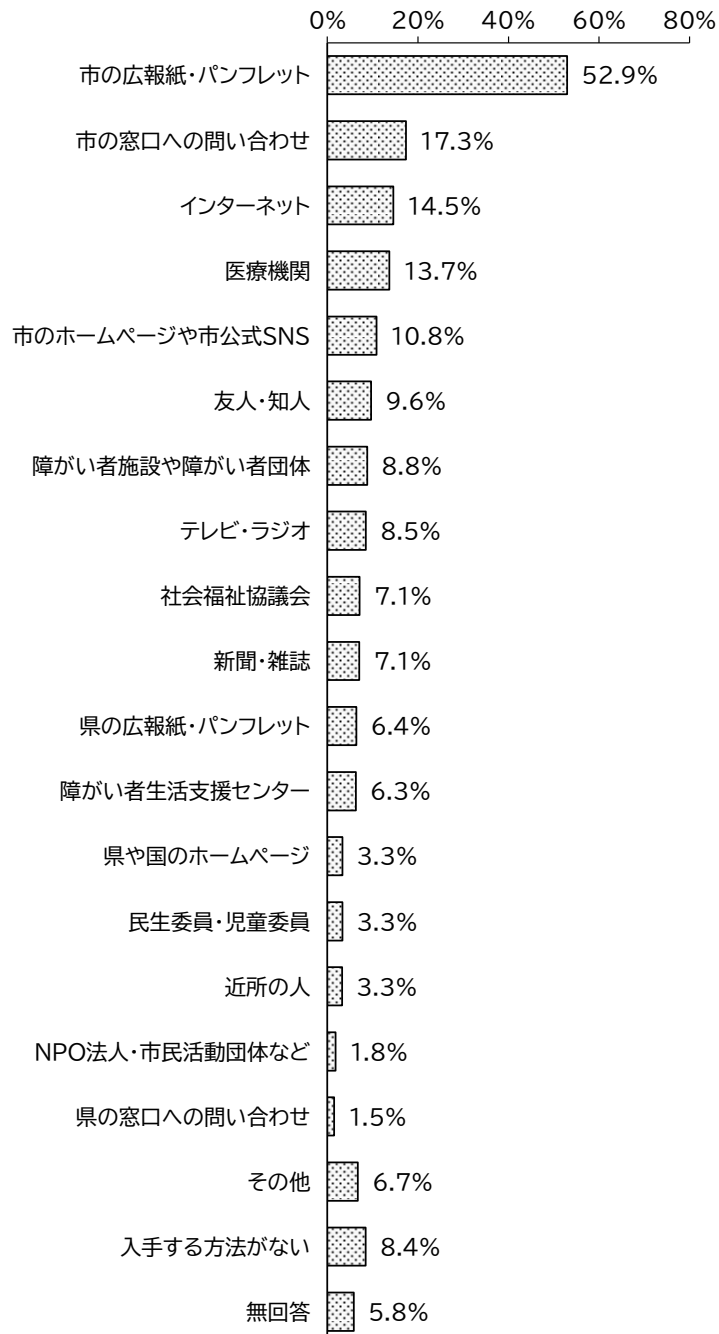
(1) 福祉情報の入手先

問 37 あなたは福祉サービスなどの情報を主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

全体では、「市の広報紙・パンフレット」が 52.9%と最も高く、次いで「市の窓口への問い合わせ」が 17.3%、「インターネット」が 14.5%、「医療機関」が 13.7%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、聴覚・平衡機能障がい、内部障がいの方で「市の広報紙・パンフレット」、知的障がいの方で「障がい者施設や障がい者団体」、「障がい者生活支援センター」、精神障がい、難病の方で「インターネット」、「医療機関」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	市の広報紙・パンフレット	市の窓口への問い合わせ	市の公式SNS 市のホームページ	県の広報紙・パンフレット	県の窓口への問い合わせ	県や国のホームページ	インターネット	医療機関	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌
全体	1,753 -	928 52.9%	304 17.3%	190 10.8%	112 6.4%	26 1.5%	58 3.3%	255 14.5%	240 13.7%	149 8.5%	124 7.1%
身体障がい	1,125 -	648 57.6%	186 16.5%	106 9.4%	76 6.8%	9 0.8%	26 2.3%	117 10.4%	138 12.3%	100 8.9%	88 7.8%
視覚障がい	63 -	31 49.2%	13 20.6%	5 7.9%	4 6.3%	2 3.2%	0 0.0%	7 11.1%	7 11.1%	8 12.7%	3 4.8%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	69 60.5%	18 15.8%	15 13.2%	4 3.5%	0 0.0%	2 1.8%	13 11.4%	8 7.0%	11 9.6%	8 7.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	19 50.0%	4 10.5%	3 7.9%	2 5.3%	1 2.6%	0 0.0%	2 5.3%	7 18.4%	4 10.5%	3 7.9%
肢体不自由	473 -	260 55.0%	72 15.2%	44 9.3%	35 7.4%	7 1.5%	12 2.5%	49 10.4%	54 11.4%	45 9.5%	43 9.1%
内部障がい	306 -	196 64.1%	54 17.6%	26 8.5%	25 8.2%	2 0.7%	7 2.3%	31 10.1%	49 16.0%	27 8.8%	23 7.5%
その他	168 -	100 59.5%	30 17.9%	13 7.7%	8 4.8%	1 0.6%	3 1.8%	16 9.5%	24 14.3%	16 9.5%	11 6.5%
知的障がい	250 -	101 40.4%	48 19.2%	35 14.0%	10 4.0%	5 2.0%	9 3.6%	43 17.2%	22 8.8%	15 6.0%	8 3.2%
精神障がい	296 -	125 42.2%	63 21.3%	33 11.1%	13 4.4%	8 2.7%	19 6.4%	74 25.0%	66 22.3%	19 6.4%	15 5.1%
難病	153 -	79 51.6%	25 16.3%	32 20.9%	9 5.9%	4 2.6%	5 3.3%	35 22.9%	35 22.9%	20 13.1%	19 12.4%
無回答	52 -	22 42.3%	7 13.5%	3 5.8%	6 11.5%	1 1.9%	3 5.8%	6 11.5%	4 7.7%	3 5.8%	3 5.8%

	障がい者施設や障がい者団体	障がい者生活支援センター	社会福祉協議会	民生委員・児童委員	NPO法人・市民活動団体など	友人・知人	近所の人	その他	入手する方法がない	無回答
全体	154 8.8%	110 6.3%	125 7.1%	58 3.3%	32 1.8%	169 9.6%	57 3.3%	118 6.7%	148 8.4%	102 5.8%
身体障がい	66 5.9%	34 3.0%	89 7.9%	43 3.8%	7 0.6%	110 9.8%	46 4.1%	72 6.4%	86 7.6%	74 6.6%
視覚障がい	4 6.3%	5 7.9%	4 6.3%	0 0.0%	1 1.6%	9 14.3%	5 7.9%	5 7.9%	6 9.5%	5 7.9%
聴覚・平衡機能障がい	9 7.9%	1 0.9%	13 11.4%	6 5.3%	0 0.0%	10 8.8%	8 7.0%	4 3.5%	11 9.6%	7 6.1%
音声・言語・そしゃく機能障がい	6 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.3%	0 0.0%	5 13.2%	3 7.9%	4 10.5%	5 13.2%	4 10.5%
肢体不自由	46 9.7%	20 4.2%	47 9.9%	23 4.9%	5 1.1%	42 8.9%	16 3.4%	41 8.7%	31 6.6%	24 5.1%
内部障がい	11 3.6%	7 2.3%	20 6.5%	11 3.6%	0 0.0%	28 9.2%	15 4.9%	12 3.9%	21 6.9%	17 5.6%
その他	5 3.0%	4 2.4%	10 6.0%	6 3.6%	1 0.6%	20 11.9%	9 5.4%	16 9.5%	12 7.1%	10 6.0%
知的障がい	69 27.6%	47 18.8%	21 8.4%	5 2.0%	17 6.8%	46 18.4%	1 0.4%	16 6.4%	19 7.6%	9 3.6%
精神障がい	28 9.5%	38 12.8%	15 5.1%	4 1.4%	10 3.4%	17 5.7%	3 1.0%	24 8.1%	32 10.8%	10 3.4%
難病	4 2.6%	3 2.0%	8 5.2%	3 2.0%	4 2.6%	14 9.2%	5 3.3%	8 5.2%	13 8.5%	5 3.3%
無回答	6 11.5%	2 3.8%	2 3.8%	5 9.6%	1 1.9%	3 5.8%	3 5.8%	6 11.5%	9 17.3%	9 17.3%

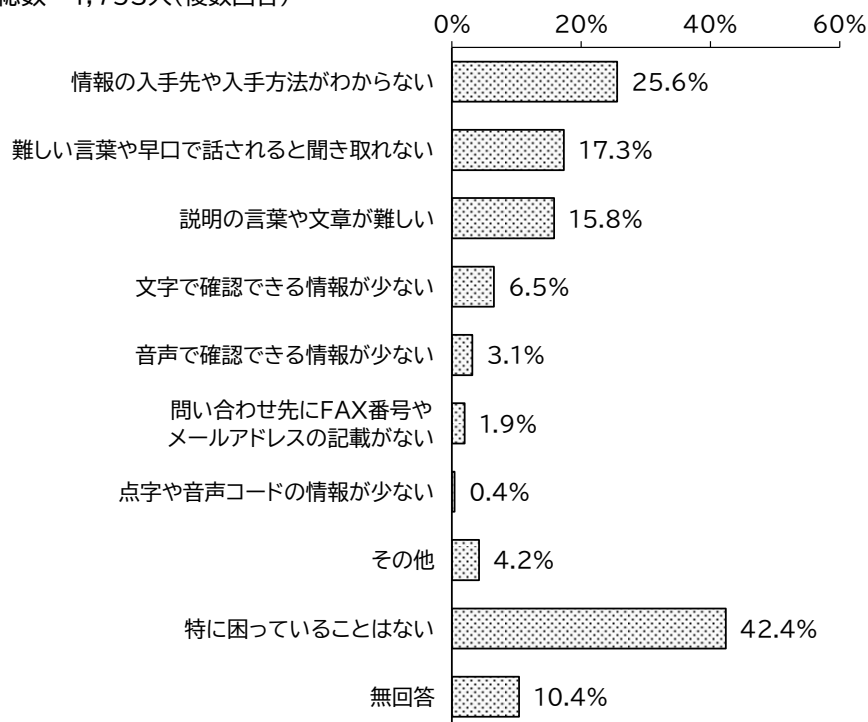
(2) 情報を入手する上で困っていること

問 38 あなたは情報を入手する上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「情報の入手先や入手方法がわからない」が 25.6%と最も高く、次いで「難しい言葉や早口で話されると聞き取れない」が 17.3%、「説明の言葉や文章が難しい」が 15.8%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、視覚障がいの方では「音声で確認できる情報が少ない」、聴覚・平衡機能障がいの方では「文字で確認できる情報が少ない」、「難しい言葉や早口で話されると聞き取れない」、知的障がいの方では「難しい言葉や早口で話されると聞き取れない」、「説明の言葉や文章が難しい」、精神障がいの方では「情報の入手先や入手方法がわからない」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	情報の入手先や入手方法がわからない	音声で確認できる情報が少ない	文字で確認できる情報が少ない	点字や音声コードの情報が少ない	メールアドレスの記載がない 問い合わせ先にFAX番号や	難しい言葉や早口で話されると聞き取れない	説明の言葉や文章が難しい	その他	特に困っていることはない	無回答
全体	1,753	448 25.6%	55 3.1%	114 6.5%	7 0.4%	34 1.9%	304 17.3%	277 15.8%	73 4.2%	743 42.4%	182 10.4%
身体障がい	1,125	262 23.3%	50 4.4%	74 6.6%	6 0.5%	27 2.4%	196 17.4%	148 13.2%	38 3.4%	494 43.9%	129 11.5%
視覚障がい	63	9 14.3%	14 22.2%	3 4.8%	2 3.2%	3 4.8%	20 31.7%	13 20.6%	6 9.5%	13 20.6%	11 17.5%
聴覚・平衡機能障がい	114	29 25.4%	5 4.4%	25 21.9%	1 0.9%	9 7.9%	43 37.7%	23 20.2%	4 3.5%	26 22.8%	9 7.9%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38	10 26.3%	1 2.6%	2 5.3%	0 0.0%	1 2.6%	8 21.1%	10 26.3%	2 5.3%	11 28.9%	5 13.2%
肢体不自由	473	111 23.5%	14 3.0%	27 5.7%	0 0.0%	8 1.7%	70 14.8%	63 13.3%	13 2.7%	219 46.3%	50 10.6%
内部障がい	306	86 28.1%	13 4.2%	20 6.5%	1 0.3%	7 2.3%	44 14.4%	42 13.7%	12 3.9%	141 46.1%	29 9.5%
その他	168	29 17.3%	5 3.0%	4 2.4%	1 0.6%	0 0.0%	23 13.7%	15 8.9%	4 2.4%	93 55.4%	23 13.7%
知的障がい	250	78 31.2%	1 0.4%	16 6.4%	1 0.4%	5 2.0%	62 24.8%	87 34.8%	14 5.6%	75 30.0%	19 7.6%
精神障がい	296	95 32.1%	3 1.0%	17 5.7%	0 0.0%	2 0.7%	47 15.9%	47 15.9%	19 6.4%	126 42.6%	17 5.7%
難病	153	33 21.6%	4 2.6%	9 5.9%	0 0.0%	1 0.7%	11 7.2%	18 11.8%	6 3.9%	84 54.9%	11 7.2%
無回答	52	13 25.0%	1 1.9%	4 7.7%	0 0.0%	1 1.9%	9 17.3%	10 19.2%	3 5.8%	11 21.2%	15 28.8%

8. 相談について

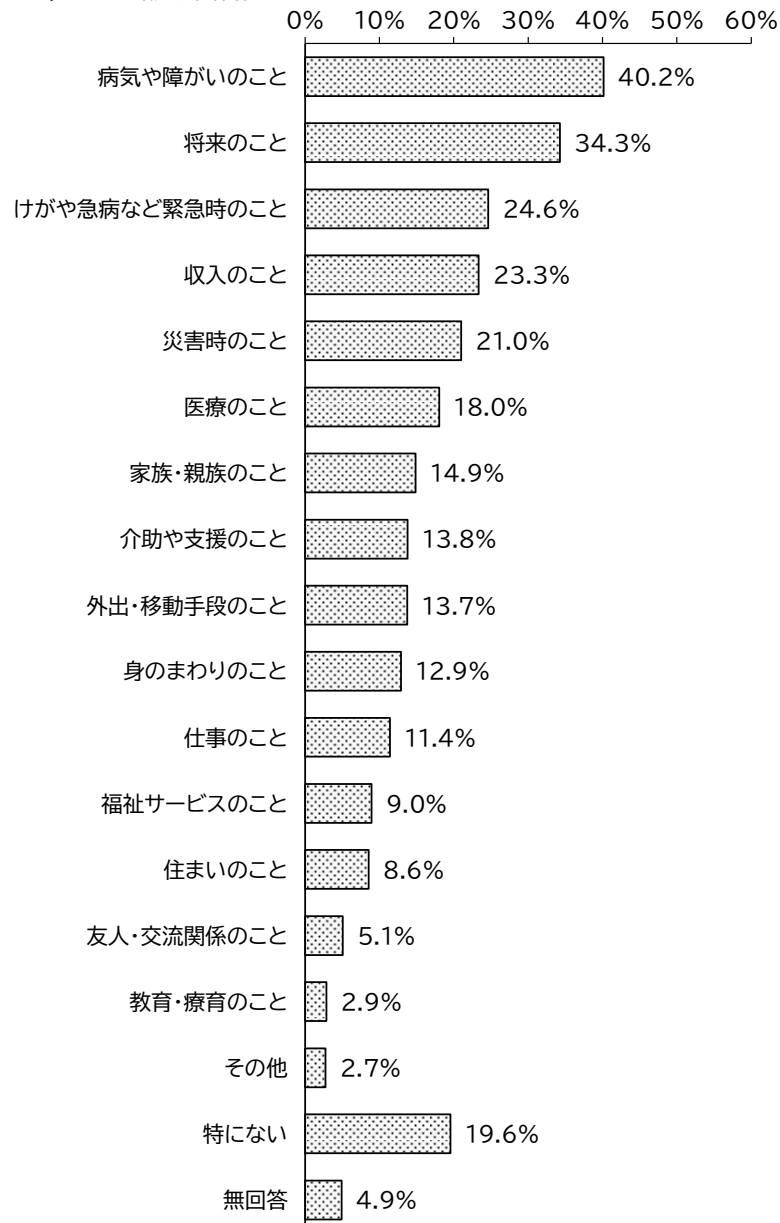
(1) 日常生活で困っていること

問 39 あなたは現在、日常生活の中で困っていることや不安なことはありますか。(○はいくつでも)

全体では、「病気や障害のこと」が 40.2%と最も高く、次いで「将来のこと」が 34.3%、「けがや急病など緊急時のこと」が 24.6%、「収入のこと」が 23.3%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、精神障がい、難病の方では「病気や障がいのこと」、知的障がい、精神障がいの方では「将来のこと」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	病気や障がいのこと	身のまわりのこと	家族・親族のこと	介助や支援のこと	福祉サービスのこと	医療のこと	住まいのこと	外出・移動手段のこと	教育・療育のこと
全体	1,753 -	704 40.2%	226 12.9%	261 14.9%	242 13.8%	157 9.0%	316 18.0%	150 8.6%	241 13.7%	50 2.9%
身体障がい	1,125 -	425 37.8%	116 10.3%	147 13.1%	159 14.1%	84 7.5%	200 17.8%	66 5.9%	156 13.9%	12 1.1%
視覚障がい	63 -	25 39.7%	10 15.9%	9 14.3%	13 20.6%	8 12.7%	10 15.9%	5 7.9%	14 22.2%	0 0.0%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	39 34.2%	21 18.4%	22 19.3%	21 18.4%	8 7.0%	18 15.8%	6 5.3%	14 12.3%	1 0.9%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	16 42.1%	6 15.8%	8 21.1%	8 21.1%	4 10.5%	11 28.9%	1 2.6%	9 23.7%	1 2.6%
肢体不自由	473 -	201 42.5%	56 11.8%	71 15.0%	89 18.8%	42 8.9%	85 18.0%	33 7.0%	86 18.2%	7 1.5%
内部障がい	306 -	120 39.2%	29 9.5%	27 8.8%	42 13.7%	30 9.8%	72 23.5%	18 5.9%	34 11.1%	3 1.0%
その他	168 -	57 33.9%	10 6.0%	21 12.5%	14 8.3%	8 4.8%	24 14.3%	6 3.6%	15 8.9%	1 0.6%
知的障がい	250 -	82 32.8%	52 20.8%	37 14.8%	49 19.6%	35 14.0%	42 16.8%	27 10.8%	44 17.6%	24 9.6%
精神障がい	296 -	170 57.4%	56 18.9%	74 25.0%	36 12.2%	36 12.2%	56 18.9%	56 18.9%	47 15.9%	8 2.7%
難病	153 -	74 48.4%	17 11.1%	19 12.4%	20 13.1%	13 8.5%	45 29.4%	12 7.8%	15 9.8%	7 4.6%
無回答	52 -	13 25.0%	4 7.7%	6 11.5%	7 13.5%	6 11.5%	6 11.5%	5 9.6%	6 11.5%	4 7.7%

	仕事のこと	災害時のこと	収入のこと	将来のこと	友人・交流関係のこと	緊急時のこと けがや急病など	その他	特にない	無回答
全体	200 11.4%	368 21.0%	409 23.3%	601 34.3%	89 5.1%	432 24.6%	48 2.7%	343 19.6%	86 4.9%
身体障がい	63 5.6%	251 22.3%	196 17.4%	247 22.0%	22 2.0%	285 25.3%	21 1.9%	265 23.6%	65 5.8%
視覚障がい	3 4.8%	13 20.6%	12 19.0%	19 30.2%	0 0.0%	23 36.5%	1 1.6%	10 15.9%	5 7.9%
聴覚・平衡機能障がい	7 6.1%	22 19.3%	21 18.4%	19 16.7%	1 0.9%	27 23.7%	4 3.5%	23 20.2%	9 7.9%
音声・言語・そしゃく機能障がい	1 2.6%	10 26.3%	5 13.2%	9 23.7%	2 5.3%	9 23.7%	1 2.6%	7 18.4%	3 7.9%
肢体不自由	32 6.8%	130 27.5%	77 16.3%	112 23.7%	11 2.3%	133 28.1%	6 1.3%	105 22.2%	15 3.2%
内部障がい	14 4.6%	64 20.9%	62 20.3%	66 21.6%	7 2.3%	80 26.1%	5 1.6%	73 23.9%	18 5.9%
その他	13 7.7%	30 17.9%	33 19.6%	31 18.5%	3 1.8%	31 18.5%	3 1.8%	49 29.2%	9 5.4%
知的障がい	45 18.0%	70 28.0%	63 25.2%	152 60.8%	18 7.2%	62 24.8%	9 3.6%	33 13.2%	10 4.0%
精神障がい	96 32.4%	47 15.9%	141 47.6%	187 63.2%	46 15.5%	74 25.0%	19 6.4%	23 7.8%	4 1.4%
難病	12 7.8%	27 17.6%	36 23.5%	50 32.7%	4 2.6%	45 29.4%	3 2.0%	30 19.6%	7 4.6%
無回答	3 5.8%	10 19.2%	8 15.4%	24 46.2%	3 5.8%	10 19.2%	1 1.9%	8 15.4%	5 9.6%

年齢別に見ると、難病の18～64歳の方では「病気や障がいのこと」、知的障がい、精神障がいの65歳未満の方では「将来のこと」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆年齢別集計◆

		全体	病気や障がいのこと	身のまわりのこと	家族・親族のこと	介助や支援のこと	福祉サービスのこと	医療のこと	住まいのこと	外出・移動手段のこと	教育・療育のこと
身体障がい	18歳未満	31 -	7 22.6%	3 9.7%	2 6.5%	6 19.4%	2 6.5%	4 12.9%	1 3.2%	5 16.1%	5 16.1%
	18～39歳	43 -	15 34.9%	1 2.3%	6 14.0%	6 14.0%	4 9.3%	7 16.3%	2 4.7%	8 18.6%	1 2.3%
	40～64歳	204 -	88 43.1%	21 10.3%	37 18.1%	23 11.3%	12 5.9%	37 18.1%	25 12.3%	23 11.3%	1 0.5%
	65歳以上	825 -	308 37.3%	88 10.7%	100 12.1%	122 14.8%	64 7.8%	147 17.8%	33 4.0%	119 14.4%	4 0.5%
	無回答	22 -	7 31.8%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	2 9.1%	5 22.7%	5 22.7%	1 4.5%	1 4.5%
知的障がい	18歳未満	66 -	18 27.3%	15 22.7%	6 9.1%	14 21.2%	9 13.6%	9 13.6%	6 9.1%	10 15.2%	20 30.3%
	18～39歳	110 -	37 33.6%	22 20.0%	19 17.3%	21 19.1%	17 15.5%	19 17.3%	18 16.4%	22 20.0%	2 1.8%
	40～64歳	55 -	18 32.7%	11 20.0%	12 21.8%	11 20.0%	7 12.7%	11 20.0%	2 3.6%	10 18.2%	0 0.0%
	65歳以上	12 -	6 50.0%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%
	無回答	7 -	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%
精神障がい	18歳未満	4 -	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%
	18～39歳	84 -	51 60.7%	14 16.7%	21 25.0%	6 7.1%	9 10.7%	11 13.1%	15 17.9%	10 11.9%	0 0.0%
	40～64歳	152 -	96 63.2%	31 20.4%	48 31.6%	19 12.5%	18 11.8%	34 22.4%	36 23.7%	29 19.1%	6 3.9%
	65歳以上	47 -	17 36.2%	7 14.9%	3 6.4%	9 19.1%	8 17.0%	11 23.4%	2 4.3%	6 12.8%	0 0.0%
	無回答	9 -	5 55.6%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%
難病	18歳未満	17 -	5 29.4%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%	3 17.6%	1 5.9%	2 11.8%	6 35.3%
	18～39歳	19 -	12 63.2%	1 5.3%	3 15.8%	1 5.3%	2 10.5%	3 15.8%	1 5.3%	2 10.5%	0 0.0%
	40～64歳	42 -	23 54.8%	4 9.5%	6 14.3%	6 14.3%	2 4.8%	17 40.5%	4 9.5%	4 9.5%	1 2.4%
	65歳以上	74 -	34 45.9%	10 13.5%	8 10.8%	11 14.9%	9 12.2%	22 29.7%	6 8.1%	7 9.5%	0 0.0%
	無回答	1 -	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(年齢別集計続き)

		仕事のこと	災害時のこと	収入のこと	将来のこと	友人・交流関係のこと	緊急時のこと けがや急病など	その他	特にない	無回答
身体障がい	18歳未満	4 12.9%	6 19.4%	1 3.2%	12 38.7%	0 0.0%	7 22.6%	3 9.7%	6 19.4%	2 6.5%
	18~39歳	11 25.6%	15 34.9%	9 20.9%	20 46.5%	2 4.7%	13 30.2%	0 0.0%	8 18.6%	2 4.7%
	40~64歳	35 17.2%	32 15.7%	55 27.0%	74 36.3%	11 5.4%	55 27.0%	6 2.9%	45 22.1%	4 2.0%
	65歳以上	12 1.5%	191 23.2%	126 15.3%	131 15.9%	9 1.1%	205 24.9%	11 1.3%	205 24.9%	56 6.8%
	無回答	1 4.5%	7 31.8%	5 22.7%	10 45.5%	0 0.0%	5 22.7%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%
知的障がい	18歳未満	12 18.2%	13 19.7%	11 16.7%	44 66.7%	7 10.6%	14 21.2%	1 1.5%	8 12.1%	2 3.0%
	18~39歳	24 21.8%	37 33.6%	37 33.6%	73 66.4%	8 7.3%	35 31.8%	5 4.5%	13 11.8%	2 1.8%
	40~64歳	8 14.5%	15 27.3%	10 18.2%	29 52.7%	2 3.6%	11 20.0%	3 5.5%	8 14.5%	4 7.3%
	65歳以上	0 0.0%	4 33.3%	2 16.7%	4 33.3%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%
	無回答	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%
精神障がい	18歳未満	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	18~39歳	44 52.4%	10 11.9%	44 52.4%	66 78.6%	20 23.8%	14 16.7%	3 3.6%	4 4.8%	0 0.0%
	40~64歳	48 31.6%	28 18.4%	83 54.6%	105 69.1%	23 15.1%	49 32.2%	14 9.2%	9 5.9%	1 0.7%
	65歳以上	1 2.1%	7 14.9%	8 17.0%	10 21.3%	1 2.1%	10 21.3%	2 4.3%	9 19.1%	2 4.3%
	無回答	2 22.2%	1 11.1%	5 55.6%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
難病	18歳未満	2 11.8%	3 17.6%	3 17.6%	5 29.4%	2 11.8%	5 29.4%	0 0.0%	6 35.3%	0 0.0%
	18~39歳	2 10.5%	5 26.3%	6 31.6%	10 52.6%	1 5.3%	4 21.1%	1 5.3%	4 21.1%	0 0.0%
	40~64歳	8 19.0%	4 9.5%	15 35.7%	19 45.2%	1 2.4%	12 28.6%	0 0.0%	6 14.3%	0 0.0%
	65歳以上	0 0.0%	15 20.3%	12 16.2%	15 20.3%	0 0.0%	24 32.4%	2 2.7%	14 18.9%	7 9.5%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

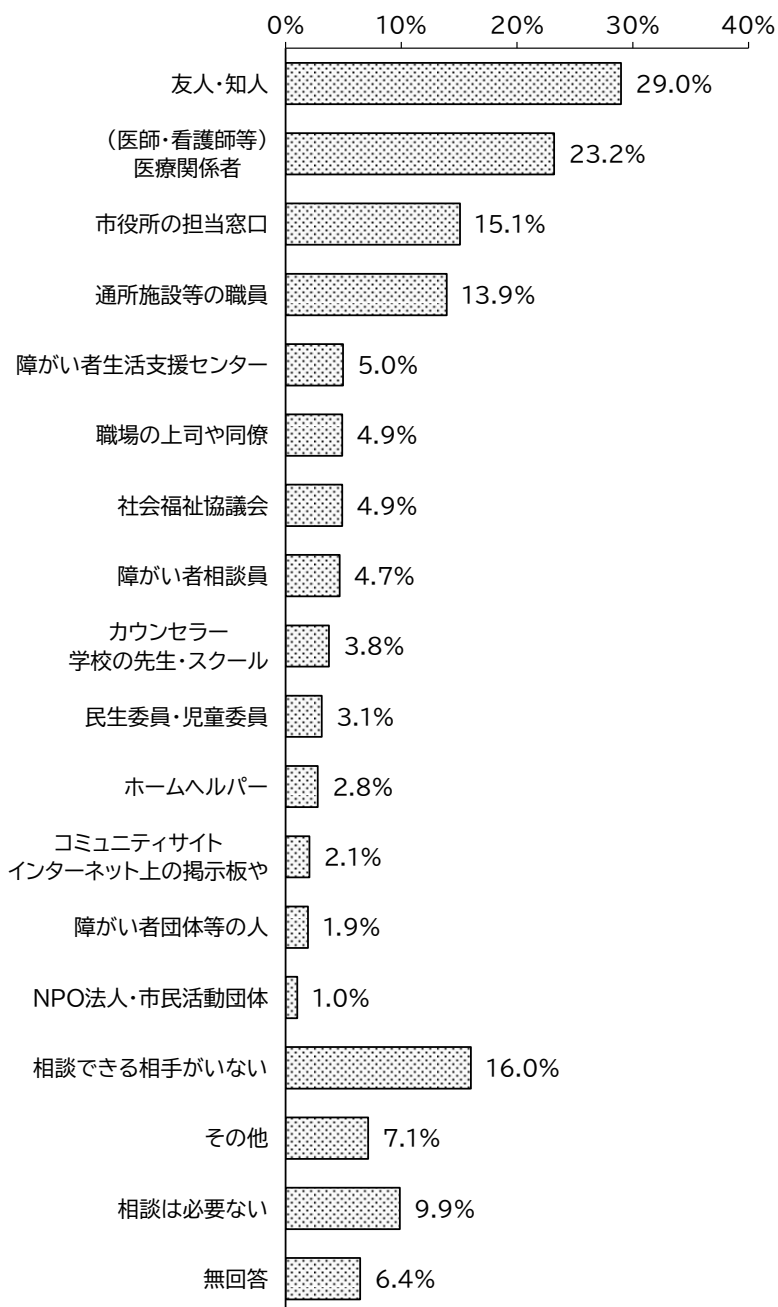
(2) 悩みごとなどの相談先

問 40 あなたは、悩みごとや困ったことがあるとき、家族・親族以外に誰に(どこに)相談しますか。(〇はいくつでも)

全体では、「友人・知人」が 29.0%と最も高く、次いで「医療関係者(医師・看護師等)」が 23.2%、「市役所の担当窓口」が 15.1%となっています。「相談できる相手がいない」が 16.0%です。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方では「通所施設等の職員」、精神障がい、難病の方では「医療関係者(医師・看護師等)」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	①友人・知人	②カウンスラー 学校の先生・スクール	③職場の上司や同僚	④医療関係者 (医師・看護師等)	⑤通所施設等の職員	⑥障がい者団体等の人	⑦ホームヘルパー	⑧障がい者相談員	⑨障がい者生活支援センター
全体	1,753 -	508 29.0%	66 3.8%	86 4.9%	407 23.2%	244 13.9%	34 1.9%	49 2.8%	82 4.7%	87 5.0%
身体障がい	1,125 -	343 30.5%	23 2.0%	29 2.6%	231 20.5%	101 9.0%	17 1.5%	32 2.8%	33 2.9%	27 2.4%
視覚障がい	63 -	18 28.6%	2 3.2%	1 1.6%	10 15.9%	5 7.9%	6 9.5%	5 7.9%	6 9.5%	2 3.2%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	35 30.7%	6 5.3%	5 4.4%	14 12.3%	5 4.4%	2 1.8%	3 2.6%	6 5.3%	3 2.6%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	9 23.7%	1 2.6%	0 0.0%	12 31.6%	11 28.9%	2 5.3%	0 0.0%	2 5.3%	1 2.6%
肢体不自由	473 -	143 30.2%	13 2.7%	15 3.2%	93 19.7%	73 15.4%	9 1.9%	13 2.7%	16 3.4%	15 3.2%
内部障がい	306 -	96 31.4%	1 0.3%	4 1.3%	87 28.4%	14 4.6%	2 0.7%	8 2.6%	7 2.3%	5 1.6%
その他	168 -	53 31.5%	1 0.6%	6 3.6%	34 20.2%	10 6.0%	0 0.0%	3 1.8%	1 0.6%	3 1.8%
知的障がい	250 -	53 21.2%	46 18.4%	24 9.6%	40 16.0%	105 42.0%	13 5.2%	3 1.2%	26 10.4%	37 14.8%
精神障がい	296 -	86 29.1%	3 1.0%	24 8.1%	113 38.2%	44 14.9%	8 2.7%	13 4.4%	24 8.1%	28 9.5%
難病	153 -	54 35.3%	6 3.9%	12 7.8%	53 34.6%	7 4.6%	3 2.0%	3 2.0%	4 2.6%	1 0.7%
無回答	52 -	12 23.1%	3 5.8%	1 1.9%	8 15.4%	12 23.1%	0 0.0%	1 1.9%	3 5.8%	2 3.8%

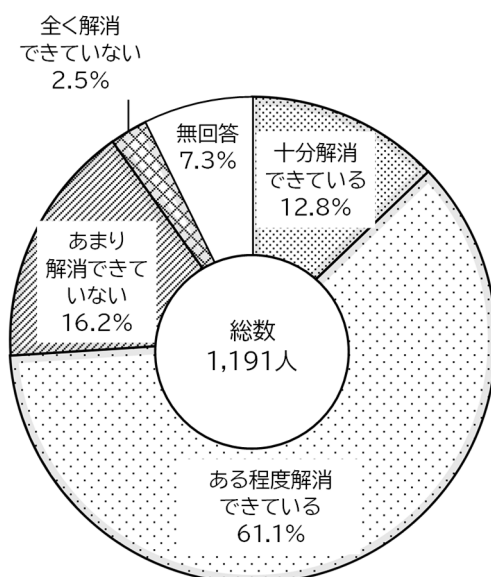
	⑩社会福祉協議会	⑪民生委員・児童委員	⑫NPO法人・市民活動団体	⑬市役所の担当窓口	⑭コミュニティネット上の掲示板や	⑮できる相手がない	⑯その他	⑰相談は必要ない	無回答
全体	86 4.9%	55 3.1%	18 1.0%	264 15.1%	36 2.1%	281 16.0%	125 7.1%	173 9.9%	113 6.4%
身体障がい	66 5.9%	42 3.7%	4 0.4%	186 16.5%	21 1.9%	174 15.5%	74 6.6%	134 11.9%	89 7.9%
視覚障がい	2 3.2%	2 3.2%	1 1.6%	15 23.8%	1 1.6%	11 17.5%	5 7.9%	5 7.9%	8 12.7%
聴覚・平衡機能障がい	13 11.4%	8 7.0%	0 0.0%	23 20.2%	2 1.8%	25 21.9%	4 3.5%	14 12.3%	6 5.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	3 7.9%	1 2.6%	0 0.0%	5 13.2%	0 0.0%	5 13.2%	3 7.9%	1 2.6%	4 10.5%
肢体不自由	30 6.3%	13 2.7%	4 0.8%	67 14.2%	5 1.1%	71 15.0%	40 8.5%	53 11.2%	33 7.0%
内部障がい	15 4.9%	10 3.3%	1 0.3%	59 19.3%	11 3.6%	46 15.0%	15 4.9%	39 12.7%	22 7.2%
その他	7 4.2%	8 4.8%	0 0.0%	36 21.4%	2 1.2%	18 10.7%	15 8.9%	20 11.9%	12 7.1%
知的障がい	6 2.4%	4 1.6%	11 4.4%	32 12.8%	1 0.4%	37 14.8%	22 8.8%	7 2.8%	6 2.4%
精神障がい	8 2.7%	5 1.7%	6 2.0%	32 10.8%	12 4.1%	65 22.0%	30 10.1%	18 6.1%	9 3.0%
難病	8 5.2%	3 2.0%	1 0.7%	19 12.4%	3 2.0%	24 15.7%	5 3.3%	15 9.8%	9 5.9%
無回答	5 9.6%	2 3.8%	0 0.0%	11 21.2%	1 1.9%	4 7.7%	2 3.8%	3 5.8%	7 13.5%

(3) 相談で悩みごとが解消できているか

問 41 問 40 で1～14 までのいずれかに○をつけた方(相談している方)にお聞きします。
その相談先に相談したことで、悩みごとや困ったことは解消できていますか。(○はひとつ)

全体では、「ある程度解消できている」が 61.1%と最も高く、次いで「あまり解消できていない」が 16.2%、「十分解消できている」が 12.8%、「全く解消できていない」が 2.5%となっています。「解消できている」という回答は合わせて 7 割を超えています。

障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がい、精神障がいの方では「解消できていない」という回答は合わせて 3 割となっており、他の障がい・部位と比較して高くなっています。



	全体	十分解消できている	ある程度解消できている	あまり解消できていない	全く解消できていない	無回答
全体	1,191 100.0%	153 12.8%	728 61.1%	193 16.2%	30 2.5%	87 7.3%
身体障がい	730 100.0%	92 12.6%	456 62.5%	103 14.1%	15 2.1%	64 8.8%
視覚障がい	38 100.0%	3 7.9%	22 57.9%	8 21.1%	1 2.6%	4 10.5%
聴覚・平衡機能障がい	75 100.0%	11 14.7%	42 56.0%	12 16.0%	1 1.3%	9 12.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	26 100.0%	1 3.8%	17 65.4%	5 19.2%	3 11.5%	0 0.0%
肢体不自由	309 100.0%	32 10.4%	202 65.4%	50 16.2%	5 1.6%	20 6.5%
内部障がい	205 100.0%	30 14.6%	125 61.0%	29 14.1%	4 2.0%	17 8.3%
その他	115 100.0%	17 14.8%	71 61.7%	11 9.6%	2 1.7%	14 12.2%
知的障がい	195 100.0%	26 13.3%	124 63.6%	28 14.4%	6 3.1%	11 5.6%
精神障がい	214 100.0%	31 14.5%	111 51.9%	56 26.2%	8 3.7%	8 3.7%
難病	103 100.0%	13 12.6%	65 63.1%	18 17.5%	3 2.9%	4 3.9%
無回答	38 100.0%	6 15.8%	20 52.6%	7 18.4%	1 2.6%	4 10.5%

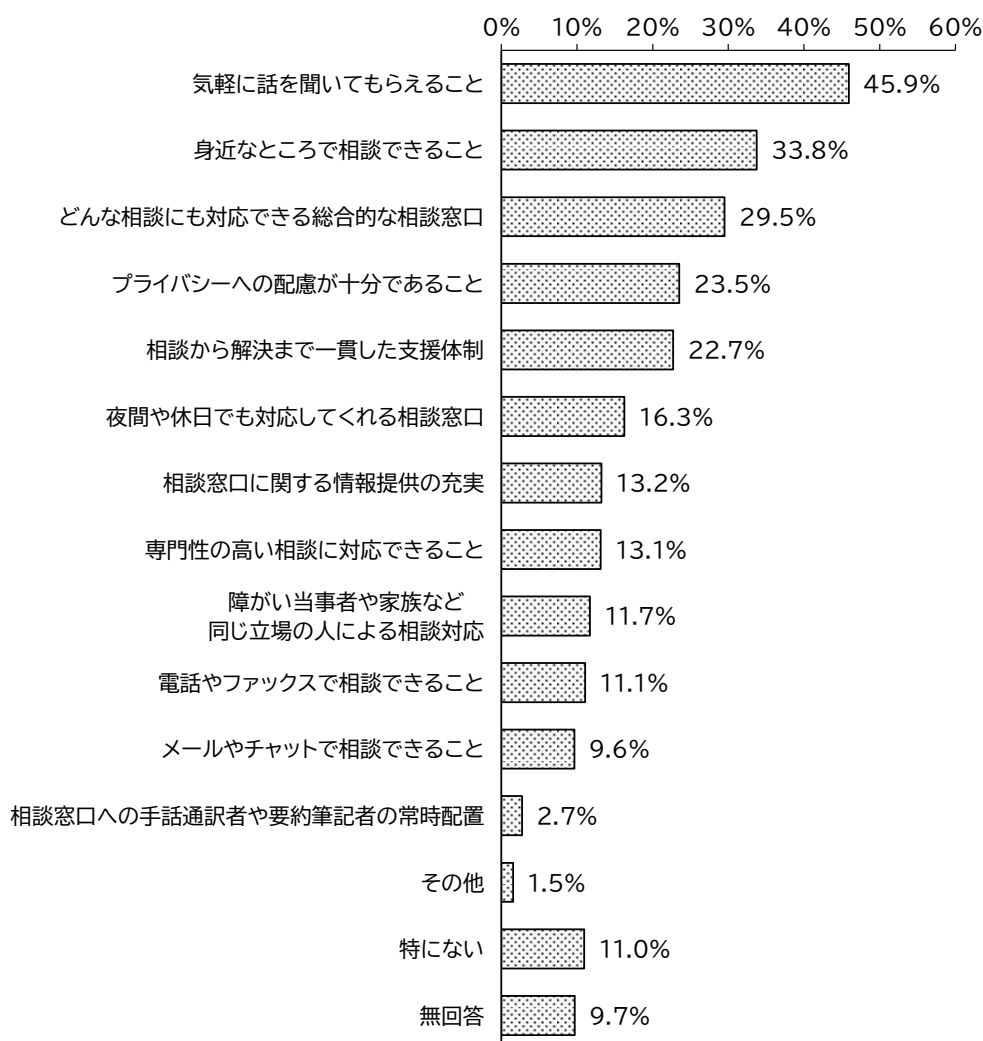
(4) 相談機能を充実させるために必要なこと

問 42 あなたは相談機能を充実させるためには、どのようなことが必要だと思えますか。
(○はいくつでも)

全体では、「気軽に話を聞いてもらえること」が45.9%と最も高く、次いで「身近なところで相談できること」が33.8%、「どんな相談にも対応できる総合的な相談窓口」が29.5%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方では「気軽に話を聞いてもらえること」、「身近なところで相談できること」の割合が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	気軽に話を聞いてもらえること	身近なところで相談できること	電話やファックスで相談できること	メールやチャットで相談できること	十分であること （プライバシーへの配慮が）	情報提供の充実 （相談窓口に関する）	総合的な相談窓口 にも対応できる
全体	1,753 -	805 45.9%	592 33.8%	194 11.1%	169 9.6%	412 23.5%	232 13.2%	517 29.5%
身体障がい	1,125 -	478 42.5%	350 31.1%	117 10.4%	77 6.8%	221 19.6%	128 11.4%	322 28.6%
視覚障がい	63 -	19 30.2%	22 34.9%	10 15.9%	4 6.3%	12 19.0%	10 15.9%	20 31.7%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	45 39.5%	30 26.3%	6 5.3%	16 14.0%	29 25.4%	11 9.6%	26 22.8%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	15 39.5%	10 26.3%	1 2.6%	1 2.6%	4 10.5%	2 5.3%	10 26.3%
肢体不自由	473 -	228 48.2%	153 32.3%	53 11.2%	25 5.3%	101 21.4%	47 9.9%	143 30.2%
内部障がい	306 -	129 42.2%	106 34.6%	35 11.4%	26 8.5%	64 20.9%	52 17.0%	107 35.0%
その他	168 -	60 35.7%	41 24.4%	11 6.5%	9 5.4%	22 13.1%	13 7.7%	41 24.4%
知的障がい	250 -	139 55.6%	107 42.8%	27 10.8%	26 10.4%	59 23.6%	42 16.8%	83 33.2%
精神障がい	296 -	142 48.0%	112 37.8%	44 14.9%	56 18.9%	106 35.8%	49 16.6%	83 28.0%
難病	153 -	76 49.7%	58 37.9%	13 8.5%	26 17.0%	40 26.1%	25 16.3%	50 32.7%
無回答	52 -	26 50.0%	15 28.8%	6 11.5%	1 1.9%	8 15.4%	8 15.4%	15 28.8%

	相談から支援体制まで一貫した	専門性の高い相談に対応できること	相談窓口への手話通訳者や要約筆記者の常時配置	夜間や休日も相談窓口に対応	障がい当事者や家族など対応	その他	特になし	無回答
全体	398 22.7%	230 13.1%	48 2.7%	285 16.3%	205 11.7%	27 1.5%	192 11.0%	170 9.7%
身体障がい	207 18.4%	114 10.1%	36 3.2%	170 15.1%	105 9.3%	11 1.0%	129 11.5%	133 11.8%
視覚障がい	15 23.8%	10 15.9%	3 4.8%	11 17.5%	9 14.3%	4 6.3%	4 6.3%	14 22.2%
聴覚・平衡機能障がい	23 20.4%	8 7.1%	20 17.7%	18 15.9%	11 9.7%	1 0.9%	12 10.6%	11 9.7%
音声・言語・そしゃく機能障がい	11 28.9%	8 21.1%	1 2.6%	7 18.4%	11 28.9%	1 2.6%	5 13.2%	6 15.8%
肢体不自由	98 20.7%	45 9.5%	8 1.7%	66 14.0%	56 11.8%	4 0.8%	50 10.6%	49 10.4%
内部障がい	67 21.9%	40 13.1%	7 2.3%	58 19.0%	29 9.5%	1 0.3%	39 12.7%	33 10.8%
その他	20 11.9%	14 8.3%	2 1.2%	21 12.5%	6 3.6%	1 0.6%	26 15.5%	20 11.9%
知的障がい	81 32.4%	45 18.0%	5 2.0%	34 13.6%	56 22.4%	3 1.2%	20 8.0%	17 6.8%
精神障がい	93 31.4%	62 20.9%	4 1.4%	61 20.6%	46 15.5%	10 3.4%	34 11.5%	16 5.4%
難病	47 30.7%	23 15.0%	2 1.3%	31 20.3%	13 8.5%	4 2.6%	13 8.5%	10 6.5%
無回答	9 17.3%	4 7.7%	2 3.8%	8 15.4%	6 11.5%	0 0.0%	5 9.6%	9 17.3%

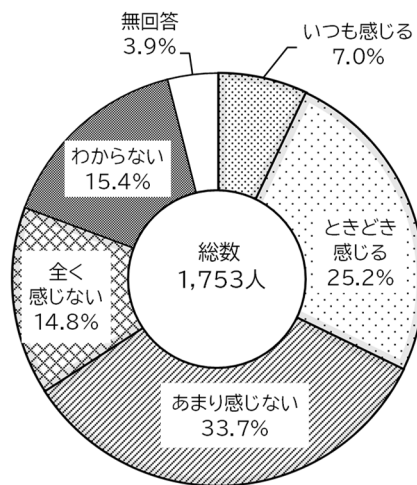
9. 権利擁護について

(1) 差別や偏見を感じることの有無

問 43 あなたは日常生活の中で、障がいに対する差別や偏見を感じることはありますか。
(○はひとつ)

全体では、「あまり感じない」が 33.7%と最も高く、次いで「ときどき感じる」が 25.2%、「全く感じない」が 14.8%、「いつも感じる」が 7.0%となっています。

障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方では「いつも感じる」、「ときどき感じる」を合わせた割合が 5割を超え、精神障がい者でも 5割弱と他の障がい・部位と比較して高くなっています。



	全体	いつも感じる	ときどき感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない	無回答
全体	1,753 100.0%	123 7.0%	441 25.2%	591 33.7%	259 14.8%	270 15.4%	69 3.9%
身体障がい	1,125 100.0%	49 4.4%	236 21.0%	452 40.2%	197 17.5%	147 13.1%	44 3.9%
視覚障がい	63 100.0%	2 3.2%	16 25.4%	26 41.3%	4 6.3%	8 12.7%	7 11.1%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	9 7.9%	33 28.9%	41 36.0%	11 9.6%	15 13.2%	5 4.4%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	2 5.3%	15 39.5%	10 26.3%	4 10.5%	4 10.5%	3 7.9%
肢体不自由	473 100.0%	28 5.9%	120 25.4%	181 38.3%	65 13.7%	60 12.7%	19 4.0%
内部障がい	306 100.0%	11 3.6%	46 15.0%	142 46.4%	66 21.6%	34 11.1%	7 2.3%
その他	168 100.0%	4 2.4%	22 13.1%	65 38.7%	45 26.8%	28 16.7%	4 2.4%
知的障がい	250 100.0%	37 14.8%	105 42.0%	39 15.6%	14 5.6%	50 20.0%	5 2.0%
精神障がい	296 100.0%	44 14.9%	97 32.8%	65 22.0%	31 10.5%	51 17.2%	8 2.7%
難病	153 100.0%	7 4.6%	39 25.5%	51 33.3%	23 15.0%	25 16.3%	8 5.2%
無回答	52 100.0%	2 3.8%	9 17.3%	9 17.3%	9 17.3%	14 26.9%	9 17.3%

年齢別に見ると、「いつも感じる」、「ときどき感じる」を合わせた割合は若い世代の方が高く、特に知的障がいの方の18歳未満の方では約7割となっており、他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆年齢別集計◆

		全体	いつも感じる	ときどき感じる	あまり感じない	全く感じない	わからない	無回答
身体障がい	18歳未満	31 100.0%	1 3.2%	15 48.4%	3 9.7%	7 22.6%	4 12.9%	1 3.2%
	18～39歳	43 100.0%	3 7.0%	18 41.9%	12 27.9%	2 4.7%	7 16.3%	1 2.3%
	40～64歳	204 100.0%	15 7.4%	55 27.0%	90 44.1%	20 9.8%	22 10.8%	2 1.0%
	65歳以上	825 100.0%	28 3.4%	141 17.1%	342 41.5%	166 20.1%	111 13.5%	37 4.5%
	無回答	22 100.0%	2 9.1%	7 31.8%	5 22.7%	2 9.1%	3 13.6%	3 13.6%
知的障がい	18歳未満	66 100.0%	9 13.6%	36 54.5%	8 12.1%	3 4.5%	10 15.2%	0 0.0%
	18～39歳	110 100.0%	20 18.2%	44 40.0%	15 13.6%	7 6.4%	24 21.8%	0 0.0%
	40～64歳	55 100.0%	4 7.3%	23 41.8%	12 21.8%	2 3.6%	11 20.0%	3 5.5%
	65歳以上	12 100.0%	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	4 33.3%	1 8.3%
	無回答	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%
精神障がい	18歳未満	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	18～39歳	84 100.0%	10 11.9%	33 39.3%	15 17.9%	11 13.1%	15 17.9%	0 0.0%
	40～64歳	152 100.0%	25 16.4%	50 32.9%	35 23.0%	12 7.9%	25 16.4%	5 3.3%
	65歳以上	47 100.0%	6 12.8%	11 23.4%	13 27.7%	8 17.0%	8 17.0%	1 2.1%
	無回答	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%
難病	18歳未満	17 100.0%	1 5.9%	9 52.9%	3 17.6%	1 5.9%	3 17.6%	0 0.0%
	18～39歳	19 100.0%	1 5.3%	6 31.6%	5 26.3%	3 15.8%	4 21.1%	0 0.0%
	40～64歳	42 100.0%	2 4.8%	9 21.4%	18 42.9%	8 19.0%	5 11.9%	0 0.0%
	65歳以上	74 100.0%	3 4.1%	15 20.3%	25 33.8%	11 14.9%	12 16.2%	8 10.8%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

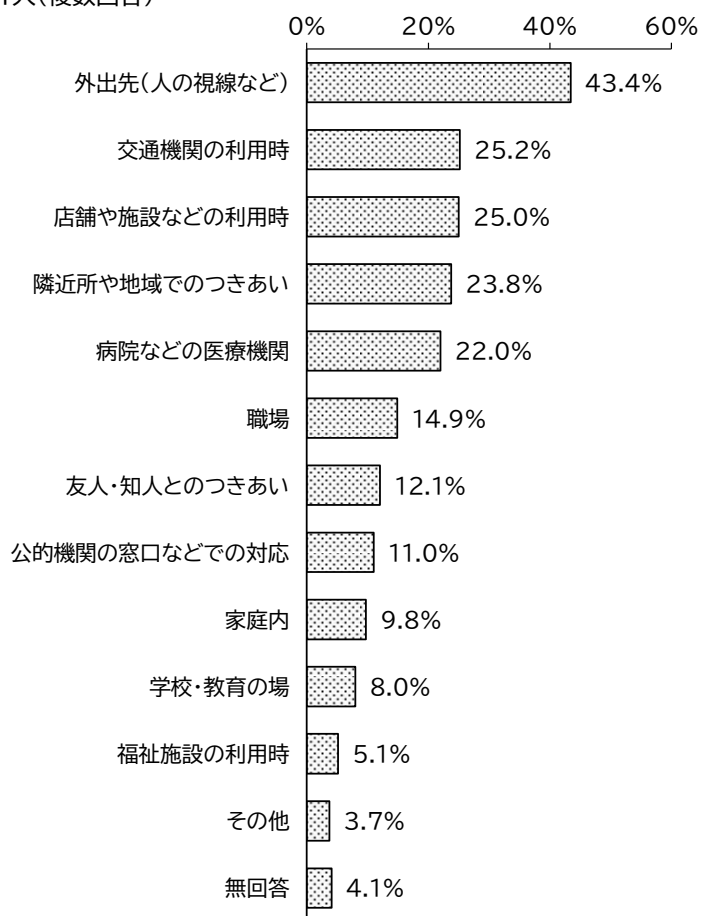
(2) 差別や偏見を感じる場所や場面

問 44 問 43 で「1. いつも感じる」「2. ときどき感じる」と答えた方にお聞きします。差別や偏見を感じるのはどのような場所や場面ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「外出先(人の視線など)」が43.4%と最も高く、次いで「交通機関の利用時」が25.2%、「店舗や施設などの利用時」が25.0%、「隣近所や地域でのつきあい」が23.8%となっています。

◆全体集計◆

総数=564人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由、知的障がい、難病の方では「外出先(人の視線など)」、精神障がいの方では「職場」の割合が、他の障がい・部位と比較して高くなっています。

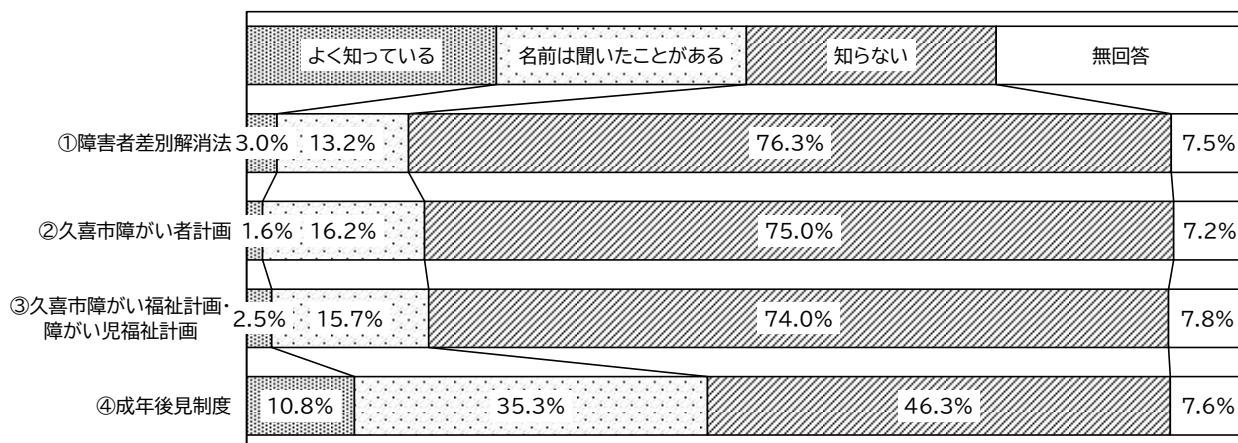
◆障がい別・部位別集計◆

	全体	学校・教育の場	職場	病院などの医療機関	家庭内	隣近所や地域でのつきあい	友人・知人とのつきあい	外出先(人の視線など)	交通機関の利用時	店舗や施設などの利用時	福祉施設の利用時	公的機関の窓口などでの対応	その他	無回答
全体	564 -	45 8.0%	84 14.9%	124 22.0%	55 9.8%	134 23.8%	68 12.1%	245 43.4%	142 25.2%	141 25.0%	29 5.1%	62 11.0%	21 3.7%	23 4.1%
身体障がい	285 -	11 3.9%	26 9.1%	59 20.7%	27 9.5%	54 18.9%	21 7.4%	121 42.5%	68 23.9%	74 26.0%	19 6.7%	29 10.2%	7 2.5%	18 6.3%
視覚障がい	18 -	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	9 50.0%	5 27.8%	6 33.3%	2 11.1%	2 11.1%	1 5.6%	1 5.6%
聴覚・平衡機能障がい	42 -	1 2.4%	8 19.0%	8 19.0%	6 14.3%	11 26.2%	4 9.5%	13 31.0%	10 23.8%	9 21.4%	2 4.8%	8 19.0%	2 4.8%	2 4.8%
音声・言語・そしゃく機能障がい	17 -	0 0.0%	3 17.6%	3 17.6%	2 11.8%	4 23.5%	3 17.6%	10 58.8%	1 5.9%	6 35.3%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%
肢体不自由	148 -	8 5.4%	13 8.8%	33 22.3%	10 6.8%	27 18.2%	9 6.1%	78 52.7%	41 27.7%	44 29.7%	9 6.1%	9 6.1%	3 2.0%	6 4.1%
内部障がい	57 -	2 3.5%	1 1.8%	11 19.3%	2 3.5%	13 22.8%	3 5.3%	17 29.8%	11 19.3%	13 22.8%	5 8.8%	7 12.3%	1 1.8%	6 10.5%
その他	26 -	0 0.0%	3 11.5%	5 19.2%	6 23.1%	1 3.8%	2 7.7%	11 42.3%	7 26.9%	5 19.2%	3 11.5%	3 11.5%	0 0.0%	1 3.8%
知的障がい	142 -	20 14.1%	17 12.0%	37 26.1%	8 5.6%	33 23.2%	14 9.9%	83 58.5%	50 35.2%	43 30.3%	4 2.8%	14 9.9%	5 3.5%	4 2.8%
精神障がい	141 -	11 7.8%	35 24.8%	32 22.7%	21 14.9%	43 30.5%	27 19.1%	46 32.6%	24 17.0%	24 17.0%	7 5.0%	18 12.8%	8 5.7%	1 0.7%
難病	46 -	5 10.9%	6 13.0%	9 19.6%	0 0.0%	8 17.4%	6 13.0%	24 52.2%	11 23.9%	12 26.1%	2 4.3%	4 8.7%	2 4.3%	3 6.5%
無回答	11 -	3 27.3%	2 18.2%	3 27.3%	3 27.3%	6 54.5%	4 36.4%	4 36.4%	3 27.3%	5 45.5%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%

(3) 法律や計画、制度の認知状況

問 45 あなたは次の法律や計画、制度を知っていますか。(項目ごとに○はひとつ)

全体では、④成年後見制度で「よく知っている」、「名前は聞いたことがある」の割合が高く、①障害者差別解消法、②久喜市障がい者計画、③久喜市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の3項目では「知らない」の割合が7割を超えて高くなっています。



障がい別・部位別に見ると、聴覚・平衡機能障がいの方では①障害者差別解消法、②久喜市障がい者計画、知的障がいの方では③久喜市障がい福祉計画・障がい児福祉計画、④成年後見制度を「よく知っている」と回答した割合が、他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	①障害者差別解消法					②久喜市障がい者計画				
	全体	よく知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	全体	よく知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	1,753 100.0%	53 3.0%	231 13.2%	1,338 76.3%	131 7.5%	1,753 100.0%	28 1.6%	284 16.2%	1,314 75.0%	127 7.2%
身体障がい	1,125 100.0%	31 2.8%	150 13.3%	853 75.8%	91 8.1%	1,125 100.0%	20 1.8%	185 16.4%	833 74.0%	87 7.7%
視覚障がい	63 100.0%	1 1.6%	13 20.6%	41 65.1%	8 12.7%	63 100.0%	0 0.0%	10 15.9%	44 69.8%	9 14.3%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	11 9.6%	18 15.8%	77 67.5%	8 7.0%	114 100.0%	5 4.4%	18 15.8%	83 72.8%	8 7.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	0 0.0%	4 10.5%	27 71.1%	7 18.4%	38 100.0%	0 0.0%	8 21.1%	24 63.2%	6 15.8%
肢体不自由	473 100.0%	13 2.7%	67 14.2%	358 75.7%	35 7.4%	473 100.0%	12 2.5%	92 19.5%	340 71.9%	29 6.1%
内部障がい	306 100.0%	7 2.3%	36 11.8%	243 79.4%	20 6.5%	306 100.0%	2 0.7%	49 16.0%	236 77.1%	19 6.2%
その他	629 100.0%	22 3.5%	81 12.9%	485 77.1%	41 6.5%	629 100.0%	8 1.3%	100 15.9%	481 76.5%	40 6.4%
知的障がい	250 100.0%	17 6.8%	35 14.0%	184 73.6%	14 5.6%	250 100.0%	6 2.4%	50 20.0%	178 71.2%	16 6.4%
精神障がい	296 100.0%	4 1.4%	39 13.2%	241 81.4%	12 4.1%	296 100.0%	2 0.7%	47 15.9%	237 80.1%	10 3.4%
難病	153 100.0%	4 2.6%	21 13.7%	119 77.8%	9 5.9%	153 100.0%	1 0.7%	24 15.7%	119 77.8%	9 5.9%
無回答	52 100.0%	1 1.9%	4 7.7%	33 63.5%	14 26.9%	52 100.0%	0 0.0%	3 5.8%	37 71.2%	12 23.1%

	③久喜市障がい福祉計画・障がい児福祉計画				④成年後見制度					
	全体	よく知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答	全体	よく知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
全体	1,753 100.0%	44 2.5%	275 15.7%	1,298 74.0%	136 7.8%	1,753 100.0%	189 10.8%	619 35.3%	812 46.3%	133 7.6%
身体障がい	1,125 100.0%	29 2.6%	177 15.7%	824 73.2%	95 8.4%	1,125 100.0%	113 10.0%	387 34.4%	528 46.9%	97 8.6%
視覚障がい	63 100.0%	0 0.0%	11 17.5%	43 68.3%	9 14.3%	63 100.0%	5 7.9%	23 36.5%	27 42.9%	8 12.7%
聴覚・平衡機能障がい	114 100.0%	5 4.4%	18 15.8%	82 71.9%	9 7.9%	114 100.0%	10 8.8%	32 28.1%	60 52.6%	12 10.5%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 100.0%	1 2.6%	5 13.2%	26 68.4%	6 15.8%	38 100.0%	4 10.5%	9 23.7%	18 47.4%	7 18.4%
肢体不自由	473 100.0%	19 4.0%	85 18.0%	335 70.8%	34 7.2%	473 100.0%	61 12.9%	173 36.6%	205 43.3%	34 7.2%
内部障がい	306 100.0%	4 1.3%	44 14.4%	236 77.1%	22 7.2%	306 100.0%	35 11.4%	120 39.2%	128 41.8%	23 7.5%
その他	629 100.0%	15 2.4%	99 15.7%	474 75.4%	41 6.5%	629 100.0%	76 12.1%	232 36.9%	284 45.2%	37 5.9%
知的障がい	250 100.0%	15 6.0%	48 19.2%	172 68.8%	15 6.0%	250 100.0%	44 17.6%	93 37.2%	101 40.4%	12 4.8%
精神障がい	296 100.0%	3 1.0%	42 14.2%	239 80.7%	12 4.1%	296 100.0%	24 8.1%	119 40.2%	143 48.3%	10 3.4%
難病	153 100.0%	3 2.0%	25 16.3%	117 76.5%	8 5.2%	153 100.0%	21 13.7%	54 35.3%	70 45.8%	8 5.2%
無回答	52 100.0%	0 0.0%	4 7.7%	35 67.3%	13 25.0%	52 100.0%	2 3.8%	13 25.0%	23 44.2%	14 26.9%

10. 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスの利用状況・認知状況

問 46 福祉サービスの利用状況についてうかがいます。また、利用状況で「現在利用している」、「以前、利用していた」、「利用したことがない」のいずれかを回答した方は今後3年以内の利用意向についてもお答えください。更に、サービスの利用経験がある方は、満足度もお答えください。(項目ごとに○はひとつ)

サービスの利用状況について、A:訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、相談支援では「現在利用している」という回答は、⑰計画相談支援が11.6%と最も高く、次いで⑧生活介護が6.4%、⑫自立訓練(機能訓練・生活訓練)が4.7%となっています。

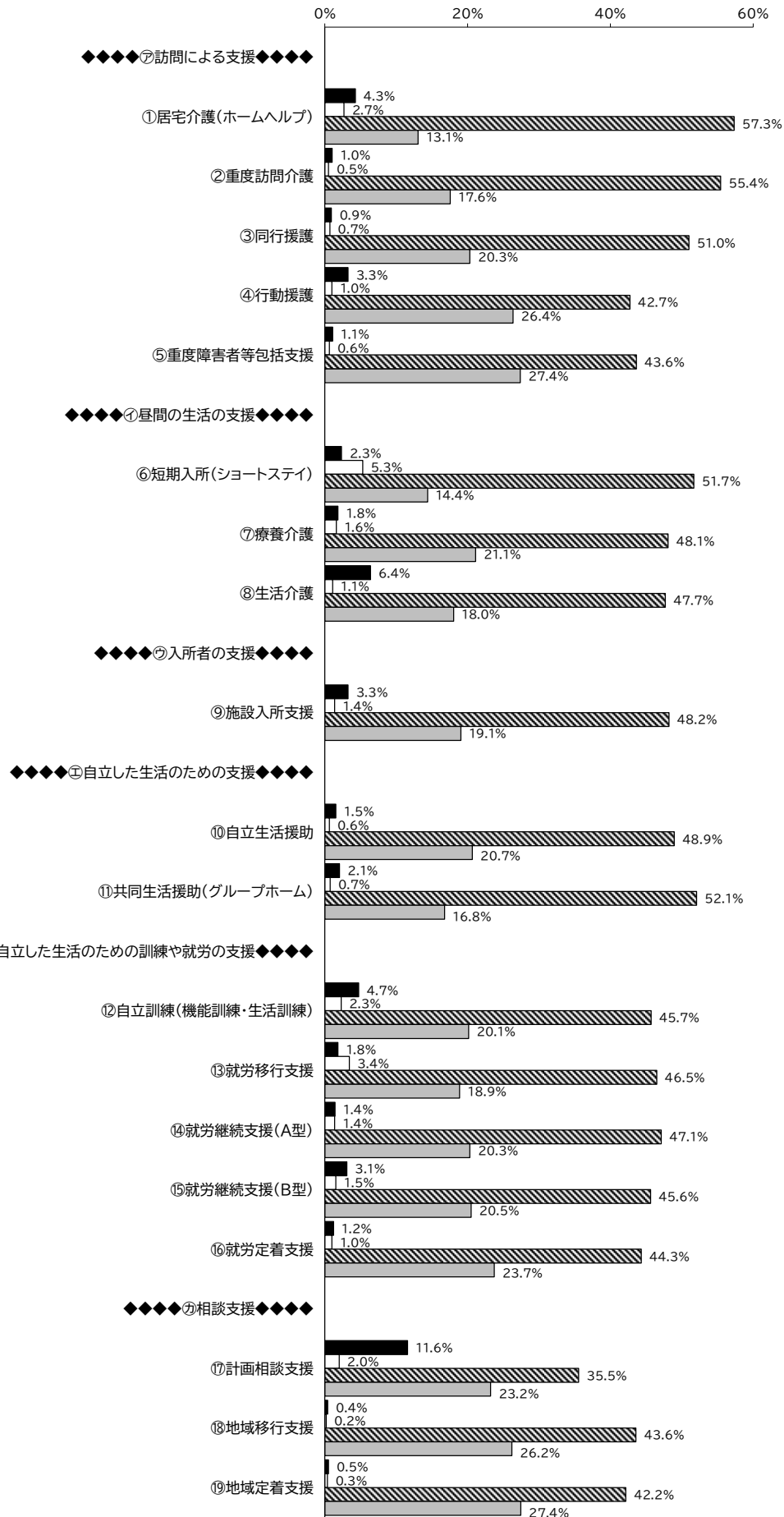
「以前、利用していた」という回答は、⑥短期入所(ショートステイ)が5.3%と最も高く、次いで⑬就労移行支援が3.4%、①居宅介護(ホームヘルプ)が2.7%となっています。

「利用したことがない」という回答は、①居宅介護(ホームヘルプ)が57.3%と最も高く、次いで②重度訪問介護が55.4%、⑪共同生活援助(グループホーム)が52.1%となっています。

「サービスを知らない」という回答は、⑤重度障害者等包括支援、⑱地域定着支援がともに27.4%と最も高く、次いで④行動支援が26.4%となっています。

総数=1,753人

A 訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、相談支援



■現在利用している □以前、利用していた ▨利用したことがない □サービスを知らない

B:地域生活支援事業では「現在利用している」という回答は、㉓日常生活用具給付等事業が7.8%と最も高く、次いで㉐相談支援事業が3.7%、㉔移動支援事業が3.1%となっています。

「以前、利用していた」という回答は、㉓日常生活用具給付等事業が1.9%と最も高く、次いで㉔移動支援事業が1.7%、㉐相談支援事業が1.5%となっています。

「利用したことがない」という回答は、㉗訪問入浴サービス事業が50.4%と最も高く、次いで㉑成年後見制度利用支援事業が46.9%、㉔移動支援事業、㉕地域活動支援センター事業がともに41.4%となっています。

「サービスを知らない」という回答は、㉗意思疎通支援事業が31.8%と最も高く、次いで㉑日中一時支援事業が30.3%、㉕地域活動支援センター事業が28.0%となっています。

C:障がい児福祉サービスでは「現在利用している」という回答は、㉘障害児相談支援が3.2%と最も高く、次いで㉑放課後等デイサービスが3.1%、㉙児童発達支援が1.5%となっています。

「以前、利用していた」という回答は、㉙児童発達支援が1.3%と最も高く、次いで㉘障害児相談支援、㉑放課後等デイサービスがともに0.5%となっています。

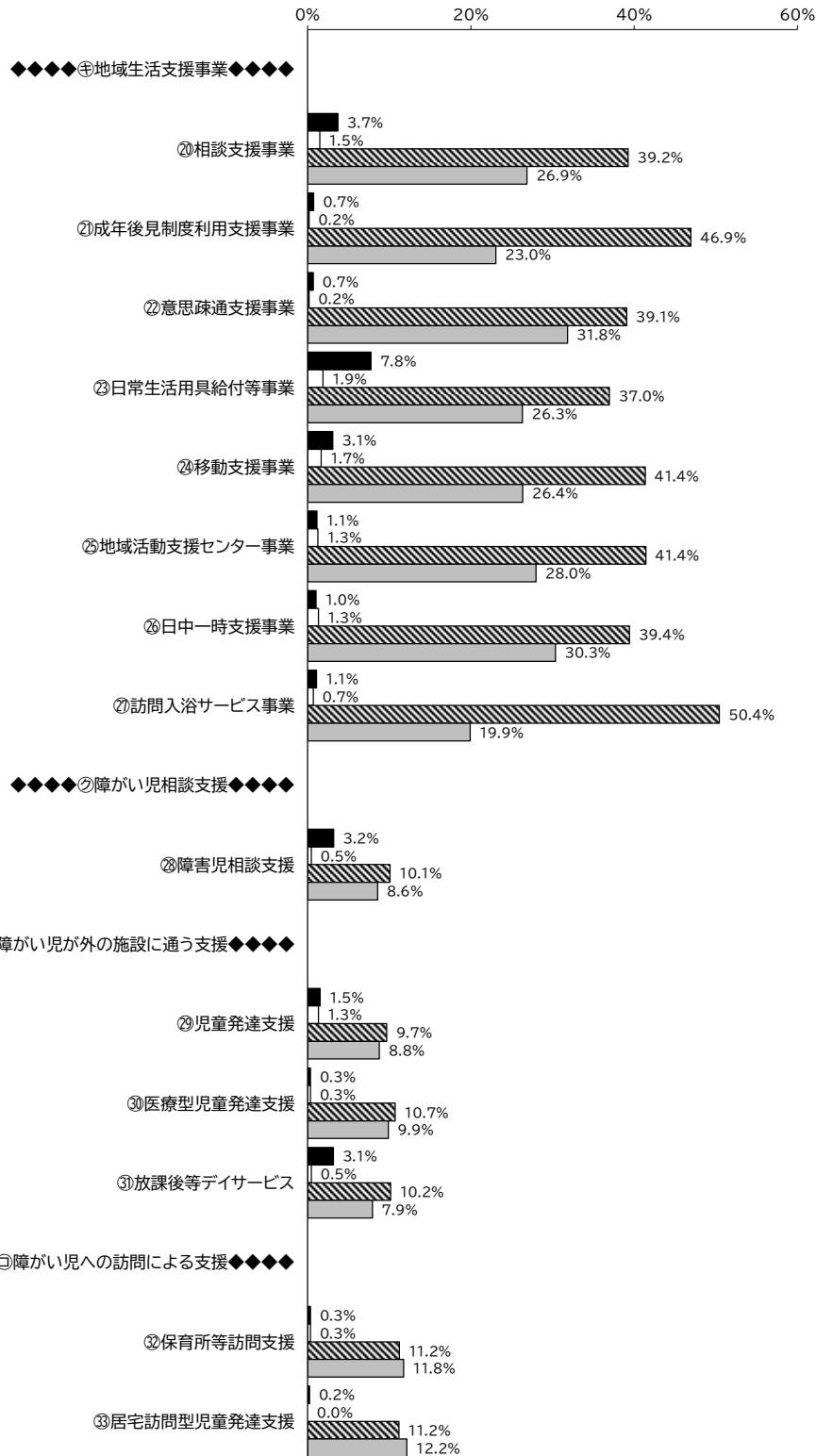
「利用したことがない」という回答は、㉚保育所等訪問支援、㉛居宅訪問型児童発達支援がともに11.2%と最も高く、次いで㉟医療型児童発達支援が10.7%となっています。

「サービスを知らない」という回答は、居宅訪問型児童発達支援が12.2%と最も高く、次いで㉚保育所等訪問支援が11.8%、㉟医療型児童発達支援9.9%となっています。

総数=1,753人

B 地域生活支援事業

C 障がい児福祉サービス

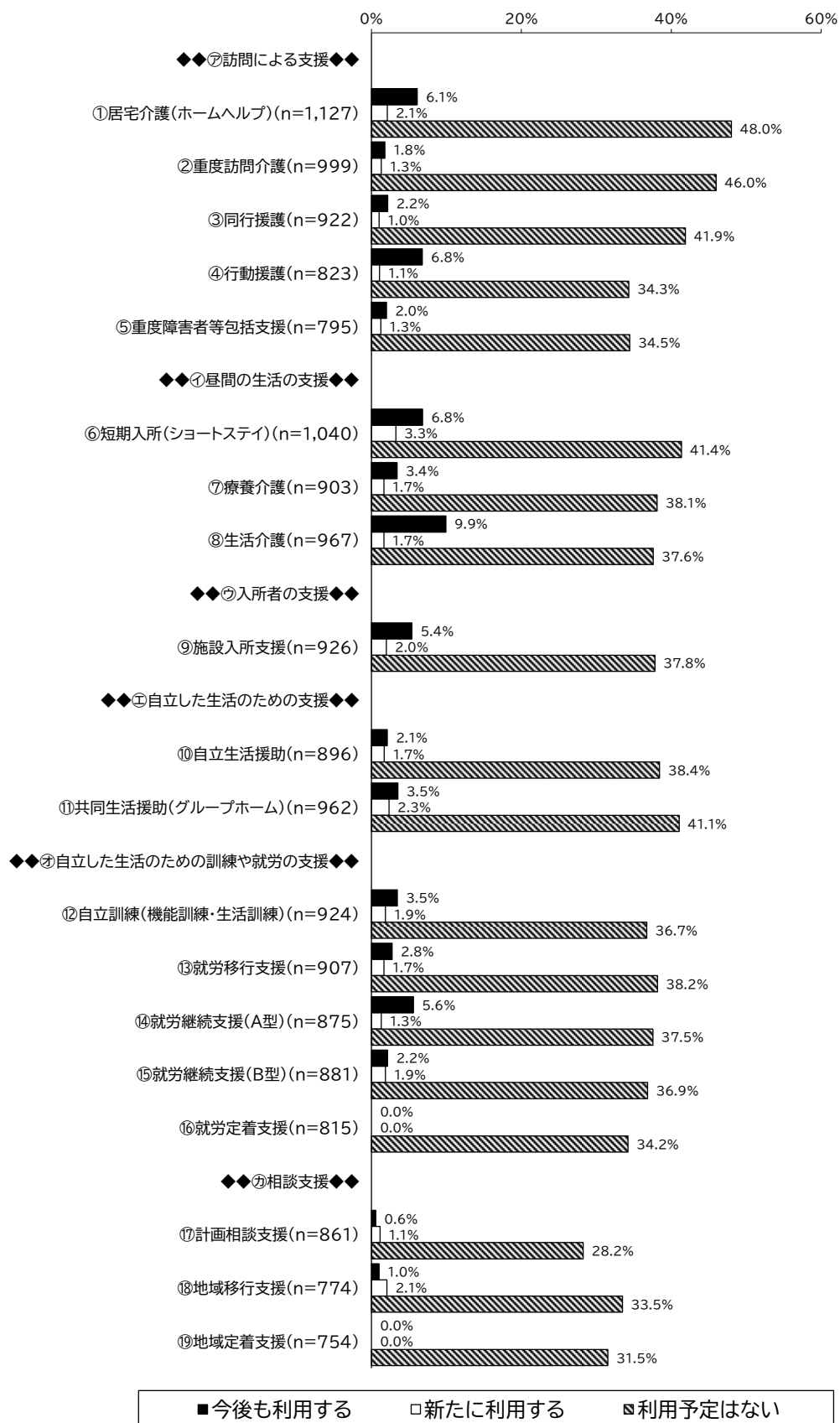


■現在利用している □以前、利用していた ▨利用したことがない □サービスを知らない

サービスの今後の利用意向について、A:訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、相談支援では「今後も利用する」という回答は、⑧生活介護が9.9%と最も高く、次いで④行動援護、⑥短期入所(ショートステイ)がともに6.8%となっています。

「新たに利用する」という回答は、⑥短期入所(ショートステイ)が3.3%と最も高く、次いで⑩共同生活援助(グループホーム)が2.3%、①居宅介護(ホームヘルプ)が2.1%となっています。

「利用する予定はない」という回答は、①居宅介護(ホームヘルプ)が48.0%と最も高く、次いで②重度訪問介護が46.0%、③同行援護が41.9%となっています。



B:地域生活支援事業では「今後も利用する」という回答は、②意思疎通支援事業が17.4%と最も高く、次いで③日常生活用具給付等事業が6.4%、④移動支援事業、⑤地域活動支援センター事業がともに2.6%となっています。

「新たに利用する」という回答は、⑩相談支援事業が2.6%と最も高く、次いで②意思疎通支援事業、③日常生活用具給付等事業がともに1.7%となっています。

「利用予定はない」という回答は、⑦訪問入浴サービス事業が38.4%と最も高く、次いで②成年後見制度利用支援事業が34.5%、⑤地域活動支援センター事業が31.6%となっています。

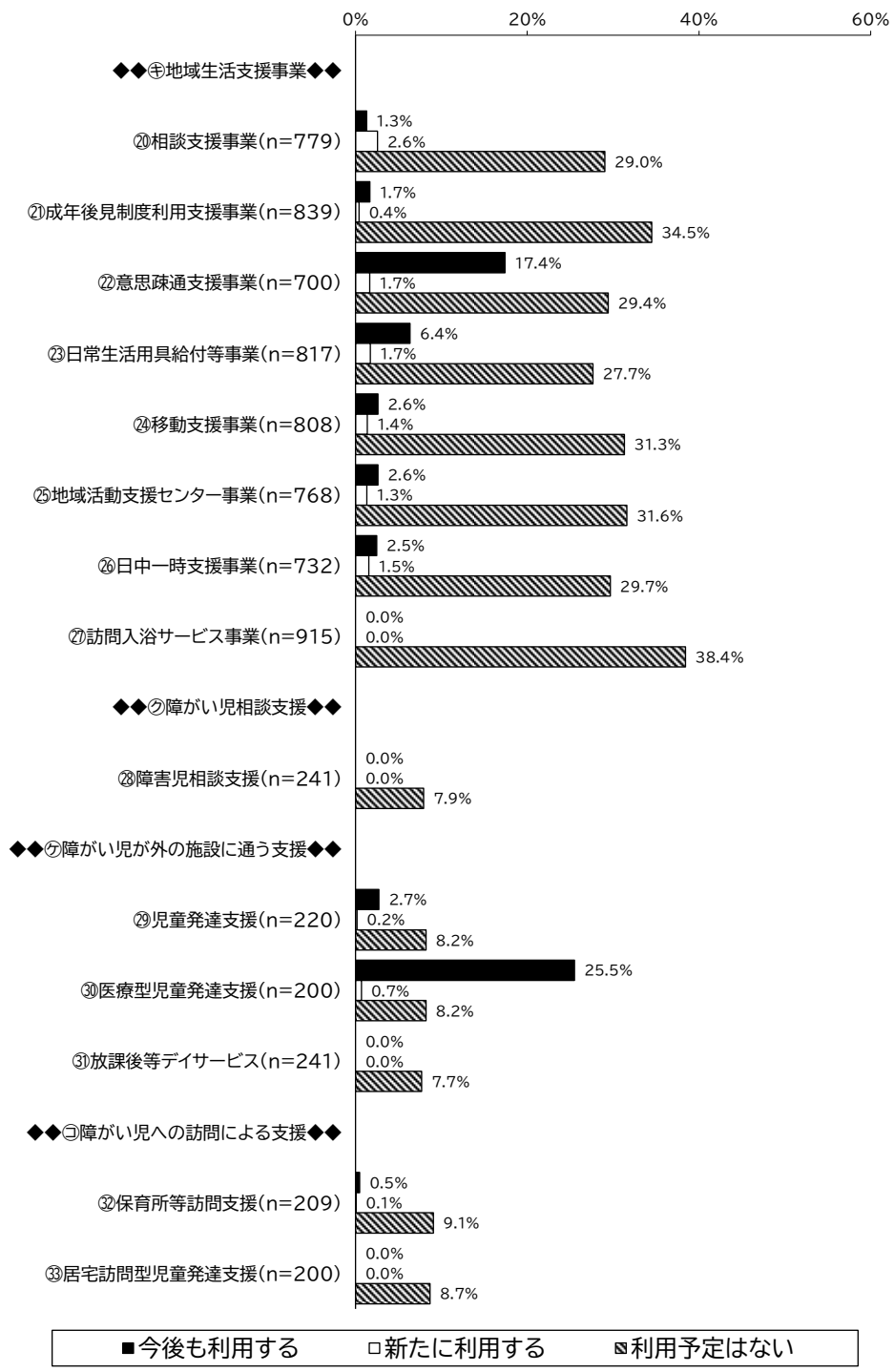
C:障がい児福祉サービスでは「今後も利用する」という回答は、⑩医療型児童発達支援が25.5%と最も高く、次いで⑨児童発達支援が2.7%、⑫保育所等訪問支援が0.5%となっています。

「新たに利用する」という回答は、⑩医療型児童発達支援が0.7%と最も高く、次いで⑨児童発達支援が0.2%となっています。

「利用予定はない」という回答は、⑫保育所等訪問支援が9.1%と最も高く、次いで⑬居宅訪問型児童発達支援が8.7%、⑨児童発達支援、⑩医療型児童発達支援がともに8.2%となっています。

B. 地域生活支援事業

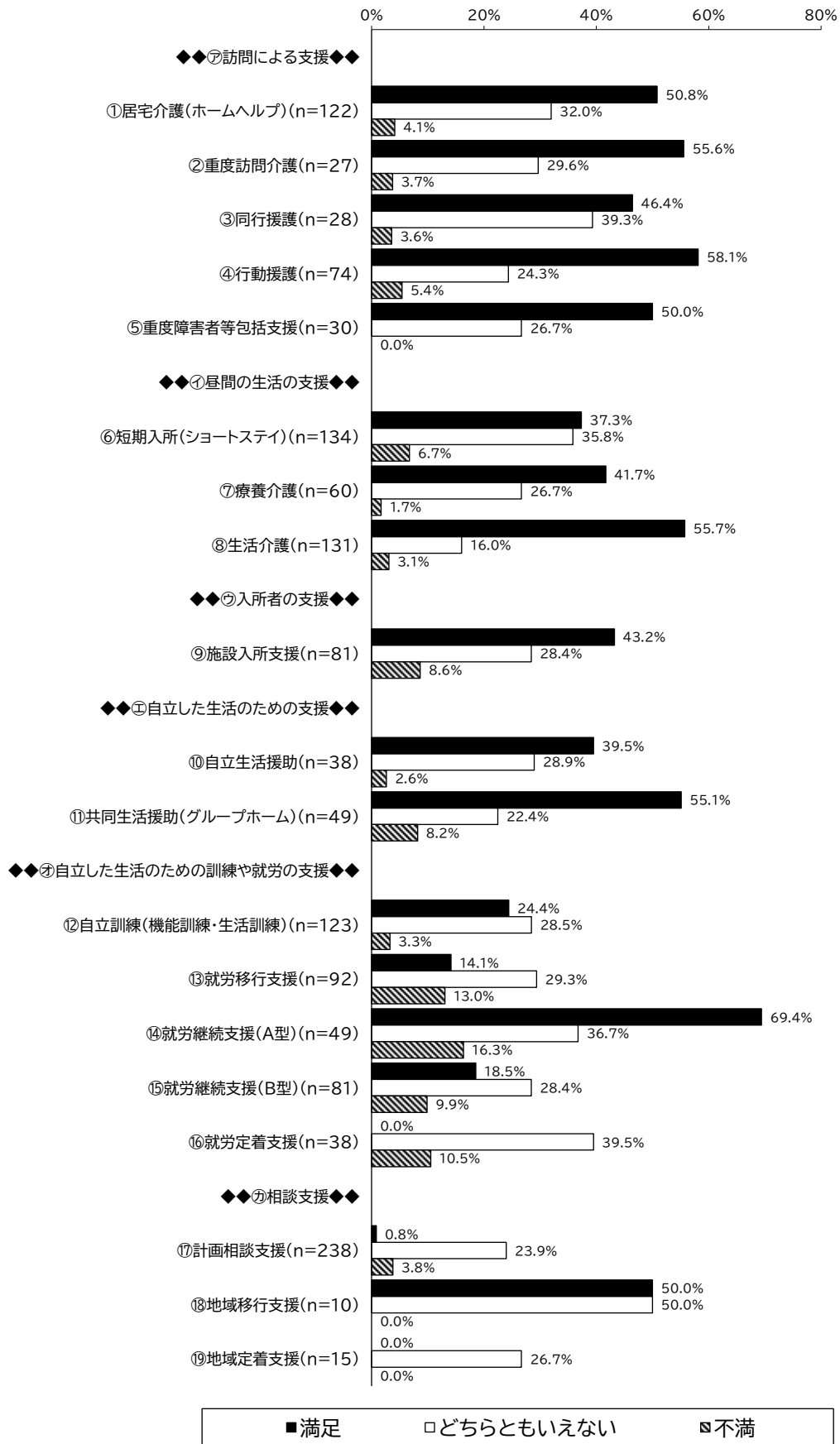
C. 障がい児福祉サービス



サービスの利用経験がある方の満足度について、A:訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、相談支援では「満足」という回答は、⑭就労継続支援(A型)が69.4%と最も高く、次いで④行動援護が58.1%、⑧生活介護が55.7%となっています。

「どちらともいえない」という回答は、⑱地域移行支援が50.0%と最も高く、次いで⑯就労定着支援が39.5%、③同行援護が39.3%となっています。

「不満」という回答は、⑭就労継続支援(A型)が16.3%と最も高く、次いで⑬就労移行支援が13.0%、⑯就労定着支援が10.5%となっています。



B:地域生活支援事業では「満足」という回答は、②意思疎通支援事業が 60.0%と最も高く、次いで③日常生活用具給付等事業が 56.8%、④移動支援事業が 53.0%となっています。

「どちらともいえない」という回答は、⑤地域活動支援センター事業が 38.1%と最も高く、次いで⑥日中一時支援事業が 29.3%、⑦相談支援事業が 25.3%となっています。

「不満」という回答は、⑤地域活動支援センター事業が 14.3%と最も高く、次いで⑧訪問入浴サービス事業が 6.5%、⑨成年後見制度利用支援事業 6.3%となっています。

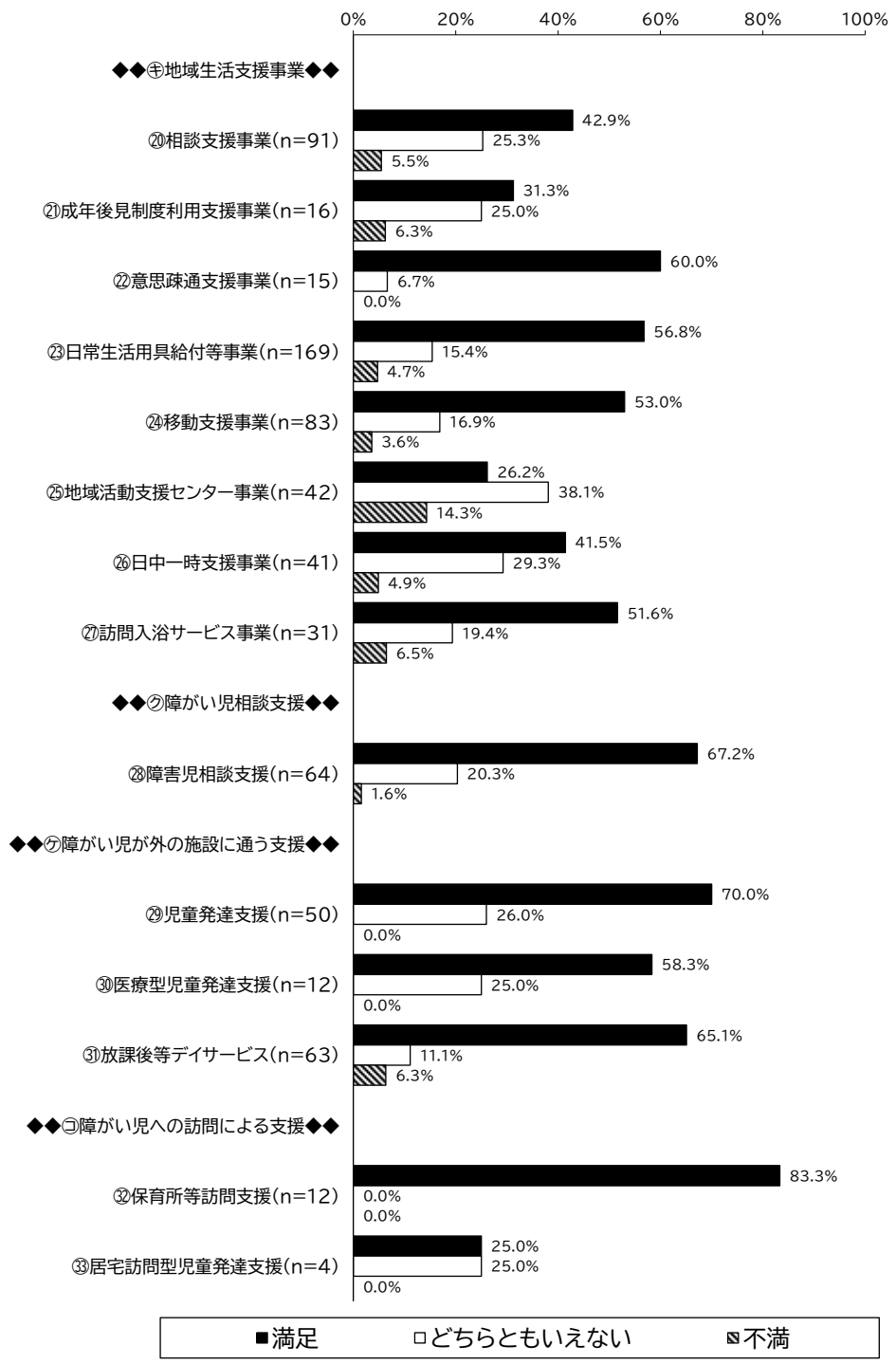
C:障がい児福祉サービスでは「満足」という回答は、⑩保育所等訪問支援が83.3%と最も高く、次いで⑪児童発達支援が 70.0%、⑫障害児相談支援が 67.2%となっています。

「どちらともいえない」という回答は、⑪児童発達支援が 26.0%と最も高く、次いで⑬医療型児童発達支援、⑭居宅訪問型児童発達支援がともに 25.0%となっています。

「不満」という回答は、⑮放課後等デイサービスが 6.3%と最も高く、次いで⑫障害児相談支援が 1.6%となっています。

B. 地域生活支援事業

C. 障がい児福祉サービス



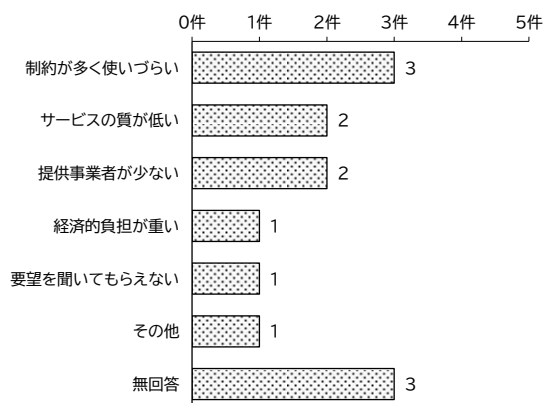
(2) サービスについての満足度が不満の理由

問 47 問 46 の満足度で「不満」に○をつけた方にお聞きます。不満の理由を㉗～㉙のサービスの分類ごとに選んでください。(○はいくつでも)「その他」に○をつけたときには、その内容を下に記載してください。

(※回答者数が少ないため件数で表示しています。)

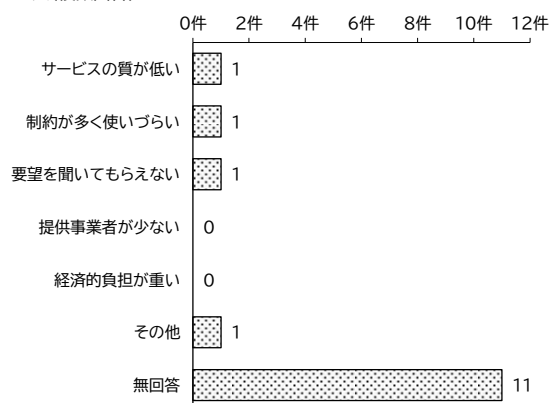
㉗ 訪問による支援

総数=10人(複数回答)



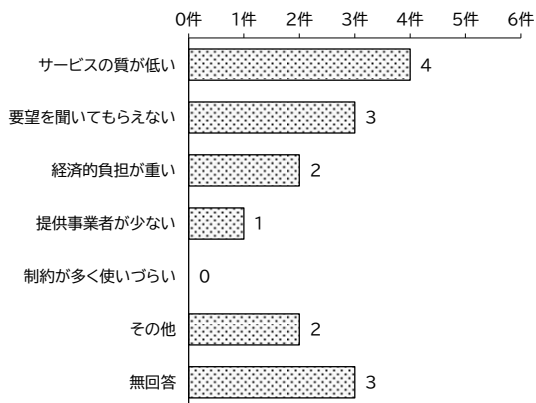
㉘ 昼間の生活の支援

総数=14人(複数回答)



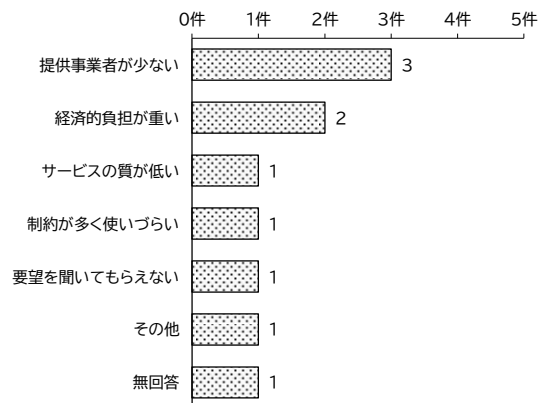
㉙ 入所者の支援

総数=7人(複数回答)



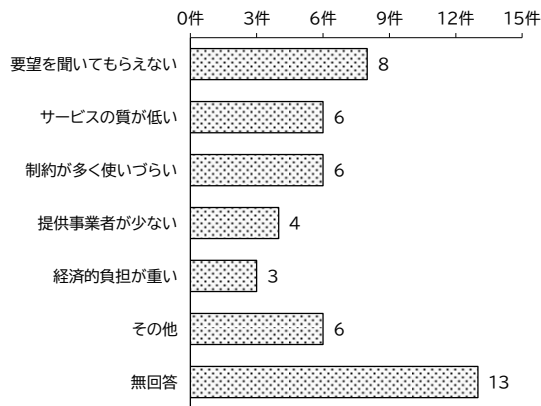
㉚ 自立した生活のための支援

総数=5人(複数回答)



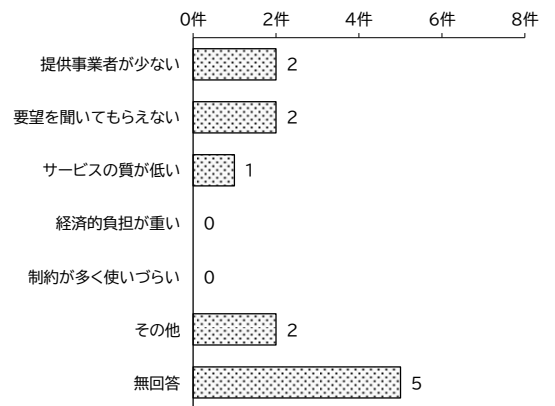
㊦自立した生活のための訓練や就労のための支援

総数=5人(複数回答)



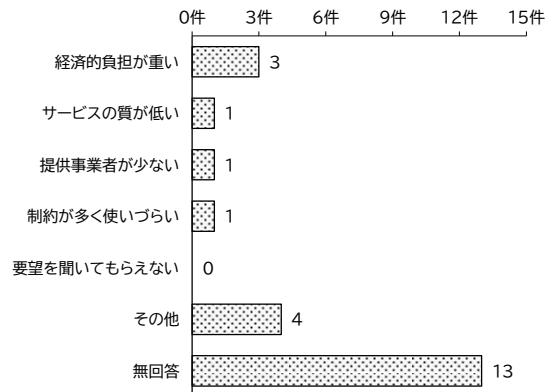
㊧相談支援

総数=9人(複数回答)



㊨地域生活支援事業

総数=20人(複数回答)

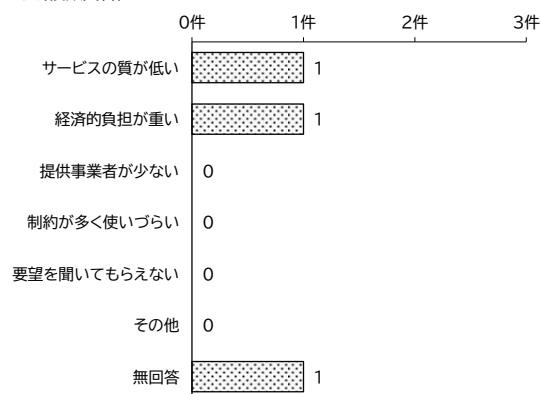


㊩障がい児相談支援

該当者はいませんでした。

㊪障がい児が外の施設に通う支援

総数=2人(複数回答)



㊫障がい児への訪問による支援

該当者はいませんでした。

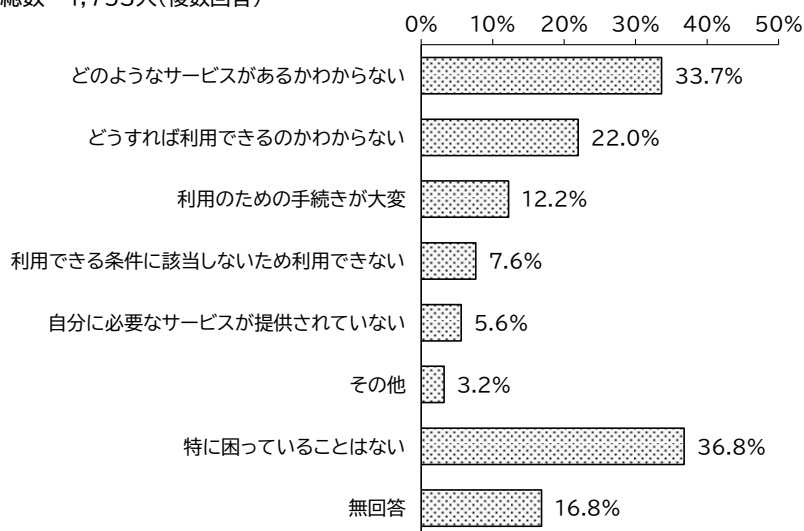
(3) サービス利用に関して困っていること

問 48 あなたはサービス利用に関して困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「どのようなサービスがあるかわからない」が 33.7%と最も高く、次いで「どうすれば利用できるのかわからない」が 22.0%、「利用のための手続きが大変」が 12.2%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、聴覚・平衡機能障がい、知的障がい、精神障がい、難病の方で「どのようなサービスがあるかわからない」の割合が、他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	どの ある ような サービス が	どう すれば 利用 できる のか	利用 できる 条件に 該当し ない	自分 に必要 なサー ビスが	利用 のため の手続 きが大 変	その他	特に 困って いるこ とはな い	無 回答
全体	1,753 -	590 33.7%	385 22.0%	134 7.6%	98 5.6%	214 12.2%	56 3.2%	645 36.8%	295 16.8%
身体障がい	1,125 -	344 30.6%	203 18.0%	84 7.5%	45 4.0%	102 9.1%	35 3.1%	431 38.3%	232 20.6%
視覚障がい	63 -	15 23.8%	13 20.6%	4 6.3%	5 7.9%	6 9.5%	6 9.5%	21 33.3%	14 22.2%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	45 39.5%	24 21.1%	10 8.8%	3 2.6%	19 16.7%	2 1.8%	30 26.3%	23 20.2%
音声・言語・そしゃく 機能障がい	38 -	10 26.3%	5 13.2%	1 2.6%	3 7.9%	4 10.5%	3 7.9%	12 31.6%	12 31.6%
肢体不自由	473 -	149 31.5%	89 18.8%	34 7.2%	27 5.7%	50 10.6%	15 3.2%	180 38.1%	92 19.5%
内部障がい	306 -	97 31.7%	56 18.3%	25 8.2%	15 4.9%	20 6.5%	13 4.2%	113 36.9%	60 19.6%
その他	168 -	43 25.6%	23 13.7%	15 8.9%	2 1.2%	8 4.8%	3 1.8%	82 48.8%	37 22.0%
知的障がい	250 -	86 34.4%	69 27.6%	18 7.2%	20 8.0%	46 18.4%	12 4.8%	78 31.2%	28 11.2%
精神障がい	296 -	132 44.6%	102 34.5%	28 9.5%	28 9.5%	59 19.9%	10 3.4%	97 32.8%	19 6.4%
難病	153 -	50 32.7%	27 17.6%	14 9.2%	14 9.2%	19 12.4%	4 2.6%	65 42.5%	23 15.0%
無回答	52 -	18 34.6%	9 17.3%	5 9.6%	3 5.8%	10 19.2%	1 1.9%	16 30.8%	14 26.9%

(4) 現在あるもの以外で必要なサービス

問 49 問 48 で「4. 自分に必要なサービスが提供されていない」に○をつけた方にお聞きします。現在あるサービス以外で、あなたはどのようなサービスが必要ですか。（自由記入）

97 件の回答がありました。主な記載内容をもとに分類した結果、「外出・移動支援」に関するサービスが、17 件と最も多く、次いで「交通機関・交通費助成」が 13 件、「相談支援・情報提供」、「就労支援」がともに 8 件となっています。

項目		件数	項目		件数
1	医療・リハビリ	6	8	就労支援	8
2	外出・移動手段	17	9	緊急時支援	1
3	交通機関・交通費助成	13	10	学習支援	4
4	訪問系サービス・家事援助	4	11	経済的支援	7
5	通所系サービス	1	12	その他	21
6	余暇活動・生涯学習・スポーツ	2	13	わからない	2
7	相談支援・情報提供	8			
	短期入所・レスパイト	2			
	住まい・住宅改修	1			
回答総数					97

◆主な意見の概要

※紙面の関係で内容を抜粋・要約している場合があります。

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
コミュニケーショントレーニング。専門的に ST、OT による語いをふやすようなトレーニング。感情を自己コントロールできるようなトレーニング。	10 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
施設内で自分の意志が伝わらず、トラブルが多い。	10 歳代・男性 聴覚・平衡機能障がい 肢体不自由 内部障がい	ご家族
医者に行く交通費	10 歳代・男性 内部障がい	ご本人
あるのかもしれませんが、学校での通常学級での勉強のサポート、補助。	10 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
住居が障害者生活に適していないため危険を感じる時がある。トイレ、浴室など。転居は障害者に不利が多いと聞く。市役所の支援はあるのか？	10 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
今のところ（これからも）買物や病院など余事がある時、足がないので買物バスなど出していただけたら。	10 歳代・女性 肢体不自由	ご本人

障害級が低いいため車いす利用のためのカードがもらえません。手が不自由なため買い物の品を車に乗せるためにお店の近くに止めたいです。	10 歳代・女性 肢体不自由	ご本人
休日などに外出したい時、同行してくれるヘルパーさんの予定が合わない。	10 歳代・女性 視覚障がい 知的障がい	ご本人
定期的と一緒に家事を手伝ってもらったり不安な事を話せる人	10 歳代・女性 精神障がい	ご本人
必要なサービスが分からない。	10 歳代・女性 肢体不自由 難病	ご家族
どのようなサービスがあって、どう利用したらよいか、医療機関からも情報提供がほしい。	10 歳代・女性 精神障がい	ご家族
緩和ケアも自宅介護もお金がかかる。身体的病で働けず、お金が入ってこないのに月々の生活費はかかる。金銭面での支援がほしい。	10 歳代・女性 肢体不自由	ご本人
学校等との連携をとってほしい。	10 歳代・女性 障がい・部位不明	ご家族
アルバイトの斡旋など。	20 歳代・男性 精神障がい	ご本人
通院の付き添いをお願いできれば大変助かるのですが。	20 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
例えばデイケアでの「〇〇資格を取るプログラム」など個人のニーズに合わせたプログラムがあったらいいのになあ～！	20 歳代・男性 精神障がい	ご本人
余暇活動を支えるサービスがない。	20 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
障がいや病気等で会社勤めが難しい場合、独立開業等の支援があると大変良いと思います。	20 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
収入面での援助	20 歳代・男性 精神障がい	ご本人
目が悪いのに「自筆で」という書類が多くて困る。すべて代理人可にしてほしい。銀行等も同様。	20 歳代・男性 視覚障がい	ご家族
無線放送が聞きにくい。	20 歳代・女性 障がい・部位不明	ご本人
就労支援自立支援を充実させてほしい。	20 歳代・女性 精神障がい・難病	ご本人
1人ぐらしして3年。町の民生委員の人1回位訪問してくれてもいいんじゃないですか。1人暮らしが多いからそんな事出来ないのかしら？	20 歳代・女性 身体その他障がい	回答者 不明
軽度の障害レベルになると受けられるサービスの量が少なすぎる。仮に受けられるサービスがあっても活用したいと思えるサービスが無いので無駄な機能になっている。	30 歳代・男性 精神障がい	ご本人
重度障がい者以外では、サービス提供はされていないし必要もないかもしれないが、本人達は辛い思いをしています。	30 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
車移動での同行援護	30 歳代・男性 視覚障がい・難病	ご本人
移動に自由に使えるサービス	30 歳代・女性 肢体不自由	ご本人
どの企業でも現場実習ができるサービスがほしい。	30 歳代・女性 知的障がい 精神障がい	ご本人

ヘルプマークをもらう事が出来なかった。必要時に助けを求める分かりやすいツールがあると助かる。指定難病の申請を自分で行うのが難しかった。今は回復しているが手書きは手指が動きにくい(変形性を伴う)ため、必要書類を代行で提出してもらえサービスがほしかった。体調が悪くて提出できない申請できない人も多いと思う。	30 歳代・女性 難病	ご本人
難病に関する、医療費の支援。仕事で足りない分の生活費のサポート。	30 歳代・女性 難病	ご本人
路線バス停までの15分徒歩ですが、途中信号があり信号機を理解できない為に支援してほしいですが福祉課の方にあっさり断られました。	40 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
コロナ渦、不景気で就職できないので補助金の様なものが希望です。	40 歳代・男性 精神障がい	ご本人
病院が遠い。往復の交通費や、医療費が10月から2割負担になった。	40 歳代・女性 障がい 部位不明	ご本人
地域活動支援センターを利用したことがあるが若い人が少ない。当時20代だったが他の利用者とは話が合わなかった。	40 歳代・女性 精神障がい	ご本人
病状や年齢で受けられるサービスから外れてしまうので症状で認定を受けられるようになってほしい。	40 歳代・女性 精神障がい	ご家族
話し相手、買い物の際の同伴、階段の昇り降り	40 歳代・女性 肢体不自由 内部障がい	ご本人
(行動援護)サービスがあっても事業所(2か所と契約している)に受け入れられる人がいない。理由 車椅子なので体力的にできる人がいない。行動援護の資格を持っている人が足りない。	40 歳代・女性 音声・言語・そしゃく 機能障がい 肢体不自由	ご家族
話せず言葉の認識ができず、日常的な事理解もできず、動けずの者が、一時的に介助者の介護を受けられない時に短期で預かって介護してほしいが、ショートステイも日常的に施設的に利用しては利用できないとの話。本当に困っている者は、その時のみ預かってもらう場所がない。子供の一時保育の様に誰でも無条件で1日預かっていただける場所(サービス)があればと思います。	40 歳代・女性 精神障がい	ご家族
施設で生活しているが職員の人数が不足していて、食事の介助の時、3~4人を1人で食べさせていた。トイレの時も10分くらい座ったままで動けないでいる。外出(お散歩、ドライブ)が少なく部屋にずっといるのが辛い。	40 歳代・女性 肢体不自由 知的障がい	ご家族
生活費の支給	40 歳代・女性 精神障がい	ご本人
親の急病に備えて支援学校、登校時の移動サービスが臨機応変に使えると良い。生活サポートは計画的に事前申込みをしておかないといけないので、一時的な利用といっても利用価値がない。送迎サービスを充実させてほしい。	50 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
他県(都内)にリハビリに行くときタクシーの支援がほしい。	50 歳代・男性 肢体不自由・難病	ご本人
勤務先まで出張して話を聞いてほしい(定期的)。その後解決まで協力してほしい。	50 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
そもそもどんなサービスが受けられるかを情報開示し、病院等より案内がほしい。	50 歳代・男性 難病	ご本人
補聴器助成サービスを行ってほしい。関東で埼玉だけがこの制度がないのはどうなのか。久喜市が初めにこの制度を導入してほしい。	50 歳代・男性 内部障がい	ご本人
団地の方にも市のバスを回してください。ふれあいセンター遠すぎる。市役所へ行くのにとっても助かります。	50 歳代・男性 肢体不自由	回答者 不明

障害が悪化しないようリハビリが出来る施設への紹介	50 歳代・女性 肢体不自由	ご本人
タクシー券いつもありがとうございます。タクシーで、子供宅に行くのに1枚だとほとんど足りず現金払いです。1度に何枚か使えるようにならないですかね。(年間分返却が多いです。助かっていますが、すみません宜しくです)	50 歳代・女性 内部障がい	ご家族
親なき後の本人の行き場があれば心配なく過ごせる。本人より先には死ねない。	50 歳代・女性 知的障がい 精神障がい	ご家族
スマホの使い方を教えてほしい。スマホで買い物もできるようになりたい。	50 歳代・女性 精神障がい	ご本人
自立支援でなく、生活保護を検討したい。	60 歳代・男性 身体その他障がい 精神障がい	ご本人
就労継続支援にせよ、障がい者枠雇用に就労に必要な時間が長く、短時間から可能な就労先があまりない。短時間から可能な職業技能訓練。	60 歳代・男性 精神障がい	ご本人
年を取るほどに体がどんどん硬直していき、つかまる力も弱まり介助が大変になるので介助者と供に参加できるようなコツや、やり方を教えてくれる場がほしい。(無料で)	60 歳代・女性 視覚障がい 肢体不自由	ご家族
交通 移動の手段	60 歳代・女性 内部障がい	ご家族
済生会病院が南栗橋から加須になったため通院が大変になりました。	60 歳代・女性 内部障がい	ご本人
自転車に乗れないのと歩くのが困難です。タクシー券をもっと多く出してほしい。	60 歳代・女性 障がい・部位不明	回答者 不明
夜間や休日でも対応してくれる相談窓口	60 歳代・女性 精神障がい	ご本人
弁護士などの相談	60 歳代・女性 精神障がい	ご本人
パーキンソン病の人だけを集めて、色々とお話をもちたいです。近くで、ふれあいセンターとか、病気のこと運動のなど	60 歳代・女性 肢体不自由・難病	ご本人
自立したい。毎日楽しく1日1日を過ごしたい。	60 歳代・女性 精神障がい	ご本人
お世話になっております。只今 79 歳になりました。我が家において洗濯物を取込み中に足が攣ってしまって、只今、変形性膝関節症と言われました。子供が障がい者なので手術とかはダメ、会社を休ませなくてはならないので、生活ができなくなるので考えさせられます！	70 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
巡回バスを利用したいが、本数も良くないと共に経路が少ない。	70 歳代・男性 内部障がい	ご本人
自分の身体の状態に合わせた、これから気を付けて健康的に生活するための専門家による勉強会等。	70 歳代・男性 難病	ご本人
小林地区は交通が不便である為、デマンド交通区域を菖蒲以外でも広げてほしい。(病院や買い物が思うようにできない)	70 歳代・男性 障がい・部位不明	ご家族
栗橋済生会病院が加須に移転し、治療の継続性からも続けたいが、加須病院へは移動(バス等)のサービスがまったくない。加須市民であれば、栗橋駅までバスか利用できるが、久喜市民には適用されない。久喜市民も利用できる様に、行政調整してほしい。	70 歳代・男性 内部障がい	ご本人
安否確認です。	70 歳代・男性 精神障がい	ご本人
豊富なサービスについて自分で勉強します。	70 歳代・男性 肢体不自由	ご本人

発達障害児への教育支援不足。(グレーゾーン児への教育支援が特に不十分。支援級ほどではないが通常急だと不安を感じる等)	70 歳代・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
外出時の移動の手段。今は主人に乗せてもらっている。デマンドが使いにくい。久喜市地区に移動の手段がない。すべてタクシーは高額すぎる。	70 歳代・女性 肢体不自由	ご本人
介護タクシーの利用は高額となり利用できないので通院時車椅子にのせたまま固定できる(走ることができる)レンタカーを貸し出すサービスを提供してほしい。運転は自分です。	70 歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご家族
デイケア以外の活動場所の確保。働けない人が過ごす場所は B 型事業所とデイケアしかない。B 型事業所は偏見も強いしお給料が安すぎる。	70 歳代・女性 精神障がい	ご本人
障がい者が家族の介護をしているので、同じような人との交流がしたい。	70 歳代・女性 精神障がい	ご本人
もっと障がい者の就労支援施設が増えてほしい。	70 歳代・女性 精神障がい	ご本人
同世代の集まりの場がほしい。趣味が共通(ゴルフなど)。	80 歳代・男性 身体その他障がい	ご本人
済生会が加須に移転してしまった。自分がかかっているのは腎臓内科で、新久喜総合病院ではなく、加須まで車で走っている。高齢になり、運転できなくなった時困る。電車だと南栗橋なので乗換えがあり大変。	80 歳代・女性 難病	ご本人
特に交通手段	80 歳代・女性 難病	ご本人
リハビリをしながら生涯いられる施設	80 歳代・女性 肢体不自由	ご家族
医療ケア児者対応の送迎サービス。卒後の医療ケア児者対応できる施設が1つもない。	80 歳代・回答しない 聴覚・平衡機能障がい 肢体不自由 内部障がい 知的障がい・難病	ご家族
障がい年金だけで生活していけるのかが心配です。私、56 歳になっています。母親がいるうちは、なんとか過ごしていますが年金 1 ヶ月6万円ではどうする事も出来ません。生きていけません。	年齢不明・男性 精神障がい	ご家族
買い物を付き合ってもらいたいが、自分が歩けないため車の利用が必要。病院への同行。	年齢不明・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご本人
移動手段	年齢不明・女性 内部障がい	ご家族
車椅子の移動。段差が多く。スロープが少ない。歩道が狭い。	年齢不明・性別不明 聴覚・平衡機能障がい 肢体不自由 内部障がい	回答者不明

11. 障がい者施策について

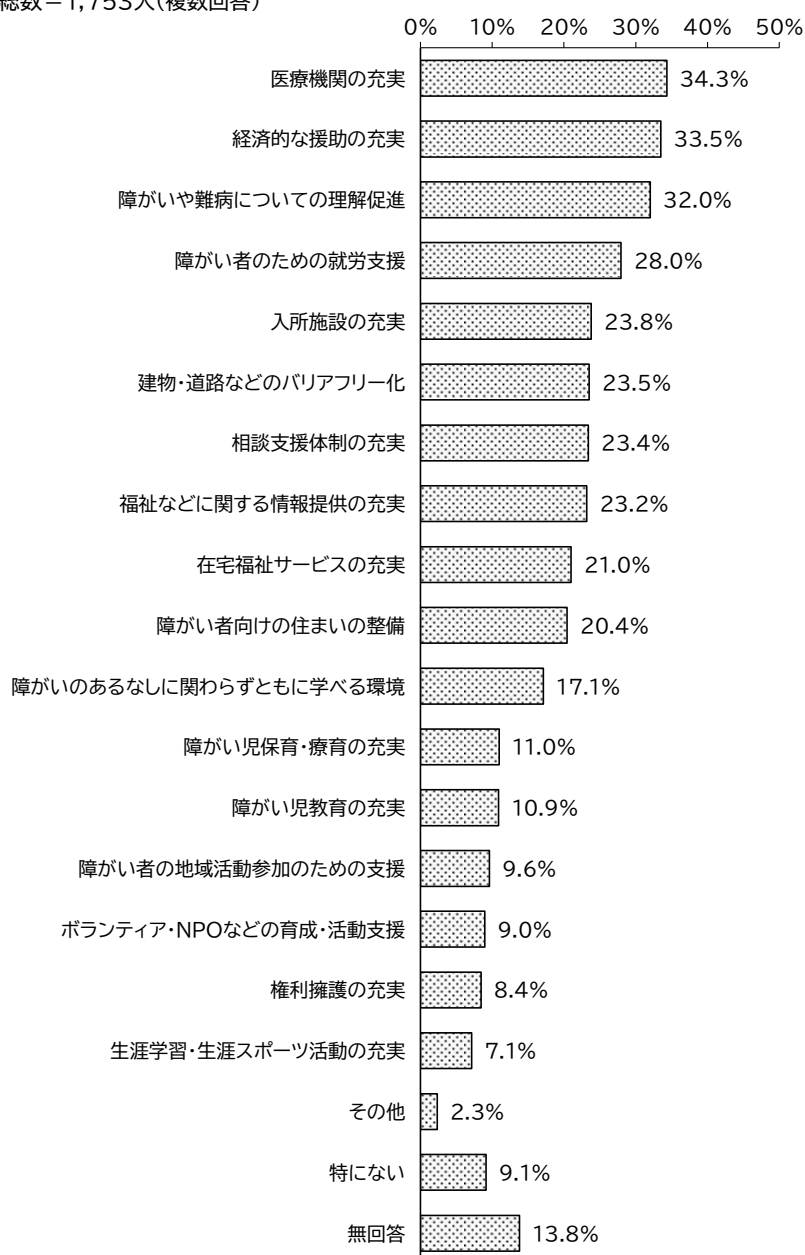
(1) 障がい者施策の充実のために必要なこと

問 50 あなたは今後、障がい者施策を充実するために、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「医療機関の充実」が 34.3%最も高く、次いで「経済的な援助の充実」が 33.5%、「障がいや難病についての理解促進」が 32.0%となっています。

◆全体集計◆

総数=1,753人(複数回答)



障がい別・部位別に見ると、知的障がいの方では「障がい者のための就労支援」、「入所施設の充実」、精神障がいの方では「障がい者のための就労支援」、「経済的な援助の充実」が他の障がい・部位と比較して高くなっています。

◆障がい別・部位別集計◆

	全体	障がいや難病についての理解促進	在宅福祉サービスの充実	障がい児保育・療育の充実	障がい児教育の充実	障がいのあるなしに関わらずともに学べる環境	障がい者のための就労支援	医療機関の充実	障がい者向けの住まいの整備	福祉などに関する情報提供	相談支援体制の充実
全体	1,753 -	561 32.0%	368 21.0%	192 11.0%	191 10.9%	300 17.1%	490 28.0%	602 34.3%	358 20.4%	406 23.2%	410 23.4%
身体障がい	1,125 -	294 26.1%	260 23.1%	92 8.2%	84 7.5%	172 15.3%	210 18.7%	375 33.3%	192 17.1%	244 21.7%	218 19.4%
視覚障がい	63 -	18 28.6%	14 22.2%	4 6.3%	2 3.2%	8 12.7%	14 22.2%	14 22.2%	13 20.6%	19 30.2%	17 27.0%
聴覚・平衡機能障がい	114 -	39 34.2%	25 21.9%	16 14.0%	13 11.4%	26 22.8%	24 21.1%	33 28.9%	20 17.5%	32 28.1%	22 19.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	38 -	8 21.1%	12 31.6%	2 5.3%	4 10.5%	7 18.4%	8 21.1%	10 26.3%	5 13.2%	7 18.4%	10 26.3%
肢体不自由	473 -	126 26.6%	141 29.8%	41 8.7%	38 8.0%	79 16.7%	91 19.2%	167 35.3%	108 22.8%	107 22.6%	103 21.8%
内部障がい	306 -	87 28.4%	65 21.2%	27 8.8%	21 6.9%	52 17.0%	65 21.2%	125 40.8%	40 13.1%	68 22.2%	54 17.6%
その他	168 -	37 22.0%	31 18.5%	12 7.1%	12 7.1%	14 8.3%	22 13.1%	45 26.8%	17 10.1%	26 15.5%	30 17.9%
知的障がい	250 -	86 34.4%	43 17.2%	58 23.2%	66 26.4%	61 24.4%	122 48.8%	92 36.8%	93 37.2%	83 33.2%	80 32.0%
精神障がい	296 -	133 44.9%	47 15.9%	29 9.8%	30 10.1%	59 19.9%	142 48.0%	112 37.8%	66 22.3%	75 25.3%	102 34.5%
難病	153 -	85 55.6%	34 22.2%	24 15.7%	20 13.1%	28 18.3%	44 28.8%	72 47.1%	33 21.6%	34 22.2%	31 20.3%
無回答	52 -	12 23.1%	11 21.2%	6 11.5%	9 17.3%	6 11.5%	12 23.1%	10 19.2%	9 17.3%	8 15.4%	11 21.2%

	障がい者のための地域活動	生涯学習・生涯スポーツ活動の充実	バリアフリー化建物・道路などの	経済的な援助の充実	権利擁護の充実	ボランティア・活動支援などの	入所施設の充実	その他	特にな	無回答
全体	168 9.6%	125 7.1%	412 23.5%	587 33.5%	148 8.4%	157 9.0%	417 23.8%	41 2.3%	160 9.1%	242 13.8%
身体障がい	90 8.0%	57 5.1%	304 27.0%	332 29.5%	62 5.5%	87 7.7%	250 22.2%	25 2.2%	116 10.3%	196 17.4%
視覚障がい	5 7.9%	3 4.8%	24 38.1%	23 36.5%	6 9.5%	5 7.9%	18 28.6%	3 4.8%	4 6.3%	16 25.4%
聴覚・平衡機能障がい	10 8.8%	3 2.7%	24 21.2%	33 29.2%	5 4.4%	10 8.8%	24 21.2%	2 1.8%	10 8.8%	17 15.0%
音声・言語・そしゃく機能障がい	3 7.9%	1 2.6%	11 28.9%	11 28.9%	2 5.3%	3 7.9%	13 34.2%	0.0%	3 7.9%	13 34.2%
肢体不自由	39 8.2%	24 5.1%	167 35.3%	152 32.1%	31 6.6%	51 10.8%	135 28.5%	13 2.7%	46 9.7%	57 12.1%
内部障がい	20 6.5%	15 4.9%	66 21.6%	102 33.3%	14 4.6%	19 6.2%	62 20.3%	8 2.6%	25 8.2%	58 19.0%
その他	13 7.7%	13 7.7%	35 20.8%	34 20.2%	8 4.8%	9 5.4%	25 14.9%	6 3.6%	28 16.7%	37 22.0%
知的障がい	46 18.4%	28 11.2%	51 20.4%	99 39.6%	42 16.8%	37 14.8%	117 46.8%	6 2.4%	16 6.4%	10 4.0%
精神障がい	31 10.5%	27 9.1%	41 13.9%	142 48.0%	42 14.2%	31 10.5%	51 17.2%	11 3.7%	23 7.8%	17 5.7%
難病	10 6.5%	13 8.5%	46 30.1%	52 34.0%	9 5.9%	19 12.4%	38 24.8%	3 2.0%	8 5.2%	17 11.1%
無回答	6 11.5%	7 13.5%	9 17.3%	10 19.2%	6 11.5%	4 7.7%	11 21.2%	1 1.9%	2 3.8%	14 26.9%

(2)自由意見

障がい者施策全般について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

310件の回答がありました。主な記載内容をもとに分類した結果、「障がい理解・啓発について」が39件と最も多く、次いで「行政・制度について」と「外出・生活環境について」がともに38件、「相談・情報提供について」が27件、「経済状況・経済的支援について」が24件、「福祉サービスについて」が20件などとなっています。

項目		件数	項目		件数
1	行政・制度について	38	8	家族・介護者、将来の不安について	15
2	福祉サービスについて	20	9	相談・情報提供について	27
3	障がい理解・啓発について	39	10	入所施設・グループホームについて	13
4	外出・生活環境について	38	11	就労について	10
5	経済状況・経済的支援について	24	12	教育・療育について	7
6	保健・医療について	6	—	その他	60
7	本人の障がいについて	13			
回答総数					310

◆主な意見の概要

※紙面の関係で内容を抜粋・要約している場合があります。

①行政・制度について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
久喜市は周辺の市に比べて福祉にあまり力を入れていない。児童福祉サービスは、加須や幸手は特に良く、久喜には住めないという声をよく聞きます。障がい支援で年収制限などがあるのはおかしいと思います。	10歳未満・男性 知的障がい	ご家族
アンケートの内容が難しく、よく分かりません。サービスを利用したい時にどんな人が使えるのか、申請の仕方を具体的に示したり、申請しやすい体制を作るべき。	10歳代・男性 知的障がい	ご家族
発達、知的障害の診断を行う医療機関が少ない。福祉サービスを受けたくても診断書が作成されるまで支援が受けられないため、支援を受けるまでに時間がかかるので、配慮してほしい。小学校での支援教育は進んでいるが、中学校の支援教育が遅れていて専門知識がある教員が不足している。支援学校が逼迫しているのは、地域の学校で十分な支援教育が受けられないため、支援学校に行かなくても良い子供が進学していくためだと考えている。発達、知的障害の子供達が自由に学べる環境を作ってほしい。発達、知的障害の療育機関について、私的に行う施設を利用した場合、高額になるケースが多いため補助金があると助かります。	10歳代・男性 知的障がい	ご家族
全てに力を入れてほしいと思います。調査をするのであれば、その後どのように充実しているのか結果を求めます。検討中、検討中、前向きに考えていきます…は、考えていないのと同じです。先に命がなくなるのだらうと思います。問50の書いてあることは立派です。本気で考えていただけることを望みます。	10歳代・女性 肢体不自由 知的障がい	ご家族

災害が起きた時に、障害者を受け入れてくれる場所が不明であり、そこが必ず受け入れてくれるかも心配です。生活・就労などすべてにおいて障害者にとっては生きづらい世の中です。もっと寄り添った施策を考えて頂きたいです。宜しくお願い致します。	20 歳代・女性 知的障がい 精神障がい	ご家族
年金未払いの時期があった。是非とも、障害者にも年金が受給できるよう見直してください。私は、生まれたときからの障害者なのです。このことをどうか考慮してください。	30 歳代・男性 精神障がい	ご本人
障がい者が自分で申請しないとサポートが受けられないという制度に対するサポートがほしいです。正直、足も手も動きにくい、変形が進んで行く状態で発熱しながら書類を用意して入院の準備もして、そんな状態になる人が他にもいるなら助けてほしいと思います。回復してみて自分は運よく制度利用できただけだと気づいたので、何とかして改善してもらえると助かります。	30 歳代・女性 難病	ご本人
相談支援計画と、それぞれの利用している事業所の手続きやモニタリング等が重複している様で、もう少し簡素化できないものでしょうか？	30 歳代・女性 知的障がい	その他の方
医療受給者証の所得制限はやめて、上限例えば¥1000 とかにしてほしい。年収800～1000 万の所得がある家はいいが、障害者は色々、お金がかかり、生活は苦しくいっぱい입니다。1番の弱者を助けてほしい。具合が悪いのに、お金がないから病院にいけない。辛いです。	40 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
経済的な事柄に関して各所が鈍感な対応だと思われる。	40 歳代・男性 身体その他障がい	回答者不明
身体障がいの制限を広くしてほしい。認定が受けられず困ってます。	40 歳代・女性 精神障がい	ご家族
型にはまった施策ではなく、障害に応じて柔軟な対応が出来るようになればと思います。型にはめようとすると切りがないと思います。	50 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
地震など災害が起きた場合の問がありました。緊急避難時は日々服用している医薬品等を準備をしている時間がありません。避難所での医薬品を充実させる必要があるのではないのでしょうか。特に市販薬以外の医薬品は人命を左右させるのではないかと思います。避難所に服用薬があると思うと安心できます。登録制で準備できると良いのではないのでしょうか。	50 歳代・男性 内部障がい	ご本人
市役所利用時、窓口への声掛けや話しづらさがある。	50 歳代・女性 精神障がい	ご本人
災害時の支援について個々に決めてほしいです。	50 歳代・女性 知的障がい・難病	ご家族
援護地などの区切りがあるため、一度決まってしまうと今後住む予定、戻る予定がないところから引っ越しをしてきた者は、非常に苦勞を強いられます。期限ごとの更新？見直しの際の聞き取りなど、県をまたいで行方際、格差が県、市によって違うと感じます。	50 歳代・女性 精神障がい	ご家族
障害者にやさしい市政の充実をお願いしたい。	60 歳代・男性 精神障がい	ご本人
手話通訳者選考試験受験が少ない。30～40 代の手話通訳が少ない。国リハの通訳学科の人に久喜で就労してもらえるといいが、今後のために通訳者を増す方法を一緒に考えてほしい。	60 歳代・男性 聴覚・平衡機能障がい	回答者不明
障害認定されても入所までに時間がかかる	60 歳代・女性 内部障がい	ご本人
文字が読めず福祉課の窓口で年金が受けられるはずが受けられなかったこと、ひとこと教えてほしかった。コロナで1年間延長される事を知らなかったため、自立支援、障害者手帳の手続きがうまくいかず診断書の費用を2度払うことになってしまった。	60 歳代・女性 精神障がい	ご本人
概して様々な支援制度はあるが、障害者自身が積極的に働きかけたり動いたりしないと、その恵みを享受できないのが現状なので使い易い制度にして頂きたいと思ひます。	70 歳代・男性 肢体不自由 身体その他障がい	ご家族

建て物や設備などは、一度新しくするとある程度は長く使うことになるが、人間(介護職にたずさわる人)は、研修会や教育会などですぐにでもレベルアップできると思うので、そういった方面にも力を入れてほしい。ただ給料をもらえればいだけではなく、人間形成の充実、向上に力を入れてほしい。	70 歳代・男性 聴覚・平衡機能障がい、 肢体不自由 内部障がい・難病	ご家族
施策を充実させるのには予算が必要です。私は難病で、どうにか自立生活できていますが障がい者の方への施策には市役所建て替えとか新ゴミ焼却者の賑わい〇〇とか、東鷲宮駅とスーパーを結ぶ橋脚とかをやめて障がい者の福祉にまわしてほしいです。	70 歳代・男性 難病	ご本人
後期高齢者保険料、介護保険料の優遇処置。	70 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
民生委員がほとんど訪問に来ない。	70 歳代・男性 内部障がい	回答者 不明
今はそれほどの障がいもないけど、これから何が起こるか判らない。障がい者(重度)になってみないと判らないことが多いので充実させておくことには越したことはない。	70 歳代・男性 内部障がい	ご本人
災害の時、車いすで行ける所が必要。障がい者だけの居場所があるといい。	70 歳代・男性 肢体不自由 精神障がい	ご本人
今後、年齢を重ね体の自由がきかなくなってから、自分で手続き等を取ることも難しくなると思います。なるべく簡単に時間をかけずに手続きがとれるようになると助かります。	70 歳代・女性 難病	ご本人
これから先お世話に成ると思うが何にしても手続きが大変？	70 歳代・女性 難病	ご本人
障害者の実態により、それに見合った障害者支援を望みます。不平等を感じる。	80 歳代・男性 精神障がい	ご本人
私は 85 才の主人と 2 人暮らしで病院や買い物は近くに住む娘が対応してくれますが、移動はほとんど車です。ガソリン代が安くなると聞き、手続きしたかったのですが一緒に住んでいないとダメと言われ、同じ住所じゃなくても対応して頂きたいです。	80 歳代・女性 身体その他障がい	ご家族
災害時の支援	80 歳代・女性 内部障がい	ご本人
要望 緊急(台風、地震)の場合、難聴者への連絡は、FAX での対応での対応することを希望する。	80 歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい、	ご本人
市がやっていることが理解できない。	90 歳代・女性 内部障がい	ご家族
今の所、自分の事は自分でやっていますが、2 人共高齢者ですので、いつどうなるかわかりません。町の役員(たとえば民生委員)の方など、定期的な見守りをお願いしたい。	90 歳代・女性 肢体不自由	ご本人

②福祉サービスについて

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
親が障害のある子どもを支えている間はよいが、衣食住を備えたとしても、それ以外に彼らの願いをかなえるサービスはないように感じている。	20 歳代・男性 知的障がい	ご家族
障害者手帳の級によって、利用できるもの、できないものの区別が分かりにくいです。聴覚障害の 4 級と 3 級の差がありすぎかと思えます。	20 歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい、	ご本人

前提としてそもそも存在を知らない制度が多く、また窓口での手続きが苦手なため使えるはずのサービスも使えていないと感じた。手帳取得時だけでなく、定期的に等級に応じたサービスの案内などの郵送物があればよいのでは。また、本人はうつ病と発達障害で精神障害者保健福祉手帳の2級を所持しているが、取得時には病院のソーシャルワーカーの手伝いがなければ難しかった。本アンケートも障がい者本人が回答するにはやや不親切な内容だったと思う。(長く、サービス名を羅列するだけで内容が不明な点があり、調べながら回答した)本当に福祉サービスが必要な人からの回答が得づらくなっていると思われる。また、成人済にもかかわらず18歳以下の場合にお答えくださいという欄を入力しないと送信できない。アンケート実施そのものが既に杜撰と言わざるを得ない。	20歳代・回答しづらい 精神障がい	ご本人
精神障がいを抱えている人が福祉サービスを利用したい時は、精神的に落ち込んでいるときだったりするので、福祉サービスの用語が難しいと気持ちがめげてしまうため、より簡単な言葉で表記を心掛けて頂けると助かります。また、相談窓口は気負いなく相談できる事とメールで簡単に問い合わせができると良いと思います。	30歳代・男性 精神障がい	ご本人
いつもお世話になっています。様々なサービスがある中で、私が使いたいものがまだできていないことに驚きました。久喜市の充実と障がいのあるなしに関係なく、ひとりの人間がそれぞれ生きやすくなる世の中を求めています。	30歳代・女性 精神障がい	ご本人
障害サービス分類が多すぎて手続きが面倒くさい。	30歳代・女性 肢体不自由 知的障がい	ご家族
色々なことを書いてしまいましたが、実際十分されていることも多く、少しずつ確実に良くなってくれればと思います。	40歳代・男性 精神障がい	ご本人
難聴者は手話よりも要約筆記の方が分かりやすいが、要約筆記は県(情報センター)に依頼するので時間もかかるし必ず受けてもらえるわけでもない。仕方なく手話通訳に依頼している所がある。市で要約筆記のサービスがあったら良いと思う。手話通訳も要約筆記も周りの地域(市や町)と協力し合ってやっても良いと思う。	40歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご本人
多岐にわたるサービスが提供されていることに気づかされました。ありがとうございます。	50歳代・男性 精神障がい	ご本人
自分は喋れないのと聞こえが少し悪いのですが歩けなくて車いすの人とかとは全く状態が違うので、全ての障害の人に対して100%の支援は絶対に不可能ですが、それぞれの障害の人に対して支援が均等にいきわたるといいですね。	60歳代・男性 音声・言語しゃく 機能障がい	ご本人
無関心により、諸々の福祉サービスについて知らなかった。どのようなサービスがあり、どうすれば利用できるのか、関心を持つ必要性を感じた。	70歳代・男性 身体その他障がい	ご本人
障害者施策と福祉サービスの間があり、障害者なれど介護認定は受けてなく回答に困ったところがあった。現在は自分で動けるから自立できてるが、今後は歳をとり病気の悪化があると回答は変わってくる。現在ガソリン代の補助を受けてるがタクシー代補助の方が高額にて何故異なるか分からなく同じにしてほしい。	70歳代・男性 内部障がい	ご本人
福祉タクシー利用券について。1回に複数枚使用できる様にできませんか？または、利用券を金券にして、運賃分を下車時に金額分渡して現金での支払いは無し…そのようにできませんか？	70歳代・男性 内部障がい	ご本人
タクシー券を2枚から3枚位使用できるといいと思います。	70歳代・女性 身体その他障がい	ご本人
福祉サービスの多さにびっくりしました。まだ私は何とか動けてますが、いずれお世話になることと思います。不自由さを感じるとまた色々な障がいが出てくると思います。アンケートにお力になれたかわかりません。これからもよろしく願います。	70歳代・女性 肢体不自由	ご本人
在宅のお風呂サービスは定期的でないと利用できず、単発でも利用できたら有難いです。全般的にはケアが行き届いていると思います。	70歳代・女性 精神障がい	ご家族
問35の要援護者見守り事業に登録はしているが、現実の時、本当に見守っていただけなのかとても不安。	80歳代・女性 肢体不自由	ご本人
今デイサービスで菖蒲みやじまにお世話様になっておりますが、スタッフ一同手厚いお世話にびっくりしています。リハビリでも話をよく聞いてくれ満足です。	80歳代・女性 身体その他障がい	ご本人

現在はコロナのため行動制限で自宅訪問ができないが、地元民生委員の方は今まで訪問に来たことない(名ばかり)。民生委員は老人宅を知らないのか。氏名くらい知る必要がある？(地区により)	80歳代・回答しない 聴覚・平衡機能障がい	ご本人
色々なサービスをありがたく活用させて頂いています。	90歳代・女性 肢体不自由	ご家族

③障がい理解・啓発について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
障害のある大人や子供が、周りの目を気にせず遊んだりくつろいだりする場所がほしいです。ふれあいセンターの一室を毎日開放(おもちゃ図書館はあいてない時も多い)したり、児童センターや図書館で、ハンデキャップがある人のための開放日があると嬉しいです。また、保育園、幼稚園、小学校の先生向けに発達障害の勉強会をしてほしいです。	10歳未満・男性 障がい不明	ご家族
外から見てわかりづらい障害のため健常者にみえてしまい、なんでできないんだろうという目でみられるのがつらいです。障害の重い、軽いにかかわらず生活するのに困ることはたくさんあるので周りに分かりやすいストラップでもあったら良いと思います。	10歳未満・女性 肢体不自由	ご本人
高齢者向けのサービスは充実していても、障害児へのサービスが少なく感じる。未成年でも体は成長しているので、入浴や移動は年々大変になってくる。前例がないという言葉で済ませるのではなく、今現在の声に耳を傾けるべきだと思う。特別支援学校を卒業後の選択肢がなさすぎる。現状では重心の子や医ケアの子が入れる施設が久喜市には少ないので、他市に頼らざるを得ない。今後更に医ケア児は増えると思うので、入所可能な生活介護施設が増えることを望む。新しく市や県でつくることができないと言われるばかりだが、それならばもっと誘致活動をして団体などに声をかけてほしい。	10歳代・男性 肢体不自由 知的障がい	ご家族
障害と健常者の間のグレーな段階の子供たちへの支援、グレーだからこその生きづらさ大変さ、グレーだから支援が受けられない子もいるのが見ていて辛い！放課後デイサービスの療育の部分で勉強を見てくれるところをもっと増やしてほしい。	10歳代・男性 知的障がい	ご家族
障がい(病気等)の理解が進むよう、みんな(誰もが)が参加できるイベントを増やす。イベントの時には、サポートしてくれるボランティアさんがたくさんいてくれると安心して参加しやすい。	20歳代・女性 知的障がい	ご本人
理解して下さる人は、100人に1人。必要以上に言っても無駄と思う。	30歳代・男性 肢体不自由	ご本人
さまざまな障がいを持つ人はいるとは思いますが、軽度の障がいの人は一般人と変わらない、少し足りない子レベルで片付けられている。せっかく障がいを持つことに理解があるところへ行っても扱いはほぼ一般人と同レベルで接する人が多い。学生は障がいを持つというのはとても辛いことなのに周りの理解が少なくいじめもなくなるらない。社会人はたとえ障がい者雇用で仕事を探しても給与が少なく一般人として働かないと収入源が少なくなるので経済面はボロボロ。近年の不景気にも耐えられる収入が障がいのある人にもしっかり受けられるようにしてほしい。	30歳代・男性 精神障がい	ご本人
障害のある人も安心して暮らすことができ、地域の一員として共に生きる社会作りを目指して障害者福祉サービスをはじめとした福祉施設が設けられているようですが、教育を受けた大手スーパーの従業員や公務員の方はきちんとした対応をして下さる方は多いものの、一般人には独り言を大きな声で言う発達障害者は近くに来てほしくないように見えます。仕方ないと諦めています・・・	30歳代・男性 知的障がい	ご家族
学校に通っている間は、色々な情報や話も聞け同じ立場の人達がいるので安心だけれども、就労をすると周りの理解がほとんどないと実感します。知的障害にとっては体が大きくても中身は子供と同じなので、外出先では人によって怖いと感じる人もいるかもしれません。	30歳代・男性 知的障がい	ご家族

薬を飲むような病気ではないが、身体障害、精神障害、LGBT の少なくとも3つを抱えている人も広い世の中にはいることを知ってほしい。なにか考えるきっかけになればと思い記入させていただきました。	30 歳代・女性 精神障がい	ご本人
先天性・後天性かつ目に見える見えない病気・障害がある。人が人の子として生まれ遅き早かれ健康でない時期もある。人の子がみな平等に生きる権利がある。人の子が生を全うする権利はある。教育機関、医療機関もその支援者へのサポートが必要である。さまざまな差はあるものの人としての権利を奪ってはならない。生きるために愛され育ち生活するために病を治し、食事、被服を着て、清潔にし良質な条件で安心して睡眠ができる住居を持つ。安全を確認でき移動ができる、意思疎通の手段があり、教育就労ができ、自己実現を達成する。	30 歳代・女性 精神障がい	ご本人
言葉を発声出来ないものに対しての対処が不足している。	40 歳代・男性 身体・部位不明 知的障がい	ご家族
作業所などに出向き、建物のこと(設備も含め)働いて下さっている職員のことなど、現場を見て理解してほしい。心良く働けることは子ども達に繋がるサービス、他の申請等、窓口で(いつもでなくとも)「何か困っていることありますか?」の一言があると何かある時、相談しやすい。	40 歳代・女性 音声・言語・そしゃく 機能障がい 知的障がい	ご家族
障害が重い方ではないので障害者手帳を持っていても利用があまりできないのでサービス等ほとんど知りません。又、障害年金を受けたいと思った時期がありました。が、無理にでも働いていたので(そういう制度があるのを知らなかった)働けるとみなされるので、多分受給できないといわれ申請しませんでした。障害をかくして無理に働いています。	40 歳代・女性 精神障がい	ご本人
障がい者という言葉が偏見を生んでいる部分も少なからずあるので、チャレンジドなど別の言葉をつくってほしい。また、精神病には偏見を持たれかねない病名も多いので、もう少し名前を考えてほしい。	40 歳代・女性 精神障がい	ご本人
精神障害者は見た目では分かれづらく、また怠け等の偏見がかなり多いので他人にカミングアウトする事が難しい。また、決まった時間に行動をする事が難しい人が多いので働きたくても働けない、続かない。完全在宅にて自分のペースで出来る仕事があれば精神障害者にとってはとても助かる。とにかく収入を得たくても働くという事に対してのハードルが高すぎて、もし配偶者がいなくなってしまうらどうして生きていったらいいのか、税金(固定資産税、車等)をどう納めればいいのか不安しかない。本当に生きづらい世の中だ。	40 歳代・女性 精神障がい	ご本人
精神障害は、見た目にはわからないため健常者と、同じ扱いをされる。実際は精神が参ってしまい体調も悪化して寝込む事が多い。身体障害も持っているのと同じなので障害者等級がもっと高くても良いと思う。食べるために嫌々会社に行くのはとても辛い。何年経っても治らないので絶望感の中で生きている。死にたいと思うこともあるが、気力が無くて死ぬための準備すらできず、口惜しくて泣いている。	50 歳代・男性 精神障がい	ご本人
障害者について全市民への理解を深め、障害者すべてにヘルプマーク的な物を身につけさせて周りの人たちの理解や支援を受けさせる。また、経済的支援が最も大切である。	60 歳代・男性 精神障がい	ご本人
障がい者の「社会参加の成功例」の社会への発信!!支援をして下さい。	60 歳代・男性 精神障がい	ご本人
身障者用の駐車場に健常者が停めているケースが多く困っている。啓発活動を進めてほしい。スーパーのレジでも障がい者や妊娠中の人優先レーンと謳っているが使えた試しがない。つまり業者的にはやっている感を出しているがそれは実用にはなっておらず、推進するには行政からの指導をもっとすべき。座る場所もそうでショッピングモールでも施設でも障害者が座る場所を用意しない、しても吹きさらしで寒くていられないような場所だったり、場所をあてがっておけば良いくらいの感覚でやっている業態が多く、福祉の感覚を持った生活環境でないと言わざるを得ないところが多い。なんとかしてほしい。	60 歳代・男性 肢体不自由 難病	ご本人
内部障がいに理解が得られない。駐車場(障がい者の駐車場)に止めると本当に障がい者かとかよくいわれる。	60 歳代・男性 内部障がい	ご本人

今回のアンケートはあまりにも長すぎて時間がかかりすぎる。私は内臓疾患なので負担は少ないが、手指などが不自由な人であれば相当な負担になるはず。もう少し障がい者側に立って、アンケートを実施すべきではないか。次は私も恐らく回答しない。	60 歳代・男性 内部障がい	ご本人
紙ベース印刷物による情報伝達では視覚障害者にとっては読む事が出来ないので困ります。音声などでの案内があると嬉しいです。	70 歳代・男性 視覚障がい	ご本人
近年公共施設では障がい者用駐車場は有りますが、もっと考えて設置してほしい設けてあっても入り口から遠いのが現実で、利用を考えてしまう場所が多い。私の場合歩くのが大変な為、特に思うのかも。考慮してほしいものです。なぜ必要なか設置者はもっともっと考えてほしい。	70 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
障がい者という言葉や名称が一般的に使用されていますが、その程度の差が大きくなるにより違います。一括りに障害者と表現するのは、個人の尊厳を冒とくする行為になり得るのではないかと。自分はそういう表現されると大変恥ずかしいです。	70 歳代・男性 難病	ご本人
障がい者それぞれに合った支援をお願いしたいです。	70 歳代・女性 肢体不自由	回答者 不明
本人は喋ることも意思疎通もできません。市や国に生かさせていただいております。施設に入る前は罵詈雑言を浴びせられ、いつか殺してしまうのでは…と日々考えておりました。前向きに頑張っている障がいを持っている方には生き甲斐を持って楽し毎日を送ってほしいと素直に思えます。そのための支援は大賛成です。ただこれからの若者の負担を考えると複雑ではあります。	70 歳代・女性 肢体不自由	ご家族
見た目の障がい者は理解しやすいが、内部障がい者は判断しにくいと誤解の目を向けられやすい。AED がペースメーカー埋め込み者にも緊急時に使用できることを知らなかった。防災講習会等では積極的に説明をお願いしたい。救助者が躊躇しないために。	70 歳代・女性 内部障がい	ご本人
いつも感じるんですが、身体障がい者の場合、他の障害部門より具体的でないので例えば、内面障害と言われても理解できない場合が多々あります。例えば、ペースメーカーと言われればわかりますが、ペースメーカーでもいろんな等級が出てくるとわかりません。しかるに手帳などに〇〇不全なんて入ると尚、わかりません。	80 歳代・男性 内部障がい 身体その他障がい	ご本人
障害者の自主活動での身体的疲労は機能負担と処理されやすく継続的な努力が損害されやすい様に感じられる。疲労は表面に見えないが、やはり精神的障害ケアに準じた支援により、健常者の日々の様に近づけられたら…と思う。	80 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
一般者、障がい者に対する意識が希薄すぎだ。歩道・車道すべて乗用車の障がいマークを健常が使用している車が多々すぎる。障がい者にやさしい思いやりの久喜市に！	80 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
電車を利用するとき、障がい者手帳を出さないですむようになればいいと思ってます。パスだけで乗り降りができるといいなと思う。JR の人は使いまわしをされるからできないと言っていた。自分はしない。	80 歳代・男性 聴覚・平衡機能障がい	回答者 不明
障害者に対する偏見は、なくなる時代がくるのかしら？国会議員の方々の目も同じように見えました。	80 歳代・女性 肢体不自由	ご家族
避難時の周知をサイン等で知らせてほしい。耳が少し遠いため、自動車での連絡が聞こえず寝ていた。	80 歳代・女性 内部障がい	回答者 不明
視覚障害の母は足腰などは不自由はなく寝起きもスムーズにできますが、歩行が一人では困難。現在は身体機能は大丈夫との事で介護認定 1 ですが、援助の必要はかなり高いので、もう少し障がい者の不自由を考慮して認定度の判定基準を見直してもらいたい。	90 歳代・女性 視覚障がい	回答者 不明

④外出・生活環境について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
障害のある子供が居る家族でも入居できる住まいがあったら良い。身近に友達(親も子も)が居なくて寂しい。	10 歳未満・男性 聴覚・平衡機能障がい	ご家族

商業施設の入り口ドアが前開きで、車椅子を支えながら入口も開きながら入る時の介助が大変。	10歳未満・女性 肢体不自由	ご本人
障がい者・見のくらしについて前向きに取り組んでくださる動き、大変ありがたいです。我が家には病児がいます。長期入院が度々あり、医療費はかかりませんが親の食費、寝具、冷蔵庫、入院準備等々、なかなかの金額がかかります。保険に入る事もできないので、すべて自費です。少しでも補助があると助かります。	10歳未満・女性 内部障がい・難病	ご家族
母子家庭で重度知的障害の息子を育てています。1人で留守番できないので学校卒業後、午後3時に帰ってしまうため仕事できません。大学生の息子もいるため、たくさん働きたいのですが、息子がいない時だけの都合のいい時間だけでは生活できません。預かってもらえるような体制づくりをぜひお願いします。	10歳代・男性 知的障がい	ご家族
久喜市の中でも菖蒲地区には、福祉バスも通っておらず、すごく外出するのに不便です。くさまる介護タクシー以外で循環バスを外れの方まで走らせてほしいです。	20歳代・男性 肢体不自由 知的障がい	ご家族
久喜駅西口と久喜駅東口のトイレを障害があるなしにかかわらず利用しやすいようにお願いできないかと思っております。	30歳代・男性 精神障がい	ご本人
1つだけお伺い致します。親が動けない場合にケアマネジャーさんやお世話をして下さるヘルパーさんにお預けして、銀行への入金、お金をおろしたり、通帳記入等のお願いする事は無理でしょうね。誰も頼る人が近くにはいないので…すみません。	40歳代・男性 知的障がい	ご家族
大きな道路から1本中に入るとアスファルトがゴツゴツのはがれかかっているような道が多くあります。なかなか手がまわらないと思いますが、足が悪くなってしまった私には通るたびに恐怖を感じます。安心して通ることのできる道の整備を求めます。今回このようなアンケートを実施していただきありがとうございます。	40歳代・女性 難病	ご本人
道が荒れているのでデコボコをなくしてほしい。音声の信号を増やしてほしい。	50歳代・男性 視覚障がい	ご家族
障がい者用のトイレの数が少なく、汚れていることが多いので、数を増やして、清潔にしてほしいです。	50歳代・男性 精神障がい	ご本人
バスやバス停の整備をして、もっと使いやすくしてほしい。バス停をもっと駅の階段近くにしてほしい。(久喜駅東口)	50歳代・女性 肢体不自由	ご本人
人付き合い、人と会話することがほとんどない。ヘルパーさんが来た時、短い間、少し話をするくらい。誰かと話したいと思う時もあるが、相手もいないし、どこかに通うなどの外出が難しい。ただ、話し相手になってくれる方というのはいない。	50歳代・女性 精神障がい	ご本人
音の出る信号機を多くして欲しい。	60歳代・男性 視覚障がい	ご本人
右マヒです。とにかく移動が大変。今はなんとかこなしていますが気軽にタクシーが公共の交通手段が使えるとたすかります。	60歳代・男性 肢体不自由	ご本人
日中、一人での生活で話をする機会がなく独立しているので、話し相手になってくださる方がいてほしいです。コミュニケーションがとりたいが…とり方がわからず困っています。	60歳代・女性 身体その他障がい 精神障がい	ご本人
高齢になって歩くのも大変で移動手段が心配。避難所にいる間、持病の薬が足りなくなったときを思うと不安。身近な配偶者も弱っていくので助けてもらう事が多くなりそう。	70歳代・女性 内部障がい	ご本人
個人的な事ですが、賃貸で入居しています。3階なので階段の昇降に気を使います。(私は肢体不自由、左下肢マヒです。)年齢70歳なので老化に伴い、現状の住まいでは生活は無理な気がします。市役所で転居、入居の支援があれば心強いです。	70歳代・男性 肢体不自由	ご本人
病院迄の移動手段を充実してほしい。	70歳代・女性 内部障がい	ご家族
鷺宮地区・栗橋地区に循環バスを頻繁に運行してほしい。高齢者・身障者のためにもぜひお願いします。	70歳代・女性 難病	回答者 不明

障がい者が住みやすい環境が増えたら、又、独居でも安心して生活が出来る取り組みをお願いしたいです。	70歳代・女性 身体その他障がい	ご家族
買物について。不便でこまっています。買い物や病院について、これからバスなど出してもらえたらと思います。	70歳代・女性 肢体不自由	ご本人
車イスマークをマグネットにして貼っていれば、健常者でも駐車可能な仕組みはおかしい。正規の各種手帳や手帳の持ち主に配布されるプレートを提示しないと駐車できない仕組みにしてほしい。	80歳代・女性 内部障がい	ご家族
私は現在78才の女性です。障がい者、高齢者には外に出て人と接する事が必要であり大切です。家族でない人達と話したり、笑ったり刺激を受けることがとても必要です。そのような場に1人で気軽に参加できるような体制作りが大切と考えます。	70歳代・女性 肢体不自由	ご本人
どんな建物でも、どんな行事でも障がい者用の駐車場の用意がほしい。	70歳代・女性 肢体不自由	ご本人
いつもご苦労様です。大変ありがたく感謝の気持ちで日々を過ごしております。お世話になっています。ありがとうございます。宜しくお願い致します。イベント等あっても、その場所に行くまでの交通の手段がない。	70歳代・女性 肢体不自由	回答者 不明
トイレは男女別にあってほしいです。安全のために。障がい者向けの就労支援場所が増えたら嬉しいです。コミュニティに入れば事件も減るかもしれません。人との接点が良い方法でもてれば。	70歳代・女性 障がい不明	ご家族
障がい者となってから40年余り。この20年間程の日本の障がい者支援の発達の中で過ごさせていただいてきました。障がいには無数の種類がありますが、障がいにも負けず外出ができる「障がい者にも優しい街づくり」を願っています。今は車が恐くて…。(妻代筆)	80歳代・男性 肢体不自由 身体その他障がい	ご家族
団地にも市のバス回してくれてありがとう。市役所へ行くのにとっても助かります。ふれあいセンターは遠いです。	80歳代・男性 肢体不自由	回答者 不明
福祉タクシー利用券1回1枚利用でなく、複数の利用が望ましい。一枚だけ利用はありがた味が薄いです。	80歳代・男性 内部障がい	回答者 不明
ストーマ(大便用、小便用の袋)を付けているが利用するトイレ(大便をすてる所、取替できる所)がないので大型の店などに有ると助かります。	80歳代・男性 内部障がい	ご本人
コロナでデイサービスも行けない。外も出たくないんです。	80歳代・男性 内部障がい	ご本人
いつも御世話になります。ありがとうございます。道路が平坦でなく車椅子が動かずに注意が必要。低い段差でもつんのめる箇所が多い。	80歳代・男性 肢体不自由	ご本人
車椅子利用にあたり道路(特に歩道不備)。スロープが少ない。段差が多い。	80歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい 音声・言語・そしゃく 機能障がい	回答者 不明
高齢者についてですが、衣食住と健康の維持に対してだけでなく、自然や生き物に触れたり、音楽を鑑賞したりなど感覚的に楽しめる機会に対しても考えてほしいと思います。施設での1対多数の介護では外出は難しい場合、ボランティアを募るといいと思います。私も参加したいです。	80歳代・女性 身体その他障がい	ご家族
入所している障害者が、安心、安全に外出できる環境づくりを。	年齢不明・女性 肢体不自由	回答者 不明
車椅子使用に付き歩道の不備。スロープが少ない。段差が多い狭い。	年齢不明・性別不明 聴覚・平衡機能障がい 肢体不自由	回答者 不明
障がい者駐車場は、縦も大きくして設置してもらいたい。スロープ車両が使えない。前向きに止めスロープを出すと車両等が通り危険。とりあえず作っておきました感が強い。	年齢不明・性別不明 肢体不自由	回答者 不明

⑤経済状況・経済的支援について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
障害が軽くても付き添いは必要です。経済的負担が軽くなると助かります。	10 歳代・男性 知的障がい	ご家族
障がいがある以上、収入が多い少ないは特に関係無く、障がいがあるかないかだと思えます。家族の中に障がい者がいて、収入が多いからその障がいに困らない事はないので収入の多い少ないという事の線引きはやめてもらいたい。生活に困るのは皆同じ。	10 歳代・男性 知的障がい	ご家族
就労継続支援(B型)を利用しているが、送迎のサービス、昼食の援助金がほしい。	20 歳代・男性 知的障がい	ご家族
東京みたいに区手当(所得税)とか横浜では水道免除などが久喜もしくは埼玉にもあればいいなと思ったりします。	20 歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご本人
施設に入所すると手当が全部もらえなくなり大変でした。(20年前だったのに)グループホームは支給されるが入所施設はもらえないのはおかしいと思った。20歳まで手当を頂きたかった。不満ですね。仕事ができるわけではなく日常でお金もかかるのに止められてしまうのはどうなのかと思います。	20 歳代・女性 肢体不自由 知的障がい	ご家族
18歳から病気の症状があったのですが、病院通院歴を証明するものがなく、現在2級であるにも関わらず、金銭面での支援が日常生活の中で困難となっております。福祉の方からの支援の金銭的な面の拡充を説に希望します。	30 歳代・女性 精神障がい	ご本人
済生会病院が移転して、持病のみれる病院まで片道40分…車に乗れなくなった時、困る。病院を早くつくってほしい。近くの市に比べると、久喜市は見舞金が少ないと感じる。生きる為にお金。必死で働いて子育てして、体調を崩してのくり返し…。	30 歳代・女性 難病	ご本人
事故や病気などで誰がいつ障がい者になるかは分からない。そういった時に最大限助けてほしい。働けるのに働かないで生活保護を受給すると障がい等はきちんと分けるべきだと思います。	40 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
タクシーをもっと安くしてほしい。生活費を支援してほしい。	40 歳代・女性 精神障がい	ご本人
現在居住している自宅は父親の一身上都合により住むことができなくなる(自宅を失うかもしれない)ことに関して行くところもなくお金もなくどうしたら良いか困っている。そういう人のために援助救済をしてほしい。障がい者は判断する力がなく不安が増し病気の悪化につながっている。	40 歳代・女性 知的障がい 精神障がい	ご本人
やっぱりお金の援助だと思います。	50 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
障害年金をもうすこし上げてほしい。	50 歳代・男性 身体その他障がい 精神障がい	ご本人
収入に対して不安があり、今後生きていけるかどうかわかりません。	50 歳代・男性 肢体不自由 身体その他障がい	ご本人
タクシーチケットが足りない。	50 歳代・男性 肢体不自由 内部障がい	ご本人
年金制度など金銭的な負担、不安が少しでも解消してほしいと感じている。	50 歳代・女性 知的障がい	ご家族
家を持っていても収入があっても生活保護できるようにしてほしい。そういう例を聞いたから。親の残した財産管理が大変で将来がとても不安。収入はあるし障害年金も持っているが不安で不安でさっき書いた人たちに相談する日々です。相談するにも信頼関係が必要なので。又、わたしたち精神障害者が普通そうに見えてどんなに努力しているかを広める活動をしてほしい。一般企業で働いているので。	50 歳代・女性 精神障がい	ご本人

再度生活給付金を頂きたい。	60 歳代・女性 身体・部位不明 知的障がい 精神障がい	ご本人
収入が無いので生活していくのが一人ですので苦しいです。	70 歳代・男性 肢体不自由	ご本人
2 週間毎に通院し、検査を受けたり、薬を貰ったりしているが健康保険が1割が2割になり、支払いに苦勞している。せめて障害者だけでも1割にするとか1割5分にするとか負担を減らすことを考えてもらいた。	70 歳代・男性 内部障がい	ご本人
ガソリン代を増やしてほしい。現 9,000 円から倍ほどにお願いします。	70 歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい 身体その他障がい	ご家族
障害 3 級でもタクシー券を配布してほしい。	70 歳代・女性 精神障がい	ご本人
支援金のアップ	80 歳代・女性 内部障がい	ご家族
家族への支援もしてほしい。特に金銭面。調査なんてしてもどうせ何も変わらないので何も期待しない。こんなのに人件費をかけることじたい超無駄。	80 歳代・回答しない 内部障がい	ご家族
母親がいなくなったら心配です。障がい年金を上げてほしいです。	年齢不明・男性 精神障がい	ご家族

⑥保険・医療について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
子どもは病気の影響により保育園にいる間に導尿が必要で仕事を抜けて毎日導尿に行っています。導尿は医療従事者か親しかすることはできないので負担も大きいです。保育園や学校でも導尿に対応してくれる体制や尿道に通う親への支援などがあれば利用したいです。	10 歳未満・女性 肢体不自由	ご家族
痛みが強いのに病院など予約入れてても時間がかかる(診療、会計、薬)在宅支援でも無料でやってくれる訳ではない 入所などとてもできない。	50 歳代・女性 肢体不自由	ご本人
障がい者に認定されるであろう病気、手術等を医師や看護師から知らせて頂きたい。せつかくの市からの補助が受けられないのは、経済的に厳しい。私が人工弁の手術を受けた病院にも投書したが、どうなったか…。	50 歳代・女性 内部障がい	ご本人
心臓機能障害者としては、済生会栗橋病院の様な高度医療総合病院の必要性も強く感じています。早急な医療技術の高い病院施設を検討してもらいたいと思っています。	70 歳代・男性 内部障がい	ご本人
関節リュウマチの為、H21 に右首の固定術を受けた際、自宅でリハビリをお願いして大変助かりました。コロナ禍の為、足の手術が 4 年余り延期されているのですがもう限界です。またリハビリが必要となりますのでお世話になりそうです。	70 歳代・女性 肢体不自由	ご本人
障がい者でも快く受け入れてくれる病院が増えると良いなと感じています。	80 歳代・男性 知的障がい	その他の方

⑦本人の障がいについて

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
障がい者としてアンケートに回答しましたが、精神障害者 3 級の区分であり病気は ADHD で、一般卒の正社員で働いている状況のため、アンケート対象としては余り障害が重くなくサービスなどもあまり利用しないレベルなので回答が軽い感じになってしまっているかと思います。	30 歳代・男性 精神障がい	ご本人

障害を持っていることを他人に理解してもらおう事で自分が障がい者だという事を自覚してしまうことが自分の中で処理できない。	40歳代・男性 内部障がい	ご本人
私の中での意識は、障がい者は社会の末端です。大半は自分のせいで精神疾患になったわけじゃないのに、経済的負担も精神的負担も全て自己責任で病気とそして社会と戦っています。寄り添ってくれるはずの医者からも精神疾患ということで馬鹿にされ、話も聞いてもらえないことすらありました。精神疾患者と医者、診察室に入ったらそこで上下関係が生まれます。馬鹿にされても、好き勝手言われても耐えなければいけない。たとえ医者が言ってる事が不条理だと感じて、です。精神疾患者の言うことは、被害妄想、ただの妄想と片付けられてしまうから、耐えなければと思っています。障がい者の負担を少しでも軽くしたいと思うのなら、まずは医者や政治家の考えから直したらいかがでしょうか。それこそ障がいに対する理解の促進です。それから少しでも信じられると思えるカウンセラーがいたら、状況は変わってくるのかもしれませんが。しかし、病院に所属していないカウンセラーに適切なことをされて26万も取られたので(市内での話です)、そういう野良カウンセラーは必要ないです。	40歳代・回答しない 精神障がい	ご本人
高齢者で難聴になってしまった親をなんとかしてほしい。頑なに補聴器を付けようとしな。購入も考えない。困っている。(自分は使用しています)	50歳代・男性 聴覚・平衡機能障がい	ご本人
問47のその他の内容と同じでてんかんの発作がある。後、気になるとしたら、血圧が朝は普通だか、夕方になると上下ひくくなる。	50歳代・男性 精神障がい	ご本人
本人に代わってとありますが、高次脳機能障害、失語症の為、意思疎通がうまくできず理解してもらえないのにハイと返事だけするので、全くとはいませんが色々考える力はないと思います。主に介助者の意見になってしまいました。	60歳代・女性 視覚障がい/肢体 不自由	ご家族
今は不自由なく生活しております。ありがとうございます。	60歳代・女性 肢体不自由	回答者 不明
おもいやり駐車場利用証の交付基準のハードルが高すぎると思う。認定された障がいは別に腰の病気から歩行がやや困難になり、自動車の運転は問題なくできるのだが杖を使用しないと長い距離を歩くことができず不自由している。	70歳代・男性 肢体不自由	ご本人
今、現在は家族の物の助けを借り日々を過ごして居りますが、この先の身体不安はものすごくございます。多分、お世話になる時が来るとは思いますが、そうなる前に、日々の努力をしなくてはと思っています。	70歳代・女性 身体その他障がい	ご本人
精神疾患があります。以前、肺炎で病院へ入院しましたが看護師の方の対応等で気持ちのコントロールがきかず、勝手に外出をしてしまい強制退院となりました。又、今後も当院では対応致し兼ねますと受診不可とのお達しがされました。今後、内科的な病状で入院が必要となった場合どうすべきか精神科に相談したところ、精神科では対応しきれない病状だと精神科での入院による内科的治療は難しく、両方を兼ねて入院できる医療機関は近くだとさいたま市に一件あるだけだとのお話でした。精神障害のある人や、高齢者で認知機能が低下している人は、強制的に退院をさせられるのは良く聞く話です。在宅医療等もあるとは思いますが、内科的に入院でしか対応できない病状もあると思います。その際、障害や認知機能が低下している人でも受け入れてくださる医療機関が増えて行くことを願います。	70歳代・女性 精神障がい	ご家族
まだ自分が障がい者ではないと思っているのでわからない。自分の出来る範囲で生活していきたい。	80歳代・女性 身体・部位不明	ご本人
私はこんな体になるとは夢にも思っていませんでした。でも世の中の方々に迷惑かけぬように自分なりに一生懸命努力をしています。この年齢になってそれはむりですか？これからも生きていく限り自分なりに一生懸命出来る限りやりたいです。	80歳代・女性 身体・部位不明	ご本人

⑧家族・介助者、将来の不安について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
一番心配なのは、親が高齢化した時、知的障害がある子の面倒を見られるのか、親が死亡した時に子は誰が面倒見てくれるかです。今後、老人のグループホームと障がい者のグループホームが一体となった施設ができ、親と子が入所後も近い場所がかかわっていけるような体制になってくれると親の心配はぐっと減るのではないかと考えています。	10 歳代・男性 知的障がい	ご家族
難病だが、見た目には普通と変わらない。生活も今は制限はないが将来的にはわからない。障がいが目に見えてわかるようになってからでは遅い。そんな子供たちの支援がもっとほしい。	10 歳未満・女性 難病	ご家族
親(私)が亡くなった後がとても心配。誰が面倒をみてくれるのか…お金はいくらいるのか…。もう一人の子供(健常児)に負担がかからないようにしたいが、どうしたら良いのかわからない。医療機関(歯科、耳鼻科、内科)に受診するのが大変。暴れるので病院に迷惑をかけてしまうのが心苦しい。でも診てもらいたい。本人の意思はわからないが、親(私)が死ぬ時に一緒に死ねたら…とっている。	10 歳未満・女性 知的障がい	ご家族
家族が不安や心配事を話せて、専門窓口につないでくれるようなプラットフォームが必要だと思います。家族・本人も、福祉サービスや市の担当者も相談できるような人たちが(制度も福祉サービスも障害のこともよく理解している人。傾聴できる人)いると、それぞれの役割が果たしやすくなり、それぞれがそれぞれの立場や状況を理解しやすくなるので、疲弊しないと思います。「わかってくれない」とか「なんで!」とかそういうことがなくなる。)バベルやきららがありますが、どんな人がいても、話をゆっくり聞いてもらえるのかわからず、ハードルが高いです。市の職員の方も同じ説明を何度もする回数が減るのでは? 障害をもつ人のために働いて下さっているので幸せでいてほしいです。	10 歳代・女性 知的障がい	ご家族
軽度知的障害では手当も出ず、親の負担が大きいです。普通高校に入れないレベルにもかわらず大した支援はない。将来もまともに収入を得られるか不安です。就労もそして親の死後にグループホームで暮らせるよう、色々調べている所です。市役所員も人によって持っている情報や知識が違います。誰に相談しても答えられるようにしてほしいです。	10 歳代・女性 知的障がい	ご家族
宛名本人の保護者です。一番不安に思っているのは、障害の有る我が子とその兄弟の将来です。我々保護者が老いたり死亡したあと、障害の有る我が子の為にその兄弟の生活に負担が大きくかかる様な事が無いようにしたいです。また、障害の有る子が将来の生活を家族の外に任せられた時に最後まで安心して暮らせる環境が整ってほしいです。その為には何よりも障害者に関わる福祉職等の人達の労働環境や賃金等の待遇をより改善し、十分に適正や知識、技術を身に着けた専門家が一人でも多く、長く働ける様にしてほしいです。	10 歳代・女性 知的障がい	ご家族
親亡き後の将来の心配が一番。入所施設を増やしてほしいです。	20 歳代・男性 知的障がい	ご家族
親亡き後の子供の生活が心配です。安心して地域で生活できる環境調整をお願いします。利用できるサービスをもっとわかりやすくしてほしい。	20 歳代・男性 知的障がい	ご家族
親が亡くなった後のことが心配です。自立は出来ていないが軽度であるために支援もスルーされてしまうことがほとんどです。(母が記入しています)	20 歳代・男性 知的障がい 難病	ご家族
親亡き後の生活が心配だと思っている方がほとんどだと思います。その事も考えて生活の場(グループホーム等)や人(介護者)が沢山必要になってくると思います。給与面も心配しています。	20 歳代・男性 知的障がい	ご家族
私自身の事ですが、将来障害者の私が高齢の親の面倒を見る不安。次に1人暮らしで孤立しないか近所からいじめられないか? 仕事で家を留守にして治安は大丈夫か? 経済的に暮らせるか? その次に年取って天涯孤独になった時、自分のお葬式とお墓はどうなるのかなという不安…などがあり、多方面からの支援が必要になりそうです。つまり年を取った後、将来の不安。要望、人間らしい生活の人生を送りたい。	40 歳代・女性 精神障がい	ご本人

年齢が75才なので今の所は自分でできるけど、だんだん年をとっていくとどうなるか心配です。	70歳代・女性 聴覚・平衡機能障 がい	ご本人
発病してから30年あまり、いつかは自分で行動できなくなるとは思っていましたので室内のバリアフリーやトイレの改修など、夫による手すりや家事がやりやすいようになど、介護保険の利用もしたりして少しずつやってきました。それでも最終的な終活への覚悟は、まだまだできません。	70歳代・女性 肢体不自由 難病	ご本人
私はペースメーカーの障害者なので日常の生活はできますが、高齢になり足腰その他も不自由になりつつあります。一人暮らしのため今後のことを考えますと不安でいっぱいになります。アンケートで色々な事を知り、考えさせられました。	70歳代・女性 内部障がい	ご本人
現在のところは何とか生活していますが、この先、半年、一年の間に必要になることがあると思います。それを思うと非常に心配になります。	80歳代・男性 内部障がい	ご本人

⑨相談・情報提供について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
まだまだ知らないことが多いので、分かり易い情報提供をお願いしたいです。	10歳未満・男性 肢体不自由	ご家族
施設について、もっとアナウンスがあってもいいと思います。何もわからない中、自分で調べないとなかなか情報がもらえない。幼～小～中と特別支援学級があっても、肝心の担任や補助員の方々の専門知識や経験不足を痛感します。育成に力を入れてほしいです。	10歳未満・男性 知的障がい	ご家族
相談支援事業所の数が少ない。	10歳代・男性 肢体不自由 内部障がい 知的障がい	ご家族
病院等(発達系の)、自分で探したり情報収集しないと見つけれない。市がここへ相談してください等、直接連携できるシステムがほしいです。あと将来グループホームに職場が付いている形の施設を増やしてほしいです(入所施設+仕事も)。	10歳代・男性 知的障がい 難病	ご本人
人との交流、情報交換ができる場所を行政内で定期的に参加できる場所を作ってほしい。(だれでも参加できる場所)	10歳代・女性 精神障がい	ご家族
親が病気等で入院時の預け先が無く、今後が不安です。以前と違って福祉課の方々が、私たちの声を聞いてくれるので有難いです。ありがとうございます。	20歳代・男性 音声・言語そしゃく 機能障がい 肢体不自由 知的障がい	ご家族
本調査について。本人は18歳以上であるが問46-28から問46-33が回答必須のため回答した。避難所生活について。現在避難所での情報提供方法はどのようなものがあるか(ホワイトボードへの記入等)知りたい。また、情報提供方法は各避難所の自主性に任せているのか、久喜市が各自治体へマニュアル等で指導しているのか知りたい。	20歳代・回答しない 聴覚・平衡機能障がい	ご本人
障害者の親や兄弟が高齢になった時の障害者本人の生活全般について、あらかじめ相談しておきたいと考えております。このような将来設計をご相談できるばや窓口があれば利用したく存じます。又、障害者を持つ「家族の会」等があれば良いのではと思います。(母)	30歳代・男性 知的障がい	ご本人
情報提供の発信は、SNS等を使用していただけると目につきやすい(市報は見づらい為)。難病患者見舞金等、市役所の方が親切にもらえる事を教えてくださいました。しかし、難病にかかわる他の公的機関では説明してもらえないなど、同じ役所でも対応がまちまちです。なんとかならないでしょうか？	30歳代・男性 視覚障がい 難病	ご本人
以前福祉課には何度もいろいろな事で相談に行きましたが簡単に説明をされて断わられ納得のいかないまま日々過ごした事がありました。	40歳代・男性 知的障がい	ご家族

いきなり病院や役所に相談するのではなく相続支援センター等で全体的なお話をうかがってから今、自分が最初に手をつけなければいけないことをはっきりさせることが大切だと思いました。とにかく知識がないのでどこから手を付けたらよいかわからないです	40歳代・男性 精神障がい	ご家族
働く、収入を得ることが大事なことであるので、悩み、相談を気軽にできる手段を増やして欲しいと思います。	50歳代・男性 精神障がい	ご本人
家族親族がいないので、頼ったり相談できる人がいない。	50歳代・男性 精神障がい	ご本人
支援や福祉サービスの情報がほとんどなく、市の窓口など聞かないと教えてもらえない!	50歳代・女性 精神障がい	ご本人
情報量が少なすぎてどのように利用したらいいのか。	50歳代・女性 知的障がい	ご本人
同じ障害名でも振幅が広い為、分かり合えるようで分かり合えない事もある。身近に分かり合える方がほしい。また基本的にこちらから聞かないと手当やサービスの説明が無い為、知らなかった等がある。	50歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご家族
介助が必要な方への対応はかなり充実していると思います それ以前の方の相談、ケアの情報が行きやすい場所にて広報して頂く事を望みます。私も現在は大丈夫だが将来においては不安があります。	60歳代・男性 内部障がい	ご本人
アンケート用紙を頂き初めて多種の支援事業があることを知りました。今のところまだご迷惑をかけずに生活できていますが、この様な相談できる機会があることがわかり、心強く感じました。	70歳代・女性 内部障がい	ご本人
老老介護を両親が行っていて、認知症の母を父が介護していたが、父が入院し、色々なサービスの情報や費用面での軽減策などわかりやすくしてほしいです。	70歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご家族
障害の内容によっても異なるが、障害者でも参加できるボランティアを紹介してほしい。	70歳代・女性 肢体不自由	ご本人
夜間や休日お腹が痛い頭が痛いという症状が出たときに、救急車を呼ぶほどの状態でないとき、どこに連れて行くべきか、輸送はどのようにしたら良いかわからないので相談できる所を設けてほしい。	70歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご家族
年齢にとらわれず必要な時に必要な方法の提供がほしい。	70歳代・女性 肢体不自由	ご本人
要支援者見守り支援事業他、施策があるのに全く知らない事が多い、役所に出向いて聞けばいいのかもしれないが、該当者に直接案内(書面)があっても良いのではないかな?	70歳代・女性 身体・部位不明	ご家族
身体の老いもありますが、加えて視覚の部分で不十分さがプラスされ、配布物も読むという努力が不足してしてきます。暮らしの便利帳や広報くきの広報の出し方にもちょっと疑問を感じる所がありました。読まない方も多く聞きますので左右開きでなく解かりやすくお願いします。理解しづらい箇所もあり、違った回答をしていましたら、あしからずこれからも良い福祉になりますよう	70歳代・女性 肢体不自由	ご本人
1人暮らしの叔父が障がいのため今後どうしたらよいか、役所に相談するしかないのか困っている。	80歳代・男性 内部障がい	ご家族
相談に行ったら親身に聞いてほしい。障害者はとても肩身の狭い思いをしている。たらいまわしにしないでほしい。	年齢不明・男性 知的障がい 精神障がい	ご家族
広報などに障害者などのサービスに対する特集を組んでほしい。	年齢不明・女性 精神障がい	ご本人

⑩入所施設・グループホームについて

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
グループホーム等が増えてくれるといいです。親なき後も安心して生活できる場所を望んでいます。	10歳代・男性 知的障がい	ご家族

障害が軽度で一般就労者向けの門限や行動規制のない緊見守り程度の自立型施設が少なく、勤務地から遠くなる東京都しかない。実家にいつまでも負担かけられないので検討してもらいたい。	20 歳代・男性 知的障がい	ご本人
グループホームが増えるといいなと思う。	20 歳代・女性 知的障がい	ご本人
自宅を離れるために一人暮らしを担当医やデイケアスタッフから提案され、自分もそうしたいと思っていた。しかし金銭的な余裕がなくできなかった。グループホームなどの集団生活ではない、アパートやマンションのような形態の障がい者向け住宅や施設があると嬉しい。	30 歳代・女性 精神障がい	ご本人
親も高齢に近づくと共に、子供の将来が心配である。将来的には、入所を希望しているので、安心してお願いできる入所施設を充実させて頂きたいです。	30 歳代・女性 知的障がい	ご家族
重度障がい者を家庭で両親が介護している。現状では問題は少ないが、親が高齢化してゆき、近い将来には介護が難しくなると思われる。一方、久喜市に重度障がい者向けの入所施設や重度障がい者が利用できるグループホームがないので新たに設ける方向で検討してほしい。	30 歳代・女性 肢体不自由	ご家族
身体障がい者用のグループホームを増やして、その情報がほしい(将来が不安)。駅へ向かう歩道に段差があり歩きにくい(転んでしまう)。(南栗橋西口)	30 歳代・女性 肢体不自由	回答者 不明
羽生市には、身体障がい者が入所できる施設が2つもあります。久喜市は人口が多いのですから、ぜひ障がい者施設をつくってください。	40 歳代・女性 肢体不自由 精神障がい	ご家族
グループホームは自宅にいるより楽です。グループホームがたくさんできればいいと思います。	50 歳代・男性 精神障がい	ご本人
介護施設に入っていますが皆さんが親切に接して頂いてうれしいです。	70 歳代・女性 音声・言語そしゃく 機能障がい 肢体不自由 内部障がい	ご家族
グループホームに早く入所したい。	70 歳代・女性 視覚障がい	ご本人
88 になると、近くに 10 人いた小学校に入学したときの友人で生きているのは私だけになりました。いずれ久喜の里みたいなどころへ入所するかと思うのですが、年金生活で入れるかどうか。この辺が一番心配するところです。	80 歳代・男性 肢体不自由 内部障がい	ご本人
久喜市自体が障がい者に優しくない。他の市を見習ってほしい。入所施設がなさすぎる(大型施設をつくってほしい)。	80 歳代・女性 肢体不自由	ご家族

⑩就労について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
知的障がい(軽度)の支援をしてもらえる場所、就労場所が少ない。	10 歳代・女性 知的障がい	ご本人
市役所の障害者枠を増やしてほしい。	20 歳代・男性 精神障がい	ご本人
就労継続支援 A と B が少なすぎる。	30 歳代・女性 精神障がい	ご本人
障害年金を受給しているが、仕事もできないので受給だけでは生活が厳しい。働き先を探しているが、受けいれている会社が少ない。在宅でできる仕事が増えたり、会社に雇用枠を増やしてもらうことはできないか。また求人は障害者専用のアプリとかあると有り難い。	30 歳代・女性 精神障がい	回答者 不明
障がい者は働きたいです。求める人に職場を！	40 歳代・男性 精神障がい	ご本人

全体的な賃上げに期待します。障害者雇用の充実に期待します。給付金などの充実に期待します。	40歳代・男性 精神障がい	ご本人
就労継続支援(B型施設)に看護師がほしい。施設活動中、利用者間のコミュニケーションがとりづらい。施設管理者が不在の為、早く定着してほしい。	50歳代・女性 知的障がい	ご本人
足の痛みがあり仕事ができないので家にいるしかない！仕事をしたのですが階段が多いところでやめました。座ってできる所が少なく困っています!!	60歳代・女性 肢体不自由	ご本人
障がい者支援事業所B型・自立の工賃について、平均目標を引き上げようと努力はしていますが、適正能力に見合う仕事の内職を中心に受注せざるを得ない面もあります。障がい者の精神バランス、支援員の給与昇給等も含めて収支バランスが難しくなっています。	70歳代・男性 身体その他障がい	ご本人
働きたいがその方法があるのか知りたい。(パソコンは簡単なものはできます)	70歳代・男性 肢体不自由	ご本人

⑫教育・療育について

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
障害があるという理由で入園を断られました(久喜幼稚園)。障害があるなしに関わらず共に生活できるということは大切なことだと思います。障害のない子供たちにとっても障害がある子の存在を知ってともに生活していくことは必要なことだと思います。	10歳未満・男性 知的障がい	ご家族
現在就学相談中です。担当の方、学校の先生方皆さんよくお話を聞いてくれて不満はないのですが、やはり障がいのある子が普通の小学校、中学校を選びづらい雰囲気にあります。現在は就学相談→親が選択という流れになっていると思いますが、障がいのある子はどうしても特別支援学校を推薦されているような雰囲気を感じます。まずはみんな地域の学校に入学予定→親が選択のように自然な流れになるといいなと思います。	10歳未満・男性 知的障がい	ご家族
学校の支援級の先生より、デイの先生の方が障害児の事を理解しています。学校で教育支援プランを作成し、面談しますが、その際にデイの先生も同席し、情報を共有できたら子供により良い支援ができると思います。学校に、より専門知識を持った人がいてくれたら親としては助かります。	10歳未満・男性 精神障がい	ご家族
中学校に通うようになり高校受験への学習の定着が厳しいので不安です。グレーゾーンの子にとっての学習面でのサポートを手厚くしてほしい。	10歳代・女性 障がい不明	ご家族
久喜市で療育センターを作ってほしい。(久喜市で、OT、ST、ポーター相談などが連携しながら行っていけるセンターを作ってほしい)	20歳代・女性 知的障がい	ご本人
久喜市には医療ケア児・者対応の生活保護事業所がない。(放課後デイはあるが)、卒業後の行き先がないので他県または他市へ行かなければならない。現状、古河や鴻巣、白岡、蓮田など、遠く離れた場所へ、母の送迎で行かなければならない。久喜市には絶対必要である。	20歳代・回答しづらい 視覚障がい 肢体不自由 内部障がい	ご家族
奇形児や障害者に対し、口、目、耳、手、足、が使える限りその能力と性格に応じて手に手を取る教育にて本人の努力と先生の努力にて、正常の人と学問知識を身につけさせるべし。正常の人にもすべての人に対し性格と能力に応じた手に手を取る教育をするべし。これは天才の脳を教育するときの教育である。	60歳代・男性 精神障がい	ご本人

その他

意見の概要	年代・性別 障がい・部位	回答者
家族に複数障害者が居る場合(親と子)に宛先が親の名前になっているので、誰宛に聞いてきているかがわからない。	10歳未満・男性 難病	ご家族
障がいのある子が2人いますが、久喜は経済的にもいろいろ充実していると思います。いつもありがとうございます。	10歳未満・女性 知的障がい	ご家族

何が起ころうともおかしくないこのご時世。所詮、弱者と呼ばれる人たちから切り捨てられて行くのだろう…と覚悟して、これからも生きていきます。	20歳代・男性 肢体不自由 知的障がい 難病	ご家族
いつもご苦労様です。大変ありがたく感謝の気持ちで日々を過ごしております。	20歳代・男性 知的障がい	ご家族
障がい者施設職員の給与増等の待遇改善。	30歳代・男性 障がい不明	ご家族
久喜市障がい福祉課の職員の方々、お話がわかりやすく丁寧だと思います。いつもありがとうございます。	30歳代・男性 精神障がい	ご本人
職員の皆様毎日、おつかれさまです。いつもありがとうございます。これからもお世話になります。よろしく願います。	30歳代・女性 内部障がい	ご本人
こちらに送付される封筒の事です。返信用封筒は分かりやすい方が良いでしょうから、今回のような郵便物の送付の際に「障がい者福祉課」と封筒に記載されている事があまり良く思えないです。「福祉課」だけにする等、もう少し表記に気を遣って頂きたいです。是非、検討下さい。よろしく願います。	40歳代・女性 精神障がい	ご本人
このような郵送物は、できれば「久喜市役所」からにしていきたい。「障がい者福祉課」等は無いほうが助かります。	40歳代・女性 精神障がい	ご本人
18歳未満の場合は答えてくださいが、入力必須とは誰がこのアンケートを作ったのか。こんなことでは福祉社会の実現は程遠いですね。	50歳代・男性 精神障がい	ご本人
音楽CDの充実	50歳代・男性 視覚障がい	ご本人
以前市で行っている集団検診へ申し込んだが、乳がん検診で上半身裸でバスタオルをかけているだけだったので、バスタオルがとめておらず落ち、検診を受ける際、上半身裸を他の検診を受ける人に見られ嫌な思いをしたため、市の乳がん検診はそれ以降申し込んでいない。いつもサポートの係が1人もいないのは問題だと思う。それで病気になるのも我慢しないといけな。	50歳代・女性 肢体不自由	ご本人
障害を受けていない部分でなら「俺はこんなに出来るんだぞ」というところを周囲に知らせたいと思っています。	60歳代・男性 肢体不自由	ご本人
各種申請書等に切手を貼って送付している。早くペーパーレスの対応を願います。	60歳代・男性 内部障がい	ご本人
堤防の工事が終わり洪水の心配が無くなったので、堤防の上は障害者専用の駐車場に解放したらどうか？地震の時などは良い避難場所になると思うが。	60歳代・男性 内部障がい	ご本人
(地区・地域が)皆で子育てする、助け合う。ボランティア(無報酬)してもよい(土・日・祝)	60歳代・男性 身体その他障がい	ご本人
自分の住んでいる地区の民生委員がわからない。近所の人は古くからの付き合いみたいだ。顔写真付きで委員の方の住所や連絡先を配布してほしいと思います。	60歳代・女性 精神障がい	ご本人
障害児・者に対してご理解ありがとうございます。ますます充実されることを願っております。	60歳代・女性 肢体不自由	ご本人
日頃よりご尽力頂きありがとうございます。私は今のところ生活できていますが今後どうなるか不安です。今後共、宜しく願ひ致します。	60歳代・女性 身体その他障がい	ご本人
色々御世話に成ります。本当に助かっております。今後共宜しく願ひ申し上げます。	70歳代・男性 障がい不明	ご本人
国指定難病者ですが、特に困っていることはないです。今後、障害について理解していきたいと感じております。	70歳代・男性 難病	ご本人
妻に大変わずらわしい思いをさせた。妻は難聴のため聞き取りにくい。この様な長いアンケートは面倒。視覚障害、聴覚障害等に分けて短くしてほしい。最後まで回答するのに時間がかかり肩が凝りました。	70歳代・男性 視覚障がい	ご家族
詳細な事項に亘るアンケートで、真面目に回答された結果が集計され有意義なものになるよう期待します。ご苦労様です。	70歳代・男性 難病	ご本人
申し訳ありませんが書類の作成がかなり負担になってます。施設で暮らしていますし、コロナで状況がよくわかりません。わかるところだけ記入しました。	70歳代・男性 難病	ご家族

現在、特養に入居中の為、答えに困る項目多数。もっと障害者の実情に合わせたアンケートにしないと意味がない。	70歳代・男性 音声・言語・そしゃく 機能障がい 肢体不自由	ご家族
今般の諸質問について。障害者級について軽度の人から重度の人まで存在する。その為、軽度の人については質問内容が多すぎる。私自身、障害者等級④なのでほとんど回答については?が多い。もう少し、障害者別などの対応を考えた方が良いのではないかと思います。	70歳代・男性 障がい不明	ご本人
障害者に対する支援感謝申し上げます。	70歳代・男性 内部障がい	ご本人
調査票に○×をつけたましたが障がい者の話し又は行動を見て、良い障がい者の福祉計画を立ててください。頭だけでの判断だけはしないでください。よろしくお願いいたします。	80歳代・男性 内部障がい	ご本人
私の場合、身体障がい・難聴6級という比較的軽度で補聴器を装着すればほぼ健常者と同等の日常生活が出来ますが、少子高齢化の今日、障がいの種別によっては、より深刻な方々が多く存在すると思います。このような方々にとって、真に頼りになるのは、やはり行政の助けです。どうか、このアンケートの結果等を踏まえ、障がい者に温かい血の通った行政施策の実現を願っています。住民とともにある行政の実現を!!	80歳代・男性 聴覚・平衡機能障がい	ご本人
私は障害者の家族です。現在、施設に入所中の為、全面的に施設の従業員の方にお世話になって居り、本人としては家に帰る事を希望して居りますが、私も高齢の為、帰宅しても全面的に面倒は見ることは出来ません。調査の内容は本人に直接の意見ではありません。	80歳代・男性 肢体不自由	ご家族
全体的によくわからなく、職員さんに迷惑をいっぱいかけてしまいました。今後とも、見すてず、よろしくおねがいします。	80歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい	ご家族
自分で出来る事は自分で行っていきたい。どうしてもという時はこころよく手をかして下さい。心から感謝申し上げます。	80歳代・女性 内部障がい	ご本人
いまの所、子どもに時々みてもらっておりますが、日中は一人でなんでも出来ております。今後お世話になることも出てくると思います。宜しく願い申し上げます。	80歳代・女性 内部障がい	ご本人
現在、お世話になり感謝しています。	80歳代・女性 肢体不自由 内部障がい 知的障がい	ご家族
今の所、自立していますが先々お世話になると思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。	80歳代・女性 肢体不自由	ご本人
実態調査の結果が発表されるといいですね(市政だよりなど)。また、結果の実施など。	80歳代・女性 聴覚・平衡機能障がい 肢体不自由	ご本人
色々お世話になりますがよろしくお願い致します。	90歳代・女性 肢体不自由	ご本人
この調査書は障がい全般についてであり、個々の障害については答えられるが、当人に関係ない分野については答えられないし分からない。質問の方法や内容は、今後変えたほうが良いのでは?	90歳代・女性 身体その他障がい	ご家族

第 3 章

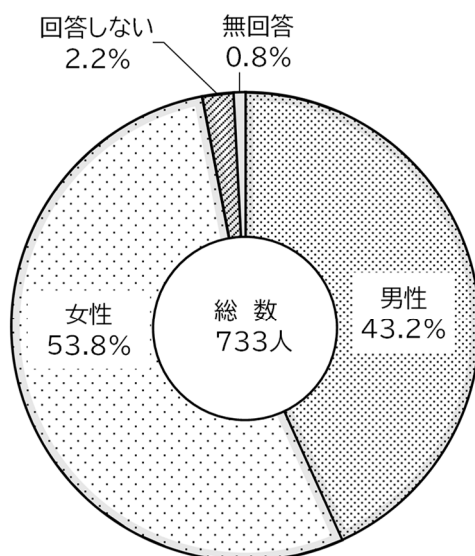
市民の方を対象とした調査

1. ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

「男性」が43.2%、「女性」が53.8%、となっています。

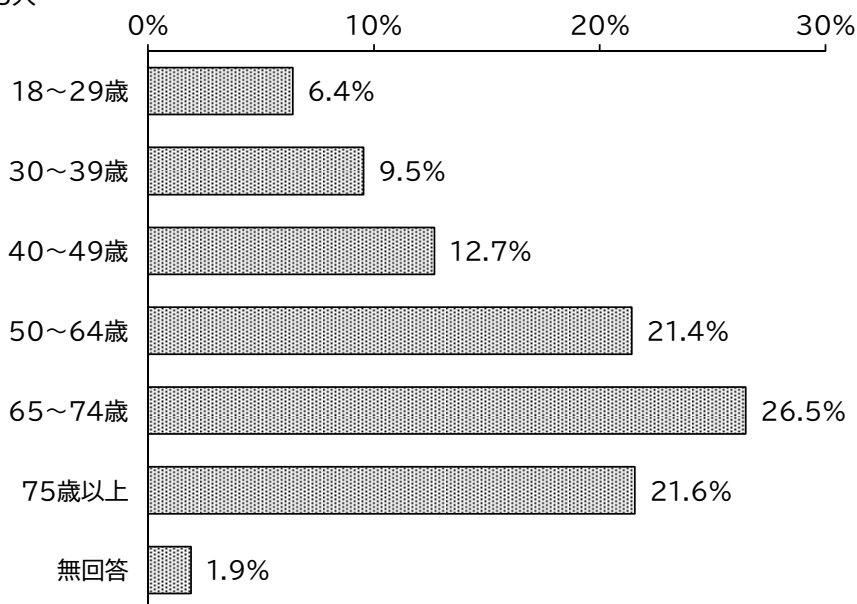


(2) 年齢

問2 あなたの令和4年9月1日現在の満年齢をご記入ください。

「65～74歳」が26.5%と最も高く、次いで「75歳以上」が21.6%、「50～64歳」が21.4%、「40～49歳」が12.7%となっています。

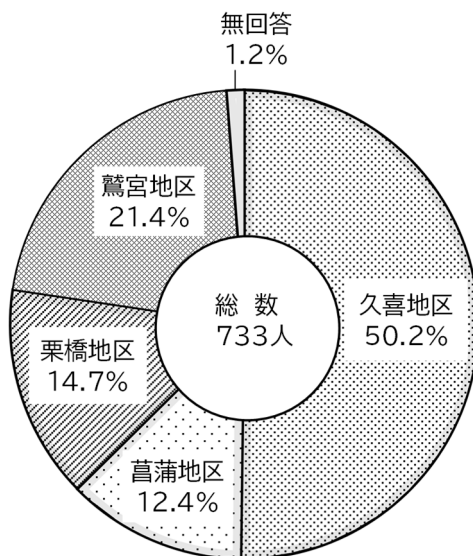
総数=733人



(3) お住まいの地区

問3 あなたの住んでいる地区はどこですか。(〇はひとつ)

「久喜地区」が 50.2%、「菖蒲地区」が 12.4%、「栗橋地区」が 14.7%、「鷲宮地区」が 21.4%となっています。



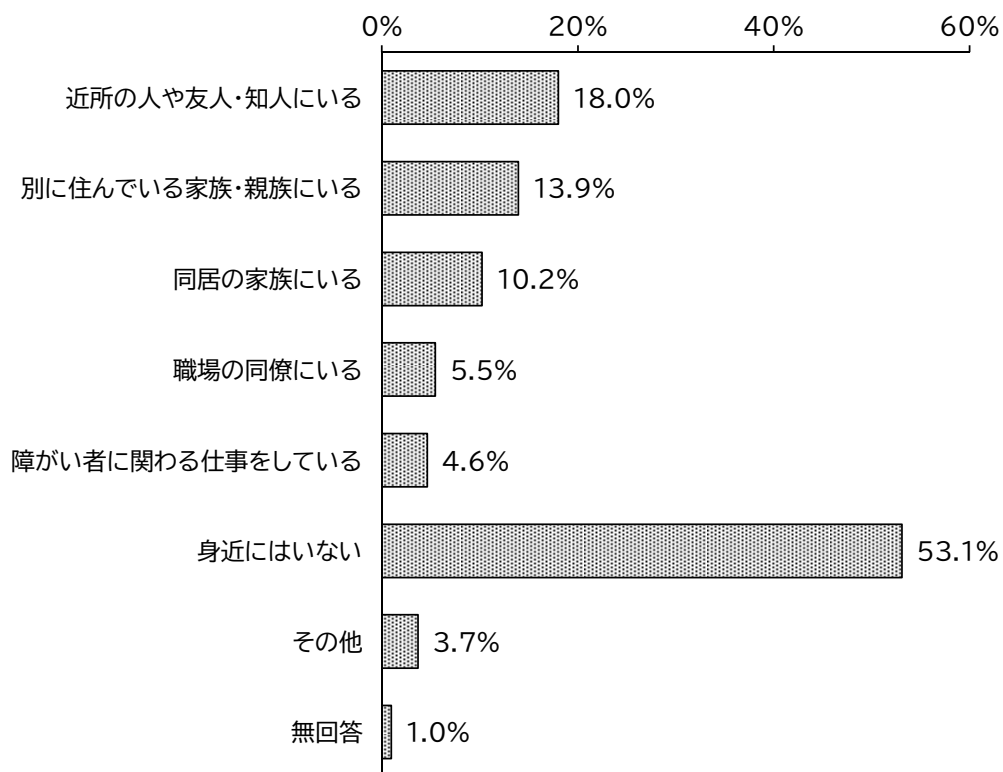
2. 障がい者との関わりについて

(1) 身近な障がい者の有無

問4 あなたの身近に障がいのある方はいますか。あてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

「近所の人や友人・知人にいる」が 18.0%と最も高く、次いで「別に住んでいる家族・親族にいる」が 13.9%、「同居の家族にいる」が 10.2%となっています。「身近にはいない」と回答した方の割合は5割を超えています。

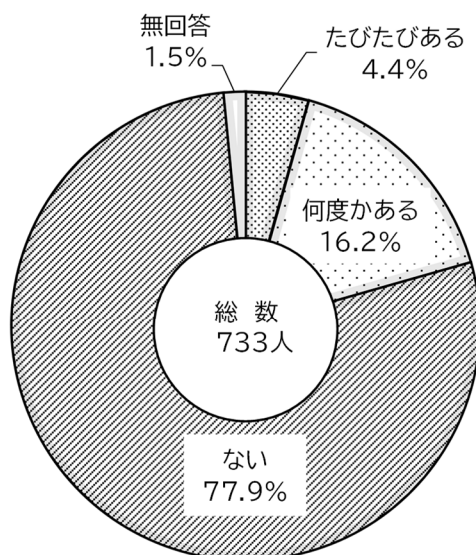
総数=733人(複数回答)



(2)障がい者と活動した経験

問5 あなたは、障がいのある方と一緒に地域活動や文化・スポーツ活動などをしたことはありますか。(〇はひとつ)

「たびたびある」が 4.4%、「何度かある」が 16.2%となっており、活動したことがあるという方は合わせて約2割となっています。「ない」との回答は約 8割となっています。



年齢別にみると、20～39歳で「何度かある」という回答がやや高くなっています。

◆年齢別集計

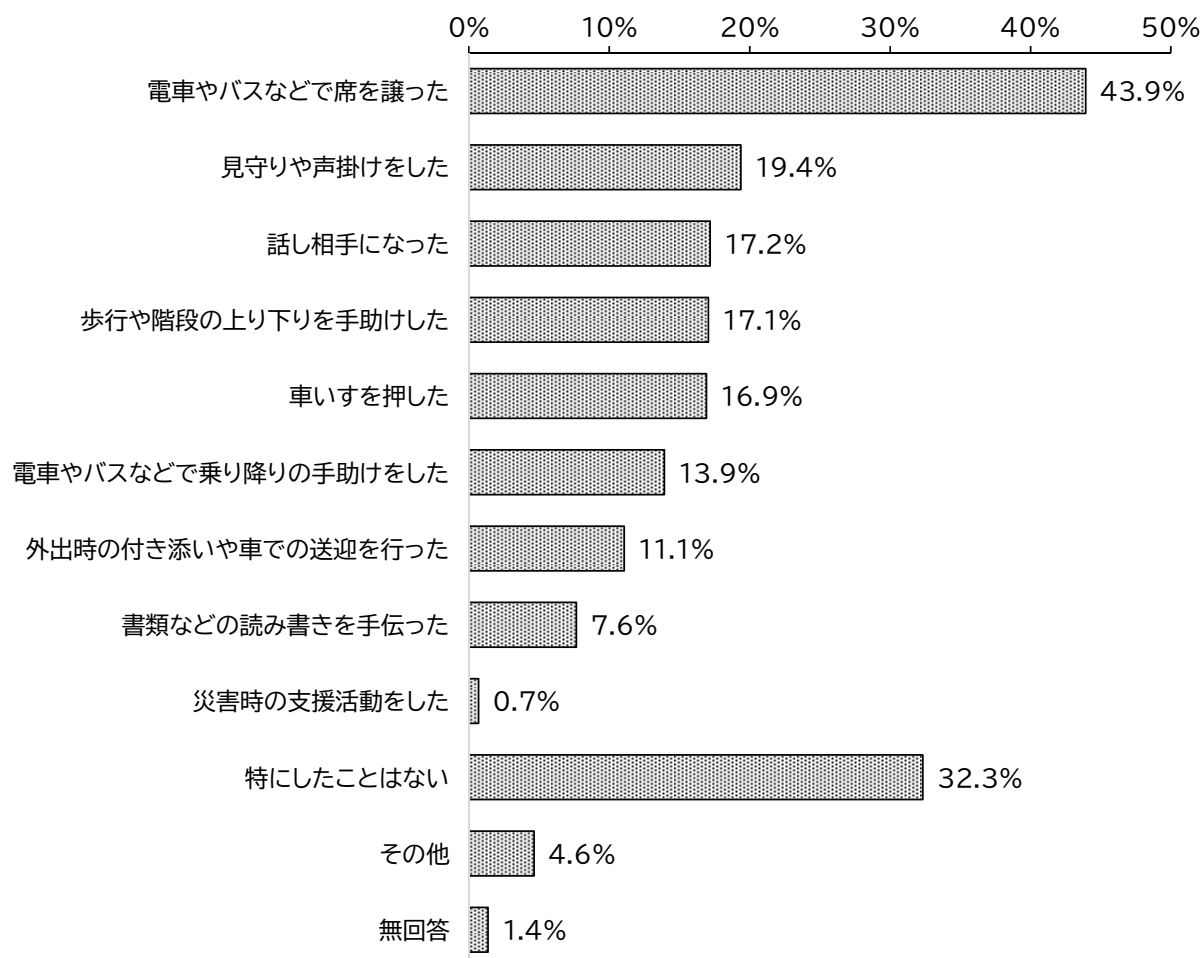
		全体	たびたびある	何度かある	ない	無回答
全体		733 100.0%	32 4.4%	119 16.2%	571 77.9%	11 1.5%
年齢別	20～39歳	117 100.0%	7 6.0%	35 29.9%	74 63.2%	1 0.9%
	40～64歳	250 100.0%	9 3.6%	39 15.6%	201 80.4%	1 0.4%
	65歳以上	352 100.0%	16 4.5%	43 12.2%	285 81.0%	8 2.3%
	無回答	14 100.0%	0 0.0%	2 14.3%	11 78.6%	1 7.1%

(3)手助けや配慮をした経験

問6 あなたは、障がいのある方などに次のような手助けや配慮をしたことはありますか。
(○はいくつでも)

「電車やバスなどで席を譲った」が43.9%と最も高く、次いで「見守りや声掛けをした」が19.4%、「話し相手になった」が17.2%、「歩行や階段の上り下りを手助けした」が17.1%となっています。手助けや配慮をした経験があるという方は合わせて約7割となっています。

総数=733人(複数回答)



身近な障がい者の有無別に見ると、身近に障がい者がいる方に対し、身近に障がい者がいない方で「特にしたことはない」という回答がやや高くなっています。

◆身近な障がい者の有無別集計

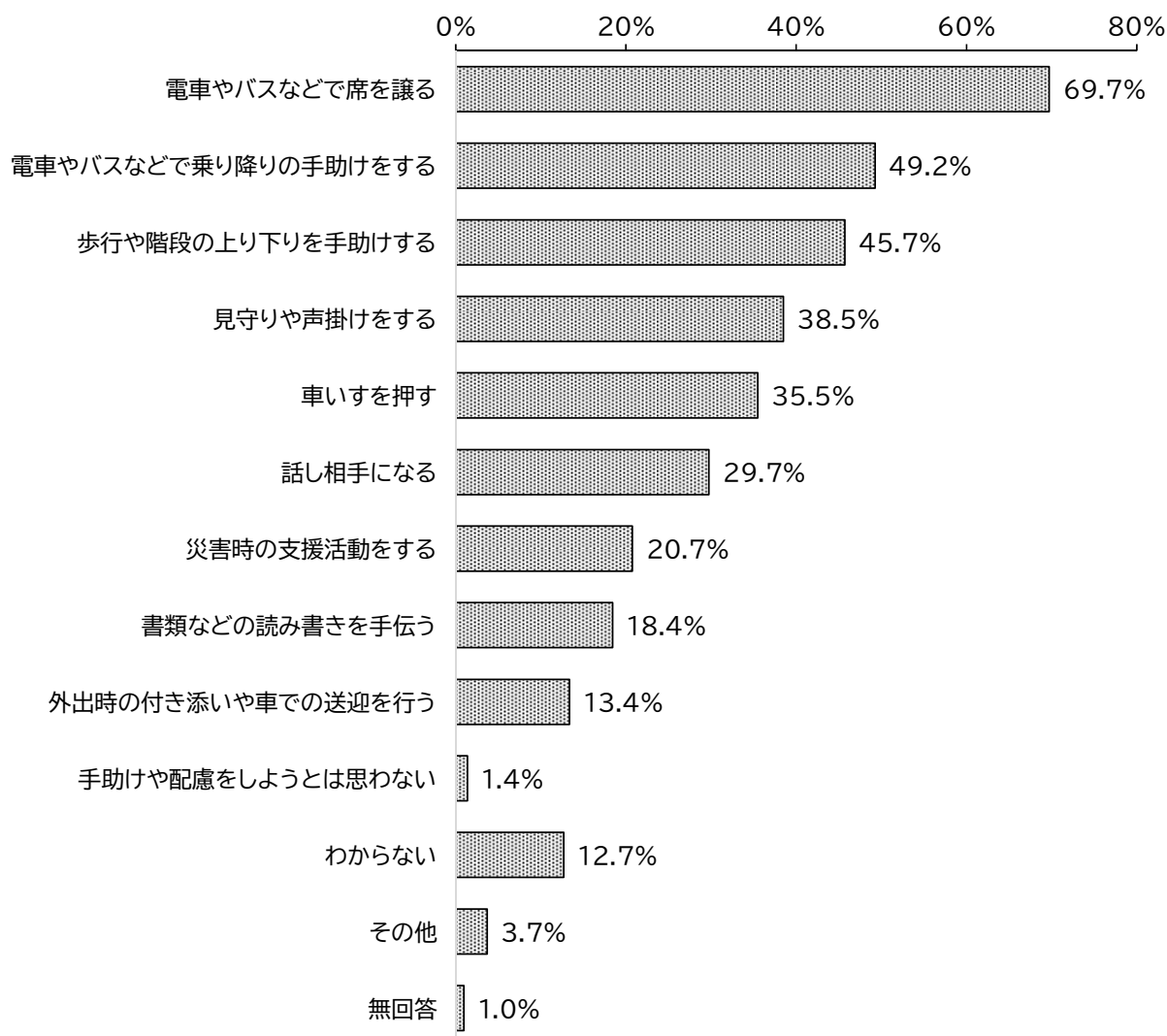
	回答者数	電車やバスなどで 席を譲った	電車やバスなどで乗り降りの 手助けをした	車いすを押した	歩行や階段の上り下りを 手助けした	外出時の付き添いや車での 送迎を行った	書類などの読み書きを 手伝った	話し相手になった	災害時の支援活動をした	見守りや声掛けをした	特にしたことはない	その他	無回答	
回答者数	733	322 43.9%	102 13.9%	124 16.9%	125 17.1%	81 11.1%	56 7.6%	126 17.2%	5 0.7%	142 19.4%	237 32.3%	34 4.6%	10 1.4%	
身近な障がい者の有無	同居の家族にいる	75 -	34 45.3%	13 17.3%	21 28.0%	23 30.7%	14 18.7%	20 26.7%	0 0.0%	25 33.3%	16 21.3%	6 8.0%	0 0.0%	
	別に住んでいる家族・ 親族にいる	102 -	53 52.0%	17 16.7%	31 30.4%	21 20.6%	27 26.5%	11 10.8%	33 32.4%	1 1.0%	29 28.4%	20 19.6%	5 4.9%	2 2.0%
	近所の人や友人・ 知人にいる	132 -	62 47.0%	28 21.2%	31 23.5%	31 23.5%	21 15.9%	13 9.8%	38 28.8%	4 3.0%	48 36.4%	30 22.7%	5 3.8%	1 0.8%
	職場の同僚にいる	40 -	21 52.5%	7 17.5%	10 25.0%	11 27.5%	2 5.0%	7 17.5%	11 27.5%	0 0.0%	12 30.0%	12 30.0%	1 2.5%	0 0.0%
	障がい者に関わる 仕事をしている	34 -	20 58.8%	10 29.4%	17 50.0%	14 41.2%	9 26.5%	9 26.5%	16 47.1%	1 2.9%	13 38.2%	4 11.8%	2 5.9%	0 0.0%
	身近にはいない	389 -	162 41.6%	40 10.3%	40 10.3%	47 12.1%	19 4.9%	14 3.6%	30 7.7%	0 0.0%	34 8.7%	160 41.1%	15 3.9%	5 1.3%
	その他	27 -	10 37.0%	7 25.9%	8 29.6%	7 25.9%	4 14.8%	5 18.5%	7 25.9%	1 3.7%	9 33.3%	4 14.8%	3 11.1%	1 3.7%
	無回答	7 -	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%

(4)どのような手助けや配慮ができるか

問7 あなたは今後、障がいのある方などにどのような手助けや配慮ができると思いますか。(〇はいくつでも)

「電車やバスなどで席を譲る」が69.7%と最も高く、次いで「電車やバスなどで乗り降りの手助けをする」が49.2%、「歩行や階段の上り下りを手助けする」が45.7%、「見守りや声掛けをする」が38.5%となっています。手助けや配慮ができると思うという方は合わせて約8割となっています。

総数=733人(複数回答)



男女別に見ると、「話し相手になる」、「見守りや声掛けをする」は男性よりも女性の方が10ポイント以上高くなっています。

◆男女別集計

	回答者数	電車やバスなどで席を譲る	電車やバスなどで乗り降りの手助けをする	車いすを押す	歩行や階段の上り下りを手助けする	外出時の付き添いや車での送迎を行う	書類などの読み書きを手伝う	話し相手になる	災害時の支援活動をする	見守りや声掛けをする	手助けや配慮をしようとは思わない	わからない	その他	無回答	
全体	733	511 69.7%	361 49.2%	260 35.5%	335 45.7%	98 13.4%	135 18.4%	218 29.7%	152 20.7%	282 38.5%	10 1.4%	93 12.7%	27 3.7%	7 1.0%	
性別	男性	317 —	226 71.3%	169 53.3%	115 36.3%	149 47.0%	44 13.9%	36 11.4%	73 23.0%	76 24.0%	91 28.7%	6 1.9%	37 11.7%	7 2.2%	3 0.9%
	女性	394 —	271 68.8%	182 46.2%	139 35.3%	179 45.4%	52 13.2%	94 23.9%	142 36.0%	72 18.3%	183 46.4%	4 1.0%	51 12.9%	20 5.1%	3 0.8%
	回答しない	16 —	10 62.5%	6 37.5%	3 18.8%	4 25.0%	1 6.3%	4 25.0%	2 12.5%	2 12.5%	6 37.5%	0 0.0%	4 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	6 —	4 66.7%	4 66.7%	3 50.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%

身近な障がい者の有無別に見ると、身近に障がい者がいない方でも外出先などでの手助けや配慮ができるという回答はある程度の割合に上がっていますが、「見守りや声掛けをする」の項目では身近に障がい者がいる方より回答がかなり低くなっています。

◆身近な障がい者の有無別集計

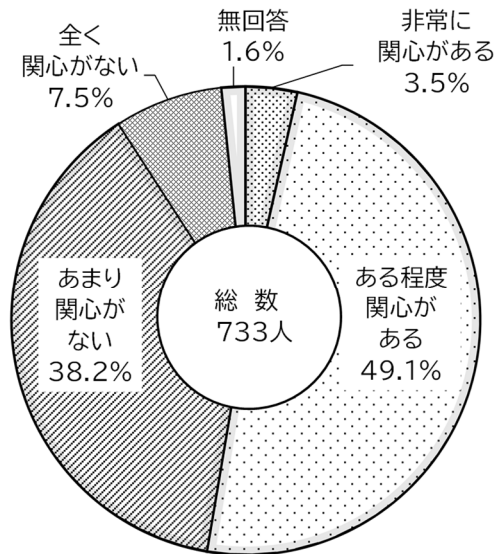
	回答者数	電車やバスなどで席を譲る	電車やバスなどで乗り降りの手助けをする	車いすを押す	歩行や階段の上り下りを手助けする	外出時の付き添いや車での送迎を行う	書類などの読み書きを手伝う	話し相手になる	災害時の支援活動をする	見守りや声掛けをする	手助けや配慮をしようとは思わない	わからない	その他	無回答	
全体	733	511 69.7%	361 49.2%	260 35.5%	335 45.7%	98 13.4%	135 18.4%	218 29.7%	152 20.7%	282 38.5%	10 1.4%	93 12.7%	27 3.7%	7 1.0%	
身近な障がい者の有無	同居の家族にいる	75 —	46 61.3%	34 45.3%	31 41.3%	34 45.3%	27 36.0%	27 36.0%	32 42.7%	20 26.7%	37 49.3%	2 2.7%	11 14.7%	2 2.7%	2 2.7%
	別に住んでいる家族・親族にいる	102 —	82 80.4%	54 52.9%	49 48.0%	53 52.0%	28 27.5%	27 26.5%	42 41.2%	29 28.4%	53 52.0%	2 2.0%	9 8.8%	7 6.9%	0 0.0%
	近所の人や友人・知人にいる	132 —	91 68.9%	73 55.3%	58 43.9%	64 48.5%	24 18.2%	34 25.8%	65 49.2%	32 24.2%	74 56.1%	2 1.5%	12 9.1%	4 3.0%	0 0.0%
	職場の同僚にいる	40 —	30 75.0%	26 65.0%	20 50.0%	24 60.0%	2 5.0%	6 15.0%	10 25.0%	13 32.5%	16 40.0%	0 0.0%	3 7.5%	1 2.5%	0 0.0%
	障がい者に関わる仕事をしている	34 —	23 67.6%	19 55.9%	21 61.8%	23 67.6%	11 32.4%	13 38.2%	18 52.9%	10 29.4%	16 47.1%	1 2.9%	2 5.9%	4 11.8%	0 0.0%
	身近にはいない	389 —	278 71.5%	193 49.6%	116 29.8%	176 45.2%	27 6.9%	51 13.1%	77 19.8%	71 18.3%	120 30.8%	4 1.0%	53 13.6%	8 2.1%	3 0.8%
	その他	27 —	18 66.7%	14 51.9%	11 40.7%	12 44.4%	5 18.5%	7 25.9%	9 33.3%	9 33.3%	8 29.6%	1 3.7%	2 7.4%	4 14.8%	2 7.4%
	無回答	7 —	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%

3. ボランティア活動について

(1) ボランティア活動への関心

問8 あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。(○はひとつ)

「非常に関心がある」が 3.5%、「ある程度関心がある」が 49.1%、「あまり関心がない」が 38.2%、「全く関心がない」が 7.5%、となっています。「関心がある」という回答は合わせて5割を超えています。



年齢別に見ると、年齢が上がるほど関心が高くなる傾向にあり、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」という回答は、65歳以上で合わせて約6割とやや高くなっています。

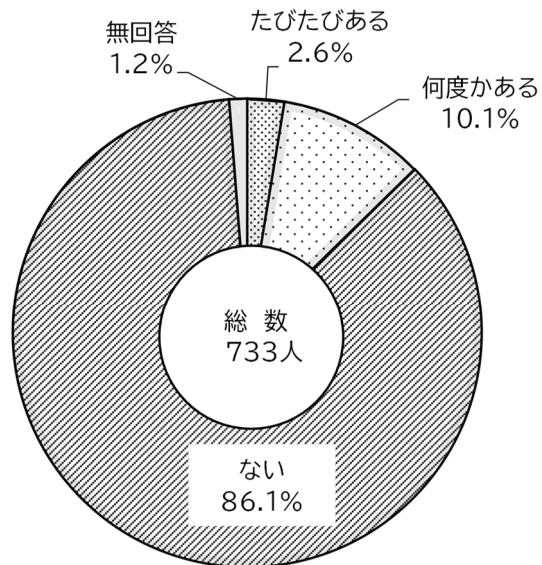
◆年齢別集計

		全体	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答
全体		733 100.0%	26 3.5%	360 49.1%	280 38.2%	55 7.5%	12 1.6%
年齢別	20~39歳	117 100.0%	7 6.0%	48 41.0%	53 45.3%	9 7.7%	0 0.0%
	40~64歳	250 100.0%	6 2.4%	115 46.0%	109 43.6%	20 8.0%	0 0.0%
	65歳以上	352 100.0%	12 3.4%	191 54.3%	114 32.4%	23 6.5%	12 3.4%
	無回答	14 100.0%	1 7.1%	6 42.9%	4 28.6%	3 21.4%	0 0.0%

(2) ボランティア活動への参加経験

問9 あなたは、障がいのある方に関するボランティア活動に参加したことがありますか。
(○はひとつ)

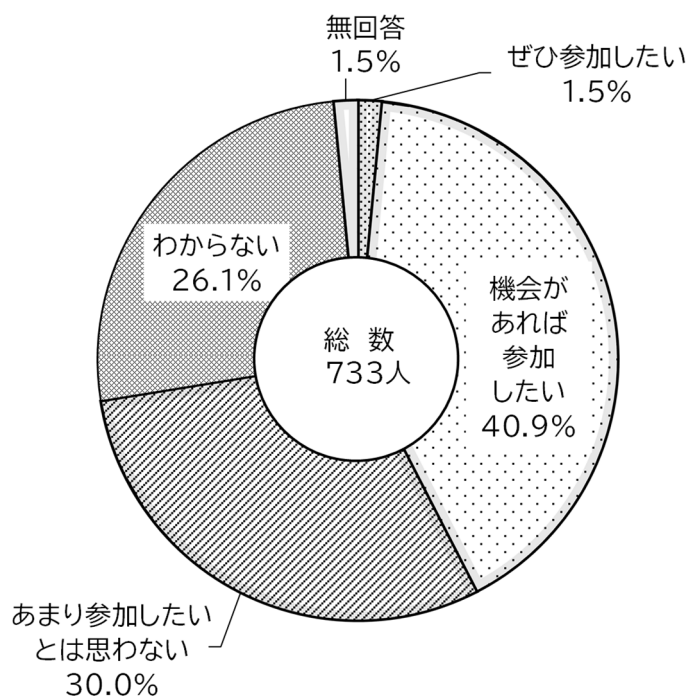
「たびたびある」が 2.6%、「何度かある」が 10.1%となっており、参加経験があるという回答は合わせて約1割となっています。「ない」との回答は約9割となっています。



(3) ボランティア活動への参加意向

問 10 あなたは今後、障がいのある方に関するボランティア活動に参加したいと思いますか。(○はひとつ)

「ぜひ参加したい」が 1.5%、「機会があれば参加したい」が 40.9%、「あまり参加したいと思わない」が 30.0%となっています。参加したいという回答は合わせて約4割となっています。

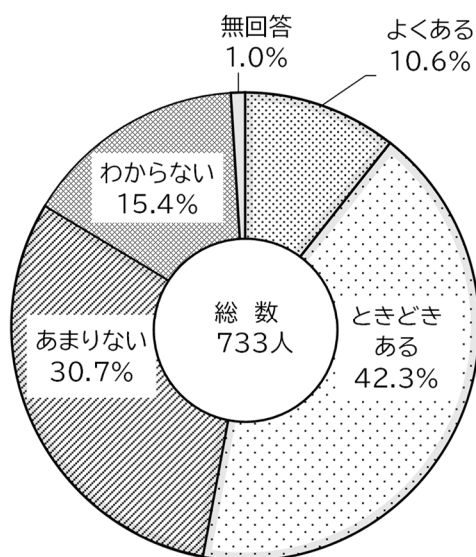


4. 障がい理解について

(1) 差別や偏見を感じることの有無

問11 あなたは、社会に障がいのある方に対する差別や偏見があると感じることはありますか。(○はひとつ)

「よくある」が 10.6%、「ときどきある」が 42.3%、「あまりない」が 30.7%となっています。差別や偏見を感じることもあるという回答は合わせて約半数となっています。



身近な障がい者の有無別に見ると、「よくある」という回答は、同居の家族にいる方、障がい者に関わる仕事をしている方で約2割とやや高くなっていますが、身近に障がい者がいない方では1割未満と低くなっています。

◆身近な障がい者の有無別集計

		全体	よくある	と まじり ある	あまり ない	わ か ら ない	無 回 答
全体		733 100.0%	78 10.6%	310 42.3%	225 30.7%	113 15.4%	7 1.0%
身近な障 害者の 有無	同居の家族にいる	75 100.0%	14 18.7%	29 38.7%	20 26.7%	11 14.7%	1 1.3%
	別に住んでいる家族・ 親族にいる	102 100.0%	13 12.7%	52 51.0%	22 21.6%	15 14.7%	0 0.0%
	近所の人や友人・ 知人にいる	132 100.0%	21 15.9%	60 45.5%	40 30.3%	10 7.6%	1 0.8%
	職場の同僚にいる	40 100.0%	6 15.0%	24 60.0%	8 20.0%	2 5.0%	0 0.0%
	障がい者に関わる 仕事をしている	34 100.0%	8 23.5%	18 52.9%	3 8.8%	5 14.7%	0 0.0%
	身近にはいない	389 100.0%	29 7.5%	148 38.0%	136 35.0%	73 18.8%	3 0.8%
	その他	27 100.0%	3 11.1%	15 55.6%	2 7.4%	4 14.8%	3 11.1%
	無回答	7 100.0%	0 0.0%	3 42.9%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%

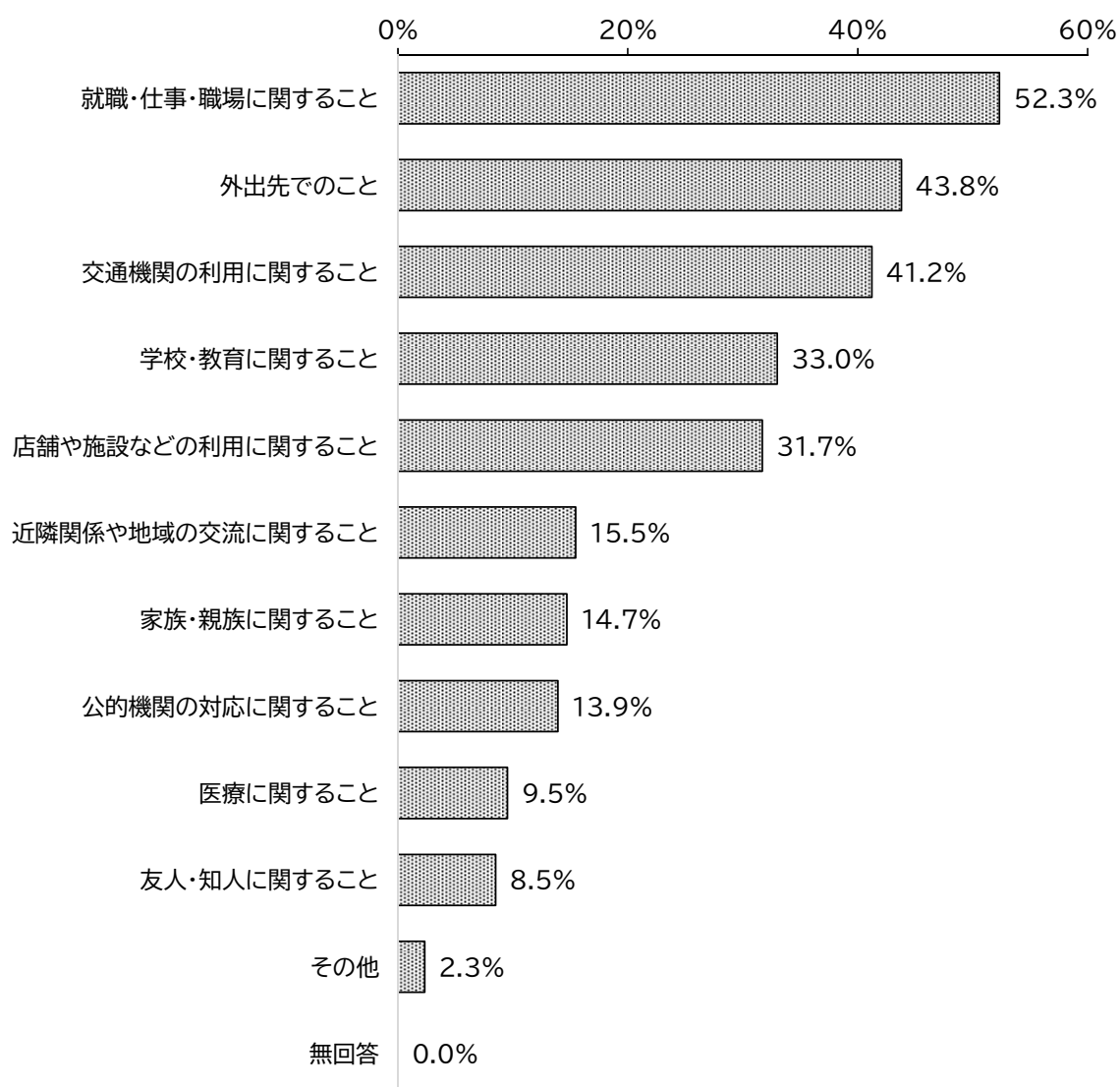
(2)差別や偏見を感じることの内容

【問 11 で「1. よくある」「2. ときどきある」と答えた方にお聞きします。】

問 12 あなたが社会に障がいのある方に対する差別や偏見があると感じるのは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

「就職・仕事・職場に関すること」が 52.3%と最も高く、次いで「外出先でのこと」が 43.8%、「交通機関の利用に関すること」が 41.2%、「学校・教育に関すること」が 33.0%となっています。

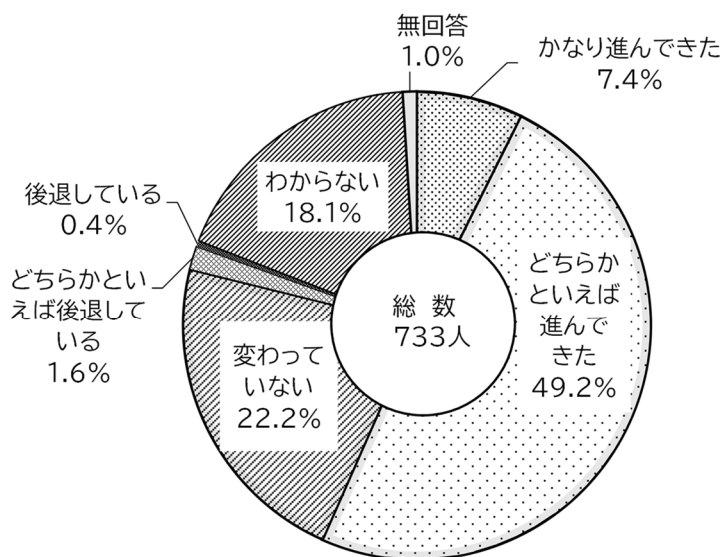
総数=388人(複数回答)



(3)障がい者への配慮や工夫が進んできたと思うか

問13 あなたは地域社会の中で障がいのある方に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。(○はひとつ)

「かなり進んできた」が7.4%、「どちらかといえば進んできた」が49.2%、「変わっていない」が22.2%、「どちらかといえば後退している」が1.6%、「後退している」が0.4%となっています。進んできたという回答は合わせて5割を超えています。

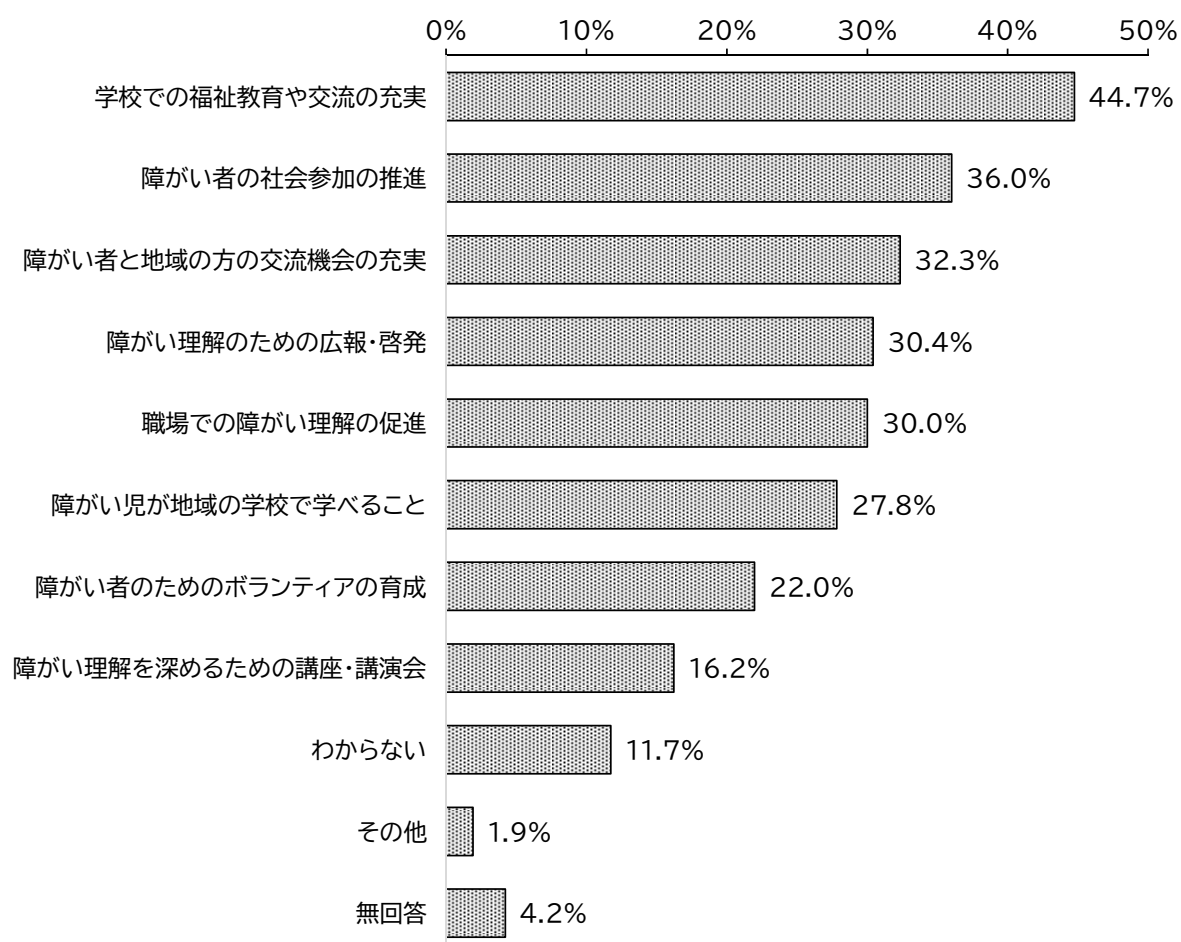


(4)障がい理解を深めるために必要なこと

問 14 あなたは障がい理解を深めるために、どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。(○はいくつでも)

「学校での福祉教育や交流の充実」が 44.7%と最も高く、次いで「障がい者の社会参加の推進」が 36.0%、「障がい者と地域の方の交流会の充実」が 32.3%、「障がい理解のための広報・啓発」が 30.4%となっています。

総数=733人(複数回答)



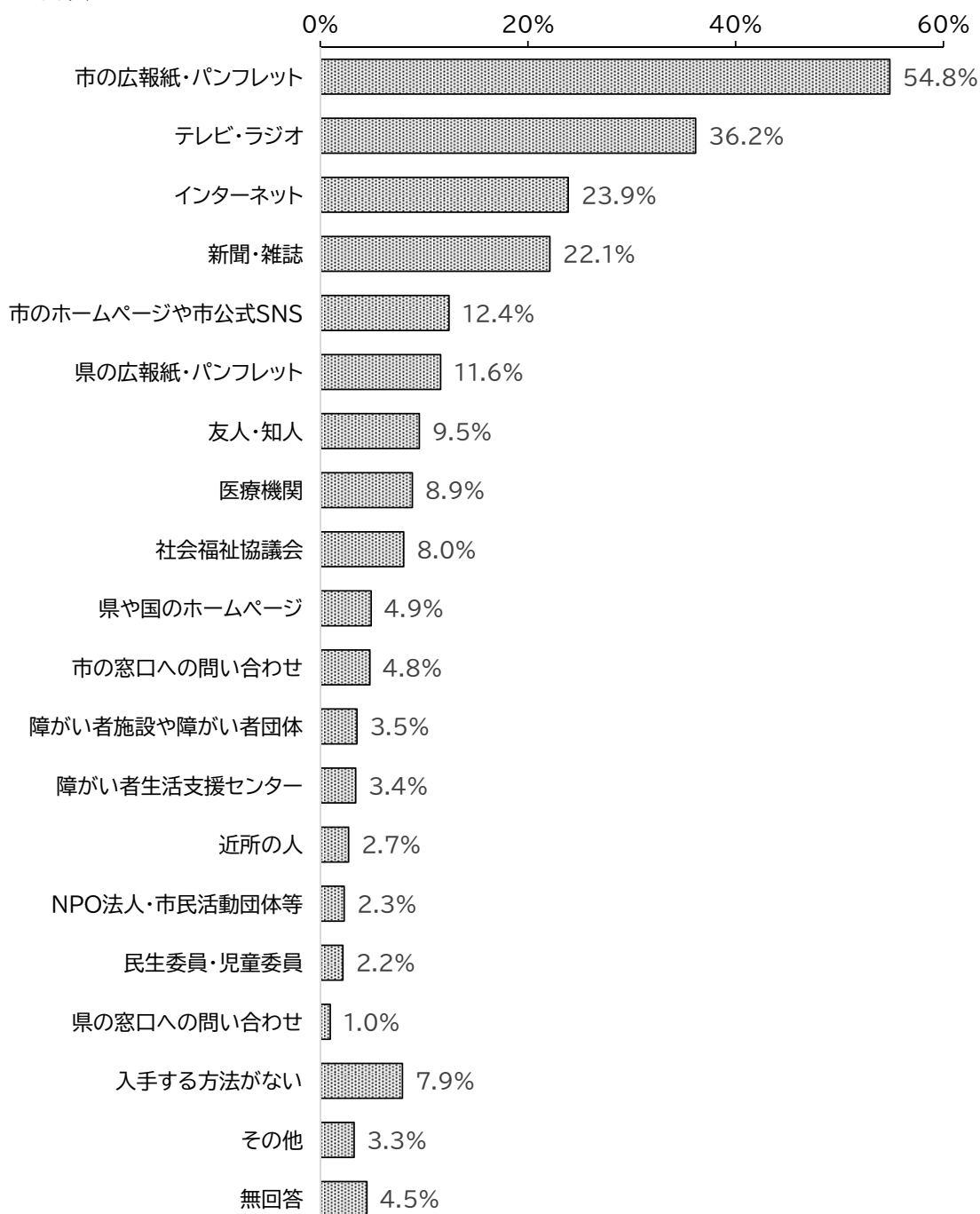
5. 障がい者施策について

(1) 福祉情報の入手先

問 15 あなたは、福祉に関する情報を主にどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

「市の広報紙・パンフレット」が 54.8%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」が 36.2%、「インターネット」が 23.9%、「新聞・雑誌」が 22.1%となっています。

総数=733人



(2)法律や計画の認知状況

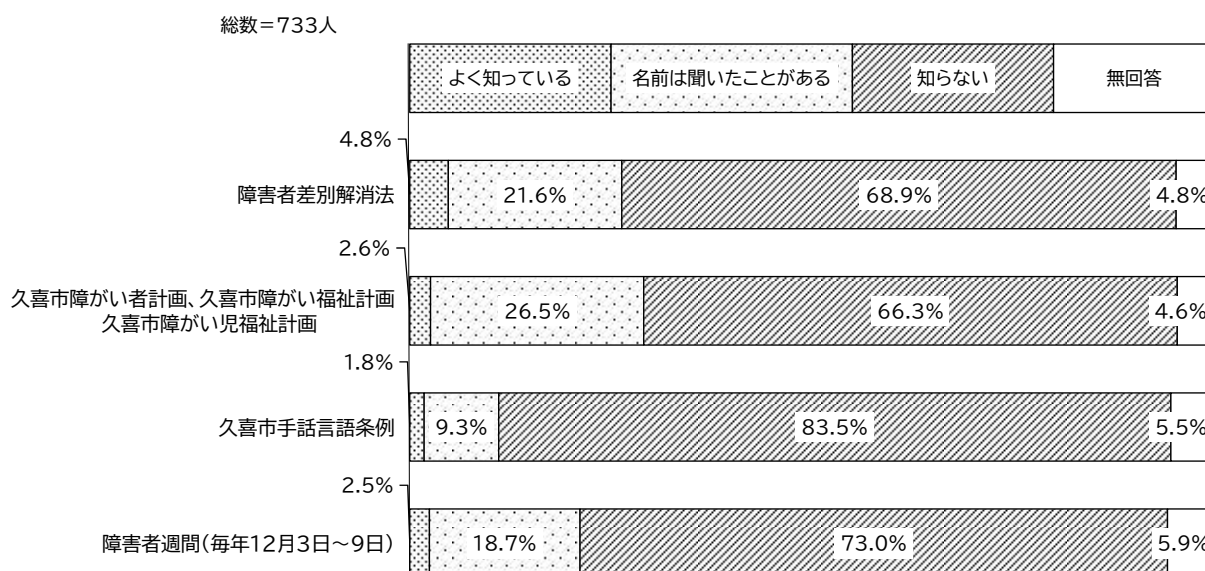
問 16 あなたは次の法律や計画を知っていますか。(○は項目ごとにひとつ)

障害者差別解消法については、「よく知っている」が4.8%、「名前は聞いたことがある」が21.6%、「知らない」が68.9%となっています。

久喜市障がい者計画、久喜市障がい福祉計画、久喜市障がい児福祉計画については、「よく知っている」が2.6%、「名前は聞いたことがある」が26.5%、「知らない」が66.3%となっています。

久喜市手話言語条例については、「よく知っている」が1.8%、「名前は聞いたことがある」が9.3%、「知らない」が83.5%となっています。

障害者週間(毎年12月3日～9日)については、「よく知っている」が2.5%、「名前は聞いたことがある」が18.7%、「知らない」が73.0%となっています。



身近な障がい者の有無別に見ると、障がい者に関わる仕事をしている方で、「よく知っている」「名前は聞いたことがある」との割合が他の回答者よりもやや高くなっていますが、すべての項目で「知らない」との回答が最も高くなっています。

◆身近な障がい者の有無別集計

		障害者差別解消法					久喜市障がい者計画、久喜市障がい福祉計画 久喜市障がい児福祉計画				
		全体	よく知っている	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答	全体	よく知っている	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答
全体		733 100.0%	35 4.8%	158 21.6%	505 68.9%	35 4.8%	733 100.0%	19 2.6%	194 26.5%	486 66.3%	34 4.6%
身近な障 害者の有 無	同居の家族にいる	75 100.0%	2 2.7%	16 21.3%	51 68.0%	6 8.0%	75 100.0%	4 5.3%	15 20.0%	51 68.0%	5 6.7%
	別に住んでいる家族・ 親族にいる	102 100.0%	8 7.8%	21 20.6%	71 69.6%	2 2.0%	102 100.0%	3 2.9%	26 25.5%	70 68.6%	3 2.9%
	近所の人や友人・ 知人にいる	132 100.0%	10 7.6%	38 28.8%	76 57.6%	8 6.1%	132 100.0%	6 4.5%	50 37.9%	68 51.5%	8 6.1%
	職場の同僚にいる	40 100.0%	3 7.5%	12 30.0%	25 62.5%	0 0.0%	40 100.0%	1 2.5%	13 32.5%	26 65.0%	0 0.0%
	障がい者に関わる 仕事をしている	34 100.0%	7 20.6%	13 38.2%	14 41.2%	0 0.0%	34 100.0%	2 5.9%	15 44.1%	16 47.1%	1 2.9%
	身近にはいない	389 100.0%	13 3.3%	67 17.2%	294 75.6%	15 3.9%	389 100.0%	4 1.0%	89 22.9%	281 72.2%	15 3.9%
	その他	27 100.0%	2 7.4%	11 40.7%	10 37.0%	4 14.8%	27 100.0%	1 3.7%	14 51.9%	8 29.6%	4 14.8%
	無回答	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	1 14.3%	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	1 14.3%

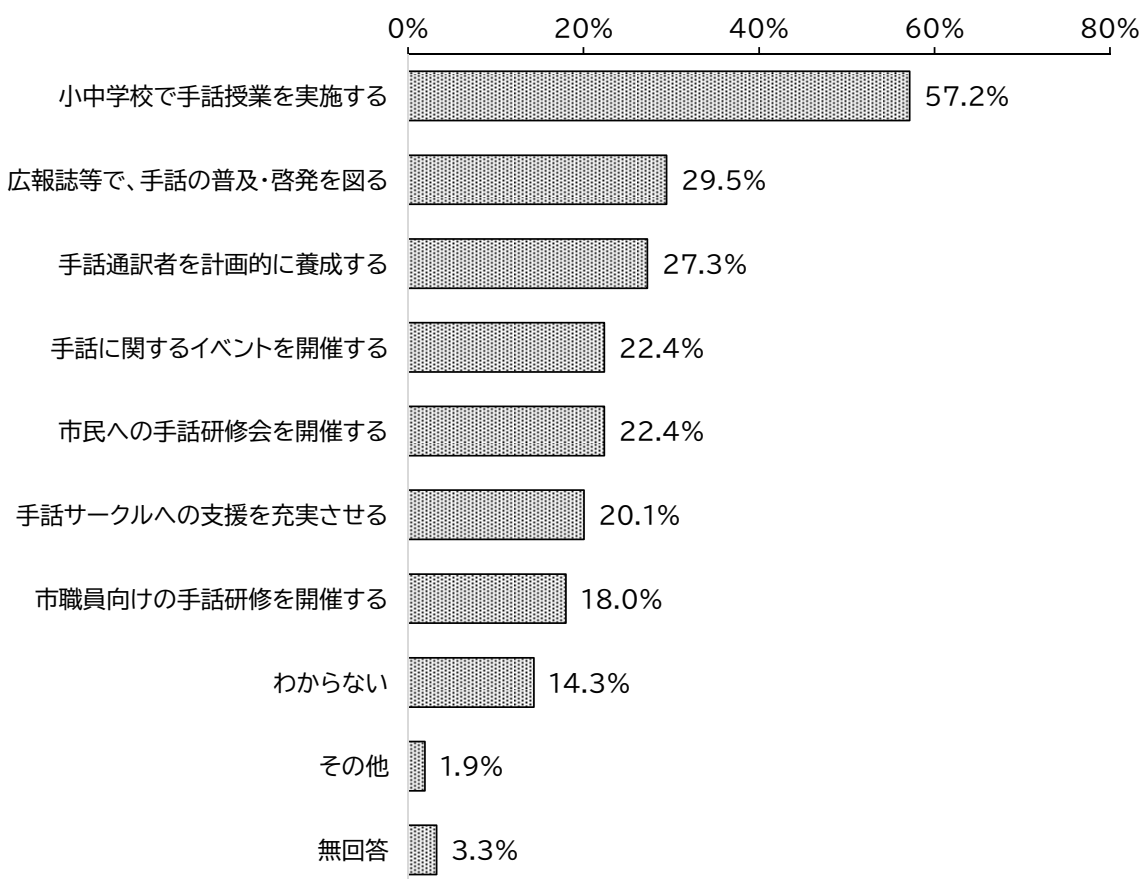
		久喜市手話言語条例					障害者週間(毎年12月3日～9日)				
		全体	よく知っている	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答	全体	よく知っている	名前は聞いた ことがある	知らない	無回答
全体		733 100.0%	13 1.8%	68 9.3%	612 83.5%	40 5.5%	733 100.0%	18 2.5%	137 18.7%	535 73.0%	43 5.9%
身近な障 害者の有 無	同居の家族にいる	75 100.0%	0 0.0%	8 10.7%	61 81.3%	6 8.0%	75 100.0%	2 2.7%	9 12.0%	57 76.0%	7 9.3%
	別に住んでいる家族・ 親族にいる	102 100.0%	2 2.0%	10 9.8%	87 85.3%	3 2.9%	102 100.0%	2 2.0%	18 17.6%	79 77.5%	3 2.9%
	近所の人や友人・ 知人にいる	132 100.0%	5 3.8%	16 12.1%	101 76.5%	10 7.6%	132 100.0%	6 4.5%	28 21.2%	86 65.2%	12 9.1%
	職場の同僚にいる	40 100.0%	1 2.5%	1 2.5%	38 95.0%	0 0.0%	40 100.0%	2 5.0%	11 27.5%	27 67.5%	0 0.0%
	障がい者に関わる 仕事をしている	34 100.0%	3 8.8%	5 14.7%	25 73.5%	1 2.9%	34 100.0%	6 17.6%	10 29.4%	17 50.0%	1 2.9%
	身近にはいない	389 100.0%	3 0.8%	29 7.5%	339 87.1%	18 4.6%	389 100.0%	3 0.8%	69 17.7%	300 77.1%	17 4.4%
	その他	27 100.0%	0 0.0%	8 29.6%	15 55.6%	4 14.8%	27 100.0%	2 7.4%	6 22.2%	15 55.6%	4 14.8%
	無回答	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	2 28.6%

(3)手話の普及・啓発の推進のために有効だと思う取り組み

問 17 あなたは、手話の普及・啓発を推進するために、どのような取り組みが有効だと思いますか。(〇はいくつでも)

「小中学校で手話授業を実施する」が 57.2%と最も高く、次いで「広報誌等で、手話の普及・啓発を図る」が 29.5%、「手話通訳者を計画的に養成する」が 27.3%、「手話に関するイベントを開催する」が 22.4%となっています。

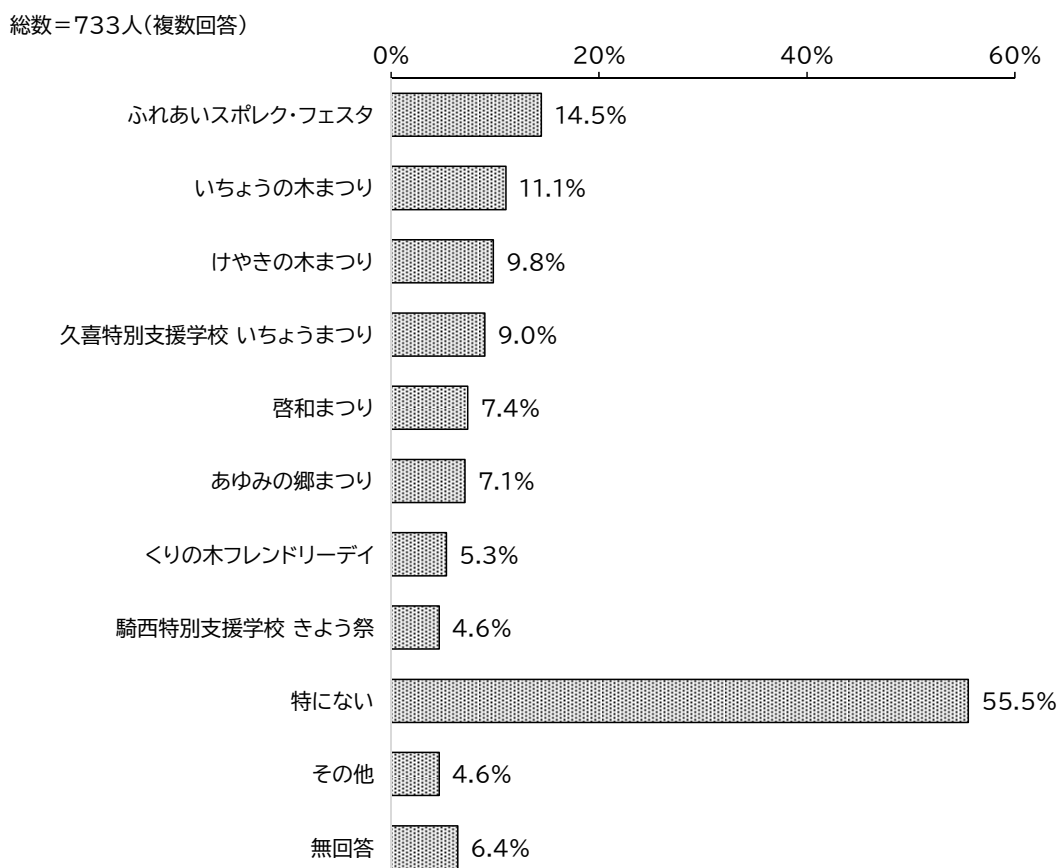
総数=733人(複数回答)



(4) イベントへの参加意向

問 18 あなたは、次に示すイベントに参加してみたいと思いますか。参加してみたいイベントに○をつけてください。(○はいくつでも)

「ふれあいスポレク・フェスタ」が 14.5%と最も高く、次いで「いちょうの木まつり」が 11.1%、「けやきの木まつり」が 9.8%、「久喜特別支援学校 いちょうの木まつり」が 9.0%となっています。いずれかのイベントに参加してみたいという方は約3割となっており、「特にない」との回答は 5 割を超えています。



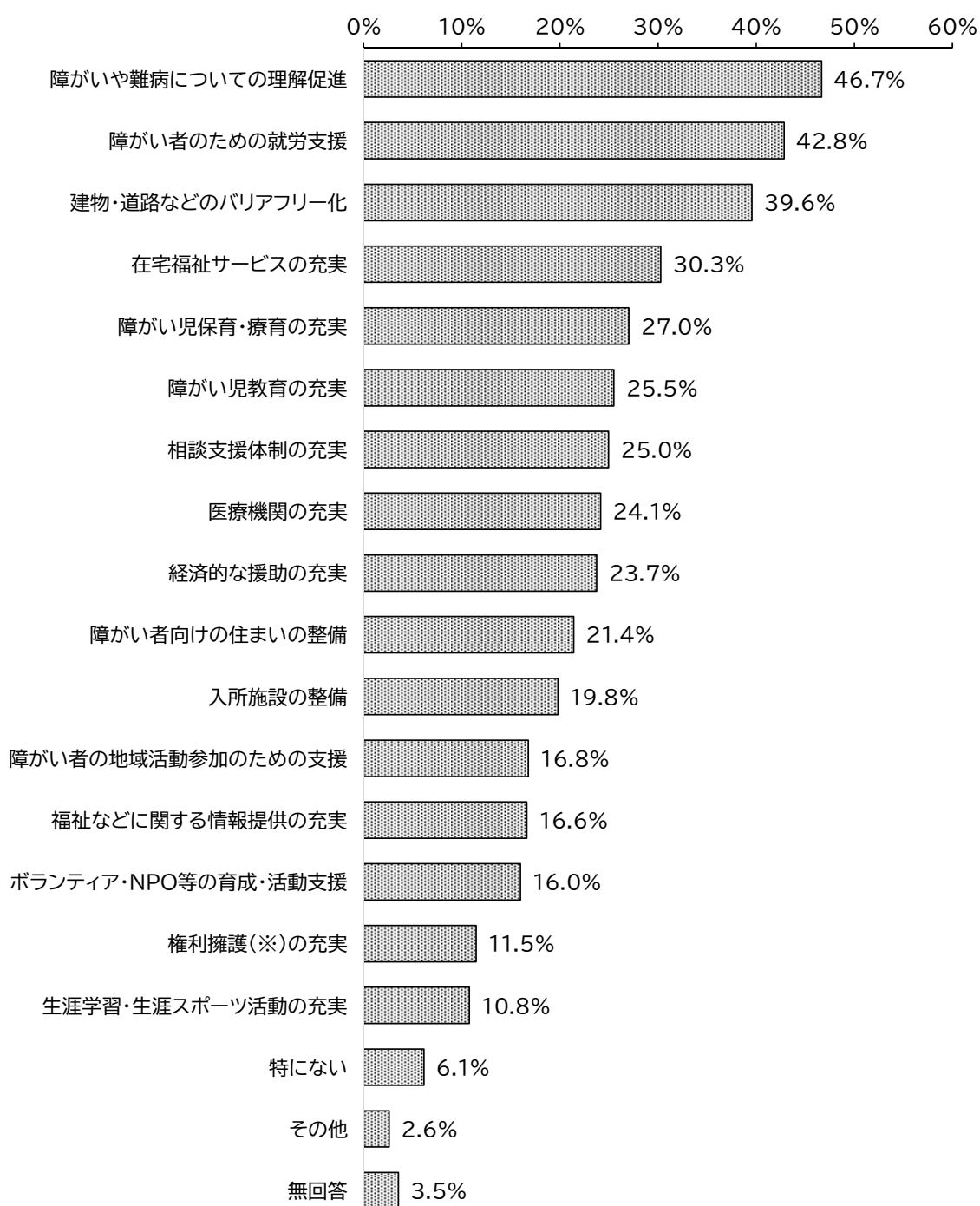
ふれあいスポレク・フェスタ	障がいのある方と障がい者スポーツに興味のある方が、カーリングなどのニュースポーツを楽しむイベントです。
あゆみの郷まつり	「久喜市あゆみの郷」で、ステージイベントや、作品の販売、各バザーなどが行われるイベントです。
いちょうの木まつり	「久喜市いちょうの木」で、ステージイベントや、縫製品・陶芸作品の販売、各種出店・展示などが行われるイベントです。
けやきの木まつり	「久喜市けやきの木」で、ステージイベントや、バザー、自主製品の販売などが行われるイベントです。
くりの木フレンドリーデー	「久喜市くりの木」で、見学会や事業体験、自主製作品の販売などが行われるイベントです。
久喜特別支援学校 いちょうまつり	「久喜特別支援学校」で、小学部・中学部・高等部による学習発表会や作品展示などが行われるイベントです。
騎西特別支援学校 きよう祭	「騎西特別支援学校」で、小学部・中学部・高等部による学習発表会や作品展示などが行われるイベントです。
啓和まつり	障がい者支援施設「久喜けいわ」で、施設利用者の作品展示や、福祉バザー、模擬店、アトラクションなどが行われるイベントです。

(5)障がい者施策のために必要なこと

問 19 あなたは今後、障がい者施策を充実するために、どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。(〇はいくつでも)

「障害や難病についての理解促進」が 46.7%と最も高く、次いで「障がい者のための就労支援」が 42.8%、「建物・道路などのバリアフリー化」が 39.6%、「在宅福祉サービスの充実」が 30.3%となっています。

総数=733人(複数回答)



(6)自由意見

障がい者施策全般について、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

125件の回答がありました。主な記載内容をもとに分類した結果、「障がい理解・啓発について」が36件と最も多く、次いで「障がい者支援・ボランティアについて」と「生活環境・バリアフリーについて」がともに23件、「行政・制度について」が21件などとなっています。

項目		件数
1	行政・制度について	21
2	障がい理解・啓発について	36
3	障がい者支援・ボランティアについて	23
4	生活環境・バリアフリーについて	23
5	本人・家族の障がいについて	6
6	障がい児教育・療育について	2
—	その他	14
回答総数		125

◆主な意見の概要

※紙面の関係で内容を抜粋・要約している場合があります。

①行政・制度について

意見の概要	年代・性別
知らない制度や取り組みがあった。普段なかなか市からの資料などに目を通さないため、もう少し見てみようと思った。	20歳代 男性
障がい者理解を強要するのではなく、障がいというものがすぐそこに自然とあるものであると皆に思ってもらえるような施策を期待しています。誰にとっても優しい町になるといいですね。	30歳代 男性
障がい者の支援は誰もが特別視したり、特別な扱いをする施策が多い。如何に地域に溶け込ませるかが、物理的にも心理的にも本当の意味のバリアフリーだと思う。	30歳代 男性
久喜市に限らず、障がい者が働ける場所を増やしてほしい。	40歳代 男性
誰もが関心を持ち障がい者の方がより暮らしやすい施策を作ってほしい。役所目線ではなく障がい者の方の目線での。	40歳代 女性
障がい者に対してすべてを対象に国から面倒をみる人にずっと給付金を出してほしい。家族に障がい者がいる人に対しての職場理解。バカにする人達に厳しくしてほしい。	40歳代 女性
バリアフリーなど表面上は障がいがある方への配慮や工夫が進んでいるかと思いますが、もっと掘り下げて障がいのある方の雇用や自立支援、またそれらを支えサポートしている職員たちをもっと社会的に認めるなど、まだまだ課題はたくさんあると思います。	40歳代 女性
施設に入所希望の場合、どこに相談すれば良いのか、誰が紹介してくれるのか、わからなかったです(久喜市ではありません)。	50歳代 男性
虚偽なのか事実なのか。企業の障がい者の雇用に関して悪用があると聞きます。やはりその防衛策を再度徹底しなくてはいけないのではないかと思います。	50歳代 男性
市民の生活環境を整える政策をお願いします！	50歳代 女性

高齢者・子どもの対策に比べて、いつでも後回しにされていると思われる。	50 歳代 女性
以前、車イスを無料で社会福祉協議会で貸していただきとても助かりました。最長で6か月借りることができ、親切だと思った。外出は自家用車がないと不便だとよく聞きます。介護タクシーは高いと聞くので、やはり経済的な援助と急な外出でもすぐに対応できるようになるとよいと思う。ボランティアにも少し報酬があるとよいと思う。	50 歳代 女性
障がい者の方々に意見を聞いて取り組んだ方がいいです。障がい者ではない私達が何を言っても、考えても障がい者の気持ちは分かるわけなのです（私の場合の「障がい者」は手帳を持っている人です）。私は自分が大病を患い、その後親の介護をしています。母も兄も自立支援医療の認定を受けています。ちなみに私の主人は障がい者の認定は受けていませんが腕が少し不自由です。過去にケガをしました。障害補償一時金はもらっています。	50 歳代 女性
栗橋地区に障がい者が少ないのか、外出する環境が悪く、外出やイベントがないのかわからないが、目出ていません。やっているのであれば市としてしっかりアピールをした活動をしてほしい。	60 歳代 男性
(介護認定基準に関して)居宅介護の介護人の負担基準を明確に策定し、基準化して頂きたい。介護4から介護2になると点数が減り、リハビリなど回数が受けられなくなります。実際は介護4が介護2になっても介護人の介護負担はさほど変わりません。介護人の負担度も加味した介護認定にして頂きたいと思います。	60 歳代 女性
障がい者は働くことが難しいです。障がい者でも金銭的に余裕のある方、余裕のない者があります。うちは非課税でお金に余裕がありませんけど、出費(病院、雑貨等代)は多いです。金銭的な援助があると助かります。あと、自分と家族に障がいがあつて大変な毎日を過ごしていますので、他の方を助けるとか、イベントに行くとかの余裕はないです。	60 歳代 女性
生まれながらの障がい、事故、病気等の途中からの障がいでは取り組みも対応も違いがあると思いますが、本人ではないので、何を望んでいるかわかりません。世帯主が障がい者になるのは生活面で一番苦勞します。その辺の援助とか、情報が得る事ができればと思います。障がい者と健常者の壁は、取りのぞく事ができないのでしょうか？	70 歳代 男性
障がい者自身が要望を出せるといいのですが、無理でしょう。障がい者に寄りそっている人がこうしてもらいたい、こうであつたらいいなど代わりに言ってあげ、それを受けとめていく行政を、と思います。“福祉計画策定”とありますが、福祉とはみんなが幸せになることを意味します。難しいでしょうがより多くの障がい者がこの世の中で明るく生活できるよう願いたいものです。	70 歳代 男性
実を言うと制度の知識はあまりありません。これを機会に勉強したいと思います。	70 歳代 男性
人それぞれの状況に応じてきめ細やかな優しさを感じられる支援をお願いします。	70 歳代 女性
障がいを持つ方が少しでも生活しやすい社会になっていくことを願っています。	70 歳代 女性

②障がい理解・啓発について

意見の概要	年代・性別
そもそも障がいのない多くの人々は障がい者に対し興味が薄いと考える。別にそれが悪だと言っているわけではなく、自分のまわりが自分のすべてなのだから仕方がない。ただ多様化している現在、障がい者然りLGBTQなど様々な人がいるのだということを小中学生に学ばせ関わりを持たせることは大きな意味があると思う。これら回答で何を、なぜ、どのように改善させたか市のホームページに掲載するようお願いします。	20 歳代 男性
普段生活している中で障がい者と関わる機会がなく、そういった場合の障がい理解の促進が難しいように感じている。発達障がいも多く認識されてきてはいるが、配慮の仕方や特性を知る機会が無いので差別的に見られがちだと思う。学校の先生や福祉施設、就労においての障がい理解もばらつきがあることもあるので、ノーマライゼーションの精神に則り配慮があり、統一した理解や教育・指導ができるようにしていくべきだと思う。また養成講座等はそういったことに参加したことない場合、参加のしにくさを感じる(知り合い同士で参加する印象)。講座も良いが、もっと気軽に若者1人でも参加できるようなイベント等あれば参加してみたいと思う。	20 歳代 女性

私の娘はまだ幼く「障がい者」というのに理解していません。小学校(低学年でも)等でも理解しやすい学習(授業のひとつとして)があると今後につながるのではないかと。	20 歳代 女性
このような調査や活動を行っている事を初めて知りました。興味が無いと見えないような促進活動を行うより市民が興味を持っている環境に自然と目が入るような取り組みをしてもらえたら、いいなと思います。※問 19 がうまく回答できませんでした。	20 歳代 女性
障がい、難病への理解促進の一環として、小中学校のうちから「こういう障がい、難病を抱えている人もいる」ということを教えておくことは大切かなと思います。	30 歳代 男性
近くに障がい者の施設があるが、何も問題は起きていません。このごろは良く障がいの事を耳にします。母が障がい者施設で働いているので、いろいろ話は聞いています。	30 歳代 男性
なにをするにしても理解不足によるところが大きい。なので「知る場」を充実させてほしい。障がい者の方々も「知ってもら場」をどんどん活用してほしい。「知る場」にどうやったら足が向くかは要検討で。	30 歳代 男性
状況を理解してくれる人を増やさないと難しいと思います。体験をした、又は経験したことがある人とならない人では全然対応が変わります。私は多少経験したことがあるので理解できる部分はあります。若い人には理解してもらおうのが今後どんどん難しくなると思います。年代の違いはかなり壁が高いと仕事で感じています。	30 歳代 男性
障がい者の方への支援や社会活動における配慮に際して、その内容を選択するには、その方の障がいの特性、個人の能力など差がとても大きいと感じます。そのような個人個人の力を周囲が理解できる、してもらえよう、障がいを理解した上でのコミュニケーションが必要だと思います。そのためにも、もっと障がいについての知識や実情などを色々な人に理解してもらいたいと思います。ただし、障がいと言っても、数え切れないほどの障がいがあって、一括りにするのはとても難しいことだと思います。それを知って理解するのは、更に難しいことだと思います。(だからこそ、そのような教育や社会を整備しながら、どんな人にも寄り添える心の余裕を作れる健常者の心の健康も必要だと思う。)	30 歳代 女性
自分の周りに障がい被害者がいない事もあって、どんな時に自分は手を借せばいいのかわからない時があります。もっと多くの障がい者とのかわりを持ち、どんな事を障がい者の方々は望まれているか、知る機会を持ちたいです。	40 歳代 女性
久喜駅東口に駐車エリアがありますが(障がい者用)、その場所をさけて駐停車しているのかわからず割り込み駐停車する車がある。割り込み禁止の看板を立てる必要があると思う。特に朝夕がひどすぎる。	40 歳代 女性
昔、就職時、事前研修として、小売業の為、接客の簡単な手話を覚えたり、盲導犬を連れてお客様の対応を学んだり、自身の親や親戚の介助で車いすを使用したり、小さな体験が障がい者目線で考えるきっかけとなった。色々なメディアで障がい者に関する事を目にするが、きちんと関心を持つ様になった。助けを必要とする方々のために、家や学校でより多くの学び場が増える、接する場の増える事を期待したい。	40 歳代 女性
障害＝普通又は健常でないことではなく、障害＝サポートを必要とすること、という認識が子供たちを中心に広がっていくといいと思っております。	40 歳代 女性
具体的にどういった施策、活動が行われているか、まだまだ知られていないのが現状だと思います。また、障がいとひと言でいっても、身体的、精神的、人によって本当に症状も重症、軽症の度合も様々なので容易に対応できないのが難しいところでもあると思います。とはいえ、そういった方々も心地よく暮らしていけるように支援できる環境、住みやすい環境をつくっていくことは重要だと考えますので、どのような計画が可能なのか期待しています。	40 歳代 女性
園児や小中高生など、学校単位で幼少から障がい者と交流会を持てるイベント行事を行って、偏見・差別意識を持つことなく社会の一員として成長していけるよう、教育の中に組み込んでいけるといいと思います。教科書やメディアで障がい者についての知識があっても、実際自分が対面した時、話しかけや手伝いなどぱっと行動することは難しいと思われれます。いろんな世代の障がい者と遊びやレクリエーションを通して、相互理解を深め、障がい者のいる社会が当然であると身近に感じてもらえるといいと思います。	40 歳代 女性
広報、周知が基本的に少ないと感じられる。経済的支援がどれくらいあるのかもよく知らない。情報が少なく、市民の理解が得られにくいのではないかと。この辺の改善が必要と考えられます。いつ自分が家族が障がい者になってしまうのか、他人事ではないとも感じる。重要な課題であると思う。	50 歳代 男性

地域のみならず、取り組んでいく必要があると思います。その為のイベントの開催や、勉強会をもっと宣伝していただき周知することを今まで以上にしたい。よろしくお願いします。	50 歳代 男性
障がい者の耳や目が手、体が不自由な方に直接あって、もっと何が必要とか、どこかをなおしてほしいなど話をもっと足をはこび聞いてほしい。	50 歳代 女性
障がい者について理解不足で意見できません。申し訳ありません。	50 歳代 女性
障がいを持つ人たちが不安にならない生活、孤立しないように他者からの声かけや励まし、他者からの優しさに触れて心が癒される社会づくり。障がい者への理解はまだまだ不十分だと感じます。障がい者は人それぞれで同じ名前の障がいであっても人の数だけさまざまな数の障がいがあると理解してほしいです。	50 歳代 女性
障がい者の方に出逢っても、どこまで声を掛けて良いのかわからない。相手方から声かけがあればできる限りのお応えはしたいと思っている。障がい者と言っても範囲が広すぎて個々の障がいに対応等のセミナーや勉強会等で勉強したいと思う。	50 歳代 女性
問 14 にも書きましたが、「知らない。分からない。」と言う事が、近寄りたいたいと言う気持ちが生まれると聞いた事があります。学ぶ機会を持ちたいと思います。	50 歳代 女性
学校での福祉教育と交流は効果が大きいです。	60 歳代 女性
社会の障がい者に対する空気感は随分よくなってきた気がします。	60 歳代 男性
障がい者が活躍できる場をつくること。健常者と同じ内容でなく、障がい者の特徴を活かす芸術や文化様々な面をもっと考えるべきであり、例え体が動かなくても道があるように思う。障がい者は、世の負債ではなく、特徴として見るべき。バリアフリーは障がい者の為ではなく、あたりまえの世界であり、そういう世界を造るべきと考えます。	60 歳代 男性
アンケートの項目にこたえる毎に、自分が障がいのある方のことを自分の問題として、とらえていないことがわかりました。問19など答えることが難しかったです。実際に障がいのある方が力を入れてほしいと思っていることがどんなことなのかわからないのです。	60 歳代 女性
以前からあったのかもかもしれませんが、最近は色々な面(身体、精神)障害が新聞や TV マスコミ関係から耳に入る事が多くなり、過度に心配したりします。まずは本人の意思を一番に尊重するようサポートしていただきたい。	60 歳代 女性
精神障がいのように目に見えにくい病気の理解の推進を進めていただけるとありがたいと思います。	60 歳代 女性
精神疾患についての理解支援が弱い。もっと家族向け支援がほしい。「みえる障がい」以外の理解、周知、支援がほしい。	60 歳代 女性
高齢であり、普通の方でも大変なのに、障がい者の方はもっと大変。障がい者に携わる方は、よく相手を知る必要が有りますか？認知症となれば、なかなか難しいと考えます。生きるという大変さ？益々、高齢が増えます。市の重責は大変と思いますが耳をそらさず励んで下さい。	70 歳代 男性
私のまわりに障がい者がいないことでほとんど知りません。広報紙をもっと充実してほしい。	70 歳代 男性
障がい者への理解は特にありますが、他の人とあまり話す機会がないので残念ですが、自分が障がい者でないと分からない事多すぎますね	70 歳代 男性
自分自身も高齢者になり、いつ障がい者になるかわかりません。現在、足腰に不便を感じているので少しでも障がい者の気持ちに寄り添う事ができたらと思っています。やはり社会とのつながりが一番大事な事ではないでしょうか。それにより自信を持って行けると思います。	70 歳代 女性
私は健常者です。私自身あまりにも障がい者、難病者の事について無知だと感じました。自然にそういった知見が身に付く方法は無いのでしょうか？	70 歳代 女性
ノーマライゼーションの精神をよく理解すること。障がい者の側に立っての支援、又障害者に限らず差異を理解しあい共生できる社会を目指したい。	70 歳代 女性
市職員の障がい者の理解、啓発が必要である。	70 歳代 男性

③障がい者支援・ボランティアについて

意見の概要	年代・性別
市や県などが主導で開催する手話講座などがあれば通ってみたいです。	20 歳代 男性
身近にいないのでわからない事だらけですが、もう少し助けあえる事ができればと思います。	30 歳代 女性
障がいをおっても、働かないと生きていけません。障がい者が働ける環境が整っていることが一番重要だと思います。	30 歳代 女性
「障がい者」とは何者なのかがわからない。手帳をもっている方？ 一時的に不自由な状態(怪我・病氣・妊婦)の方とは分けて扱われることなのか。「話し相手」は「務める」ことなのか。そこに「相手になってあげる」上から目線はないと言い切れるか？先月、けやき通りの歩道が補修されました。しかし反対方向の点字ブロックのある歩道は傷んだままです。優先順位がおかしいと思います。ボランティア活動は素晴らしいことですが、状況によっては続けられなくなる方も出るでしょう。行政はボランティアに過度に頼らず、確実に続くシステムを作るべきだと考えています。	40 歳代 女性
知的障がいがある方でも、絵が上手で好きな方も沢山います。バスやイベントのポスターなど使う手を考えてみては…。	50 歳代 女性
イベントやボランティア活動に興味、参加してみたいと思いはありますが、仕事で日々の生活に手いっぱい、そのようなゆとりがありません。広報を充実させていただきたいです。	50 歳代 女性
身近にいないため接する機会がありません。あと仕事上時間がないので、イベントに参加が無理なものがあります。一応、働いている時とか、出かけている時は気を付けて見ているのですが、障がい者にやたらと声をかけていいものか心配もあります。ほとんどの人が同じ気持ちだと思います。	60 歳代 男性
障がいの方に声かけする場合ちょっと難しいと感じたことがあります。相手を知らないとこちらの配慮もよけいなお世話になりはしないかと…。障がいの方と健常者との共に勉強会？も必要なのかと。	60 歳代 女性
老人介護施設がある様に障がい者の方々が自分の家で生活するような施設をつくり、障がい者の方々の程度により自分で生活ができる方、できない方もいますができる方に安心して過ごせるプライベートも守りつつ、これからの人生にプラスであるように過ごして自分でできる事があるのだと楽しい日々を送ってほしいと思います。その為にも多くの人の支援が必要になります。	60 歳代 女性
外に出れる方はまだ良いが、心身的に家に引きこもってしまっている方と家族を手助け出来れば…	70 歳代 男性
障がい者の特性を理解し、介助の労を惜しまない支援者、ボランティアの育成が大切かと思っています。理解者でなければできない仕事だと思っています。	70 歳代 男性
高齢者になり、障がい者の気持ちなど考えられるようになりました。まわりの人々が様子をわかってあげる事が安心安全へつながると思います。助け合わないといけないと感じています。	70 歳代 女性
建前としては十分理解し、応援したいと思うのですが、本音部分では「どこまで」、「どうしたら」…に踏み切れない自分の情けなさを感じざるを得ない現状です。どこかで踏み出さなければ何の意味もないと思うのですが…。	70 歳代 男性
なにせ高齢なので、ボランティアをやってみたいと思いつつ、体が思うように動きません。傾聴ボランティア等ならできるかな？一緒に車椅子を押して買い物等できるかな？等思っています。無理なくできるボランティアがあればと思うのですが…。	70 歳代 女性
同封されておりました支援の件ですが、私が他市から越して参りまして約十年程になります。久喜市の施策には、いつも感心しておりました。市民の皆様のために尽くしていらっしゃるお仕事振りは有り難いことです。私もせめて60才代後半位でしたら、かつて保育園の保母もして居りましたので、お役に立てたかも知れません。77才の今は、せめてお近くの高齢者同志、励まし合って、日々を送る事が大事と思って居ります。皆様、お身体を大切に…。	70 歳代 女性
私は以前障がい者施設などでボランティア活動に参加させて頂いてました。ところが2年前に交通事故で身体不自由となり今も後遺症で車の運転はもちろん歩行するのがやっとです。そんなことで施設のデイサービスを利用させて頂いています。施設では今、自分でできる事、利用者の皆様のお話を聞いてあげることを心掛けています。又認知症の方にはできる限り、「おはよう」、「暑いね」など声かけするようにしています。にこっと笑顔を見せてくれるのがたまらなく嬉しくなります。	70 歳代 女性
73才で何か手助けができる事があれば参加したいと思います。	70 歳代 女性

障がい者と出会うとその人の気持ちになって手助けしてあげたくなるし、又ガンバレと小さな声で応援したいです。	70 歳代 女性
自身の年齢、体力を考えると、行動を伴うボランティア活動は躊躇される。でも、ささいな事であれば手助けしたい、声かけをしたいと思う時はある。住む地域にも関係するが、イベント会場がわかりにくく不便。どうやってそこまで行くのか…。	70 歳代 女性
いずれは自分達もなるかもしれない障がい者達の気持ちを考えて、みんなも何かの力になれるようにできたらいいなと思います。	70 歳代 女性
すみません。障害者についての知識がありません。もう少し関心を持つべきだと思いました。役に立たず申し訳ないです。	70 歳代 女性
高齢者でもできるお手伝い等具体的に教えて下さい。	80 歳代 女性
障がい者自身が頑張っているのに、声をかけたり手を出してはたして良いのか悪いのか迷って消極的になってしまうことが多い。声をかけた時はサーと逃げってしまう人もいるようではたして、どんな時にどんな人に声かけしたらよいか迷います。	年齢不明 女性

④生活環境・バリアフリーについて

意見の概要	年代・性別
他の市や町では古い車のイベント等、障がい者でも参加できるイベント多数やっていますよ。北本市のきくまつり、幸手市の権げんどう祭り、旧車のイベントで古い車や古い物をみんなで集める事をして、屋台等でお金を使い町の潤いに一役買っている様に見えます。久喜市はそんな所が無いから私達は他の町へ楽しみに行っております。	40 歳代 男性
どの人も安心してすごせるまちづくりをお願いします。できることから協力します。	30 歳代 男性
障がいを抱えている方が自身について障がいを抱えていることを忘れられるような状況をつくり出すことが出来れば、その施策は最も効果のあるものだと思います。障がいを抱えている方にとって利用しやすい環境はいわゆる健常者にとっても利用しやすい環境だと思います。現状の久喜市は到底バリアフリー化が進んでいるとは言えず、車同士すら、すれ違うことのできないぐらいの道路があり、ガードレールすらない。エレベーターやスロープのあるところは施設の入口などからは距離のあるところに設置されていることが多いなど近々で解決すべき問題が山積しているように思います。適切な予算を適切な形で運用し、誰もが住みやすい環境を整えていただきたいです。	30 歳代 男性
住みやすい市になってほしいと思います。	30 歳代 女性
誰もが障がい者になるかもしれないのだから、他人事と思わずに久喜市民が日頃から障がい者に思いやりや優しさをもって生活してほしいです。障がいのある方にとっても、安心して希望をもって暮らすことのできる久喜市になってほしいと願っています。ほとんど力になれず希望理想すみません。	30 歳代 回答しない
医療機関の充実を望みます。	50 歳代 男性
コロナ禍で障がい者団体のイベントに参加できない事が多く残念です。障がい者雇用を長年取り組む会社に通う人でも、内部の人間関係、特に差別的な対応に悩んでいる人がいて、表に出にくいとは思いますが行政の調査や指導があると良いと思います。医療的ケア児の通学に関して支援が足りていないと感じます。家族の負担が大きいです。また、卒業後の受け入れ施設も不十分だと思います。	50 歳代 女性
障がいのない人も、ある人も、今後障がいをもっても、安心して暮らせる施策を望みます。	50 歳代 回答しない
障がいのある方(車いす)が東鷲宮駅や鷲宮駅を利用しづらかったが、前よりよくなったように思えるが…距離が長いので大変そう。今は自家用車があるためタクシー利用しないのですが、久喜市に介護福祉タクシーがあるのかわからないし、利用方法がわからない。将来は手話をならいボランティアに参加したいと思っている。	60 歳代 女性

障がい者だからと、変な目で見ないで自然体で、本当に困った時だけ手を差し伸べていました(亡き父の時)。車いすをひいても、道路の段差、砂利道。食事に行ってもドアの開閉や通路に物があり、車いすが通れず、大変な思いを90過ぎの母の介護で現在、経験しています。まだまだですね。	60歳代 女性
障がい者の方々も元気でいてほしいので、内にばかりこもる時代ではないので、外で元気に過ごしてほしいです。介護タクシーなどもっと充実していただければと思っています。	60歳代 女性
触れ合う事が少ないので知識があまりありませんが、皆が暮らしやすい場所であってほしいと思います。	60歳代 女性
市街地に障がい者がのんびりできる公園や自然が体感できる広場がほしい。バリアフリー、ベンチ、トイレ等がきれいで利用しやすいことが大事である。晴れた日など短時間でもゆったりできる場所が身近にあると良い。	70歳代 男性
自立支援のしくみをつくり、親兄弟がいなくなっても楽しく生きて行けるようにしてほしい。	70歳代 男性
障がいをもった方々が安心して暮らせる町にしたいですね！	70歳代 女性
すべての市民が安心して住みやすく、出て歩きたくなるような街にしてほしい。	70歳代 女性
昨日まで(9/26~10/30)九州一周の旅に夫婦で行って来ました。障がい者、弱者に優しいトイレ、きれいなトイレが沢山ありました。特に道の駅。それぞれ弱者に使いやすいトイレ、バリアフリーはもちろん母子為の赤ちゃんルーム(個室でレンジ湯など使える)、人工肛門の人のためだけのトイレ、地方の田舎まで頑張っています。久喜にはありますか？	70歳代 女性
障がい者の人達が生活しやすい世の中になってほしいと思います。	70歳代 女性
道路の段差はなくてほしいです。障がい者の方たちでなくベビーカーや自転車、お年寄りの人たち全てにいいことだと思います。	70歳代 女性
孫は看護師がいらっしゃらないと久喜市の園に行けず、現在、羽生まで行っています。近くに行くとこががあれば良いと思っています。	70歳代 女性
障がい者でもできる仕事を見つけ、提供する。	80歳代 男性

⑤本人・家族の障がいについて

意見の概要	年代・性別
私自身がうつ病に罹患して8年になります。身内には夫以外、私がうつ病だということは隠しています。奇異な目で見られそうなのと、余計な心配をかけてしまいそうだからです。身体障がい者の方は、障害をお持ちなのが目に見えてわかるので、隠す必要がありません。なので、前向きに社会に参加しようとしている姿を多く見かける気がします。が、精神障がい者はそうではありません。隠し隠し生きているのです。精神が弱い故に仕事もできず、家でただ一人金食い虫になっているのが実情です。知り合いの前ではニコニコしていても家に帰ると落ち込んで泣く。生きている意味などないのに医者や夫には死ぬことを止められ死ぬことすらできない。なんのために生かされているのかわからなく辛い日々。仕事をしていた時はそんなこと考える暇もないくらい忙しかったから何も考えずひたすら働きたい。しかし心が追い付かず、体調面にどんどん不調があらわれて今では働くことすらできない。せめて夫に負担をかけないように給料くらいのお金をもらえたら、と障害年金を申請したところ三級。働くこともできないのに月々5万弱では本当に生きていることのコスパが悪すぎて嫌になります。家賃、光熱費すら払うことができません。精神患者は、自分が「普通でありたい」と願うばかりに同じ精神患者と「一緒にされたくない」と思ってしまいます。なので、一番障がい者を差別しているのは障がい者自身であるともいえます。正直、この壁をとっばらうのは難しいと思います。それぞれが個性であると受け入れられる人、そうでない人がいます。なので差別などは正直どうでもいいので、お金の面で生きやすくなれば少しは不自由が減るのかなと思います。少なくとも私はそうです。それか安楽死制度を導入してほしいです。極端ですが、人権が、とか正直我々はどうでもいいです。誰にも迷惑をかけることなく死にたい。障害年金などで国民の税金を使われるのと、安楽死させてそれ以上税金がかからないのとどっちがいいのか、全国民にアンケートをとってほしいくらいです。障がい者の一意見として受け止めてもらえたら幸いです。長文失礼いたしました。	30歳代 女性

私は14年前に倒れ悪性脳腫瘍レベル4。余命3か月でした。病院に2ヶ月に一度MRIを取りに行きながら頑張って普通の仕事についてたのですが、落ち着いてきたと思うと再発が見つかり三度再発しました。14年間体を動かし14年前より見た目も病人にみられたくなく、鍛えてきました。それでも再発するこの体と付き合っています。今年の4月、工作中、てんかんが初めてでて、今は薬で押さえながら失業手当をいただいて生活しています。好きな事しながら体を動かし生活していますが、ふと不安になる事もあります。脳腫瘍からのてんかんで障がい者手当が頂けない。筋トレできる位なので普通に働けますが、今も頭には腫瘍があり先生の話では手術したら100%後遺症が残ると言われました。家族もいます。子供も三人います。倉庫の管理所長になり落ち着くかと思えば、又倒れフォークリフトを運転する仕事なのでいつてんかんが出て事故を起こすかわからないためクビになりました。いろいろ障害、病気で苦しんでる人はいるし、自分より辛く苦しんでる人もいます。今はハローワークに通い溶接の資格を取る為、勉強してます。体は動くから普通に健康な方達と同じように生きてますが、国からの支援などももう少し考えてほしいです。よろしく願いいたします。	40歳代 男性
代筆 本人は知的障がい者です。設問を説明しながら聞き取り回答しました。	40歳代 女性
膝が悪いので人に手伝ってもらっている。家の中のことはできます。	70歳代 女性

⑥障がい児教育・療育について

意見の概要	年代・性別
現在、孫が支援クラスでお世話になっております。色々ありがとうございます。小児医療センターの先生が久喜は支援が充実しているとおっしゃっていました。家族も解からないことばかりで、今後、中学校・高校はどうなっていくのだろうとの不安。就職の不安とかもあります。そんな相談窓口が多くあったらと思います。	60歳代 女性
障がい児に市の予算を多くしてほしい。	70歳代 女性

⑦その他

意見の概要	年代・性別
今回のアンケートで聞かれている「障がい」の定義がよくわかりませんでした。身体、知的、精神障がいがありますがアンケートの内容からすると、精神障がいは含まれていないのでしょうか？アンケートの最初に障がいとは何か、定義されていないので、年齢やおかれている環境によって想像する障がいは人によってまちまちなのではないかと思います。市民の考えている障がいの認識を市が知りたいのであれば別ですが、定義が曖昧なままアンケートをとることに意味があるのかわかりません。	30歳代 女性
職場に聴覚障がいの方がいますが、この方は仕事がよく出来る方です。近い家族にも重度の障がい者がいるわけではないので、私はあまりわかっていない方だと思います。アンケートも役立ってないかと思います。申し訳ないです。	50歳代 女性
うまくお答えできなくてごめんなさい。役所のご発展をお祈りします。	60歳代 女性
楽しい思いを沢山させてあげたい。	70歳代 男性
現在75才で一応普通の生活はできていますが、そろそろ体の自由がきかなくなる年頃です。アンケートの内容は健康な若い人向けと感じました。例えばボランティアに参加するかといえば気持ちはあっても実際は無理があります。年齢を考えてアンケートを送送願います。	70歳代 男性
アンケート全容が障がい者に人それぞれに必要な事ばかりだったと思います。	70歳代 女性
身近に障がい者がいないため、あまり感心を持つことがない。自身が高齢者であるため、自身の自立を優先して考えたい。	80歳代 男性

障がい者(認知症)は年を重ねれば避けては通れない病気かと！！夫婦長生きは幸せ？それとも苦難の生き様になるのか？心境は不安です。ひとりが施設に入れば、生活やら諸々大変な事ばかり！！自身が認知症にならない様に…。高齢者が増え、若者は高齢者を支える為に苦勞！！皆さんに迷惑をかけない様頑張りたいと！！健康介護保険、物価高等々難しくなりますね。生きる事！！前向きに！！

80 歳代
女性